

PGマルチペイメントサービス

モジュール・タイプ

(PHP 版 マルチ決済インタフェース仕様)

2025 年 12 月 17 日 1.93 版

- ☑ 本書の著作権は「GMO ペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

1.	はじめに	24
1.1.	項目の説明	24
1.2.	開発するにあたっての注意事項	31
1.2.1.	取引について	31
1.2.2.	取引状態の遷移について	32
2.	コンビニ決済インタフェース仕様	49
2.1.	コンビニ決済依頼する	49
2.1.1.	コンビニ決済の流れ	49
2.1.2.	各インタフェース仕様詳細	50
2.2.	コンビニ決済の支払停止を実行する	55
2.2.1.	コンビニ決済の支払停止の流れ	55
2.2.2.	各インタフェース仕様詳細	56
3.	モバイル Suica 決済インタフェース仕様	57
3.1.	モバイル Suica 決済依頼する	57
3.1.1.	モバイル Suica 決済の流れ	57
3.1.2.	各インタフェース仕様詳細	58
4.	楽天 Edy 決済インタフェース仕様	62
4.1.	楽天 Edy 決済依頼する	62
4.1.1.	楽天 Edy 決済の流れ	62
4.1.2.	各インタフェース仕様詳細	63
5.	Pay-easy 決済インタフェース仕様	67
5.1.	Pay-easy 決済依頼する	67
5.1.1.	Pay-easy 決済の流れ	67
5.1.2.	各インタフェース仕様詳細	68
5.2.	Pay-easy 決済の支払停止を実行する	73
5.2.1.	Pay-easy 決済の支払停止の流れ	73
5.2.2.	各インタフェース仕様詳細	74
6.	PayPal 決済インタフェース仕様	75
7.	WebMoney 決済インタフェース仕様	76
7.1.	WebMoney 決済実行する	77
7.1.1.	WebMoney 決済の流れ	77
7.1.2.	各インタフェース仕様詳細	79
7.2.	WebMoney 決済(クイック決済)を実行する	85
7.2.1.	WebMoney 決済(クイック決済)の流れ	85
7.2.2.	各インタフェース仕様詳細	90
7.3.	クイック ID を削除する	97
7.3.1.	クイック ID 無効化の流れ	97
7.3.2.	各インタフェース仕様詳細	98
7.4.	クイック ID の利用明細画面を表示する	99
7.4.1.	クイック ID の利用明細画面表示の流れ	99

7.4.2.	各インタフェース仕様詳細	100
7.5.	決済の内容を取消する	101
7.5.1.	決済の内容を取消する流れ	101
7.5.2.	各インタフェース仕様詳細	102
8.	au PAY (au かんたん決済) インタフェース仕様	103
8.1.	au PAY (au かんたん決済) 実行する	104
8.1.1.	au PAY (au かんたん決済) の流れ	104
8.1.2.	各インタフェース仕様詳細	106
8.2.	決済の内容をキャンセル・返品する	113
8.2.1.	決済内容をキャンセル・返品する流れ	114
8.2.2.	各インタフェース仕様詳細	115
8.3.	売上の確定を行う	117
8.3.1.	実売上を行う流れ	117
8.3.2.	各インタフェース仕様詳細	118
8.4.	OpenID 解除を行う	120
8.4.1.	OpenID 解除を行う流れ	120
8.4.2.	各インタフェース仕様詳細	121
9.	au PAY (au かんたん決済) 継続課金インタフェース仕様	122
9.1.	au PAY (au かんたん決済) 継続課金実行する	123
9.1.1.	au PAY (au かんたん決済) 継続課金の流れ	123
9.1.2.	各インタフェース仕様詳細	125
9.2.	課金を売上取消・返品する	132
9.2.1.	継続課金を売上取消・返品する流れ	132
9.2.2.	各インタフェース仕様詳細	133
9.3.	継続課金を解約する	135
9.3.1.	継続課金を解約する流れ	135
9.3.2.	各インタフェース仕様詳細	136
9.4.	OpenID 解除を行う	137
10.	d 払い決済インタフェース仕様	138
10.1.	d 払い決済実行する	139
10.1.1.	d 払い決済の流れ	139
10.1.2.	各インタフェース仕様詳細	141
10.2.	決済の内容をキャンセル・返品する	150
10.2.1.	決済内容をキャンセル・返品する流れ	151
10.2.2.	各インタフェース仕様詳細	152
10.3.	売上の確定を行う	154
10.3.1.	実売上を行う流れ	154
10.3.2.	各インタフェース仕様詳細	155
10.4.	決済の内容を増額する	156
10.4.1.	決済内容を増額する流れ	156
10.4.2.	各インタフェース仕様詳細	157
11.	ドコモ継続課金サービス決済インタフェース仕様	158

11.1.	ドコモ継続課金サービスを登録する	159
11.1.1.	ドコモ継続課金サービス登録の流れ	159
11.1.2.	各インタフェース仕様詳細	161
11.2.	基本データの金額変更を行う	169
11.2.1.	携帯端末から基本データの金額変更を行う流れ	170
11.2.2.	各インタフェース仕様詳細	172
11.2.3.	加盟店様から基本データの金額変更する	176
11.2.4.	各インタフェース仕様詳細	177
11.3.	継続課金の終了を行う	179
11.3.1.	携帯端末から継続課金の終了を行う流れ	180
11.3.2.	各インタフェース仕様詳細	182
11.3.3.	継続課金を終了する流れ	186
11.3.4.	各インタフェース仕様詳細	187
11.4.	課金データを減額確定する	189
11.4.1.	課金データを減額確定する流れ	189
11.4.2.	各インタフェース仕様詳細	190
11.5.	課金データをキャンセル・返品する	192
11.5.1.	課金データをキャンセル・返品する流れ	192
11.5.2.	各インタフェース仕様詳細	193
12.	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済インタフェース仕様	195
12.1.	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済を実行する	195
12.1.1.	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の流れ	195
12.1.2.	各インタフェース仕様詳細	197
12.2.	決済内容をキャンセルする	205
12.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	205
12.2.2.	各インタフェース仕様詳細	206
12.3.	売上の確定を行う	207
12.3.1.	実売上を行う流れ	207
12.3.2.	各インタフェース仕様詳細	208
13.	じぶん銀行決済インタフェース仕様	210
14.	JCB プリカ決済インタフェース仕様	211
14.1.	JCB プリカ決済を実行する	212
14.1.1.	JCB プリカ決済の流れ	212
14.1.2.	各インタフェース仕様詳細	213
14.2.	決済の内容をキャンセルする	218
14.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	218
14.2.2.	各インタフェース仕様詳細	219
14.2.3.	決済キャンセル	219
14.3.	カード残高を参照する	220
14.3.1.	カード残高照会を行う流れ	220
14.3.2.	各インタフェース仕様詳細	221
14.3.3.	残高照会	221

15.	NET CASH・nanaco ギフト決済インタフェース仕様	222
15.1.	NET CASH・nanaco ギフト決済を実行する	223
15.1.1.	NET CASH・nanaco ギフト決済の流れ	223
15.1.2.	各インタフェース仕様詳細	225
16.	楽天ペイインタフェース仕様	232
16.1.	楽天ペイを実行する	232
16.1.1.	楽天ペイの流れ	232
16.1.2.	各インタフェース仕様詳細	235
16.2.	決済の内容をキャンセルする	245
16.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	245
16.2.2.	各インタフェース仕様詳細	246
16.3.	決済の金額を変更する	248
16.3.1.	決済の金額変更を行う流れ	248
16.3.2.	各インタフェース仕様詳細	249
16.4.	売上の確定を行う	252
16.4.1.	実売上を行う流れ	252
16.4.2.	各インタフェース仕様詳細	253
17.	多通貨クレジットカード決済（MCP）インタフェース仕様	255
18.	LINE Pay 決済インタフェース仕様	256
19.	ネット銀聯決済インタフェース仕様	257
19.1.	ネット銀聯決済実行する	257
19.1.1.	ネット銀聯決済の流れ	257
19.1.2.	各インタフェース仕様詳細	259
19.2.	決済の内容をキャンセルする	267
19.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	267
19.2.2.	各インタフェース仕様詳細	269
19.3.	決済の内容を返品する	270
19.3.1.	決済内容を返品する流れ	271
19.3.2.	各インタフェース仕様詳細	272
19.4.	売上の確定を行う	274
19.4.1.	実売上を行う流れ	274
19.4.2.	各インタフェース仕様詳細	276
20.	ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済インタフェース仕様	278
20.1.	ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済を実行する	278
20.1.1.	ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の流れ	278
20.1.2.	各インタフェースの仕様詳細	280
20.2.	課金データを取消する	287
20.2.1.	課金データを取消する流れ	288
20.2.2.	各インタフェース仕様詳細	289
20.3.	継続課金を解約する	290
20.3.1.	継続課金を解約する流れ	290
20.3.2.	各インタフェース仕様詳細	291

21.	リクルートかんたん支払い決済インタフェース仕様	292
21.1.	リクルートかんたん支払い決済を実行する	292
21.1.1.	リクルートかんたん支払い決済の流れ	292
21.1.2.	各インタフェース仕様詳細	294
21.2.	決済の内容をキャンセルする	301
21.2.1.	決済内容をキャンセルする流れ	301
21.2.2.	各インタフェース仕様詳細	302
21.3.	売上の確定を行う	304
21.3.1.	実売上を行う流れ	304
21.3.2.	各インタフェースの仕様詳細	305
21.4.	決済の金額を変更する	307
21.4.1.	決済の金額を変更する流れ	308
21.4.2.	各インタフェースの仕様詳細	309
21.5.	決済のオーソリ期限延長を行う	311
21.5.1.	オーソリ期限延長を行う流れ	312
21.5.2.	各インタフェース仕様詳細	313
22.	リクルートかんたん支払い継続課金決済インタフェース仕様	315
22.1.	リクルートかんたん支払い継続課金決済を実行する	315
22.1.1.	リクルートかんたん支払い継続課金決済の流れ	315
22.1.2.	各インタフェース仕様詳細	317
22.2.	課金データを取消する	325
22.2.1.	課金データを取消する流れ	325
22.2.2.	各インタフェースの仕様詳細	326
22.3.	継続課金を解約する	327
22.3.1.	継続課金を解約する流れ	328
22.3.2.	各インタフェース仕様詳細	329
22.4.	継続課金の金額を変更する	330
22.4.1.	継続課金の金額変更を行う流れ	330
22.4.2.	各インタフェースの仕様詳細	331
23.	銀行振込(バーチャル口座)インタフェース仕様	332
23.1.	概要	332
23.1.1.	口座契約形態について	332
23.1.2.	取引口座・継続口座について	332
23.1.3.	取引の自動生成について	332
23.2.	取引口座を利用する	333
23.2.1.	取引口座利用の流れ	334
23.2.2.	各インタフェース仕様詳細	335
23.3.	継続口座を利用する	340
23.3.1.	継続口座利用の流れ	341
23.3.2.	各インタフェース仕様詳細	342
23.4.	専有口座情報照会を実行する	346
23.4.1.	専有口座情報照会実行の流れ	346

23.4.2.	各インタフェース仕様詳細	347
24.	Paid 決済インタフェース仕様	351
24.1.	取引先を登録する	351
24.1.1.	取引先を登録する流れ	352
24.1.2.	各インタフェース仕様詳細	353
24.2.	取引のステータスを確認する	355
24.2.1.	取引先ステータス確認を行う流れ	355
24.2.2.	各インタフェースの仕様詳細	356
24.3.	Paid 決済を実行する	358
24.3.1.	Paid 決済の流れ	358
24.3.2.	各インタフェース仕様詳細	360
24.4.	決済の金額を変更する	365
24.4.1.	金額変更を行う流れ	365
24.4.2.	各インタフェースの仕様詳細	366
24.5.	決済の内容をキャンセルする	368
24.5.1.	決済内容をキャンセルする流れ	368
24.5.2.	各インタフェース仕様詳細	369
24.6.	売上の確定を行う	370
24.6.1.	実売上を行う流れ	370
24.6.2.	各インタフェース仕様詳細	371
24.7.	決済の返品をする	373
24.7.1.	決済の返品をする流れ	373
24.7.2.	各インタフェースの仕様詳細	374
25.	d 払い随時決済インタフェース仕様	375
25.1.	利用承諾を行う	375
25.1.1.	利用承諾の流れ	376
25.1.2.	各インタフェース仕様詳細	378
25.2.	利用承諾の終了を行う	385
25.2.1.	利用承諾の終了の流れ	386
25.2.2.	各インタフェース仕様詳細	387
25.3.	随時決済を実行する	388
25.3.1.	随時決済の流れ	388
25.3.2.	各インタフェース仕様詳細	389
25.4.	決済の内容をキャンセル・返品する	393
25.5.	売上の確定を行う	393
25.6.	決済の内容を増額する	393
26.	au PAY (au かんたん決済) 随時決済インタフェース仕様	394
26.1.	利用承諾を行う	394
26.1.1.	利用承諾の流れ	395
26.1.2.	各インタフェース仕様詳細	397
26.2.	利用承諾の終了を行う	404
26.2.1.	利用承諾の終了を行う流れ	404

26.2.2.	各インタフェース仕様詳細	405
26.3.	随時決済を実行する	406
26.3.1.	随時決済の流れ	406
26.3.2.	各インタフェース仕様詳細	407
26.4.	決済の内容をキャンセル・返品する	410
26.5.	売上の確定を行う	410
26.6.	OpenID 解除を行う	410
27.	ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済インタフェース仕様	411
27.1.	利用承諾を行う	411
27.1.1.	利用承諾の流れ	412
27.1.2.	各インタフェース仕様詳細	414
27.2.	利用承諾の終了を行う	421
27.2.1.	利用承諾の終了を行う流れ	421
27.2.2.	各インタフェース仕様詳細	422
27.3.	随時決済を実行する	423
27.3.1.	随時決済の流れ	423
27.3.2.	各インタフェース仕様詳細	424
27.4.	決済の内容をキャンセルする	429
27.5.	売上の確定を行う	429
28.	マルチ決済インタフェース仕様	430
28.1.	決済結果を参照する	430
28.1.1.	取引状態参照の流れ	430
28.1.2.	各インタフェース仕様詳細	431
29.	PAYSLE 決済（PAYSLE アプリ方式）インタフェース仕様	458
29.1.	PAYSLE 決済依頼をする	458
29.1.1.	PAYSLE 決済の流れ	459
29.1.2.	各インタフェース仕様詳細	460
29.2.	PAYSLE 決済の支払停止を実行する	466
29.2.1.	PAYSLE 決済の支払停止の流れ	466
29.2.2.	各インタフェース仕様詳細	467
30.	PAYSLE 決済（事業者アプリ方式）インタフェース仕様	468
30.1.	PAYSLE 決済依頼をする	468
30.1.1.	PAYSLE 決済の流れ	469
30.1.2.	各インタフェース仕様詳細	470
30.2.	PAYSLE 決済の支払停止の流れ	473
30.2.1.	PAYSLE 決済の支払停止の流れ	473
30.2.2.	各インタフェース仕様詳細	474
30.3.	PAYSLE 決済のバーコードを発行する	475
30.3.1.	PAYSLE 決済のバーコード発行の流れ	476
30.3.2.	各インタフェース仕様詳細	477

変更履歴

2008年9月1日 - 1.00版

- ・ 新規作成

2008年10月29日 - 1.01版

- ・ コンビニ決済、Pay-easy決済について、表示項目にショップの名称を入れる説明を追記

2009年6月9日 - 1.02版

- ・ 取引状態遷移表に期限切れのステータスを追加
- ・ 支払期限日数の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：3桁
訂正後：2桁
- ・ コンビニ決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：6桁
- ・ モバイルSuica決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：5桁
- ・ モバイルSuica決済での支払期限秒の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：3桁
訂正後：5桁
- ・ 楽天Edy決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：5桁
- ・ 楽天Edy決済での受付番号の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：9桁
訂正後：16桁
- ・ Pay-easy決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：6桁
- ・ 取引状態参照での利用金額の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8桁
訂正後：7桁
- ・ 取引状態参照での出力パラメータの概要を追加
- ・ コンビニ決済でセブン-イレブン追加に伴う変更
利用金額+税送料にセブン-イレブンでの制限を追加
氏名にセブン-イレブンでの制限を追加
支払期限日数にセブン-イレブンでの制限を追加
受付番号の桁数を32桁に変更

2009年9月1日 - 1.03版

- 加盟店メールアドレスのパラメータ名が誤っていた為、パラメータ名を訂正
訂正前：ShopMailAddress
訂正後：ShopMailAddress
※各決済実行の入力パラメータを格納するためのアクセサに、setShopMailAddress を追加しました。
※setShopMailAddress アクセサを使用した場合でも、上記 ShopMailAddress に設定されますので、既存加盟店様での改修は必要ありません。
※尚、setShopMailAddress、setShopMailAddress を併用した場合、最後に呼びだされたアクセサで設定した値が ShopMailAddress に設定されます。
- オーダーIDの説明に、メールリンクと他の接続方式を併用する場合の注意点を記載

2010年2月22日 - 1.04版

- PayPal決済の取引状態遷移を追加
- PayPal決済のインタフェース仕様を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にPayPal決済を追加

2010年3月31日 - 1.05版

- パラメータの型について、誤記箇所を訂正

2010年4月5日 - 1.06版

- 取引状態参照 トランザクションIDを返却する決済種別の誤記載を修正
訂正前：カード・コンビニ・Pay-easy・PayPal 決済時のみ返却
訂正後：カード・PayPal 決済時のみ返却

2010年6月16日 - 1.07版

- WebMoney決済の取引状態遷移を追加
- WebMoney決済のインタフェース仕様を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にWebMoney決済を追加

2011年2月1日 - 1.08版

- 1.2.1-1. 入出力項目の定義に通貨コードを追加
- 1.2.1-1. 入出力項目の定義 利用金額に円決済以外の注意点を追加
- 6.1.2.1. 入力パラメータにCurrencyを追加
- 6.1.2.1. 入力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正
- 6.2.2.1. 入力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正
- 8.1.2.1. 出力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正

2011年9月15日 - 1.09版

- 8.1.2.1. 出力パラメータ JobCdから UNPROCESSED : 未決済 AUTHENTICATED : 未決済(3DS登録済)を削除

2012年3月16日 - 1.10版

- auかんたん決済サービスを追加
- auかんたん決済の取引状態遷移を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にauかんたん決済を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様にauかんたん決済を追加
- 5.1.2.3. 金融機関選択画面の表示 pay-easyにて各金融機関でお支払い可能となるまでの時間について追記。

2012年7月25日 - 1.11版

- ドコモケータイ払いサービスを追加
- ドコモケータイ払いの取引状態遷移を追加
- ドコモケータイ払いのインタフェース仕様を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にドコモケータイ払いを追加

2012年11月20日 - 1.12版

- Mobile Edyから楽天Edyに表記を変更

2012年12月25日 - 1.13版

- ソフトバンクケータイ支払いサービスを追加

2014年4月30日 - 1.18版

- 6.2.2.2. PayPal決済において仮売上取消の記載を追加
- 6.3. PayPal決済において実売上の記載を追加

2012年6月1日 - 1.15版

- auかんたん決済継続課金サービスを追加
- auかんたん決済継続課金の取引状態遷移を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様にauかんたん決済継続課金を追加
- 結果通知プログラムのインタフェース仕様にauかんたん決済継続課金を追加

2012年6月1日 - 1.16版

- ソフトバンクケータイ支払いからソフトバンクまとめて支払いに表記変更

2012年12月2日 - 1.17版

- ソフトバンクまとめて支払いからソフトバンクまとめて支払い（B）に表記変更

2014年4月30日 - 1.18版

- 6.2.2.2. PayPal決済において仮売上取消の記載を追加
- 6.3. PayPal決済において実売上の記載を追加

2014年8月1日 - 1.19版

- 14.1.2. の誤記を修正

2014年9月29日 - 1.20版

- JCBプリカ決済を追加
- フレッツまとめて支払い決済を追加
- NET CASH・nanacoギフトを追加

2014年10月10日 - 1.21版

- ドコモケータイ払い決済とドコモ継続課金サービス決済の決済実行インタフェースに「DispShopName」～「DispMailAddress」を追加

2014年11月21日 - 1.22版

- 楽天ID決済を追加

2015年3月9日 - 1.23版

- 多通貨クレジットカード決済を追加

2015年4月6日 - 1.24版

- 多通貨クレジットカード決済に税送料を追加

2015年5月11日 - 1.25版

- LINE Pay決済を追加

2015年6月1日 - 1.26版

- LINE Pay決済のインタフェース仕様を一部修正

2015年6月24日 - 1.27版

- 10.1.2.2. ドコモケータイ払い決済の「決済実行/入力パラメータ」インタフェース仕様概要を一部修正
- 11.1.2.2. ドコモ継続課金サービス決済の「決済実行/入力パラメータ」インタフェース仕様概要を一部修正
- 14.3.2.1. JCBプレモ決済の「残高照会/出力パラメータ」インタフェース仕様を一部修正

2015年6月30日 - 1.28版

- 「2.2. コンビニ決済の支払停止を実行する」を追加
- マルチ決済インタフェース仕様 コンビニ決済のStatusの概要に「CANCEL : 支払停止」を追加

2015年7月30日 - 1.29版

- 多通貨クレジットカード決済の本人認証サービス改善
- 楽天ID文言一部修正

2015年8月11日 - 1.30版

- ネット銀聯決済を追加

2015年8月26日 - 1.31版

- ネット銀聯決済を追加
- NETCASH/nanacoギフト決済における、一回の決済上限金額を4万円から20万円に変更

2015年9月17日 - 1.32版

- ・ 楽天ID決済にクーポンに関する記述を追加
- ・ 「10.1.2.5. 決済結果受信」を追記(docomo)
- ・ 「12.1.2.5. 決済結果受信」を追記(SoftBank)
- ・ 「9.1.2.5. 決済結果受信」03.Webmoney ⇒ 04.Webmoney 変更
- ・ ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済を追加

2015年10月19日 - 1.33版

- ・ 2.1.2.2. 決済実行/出力パラメータ/確認番号 文言修正

2015年11月5日 - 1.34版

- ・ 2.1.2.2. コンビニ決済の「決済実行/出力パラメータ」に払込票URLを追加

2015年11月24日 - 1.35版

- ・ 10.1.2.2. ドコモケータイ払い決済と 11.1.2.2. ドコモ継続課金サービス決済の決済実行インタフェースに「問い合わせ URL」を追加
- ・ 「利用店舗名」「連絡先電話番号」「メールアドレス」の桁欄に注記を追記
「利用店舗名」備考欄の説明を修正
修正前 : DispShopName~DispMailAddress
修正後 : DispShopName~DispShopUrl
- ・ 「利用店舗名」「連絡先電話番号」「メールアドレス」の型の記述を訂正
訂正前 : CHAR
訂正後 : string
- ・ JCB プリカ 金額・税送料 利用可能桁数変更 8⇒7
- ・ リクルートかんたん支払い決済を追加

2015年12月7日 - 1.36版

- ・ 22.3. 売上の確定を行う においてオーソリ有効期限についての説明を修正
- ・ 22.5. 決済のオーソリ期限延長を行う においてオーソリ有効期限についての説明を修正

2016年1月13日 - 1.37版

- ・ 10.2.2.1. 出力パラメータ Statusの説明を修正
- ・ 17.1.2.2. 楽天ID決済の「決済実行/入力パラメータ」に複数商品に関する記述を追加
- ・ 17.3.2.1. 楽天ID決済の「決済金額変更/入力パラメータ」に複数商品に関する記述を追加
- ・ 19.1.2.2. LINE Payの決済実行について文言修正
- ・ 21.2.2. リクルートかんたん支払いの状態遷移を修正
- ・ 22.1.2.5. リクルートかんたん支払いの決済結果受信に関する記述を修正
- ・ 22.5. リクルートかんたん支払いのオーソリ期限延長に関する記述を修正

2016年1月27日 - 1.38版

- ・ リクルートかんたん支払い決済において、Amountの桁を8から7に修正
- ・ リクルートかんたん支払い継続課金決済を追加

2016年2月16日 - 1.39版

- 19.1.2.5. LINE Pay決済の決済結果受信の出力パラメータにショップID・オーダーIDを追加
- 19.2.2.1. LINE Pay決済の決済キャンセル・返品の出カパラメータにオーダーIDを追加
- 19.3.2.1. LINE Pay決済の実売上の出力パラメータにオーダーIDを追加
- docomo ID を dアカウント に変更

2016年3月1日 - 1.40版

- 「1.1. 項目の説明」に銀行振込(バーチャル口座)の記述を追加
- 「1.2.2. 取引状態の遷移について」に銀行振込(バーチャル口座)の記述を追加
- 「24. 銀行振込(バーチャル口座)」の記述を追加
- 「25. マルチ決済インタフェース」に銀行振込(バーチャル口座)の記述を追加
- フレッツ決済サービスについての記述削除

2016年4月19日 - 1.41版

- 5.2. Pay-easy決済の支払停止を実行する を追加
- 取引状態参照のインタフェース仕様コンビニ決済
- Statusの概要に「CANCEL : 支払停止」を追加

2016年6月1日 - 1.42版

- 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ 4.Convenience の備考を修正
- 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ 17.RegisterDisp5 の備考を修正
- 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ 18.RegisterDisp6 の備考を修正
- 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ 19.RegisterDisp7 の備考を修正
- 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ 20.RegisterDisp8 の備考を修正
- 「2.1.2.2. 決済実行」出力パラメータ 2.Convenience の備考を修正
- 「2.1.2.2. 決済実行」出力パラメータ 7.ReceiptUrl の備考を修正

2016年8月22日 - 1.43版

- 「17.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ 16.Token を追加

2016年9月8日 - 1.44版

- 「10.1.2.2.」入力パラメータ DispShopName~DispShopUrlの文字数制限を変更
- 「11.1.2.2.」入力パラメータ DispShopName~DispShopUrlの文字数制限を変更
- 「10.2.」ドコモ都度決済のキャンセル処理について仕様を変更

2016年9月16日 - 1.45版

- 「24.1.2.1. 取引状態参照」銀行振込(バーチャル口座) の出力パラメータに以下を追加
VaTradeCode
ValnInquiryNumber
- 「24.1.2.1. 取引状態参照」銀行振込(バーチャル口座) の以下の出力パラメータ名を訂正
訂正前 : ExpireDate ⇒ 訂正後 : VaExpireDate
訂正前 : TradeReason ⇒ 訂正後 : VaTradeReason
訂正前 : TradeClientName ⇒ 訂正後 : VaTradeClientName
訂正前 : TradeClientMailaddress ⇒ 訂正後 : VaTradeClientMailaddress

訂正前 : AccountNumber	⇒ 訂正後 : VaAccountNumber
訂正前 : BankCode	⇒ 訂正後 : VaBankCode
訂正前 : BankName	⇒ 訂正後 : VaBankName
訂正前 : BranchCode	⇒ 訂正後 : VaBranchCode
訂正前 : BranchName	⇒ 訂正後 : VaBranchName
訂正前 : AccountType	⇒ 訂正後 : VaAccountType
訂正前 : ReserveID	⇒ 訂正後 : VaReserveID
訂正前 : InSettlementDate	⇒ 訂正後 : ValnSettlementDate
訂正前 : InAmount	⇒ 訂正後 : ValnAmount
訂正前 : InClientName	⇒ 訂正後 : ValnClientName
訂正前 : InSummary	⇒ 訂正後 : ValnSummary

2016年10月25日 - 1.46版

- ・ 「10.4. 決済の内容を増額する」を追加
- ・ 「24.1.2.1. 取引状態参照」のドコモケータイ払いにDocomoIncreaseAmountとDocomoIncreaseTaxを追加

2016年11月24日 - 1.47版

- ・ 「21.4.2.1. 決済金額変更」出力パラメータ修正
- ・ 「2.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.13~20、No.22~30 の備考を修正
- ・ 「5.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.10~12 の備考を修正
- ・ 「5.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ No.35 PaymentType を追加
- ・ 「5.1.2.2. 決済実行」出力パラメータ No.12 PaymentURL を追加
- ・ 「5.1.2.3. 金融機関選択画面の表示 (PaymentType : E の場合)」を追加
- ・ 「5.1.2.4. 金融機関選択画面の表示 (※廃止予定)」に見出しを修正
- ・ 「24.1.2.1. 取引状態参照」Pay-easy 決済に No.16 PayeasyPaymentURL を追加
- ・ 「11.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」の説明を変更

2017年1月10日 - 1.48版

- ・ 「5.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ PaymentType の備考を修正
- ・ 口座セレクト決済を追加

2017年1月23日 - 1.49版

- ・ 「5.1.2.4. 金融機関選択画面の表示 (※廃止予定)」遷移用ページサンプル の吹き出しを修正

2017年2月20日 - 1.50版

- ・ 「口座振替(セレクト)」の記述を削除 (別ドキュメントで提供)

2017年3月21日 - 1.51版

- ・ Paid決済を追加
- ・ 「1. はじめに」に記載されている決済手段を追加

2017年6月12日 - 1.52版

- ・ 楽天ID決済から楽天ペイに表記を変更

2017年7月18日 - 1.53版

- 「7. WebMoney決済インタフェース仕様」にクイック決済の記述を追加

2017年8月21日 - 1.54版

- 「2.1.2.2. 決済実行」コンビニコード記載変更
- 「5.1.2.2. 決済実行」決済タイプ記載変更
- 「表 1.2.2-7 ドコモケータイ払い決済の取引状態遷移表」の操作に随時決済を追加
- 「表 1.2.2-22 ドコモケータイ払い(利用承諾)の取引状態遷移表」を追加
- 「10.1.1. ドコモケータイ払い決済の流れ」に 随時決済の流れ を追加
- 「10.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ 11. RetURL を 条件により必須 に変更
- 「10.1.2.2. 決済実行」入力パラメータに 17. DocomoAcceptCode を追加
- 「10.1.2.2. 決済実行」出力パラメータに 随時決済の場合 を追加
- 「10.5. 利用承諾を行う」を追加
- 「10.6. 利用承諾の終了を行う」を追加
- 「25.1.2.1. 取引状態参照」にドコモケータイ払い(利用承諾)を追加

2017年11月13日 - 1.55版

- 「16.1.2.2. 決済実行」出力パラメータに StartLimitDate を追加
- 「表 1.2.2-12 JCB プリカ決済の取引状態遷移表」を追加

楽天ペイ随時決済対応

- 「1.1. 項目の説明」に サブスクリプションID を追加
- 「表 1.2.2-13 楽天ペイの取引状態遷移表」を追加
- 「16.1.1. 楽天ペイの流れ」に 随時決済の流れ を追加
- 「16.1.2.1. 取引登録」入力パラメータ JobCd の備考に「REGISTER : 申込」を追加
- 「16.1.2.1. 取引登録」入力パラメータ Amount の備考に追記
- 「16.1.2.1. 取引登録」入力パラメータ Tax の備考に追記
- 「16.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ RetURL を「条件により必須」に変更
- 「16.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ ErrorRcvURL を「条件により必須」に変更
- 「16.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ ItemId を「条件により必須」に変更
- 「16.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ ItemName を「条件により必須」に変更
- 「16.1.2.2. 決済実行」入力パラメータに SubscriptionType を追加
- 「16.1.2.2. 決済実行」入力パラメータに SubscriptionNameを追加
- 「16.1.2.2. 決済実行」入力パラメータに SettlementSubscriptionId を追加
- 「16.1.2.1. 決済実行」出力パラメータに随時決済の場合に返却されるパラメータを追加
- 「16.1.2.5. 決済結果受信」出力パラメータに SubscriptionId を追加
- 「25.1.2.1. 取引状態参照」楽天ペイのパラメータ Status の備考に追記
- 「25.1.2.1. 取引状態参照」楽天ペイのパラメータに SubscriptionId を追加
- 「25.1.2.1. 取引状態参照」楽天ペイのパラメータに SettlementSubscriptionId を追加

2018年1月15日 - 1.56版

- 「8.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」の「返品の場合、返品手数料が請求されます。」を削除
- 「9.2. 課金を売上取消・返品する」の「返品の場合、返品手数料が請求されます。」を削除

2018年2月13日 - 1.57版

- 「18.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ商品名の注釈に追記
- 「21.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ商品名の注釈に追記
- 「22.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ商品名の注釈に追記
- 「10.1.2.1. 取引登録」入力パラメータに PaymentType を追加
- 「16.1.2.2. 決済実行」楽天ペイのパラメータ SubscriptionName の備考に追記
- 「16.1.2.5. 決済結果受信」楽天ペイのパラメータ SubscriptionIdの備考に追記

2018年3月12日 - 1.58版

- 「16.1.2.2. 決済実行」楽天ペイのパラメータItemSubIdの桁数を修正
- 「表1.2.2-2 PayPal取引状態遷移表」に 決済失敗後、paypal側で審査後のステータス変更 を追加
- ドコモケータイ払いからドコモ払いに表記を変更
- 「はじめに」にドコモ払い随時決済、auかんたん決済 随時決済、ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済の記述を追加
- 「1.1. 項目の説明」に ドコモ承諾番号、au承諾番号、SB承諾番号 を追加
- 「10.1.1. ドコモ払い決済の流れ」から随時決済に関する記載を削除
- 「10.1.2.2. 決済実行」から随時決済に関する記載を削除
- 「10.5. 利用承諾を行う」を削除
- 「10.6. 利用承諾の終了を行う」を削除
- 「1.2.2-4 auかんたん決済の取引状態遷移表」の操作に随時決済を追加
- 「1.2.2-10 ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の取引状態遷移表」の操作に随時決済を追加
- 「1.2.2-26 auかんたん決済(利用承諾)の取引状態遷移表」を追加
- 「1.2.2-26 ソフトバンクまとめて支払い(B)(利用承諾)の取引状態遷移表」を追加
- 「8.1.2.5. 決済結果受信」出力パラメータ支払方法 の備考に「06 : au WALLET クレジットカード」を追加
- 「12.2. 決済内容をキャンセルする」を追加
- 「12.1.3. 決済内容をキャンセルする」「12.1.4. 各インタフェース仕様詳細」を1.2.2に移動
- 「12.3. 売上の確定を行う」に減額での実売上について追記
- 「12.3.2.1. 実売上」入力パラメータ Amount の説明に減額での実売上について追記
- 「25. ドコモ払い随時決済インタフェース仕様」を追加
- 「26. auかんたん決済 随時決済インタフェース仕様」を追加
- 「27. ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済インタフェース仕様」を追加
- 「28.1.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ 決済方法 の備考に 31 : ドコモ払い(利用承諾)、32 : auかんたん(利用承諾)、33 : ソフトバンクまとめて支払い（B）(利用承諾)を追加
- 「28.1.2.1. 取引状態参照」ドコモ払いに DocomoAcceptCode を追加
- 「28.1.2.1. 取引状態参照」auかんたん決済に AuAcceptCode を追加
- 「28.1.2.1. 取引状態参照」ソフトバンクまとめて支払い（B）決済 に SbAcceptCode を追加
- 「28.1.2.1. 取引状態参照」に auかんたん決済(利用承諾) を追加
- 「28.1.2.1. 取引状態参照」に ソフトバンクまとめて支払い（B）決済(利用承諾) を追加

2018年4月16日 - 1.59版

- 「1.1. 項目の説明」の継続口座ID(銀行振込(バーチャル口座))に設定可能文字を追記
- 「10.3.2.1. 実売上」出力パラメータの利用金額・税送料の桁数を修正
- 「18.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」にキャンセル・返品可能期間を追加

Paid 決済 項目「注文内容」追加対応

- ・ 「24.3.2.2. 決済実行」の入力パラメータに Contents を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」Paid決済に PaidContents を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」Paid決済 PaidCode の桁数を修正

2018年5月14日 - 1.60版

- ・ 「1.1. 項目の説明」4.利用金額 のコンビニ決済でセブン-イレブンを指定した場合の下限金額についての表記を変更
- ・ 「2.1.2.1. 取引登録」の入力パラメータAmountのセブン-イレブンを指定した場合の下限金額についての表記を変更
- ・ 「表 1.2.2-25 auかんたん決済(利用承諾)の取引状態遷移」決済が発生する旨の内容を削除
- ・ 「26.1. 利用承諾を行う」決済が発生する旨の内容を削除
- ・ 「26.1.2.1. 取引登録」入力パラメータからJobCd、Amount、Taxを削除
- ・ 「26.1.2.5. 決済結果受信」出力パラメータからPayInfoNoを削除、PayMethodの備考から03:WebMoneyを削除
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」の auかんたん決済(利用承諾)からAmount、Tax、AuPayInfoNoを削除
- ・ 「8.1.2.5. 決済結果受信」出力パラメータ支払方法 の備考から「06 : au WALLET クレジットカード」を削除

2018年6月18日 - 1.61版

- ・ 「9.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータAccountTimingの必須項目を 条件により必須 に修正
- ・ 「11.3.4.1. 継続課金終了(加盟店様)」の出力パラメータStatusの説明を修正
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「17.5.1.2. 決済後カード登録」を追加
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「17.2.2.2. 決済実行」のパラメータにSiteIDを追加
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「17.2.2.2. 決済実行」のパラメータにMemberIDを追加
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「17.2.2.2. 決済実行」のパラメータにSeqModeを追加
- ・ 多通貨決済クレジットカード決済「17.2.2.2. 決済実行」のパラメータにCardSeqを追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」多通貨クレジットカード決済のパラメータにSiteIDを追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」多通貨クレジットカード決済のパラメータにMemberIDを追加
- ・ 「表 1.2.2-27 PAYSLE決済 (PAYSLEアプリ方式) の取引状態遷移表」を追加
- ・ 「表 1.2.2-28 PAYSLE決済 (事業者アプリ方式) の取引状態遷移表」を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ 決済方法 の備考に 35 : PAYSLEを追記
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」出力パラメータに PAYSLE決済 (PAYSLEアプリ方式) を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」出力パラメータに PAYSLE決済 (事業者アプリ方式) を追加
- ・ 「29. PAYSLE決済 (PAYSLEアプリ方式) インタフェース仕様」を追加
- ・ 「30. PAYSLE決済 (事業者アプリ方式) インタフェース仕様」を追加

2018年7月17日 - 1.62版

- ・ 「30.3. PAYSLE決済のバーコードを発行する」
支払い期限切れについて追記、支払済みバーコードを取得することができる期間について追記

2018年8月13日 - 1.63版

- ・ 「30. PAYSLE決済 (事業者アプリ方式) インタフェース仕様」バーコードデータの表示条件を追記

2018年9月10日 - 1.64版

- ・ 「30. PAYSLE決済 (事業者アプリ方式) インタフェース仕様」バーコードデータ表示のレギュレーションについて追記
- ・ 「17. 多通貨クレジットカード決済」におけるカード番号の取扱い制限について追記
- ・ 「1.1. 項目の説明」に 50. 商品名(楽天ペイ) を追加

2018年11月12日 - 1.65版

- じぶん銀行決済の提供が終了したため文言削除
- コンビニ決済 サークルK・サンクス が閉塞するため文言削除
- 「表 1.2.2-8 ドコモ継続課金サービスの取引状態遷移表(基本データ)」オーソリ処理の操作前の状態を修正

2018年12月10日 - 1.66版

- 「10.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispMailAddressの備考を修正
- 「11.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispMailAddressの備考を修正
- 「25.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispMailAddressの備考を修正
- 「25.3.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispMailAddressの備考を修正

2019年2月12日 - 1.67版

- 表 1.2.2-15 LINE Pay決済の取引状態遷移表 「期限切れ」を追加

2019年3月18日 - 1.68版

- 「10.3. 売上の確定を行う」 実売上に関する説明を追記

2019年8月19日 - 1.69版

- 「多通貨クレジットカード決済」「多通貨決済」から「多通貨クレジットカード決済 (MCP)」、「多通貨クレジットカード」から「多通貨クレジットカード (MCP)」に表記を変更

2019年11月18日 - 1.70版

- 「10.3. 売上の確定を行う」 実売上に関する説明を追記
- 「9.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ PaymentTermSecの備考の誤字を修正
- 「10.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ PaymentTermSecの備考の誤字を修正
- 「25.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ PaymentTermSecの備考の誤字を修正
- 「26.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ PaymentTermSecの備考の誤字を修正
- 「27.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ PaymentTermSecの備考の誤字を修正
- 「12.2. 決済の内容をキャンセルする」 キャンセル可能期間等の説明を追加
- 「18.1.2.2. 決済実行」入力パラメータMidの概要を修正
- 「18.1.2.2. 決済実行」入力パラメータDeliveryPlacePhoneとPackageNameを削除

2019年12月9日 - 1.71版

- 「24.1. 取引先を登録する」 利用規約のご案内先URLを修正
- 「11.4. 課金データを減額確定する」減額確定に失敗した場合の説明を追記

2020年1月20日 - 1.72版

- ・ 「9.3. 継続課金を解約する」の説明を変更
- ・ 「10.1.2.4. 支払手続き開始IFの呼び出し」処理概要を修正
- ・ 「11.1.2.4. 継続課金支払開始IFの呼び出し」処理概要を修正
- ・ 「11.2.2.2. 基本データ変更開始IFの呼び出し」処理概要を修正
- ・ 「11.3.2.2. 継続課金終了開始IFの呼び出し」処理概要を修正
- ・ 「25.1.2.4. 支払手続き開始IFの呼び出し」処理概要を修正

2020年3月17日 - 1.73版

- ・ 「20.2. 課金データを取消する」売上が確定済みの場合のキャンセル可能期間を修正

2020年4月14日 - 1.74版

- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ 銀行振込(バーチャル口座) 処理区分の項目を削除

2020年6月16日 - 1.75版

- ・ au WALLET クレジットカードからau PAY カードに表記を変更

2020年10月20日 - 1.76版

- ・ LINE Pay決済「18.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータにUserInfoを追加
- ・ LINE Pay決済「18.1.2.2. 決済実行」の入力パラメータにReturnUrlを追加
- ・ LINE Pay決済「18.1.2.4. 支払手続き開始IFの呼び出し」にページサンプル(ユーザ端末情報がAPPの場合 : Androidアプリの例)を追加
- ・ LINE Pay決済「18.1.2.4. 支払手続き開始IFの呼び出し」にページサンプル(ユーザ端末情報がAPPの場合 : iPhoneアプリの例)を追加
- ・ 「24.1.2.1. 取引先登録」の入力パラメータ「支払方法」に「3 : コンビニ払い」を追加
- ・ 「24.2.2.2. 取引先利用可能額確認」のAPIを追加
- ・ 「24.6.2.1. 実売上」の入力パラメータに FixedAtを追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ LINE Pay 決済 サイトID,会員IDの項目を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ 銀行振込(バーチャル口座) 振込要求金額,振込依頼人コードの項目を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ Pay-easy 決済 サイトIDの項目を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ 楽天Edy サイトIDの項目を追加
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」の出力パラメータ コンビニ決済 サイトID,入金確定日の項目を追加

2020年12月15日 - 1.77版

- ・ 多通貨クレジットカード決済 (MCP)「17.3.2.1. 決済キャンセル」の出力パラメータ 取引パスワード,仕向先コード,承認番号,トランザクションID,決済日付を削除
- ・ 多通貨クレジットカード決済 (MCP)「17.3.2.1. 決済キャンセル」の出力パラメータ 現状態の項目を追加
- ・ 多通貨クレジットカード決済 (MCP)「17.4.2.1. 実売上」の出力パラメータ 取引パスワード,仕向先コード,承認番号,トランザクションID,決済日付を削除
- ・ 多通貨クレジットカード決済 (MCP)「17.4.2.1. 実売上」の出力パラメータ 現状態の項目を追加

2021年2月16日 - 1.78版

- ・ 「16.3.2.1. 決済金額変更」入力パラメータ Taxの必須項目を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」WebMoney決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」JCBプリカ決済の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」多通貨クレジットカード決済（MCP）の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」PayPal決済の出力パラメータ Status、JobCdの概要を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」ドコモ払いの出力パラメータ Statusの概要を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」ドコモ継続課金の出力パラメータ Statusの概要を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」auかんたん決済の出力パラメータ Statusの概要を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」auかんたん決済継続課金の出力パラメータ Statusの概要を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」NET CASH・nanacoギフト決済の出力パラメータ Statusの概要を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」ネット銀聯決済の出力パラメータ Statusの概要を修正

2021年3月16日 - 1.79版

- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」ソフトバンクまとめて支払い（B）の出力パラメータ Statusの備考を修正
- ・ ドキュメント統合のためPayPal決済の記載を削除

2021年4月20日 - 1.80版

- ・ 「8.1.2.5. 決済結果受信」出力パラメータ PayMethodに「05：au PAY 残高」「06：au PAY カード」を追加
- ・ 「9.1.2.5. 決済結果受信」出力パラメータ PayMethodをAuPayMethodに変更
- ・ 「9.1.2.5. 決済結果受信」出力パラメータ AuPayMethodに「06：au PAY カード」を追加
- ・ ドキュメント統合のためLINE Pay決済の記載を削除

2021年5月18日 - 1.81版

- ・ 「12.1.2.1. 取引登録」ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の入力パラメータAmountの桁を修正
- ・ 「20.1.2.1. 取引登録」ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の入力パラメータAmountとTaxの桁・概要を修正

2021年6月15日 - 1.82版

- ・ 「8.1.2.5. 決済結果受信」出力パラメータ PayMethodの備考を修正

2021年7月20日 - 1.83版

- ・ 「30.1.2.2. 決済実行」「30.3.2.1. バーコード発行」入力パラメータ DeviceNameの備考を修正

2021年9月22日 - 1.84版

- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」入力パラメータ PayTypeの備考を修正
- ・ 「28.1.2.1. 取引状態参照」Pay-easy決済、コンビニ決済の出力パラメータ Statusの備考を修正

2021年10月19日 - 1.85版

- ・ 「5.1.2.2. 決済実行」出力パラメータ PaymentURLの備考を追記

2022年2月15日 - 1.86版

- ・ 「10.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispCompanyName、DocomoCompanyCode、DocomoShopCodeを追加、DispShopNameの備考を修正
- ・ 「11.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispCompanyNameを追加、DispShopNameの備考を修正
- ・ 「25.1.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispCompanyNameを追加、DispShopNameの備考を修正
- ・ 「25.3.2.2. 決済実行」入力パラメータ DispCompanyNameを追加、DispShopNameの備考を修正

2022年3月23日 - 1.87版

- ・ 「10.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」返品期限を変更
- ・ 「11.5. 課金データをキャンセル・返品する」返品期限を変更

2022年5月17日 - 1.88版

- ・ ドコモ払いからd払いに表記を変更

2023年6月20日 - 1.89版

- ・ サービス提供を終了したため、多通貨クレジットカード決済（MCP）の記載を削除

2024年7月23日 - 1.90版

- ・ 「5.1.2.2.決済実行」の入力パラメータから「RegisterDisp1~8」と「ReceiptsDisp1~10」の項目を削除
- ・ 「5.1.2.4.金融機関選択画面の表示（※廃止予定）」の削除

2025年4月15日 - 1.91版

- ・ 「10.1.2.2.決済実行」の入力パラメータにネット包括契約についての仕様を追記
- ・ 「11.1.2.2.決済実行」の入力パラメータにネット包括契約についての仕様を追記
- ・ 「25.1.2.2.決済実行」の入力パラメータにネット包括契約についての仕様を追記
- ・ 「25.3.2.2.決済実行」の入力パラメータにネット包括契約についての仕様を追記

2025年8月25日 - 1.92版

- ・ auかんたん決済からau PAY（auかんたん決済）に表記を変更

2025年12月17日 - 1.93版

- ・ 「表 1.1-1 入出力項目の定義」の商品名(LINE Pay 決済)を削除
- ・ 「表 1.2.2-15 LINE Pay 決済の取引状態遷移表」を削除
- ・ 「18. LINE Pay 決済インタフェース仕様」を削除

1. はじめに

本書は、お客様が当サービスのコンビニ、楽天 Edy、モバイル Suica、Pay-easy、iD ネット、WebMoney、au PAY（au かんたん決済）、d 払い決済、ソフトバンクまとめて支払い（B）決済、JCB プリカ決済、NETCASH・nanaco ギフト決済、楽天ペイ、ネット銀聯決済、ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済、リクルートかんたん支払い決済、リクルートかんたん支払い継続課金決済、銀行振込（バーチャル口座）、Paid、d 払い随時決済、au PAY（au かんたん決済）随時決済、ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済の開発を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的としています。カード決済につきましては、別紙「モジュールタイプ(PHP 版_カード決済インタフェース仕様)」を参照ください。

本書では、以下のような表記を使用します。

『』：処理状態または処理区分

【】：インタフェース名

1.1. 項目の説明

ここでは、本書で使用している項目をご説明します。

以下に、各インタフェースの入出力で使用している項目をご説明します。

表 1.1-1 入出力項目の定義

No	項目	説明
1	ショップ ID	弊社が発行する加盟店様を識別する ID です。
2	ショップパスワード	弊社が発行する加盟店様を識別する ID に対するパスワードです。
3	オーダーID	<p>加盟店様が取引を識別するために使用して頂く ID です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字と”-“(ハイフン)」です。</p> <p>また、メールリンク決済では、弊社側で「ML-ORDER」で開始するオーダーID を自動生成します。メールリンクと他の接続方式を併用される場合、「ML-ORDER」で開始されるオーダーID はご利用にならないよう、お願いします。</p>
4	利用金額	<p>税送料を含まない金額です。</p> <p>決済を行う金額を 1 円以上で設定します。尚、0 円やマイナス金額を設定した場合はエラーとなります。</p> <p>円以外の通貨での決済の場合、0.01 以上の金額で設定します。0 や通貨ごとの設定上限金額を設定した場合はエラーとなります。</p> <p>※通貨ごとの設定上限金額の詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p> <p>また、決済手段により決済可能な金額に上限があります。決済手段による上限金額の詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p> <p>※コンビニ決済でセブン-イレブンを指定した場合は、下限金額（利用金額＋税送料）は契約により異なります。</p> <p>「ショップ管理画面 > ショップ管理 > ショップ情報 > 決済別契約情報 > コンビニ」をご確認ください。</p>

5	税送料	<p>送料等の実際の商品金額とは異なる金額です。</p> <p>税送料を設定した場合には、決済金額が利用金額と税送料を合わせたものとなります。</p>
6	通貨コード	<p>決済で利用する通貨を3桁のコードで指定します。</p> <p>設定可能な文字は「半角英字」です。存在しない通貨コードを指定した場合、エラーとなります。</p> <p>※利用可能な通貨コードについては、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
7	取引ID	当サービスにて発行する取引を識別するためのユニークなIDです。
8	取引パスワード	当サービスにて発行する取引を識別するIDに対するパスワードです。
9	加盟店自由項目1~3	<p>加盟店様で自由に設定できる項目となります。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
10	加盟店自由項目返却フラグ	<p>設定された自由項目の値を決済完了時に返却するかを指定するフラグです。</p> <p>0 : 返却しない(デフォルト)</p> <p>1 : 返却する</p>
11	決済日付	当サービスの決済を行った日時となります。
12	現状態	取引の現在状態です。
13	バージョン	パラメータのバージョンを指定します。
14	支払先コンビニコード	支払先のコンビニ会社コードです。各コンビニ会社のコードにつきましては、別紙「仕向先会社コード一覧」を参照ください。
15	氏名	<p>お客様名です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p> <p>※コンビニ決済でセブン-イレブンを指定した場合は、半角記号は使用できません。</p>
16	フリガナ	<p>お客様のフリガナです。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p> <p>※コンビニ決済の場合は「制限事項一覧」ではなく各コンビニの仕様に基づきます。</p>
17	電話番号	<p>お客様の電話番号です。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字と”-(ハイフン)」です。</p>
18	支払期限日数	<p>支払期限日数を指定します。支払期限日時の算出に使います。</p> <p>※コンビニ決済でセブン-イレブンを指定した場合は、指定可能な支払期限日数の下限が1となります。</p>
19	結果通知先メールアドレス	お客様に送信する結果通知先メールアドレスです。

20	加盟店メールアドレス	お客様への結果通知メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレスです。
21	予約番号	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される予約番号です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ')」です。
22	会員番号	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される会員番号です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ')」です。
23	レジ・ATM 表示欄 1~8	レジ・ATM に表示される内容です。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
24	レシート・利用明細表示欄 1~10	レシート・利用明細に表示される内容です。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
25	お問い合わせ先	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される内容です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
26	お問い合わせ先受付時間	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される内容です。 設定可能な文字は「半角数字と”-“(ハイフン)および”:(コロン)」です。 また、設定は「09:00-18:00」といった「2 桁:2 桁-2 桁:2 桁」書式で設定する必要があります
27	お問い合わせ先電話番号	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される内容です。 設定可能な文字は「半角数字と”-“(ハイフン)」です。
28	Suica 注文番号	当サービスが Suica 決済ごとに発行する注文番号です。
29	商品・サービス名	Suica ,iD ネット,WebMoney 決済を行うときの商品・サービス名を指定します。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。 ※WebMoney 決済では半角記号は使用できません。 全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
30	メールアドレス	お客様が Suica、楽天 Edy に登録したメールアドレスです。
31	決済開始メール付加情報	Suica,楽天 Edy で決済を行うときのメール付加情報です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

32	決済完了メール付加情報	Suica, 楽天 Edy で決済を行うときのメール付加情報です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
33	決済完了画面付加情報	Suica で決済を行うときの画面に表示する付加情報です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
34	決済内容確認画面付加情報	Suica で決済を行うときの画面に表示する付加情報です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
35	支払期限日時	支払期限の日時です。
36	支払期限秒	支払期限秒を指定します。支払期限日時の算出に使用します。
37	決済方法	行った決済方法です。
38	受信結果	結果通知を行ったときの受信結果です。
39	収納機関番号	Pay-easy 収納機関番号です。
40	お客様番号	Pay-easy お客様番号です。
41	MD5 ハッシュ	入力内容の OrderID~TranDate+ショップパスワードのハッシュ値にした内容です。
42	確認番号	コンビニで決済を行ったときの確認番号です。
43	受付番号	支払先が返却した受付番号です。
44	Edy 注文番号	当サービスが楽天 Edy 決済ごとに発行する注文番号です。
45	受付日時	各決済手段で後続の決済センターが受け付けた日時です。
46	入金確定日時	各決済手段で入金の確定した日時です。
47	処理日時	当サービスを行ったときの処理日時です。
48	エラーコード	実行時にエラーが発生した場合、エラーコードを出力します。複数のエラーがある場合、" "で接続された文字列になります。
49	エラー詳細コード	実行時にエラーが発生した場合、エラー詳細を出力します。複数のエラーがある場合、" "で接続された文字列になります。
50	商品名 (楽天ペイ)	楽天ペイで利用される商品名です。 文字バイトチェックには UTF-8 を使用しているため、全角文字は 3byte で換算されます。(UTF-8 はバイト数チェックにのみ利用されます)
51	商品 ID (楽天ペイ)	楽天ペイの商品 ID です。 設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(-, _)」です。

52	商品サブ ID (楽天ペイ)	<p>楽天ペイの商品サブ ID です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(-, _)」です。</p> <p>加盟店様独自のポイントシステムがある加盟店様の場合必須となります。</p> <p>[趣旨]</p> <p>1 つの加盟店様側ユーザ ID に対して、決済することができる楽天会員 ID は 1 つのみに なります。(逆は可)</p> <p>[目的]</p> <p>1) 楽天スーパーポイント規約にて禁止されている「ポイントの合算」に該当する恐れがあるため。(楽天スーパーポイント利用規約 第 4 条 2 項)</p> <p>2) 複数の楽天会員 ID を使用した不正利用被害の抑止のため</p> <p>[実装方法]</p> <p>ユーザに対してユニークな文字列 (MD5 で暗号化したユーザ ID のハッシュ値等) を設定します。これを楽天側で初回決済時の楽天会員 ID と紐付けることにより、1 つの加盟店様側ユーザ ID に対して複数の楽天会員 ID での決済をできなくしております。</p>
53	クーポン金額 (楽天ペイ)	<p>楽天ペイでお客様が決済の際に使用されたクーポンの金額です。</p> <p>クーポン金額はマイナスで表示されます。</p>
55	払込票 URL	コンビニ決済のセブン-イレブン決済の際に発行される払込票の URL です。
56	商品名 (リクルートかんたん支払い)	<p>リクルートかんたん支払いで利用される商品名です。</p> <p>JISX0208 定義文字とし、JIS 非漢字+JIS 第一水準+JIS 第二水準をご利用いただけます。また下記の文字はご利用いただけません。</p> <p>禁則文字一覧</p> <p>文字 説明</p> <p>— ダッシュ</p> <p>\ バックスラッシュ</p> <p>~ 波ダッシュ</p> <p>. パラレル</p> <p>— 二分ダッシュ</p> <p>¢ セント</p> <p>£ ポンド</p> <p>¬ 否定算術記号</p>
57	利用金額(振込依頼金額) (銀行振込(バーチャル口座))	<p>決済実行時にお客様に振込みを依頼する税送料を含まない金額です。</p> <p>※指定した振込依頼金額 (利用金額、税送料) と異なる金額が入金される可能性があります。</p>
58	税送料(振込依頼金額) (銀行振込(バーチャル口座))	<p>決済実行時にお客様に振込みを依頼する税送料です。</p> <p>※指定した振込依頼金額 (利用金額、税送料) と異なる金額が入金される可能性があります。</p>
59	取引有効日数 (銀行振込(バーチャル口座))	<p>決済実行日から振込みが可能な日数です。</p> <p>決済実行から指定した日数 (+取引猶予期間) が経過すると該当取引は有効期限切れとなります。</p>

60	取引有効期限 (銀行振込(バーチャル口座))	決済実行時に返却される取引有効日数から算出した取引の有効期限日付です。 (yyyyMMdd 形式) お客様には、本項目の日付までに振込みするよう案内してください。
61	取引事由 (銀行振込(バーチャル口座))	お客様に案内する取引の内容です。 本項目は、振込依頼メールの「利用内容」欄に記載されます。 全角+半角文字が使用可能です。
62	振込依頼者氏名 (銀行振込(バーチャル口座))	振込みを依頼するお客様の氏名です。 本項目は、振込依頼メールの「お客様氏名」として使用されます。 全角+半角文字が使用可能です。
63	振込依頼者メールアドレス (銀行振込(バーチャル口座))	振込みを依頼するお客様のメールアドレスです。 本項目を指定することにより、決済実行時に振込依頼メールが送信されます。
64	銀行コード (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の銀行コードです。
65	銀行名 (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の銀行名です。
66	支店コード (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の支店コードです。
67	支店名 (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の支店名です。
68	預金種別 (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の預金種別です。 以下のコードで預金種別を示します。 1：普通預金、2：当座預金
69	口座番号 (銀行振込(バーチャル口座))	バーチャル口座の口座番号です。
70	振込コード (銀行振込(バーチャル口座))	決済実行時に返却される振込みを識別するための7桁の数字です。 取引と入金を紐付けするために使用します。 振込みをする際に「振り込み依頼人」に本項目値+氏名を入力するよう案内してください。 ※振込依頼メールを送信した場合は、メール本文に本項目が記載されます。
71	継続口座ID (銀行振込(バーチャル口座))	継続口座に割り当てるIDです。 設定可能な文字は「半角英数字と” - “(ハイフン)」です。
72	Paid 取引先ID	Paidにおいて加盟店様の取引先を識別する一意なIDです。 ※英数半角と「-」「.」「_」が入力可。
73	Paid 番号	Paidに登録した取引先企業に対して割り振られる番号です。

74	Paid 伝票番号	Paid 決済時に当サービスで発行する伝票番号です。
75	WebMoeny クイック ID	WebMoney 決済時に WebMoney プリペイド番号を登録する ID です。
76	サブスクリプション ID (楽天ペイ)	楽天ペイにおいて随時決済を行う際に指定する ID です。 随時決済の最終利用日から 2 年経過すると無効になります。 また、楽天ペイ利用履歴からお客様が利用するカードを変更した場合、楽天ペイ上で最終利用日が更新されます。
77	ドコモ承諾番号	利用承諾時に払い出されたドコモ承諾番号です。 随時決済をする際に必要になります。
78	au 承諾番号	利用承諾時に払い出された au 承諾番号です。 随時決済をする際に必要になります。
79	SB 承諾番号	利用承諾時に払い出された SB 承諾番号です。 随時決済をする際に必要になります。

1.2. 開発するにあたっての注意事項

ここでは、モジュール・タイプで開発する上で注意して頂きたい事をご説明します。

1.2.1. 取引について

以下に、取引内容についての注意事項をご説明します。

取引の削除

当サービスは、一度取引を行うと結果にエラーがあった場合でも取引の削除はできませんのでご注意ください。

オーソリを失敗した場合でもオーダーIDの再利用はできませんので、オーダーIDの発番ルールに注文書番号等の設定すると変更ができない番号を使用しないでください。どうしても、使用しなくてはならない場合は、注文番号+連番のような発番ルールを推奨します。

1.2.2. 取引状態の遷移について

以下に、各取引状態の遷移をご説明します。

表 1.2.2-1 取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	コンビニ 決済	モバイル Suica 決済	楽天 Edy 決済	Pay-easy 決済	WebMoney 決済	Netcash 決済
取引登録	—	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済
決済要求	成功	要求成功	要求成功	要求成功	要求成功	要求成功	要求成功
	失敗	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済
入金通知	—	決済完了	決済完了	決済完了	決済完了	決済完了	決済完了
メール不達通知	—	—	—	決済失敗	—	—	—
未入金で 支払期限切れ	—	期限切れ	期限切れ	期限切れ	期限切れ	期限切れ	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-2 PayPal 取引状態遷移表

ドキュメント統合しましたので、今後は「PayPal 決済」をご参照ください。

表 1.2.2-3 iD ネット決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
携帯電話での認証およびオーソリ処理	成功	要求成功	AUTHPROCESS
	成功	AUTHPROCESS	仮売上／即時売上
	失敗	要求成功／AUTHPROCESS	決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗	仮売上	仮売上
金額変更	成功	仮売上	仮売上
	失敗	仮売上	仮売上
キャンセル	成功	仮売上／	キャンセル
		実売上／	
		即時売上	
	失敗	仮売上／	仮売上／
		実売上／	実売上／
		即時売上	即時売上
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-4 au PAY (au かんたん決済) の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続き IF の呼び出し	成功	要求成功	認証中
	失敗		要求成功
OpenID 連携処理 (au と弊社間による処理)	成功	認証中	認証中
	失敗		決済失敗
お客様が au にて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	仮売上／即時売上
	失敗		決済失敗
キャンセル	成功	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル
	失敗	仮売上／実売上／即時売上	仮売上／実売上／即時売上
返品	成功	実売上／即時売上	返品
	失敗	実売上／即時売上	実売上／即時売上
決済実行 (随時決済)	成功	未決済	仮売上／即時売上
	失敗		未決済

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-5 au PAY (au かんたん決済) 継続課金の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
au ID 認証処理	成功	要求成功	認証中
	失敗	要求成功	決済失敗
au 決済認可処理	成功	認証中	決済認可完了
	失敗	認証中	認証中
継続課金登録処理	成功	決済認可完了	継続課金登録
	失敗	決済認可完了	決済認可完了
継続課金解約処理	成功	継続課金登録	継続課金解約
	失敗	継続課金登録	継続課金登録
継続課金確認	失敗	継続課金登録	決済失敗
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	要求成功

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-6 au PAY (au かんたん決済) 継続課金の課金状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
継続課金登録	成功	—	課金確認待ち
	失敗	—	—
	残余エラー	—	残余
	エラー	—	処理取消エラー
継続課金確認	成功	課金確認待ち 課金確認エラー 残余	売上確定
	失敗	課金確認待ち 課金確認エラー 残余	課金失敗
	エラー	課金確認待ち 課金確認エラー 残余	確認エラー
課金売上取消・返金	成功	売上確定	売上取消 返金
	失敗	売上確定	売上確定

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-7 d 払い決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続き IF の呼び出し	成功	要求成功	認証処理中
	失敗		決済失敗
d アカウント 注文情報連携処理 (ドコモと弊社間による処理)	成功	認証処理中	認証処理中
	失敗		決済失敗
d アカウント 認証処理 (ドコモと弊社間による処理)	成功	認証処理中	認証処理中
	失敗		決済失敗
お客様がドコモにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証処理中	仮売上／即時売上
	キャンセル ／失敗		決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗		仮売上
キャンセル	成功	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル
	失敗		仮売上／実売上／即時売上
増額	成功	実売上／即時売上	実売上／即時売上
	失敗		実売上／即時売上
操作が未完了で支払期限切れ	—	認証処理中	期限切れ
決済実行 (随時決済)	成功	未決済	仮売上／即時売上
	失敗		未決済

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-8 ドコモ継続課金サービスの取引状態遷移表(基本データ)

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
dアカウント 認証処理	成功	要求成功	認証中
	失敗	要求成功	決済失敗
オーソリ処理	成功	認証中	契約中
	失敗	認証中	決済失敗
減額確定	成功	課金待ち	課金済
	失敗	課金待ち	無効
キャンセル	成功	課金待ち/課金済み	キャンセル
	失敗	課金待ち/課金済み	課金待ち/課金済み
金額変更	成功	契約中	契約中
	失敗	契約中	契約中
終了	成功	契約中	終了
	失敗	契約中	契約中

表 1.2.2-9 ドコモ継続課金サービスの取引状態遷移表(課金データ)

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
減額確定	成功	課金待ち	課金済
	失敗	課金待ち	無効
キャンセル・返品	成功	課金待ち/課金済み	キャンセル
	失敗	課金待ち/課金済み	課金待ち/課金済み

表 1.2.2-10 ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続き IF の呼び出し	成功	要求成功	認証中
	失敗		要求成功
お客様がソフトバンクにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	仮売上／即時売上
	失敗		決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗		仮売上
キャンセル	成功	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル
	失敗		仮売上／実売上／即時売上
決済実行 (随時決済)	成功	未決済	仮売上／即時売上
	失敗		未決済

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-11 じぶん銀行決済の取引状態遷移表

じぶん銀行決済は提供終了しました。

表 1.2.2-12 JCB プリカ決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	支払完了
	失敗	未決済	未決済
取消要求	成功	支払完了	キャンセル
	失敗	支払完了	支払い完了

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する状態、結果、若しくは操作がないことを表しています。

詳細は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

表 1.2.2-13 楽天ペイの取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続き IF の呼び出し	成功	要求成功	決済開始
	失敗		要求成功
お客様が楽天ペイにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	決済開始	仮売上／即時売上
	失敗		決済失敗
お客様が楽天ペイにて認証、 申込後の決済処理	成功	決済開始	申込完了
	失敗		決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上受付け(※1)
	失敗		仮売上
キャンセル	成功	仮売上／実売上	キャンセル受付け(※1)
	失敗		仮売上／実売上
金額変更	成功	仮売上／実売上	金額変更受付け(※1)
	失敗		仮売上／実売上
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	期限切れ
決済実行 (随時決済)	成功	未決済	仮売上受付け／即時売上受付け (※1)
	失敗		未決済
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	実売上受付け	実売上
	失敗		仮売上
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	キャンセル受付け	キャンセル
	失敗		仮売上／実売上 (キャンセル実施前の状態)
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	金額変更受付け	仮売上
	失敗		仮売上／実売上 (金額変更実施前の状態)
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	仮売上受付け	仮売上
	失敗		決済失敗
当サービスによる楽天ペイとの同期処理 (※2)	成功	即時売上受付け	即時売上
	失敗		決済失敗

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 処理受付後に当サービスが楽天ペイとの同期処理を行います。

※2 楽天ペイ側での処理が非同期的なため状態遷移には 5 分～60 分ほどかかります。

お客様検証環境においては、同タイミングで状態遷移が行われます。

表 1.2.2-14 多通貨クレジットカード決済（MCP）の取引状態遷移表

サービスの提供を終了しました。

表 1.2.2-15 LINE Pay 決済の取引状態遷移表

サービスの提供を終了しました。

表 1.2.2-16 ネット銀聯決済の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	決済失敗
決済開始	成功	要求成功	決済開始
	失敗	要求成功	決済失敗
ネット銀聯での認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	決済開始	仮売上／即時売上
	失敗	決済開始	決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上要求→実売上(※2)
	失敗	仮売上	実売上要求→仮売上(※2)
キャンセル	成功	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル要求→ キャンセル(※2)
	失敗	仮売上／実売上／即時売上	キャンセル要求→ 仮売上／実売上／即時売上 (※2)
返品	成功	実売上／即時売上	返品要求→返品 (※1)(※2)
	失敗	実売上／即時売上	返品要求→実売上／即時売上 (※2)

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 全額返品の場合は返品へと遷移します。一部返品の場合、操作前の状態から遷移はしません。

※2 処理受付後に「要求」に取引状態が遷移し、処理完了時に「実売上」「キャンセル」「仮売上」に取引状態が遷移します。失敗した取引は、操作前の状態へ遷移します。

表 1.2.2-17 ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始	成功	要求成功	認証処理中
	失敗		決済失敗
ソフトバンクにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証処理中	継続課金登録
	失敗		継続課金登録失敗
	キャンセル		認証処理キャンセル
継続課金解約処理	成功	継続課金登録	継続課金解約
	失敗	継続課金登録	継続課金登録
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-18 ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済の課金データ状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
課金要求	成功	—	課金要求
	失敗	—	課金要求失敗
課金確定	成功	課金要求	課金済み
	失敗	課金要求	課金失敗
課金データ取消	成功	課金要求	課金要求取消
		課金済み	課金取消
	失敗	課金要求	課金要求
		課金済み	課金済み

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-19 リクルートかんたん支払い決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
決済開始	成功	要求成功	認証処理中
	失敗		決済失敗
リクルートかんたん支払いにて認証、 支払操作完了後の決済処理 (仮売上)	成功	認証処理中	仮売上
	失敗		決済失敗
リクルートかんたん支払いにて認証、 支払操作完了後の決済処理 (即時売上)	成功	認証処理中	即時売上
	失敗		決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗		仮売上
キャンセル	成功	仮売上	キャンセル
		実売上／即時売上	返品
	失敗	仮売上	仮売上
		実売上／即時売上	実売上／即時売上
自動キャンセル(※1)	成功	仮売上	自動キャンセル
	失敗		仮売上
金額変更	成功	仮売上／実売上／即時売上	仮売上／実売上／即時売上
	失敗	仮売上／実売上／即時売上	仮売上／実売上／即時売上
オーソリ期限延長	成功	仮売上	仮売上
	失敗		仮売上

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 仮売上の取引においてオーソリの有効期限が切れた場合、リクルートかんたん支払いにより自動でキャンセルが行われます。

表 1.2.2-20 リクルートかんたん支払い継続課金決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始	成功	要求成功	認証処理中
	失敗		要求成功
リクルートかんたん支払いにて 認証、支払操作完了後の決済処理	成功	認証処理中	継続課金登録
	失敗		継続課金登録失敗
金額変更	成功	継続課金登録	継続課金登録
	失敗		
継続課金解約	成功	継続課金登録	継続課金解約
	失敗		継続課金登録
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-21 リクルートかんたん支払い継続課金決済の課金データ状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
課金要求	成功	—	課金要求
	失敗	—	課金要求失敗
課金確定	成功	課金要求	課金済み
	失敗		課金失敗
課金データ取消	成功	課金要求	課金要求取消
		課金済み	課金取消
	失敗	課金要求	課金要求
		課金済み	課金済み

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-22 銀行振込(バーチャル口座)の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	取引中
	失敗	未決済	未決済
お客様からの入金	—	取引中	入金済み
取引有効期限を超過しても お客様からの入金なし	—	取引中	有効期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-23 Paid 決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功(※1)
	失敗	未決済	未決済
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗	仮売上	仮売上
キャンセル	成功	仮売上	キャンセル
	失敗	仮売上	仮売上
金額変更	成功	仮売上	仮売上
	失敗	仮売上	仮売上
返品	成功	実売上	返品
	失敗	実売上	実売上

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 処理受付後に当サービスから Paid に注文登録を行います。

成功した場合は「仮売上」、失敗した場合は「決済失敗」へ遷移します。

表 1.2.2-24 d 払い(利用承諾)の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続き IF の呼び出し	成功	要求成功	認証中
	失敗		決済失敗
d アカウント注文情報連携処理 (ドコモと弊社間による処理)	成功	認証中	認証中
	失敗		決済失敗
d アカウント 認証処理 (ドコモと弊社間による処理)	成功	認証中	認証中
	失敗		決済失敗
お客様がドコモにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	利用承諾
	キャンセル ／失敗		決済失敗
利用承諾終了	成功	利用承諾	利用承諾終了
	失敗		利用承諾
ドコモによる利用承諾終了	—	利用承諾	利用承諾終了
操作が未完了で支払期限切れ	—	要求成功／認証中	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-25 au PAY (au かんたん決済) (利用承諾)の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始手続き IF の呼び出し	成功	要求成功	認証中
	失敗		要求成功
OpenID 連携処理 (au と弊社間による処理)	成功	認証中	認証中
	失敗		決済失敗
お客様が au にて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	利用承諾
	失敗		決済失敗
利用承諾終了	成功	利用承諾	利用承諾終了
	失敗		利用承諾

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-26 ソフトバンクまとめて支払い (B) (利用承諾)の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
決済開始	成功	要求成功	認証中
	失敗		要求成功
お客様がソフトバンクにて認証、 支払操作完了後の決済処理	成功	認証中	利用承諾
	キャンセル ／失敗		決済失敗
利用承諾終了	成功	利用承諾	利用承諾終了
	失敗		利用承諾

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-27 PAYSLE 決済（PAYSLE アプリ方式）の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功（※1）
	失敗		未決済
当サービスによる PAYSLE との同期処理(※2)	成功	要求成功	支払待ち
	失敗		決済失敗
支払停止	成功	支払待ち	支払停止受付(※1)
	失敗		支払待ち
当サービスによる PAYSLE との同期処理(※2)	成功	支払停止受付	支払停止
	失敗		支払待ち (支払停止実施前の状態)
PAYSLE による支払通知(※3)	—	支払待ち 支払停止受付 決済完了(収納結果：支払い) 支払待ち(収納結果：支払取消)	決済完了(収納結果：支払い)
PAYSLE による支払取消通知(※4)	—	決済完了(収納結果：支払い) 支払待ち(収納結果：支払取消)	支払い待ち(収納結果：支払取消)
PAYSLE による支払確定通知(※5)	—	支払待ち 支払待ち(収納結果：支払取消) 決済完了(収納結果：支払い)	決済完了(収納結果：支払確定)

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 処理受付後に当サービスが PAYSLE との同期処理を行います。

※2 PAYSLE 側での処理が非同期のため状態遷移には 30 分～60 分ほどかかります。

※3 支払通知はお客様がコンビニで支払手続きを行った後、1 分～6 分ほどで通知されます。

※4 支払取消通知はお客様がコンビニで支払手続きをキャンセルした後、2,3 営業日後に通知されます。

※5 支払確定通知はお客様がコンビニでお支払い後、5 営業日以降に通知されます。

・補足事項

支払通知は下記の順序で配信されることがあります。

支払通知 > 支払確定通知（通常の場合）

支払通知 > 支払取消通知 > 支払通知 > 支払確定通知

支払通知 > 支払通知 > 支払取消通知 > 支払確定通知

支払通知 > 支払取消通知

支払通知 > 支払通知 > 支払取消通知 > 支払取消通知

表 1.2.2-28 PAYSLE 決済（事業者アプリ方式）の取引状態遷移表

操作（状態変化）	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	—	—	未決済
決済実行	成功	未決済	要求成功
	失敗		未決済
支払停止	成功	要求成功	支払停止
	失敗		要求成功
PAYSLE による支払通知(※1)	—	要求成功 決済完了(収納結果：支払い) 要求成功(収納結果：支払取消)	決済完了(収納結果：支払い)
PAYSLE による支払取消通知(※2)	—	決済完了(収納結果：支払い) 要求成功(収納結果：支払取消)	要求成功 (収納結果：支払取消)
PAYSLE による支払確定通知(※3)	—	要求成功 要求成功(収納結果：支払取消) 決済完了(収納結果：支払い)	決済完了 (収納結果：支払確定)

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「—」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

※1 支払通知はお客様がコンビニで支払手続きを行った後、1分～6分ほどで通知されます。

※2 支払取消通知はお客様がコンビニで支払手続きをキャンセルした後、2,3営業日後に通知されます。

※3 支払確定通知はお客様がコンビニでお支払い後、5営業日以降に通知されます。

・補足事項

支払通知は下記の順序で配信されることがあります。

支払通知 > 支払確定通知（通常の場合）

支払通知 > 支払取消通知 > 支払通知 > 支払確定通知

支払通知 > 支払通知 > 支払取消通知 > 支払確定通知

支払通知 > 支払取消通知

支払通知 > 支払通知 > 支払取消通知 > 支払取消通知

2. コンビニ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

2.1. コンビニ決済依頼する

購入時にお客様がコンビニ決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

2.1.1. コンビニ決済の流れ

以下に、コンビニ決済の流れをご説明します。

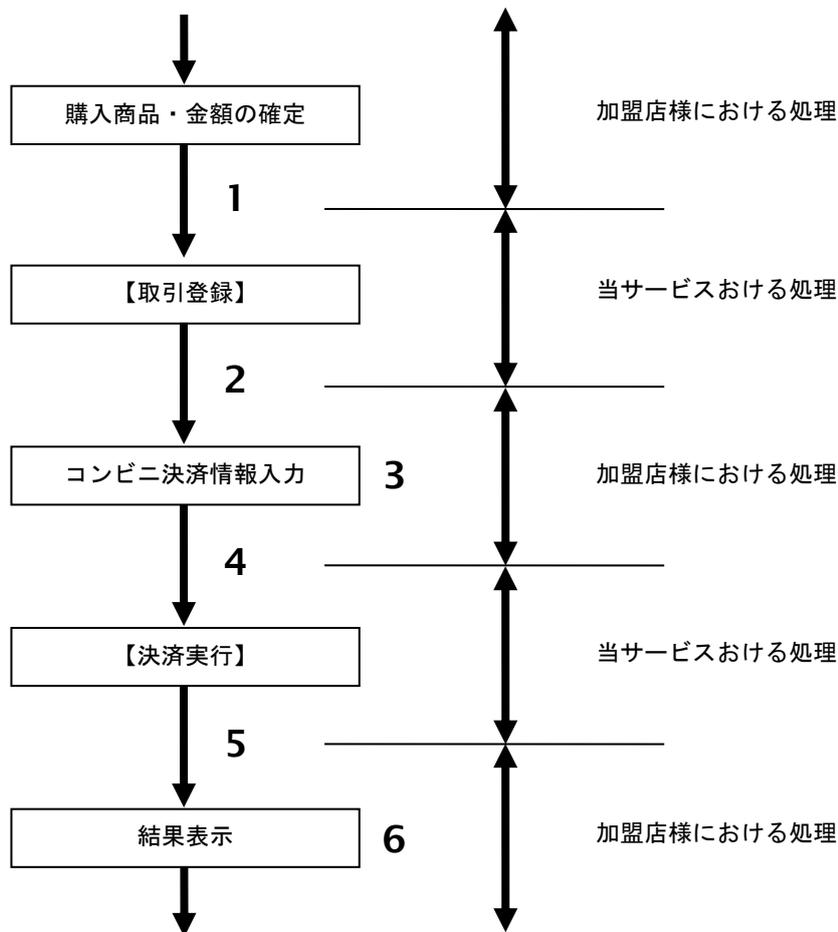


図 2.1.1-1 コンビニ決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様にコンビニ決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたコンビニ決済情報をもって当サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、コンビニ決済情報を使用して後続の決済センターとの通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.1.2. 各インタフェース仕様詳細

2.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranCvs】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranCvsInput	EntryTranCvsOutput	コンビニタイプの取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranCvsInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranCvsOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Amount	◎	integer	6	利用金額	セブン-イレブンの場合 下限金額(利用金額+税送料)は契約により異なります。 「ショップ管理画面 > ショップ管理 > ショップ情報 > 決済別契約情報 > コンビニ」をご確認ください。
5	Tax		integer	6	税送料	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

2.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力した情報で後続の決済センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranCvs】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranCvsInput	ExecTranCvsOutput	コンビニタイプの決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranCvsInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranCvsOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Convenience	◎	string	5	支払先コンビニコード	決済依頼するコンビニの会社コードを設定します。
5	CustomerName	◎	string	40	氏名	セブン-イレブンを指定した場合は、半角記号は使用できません。
6	CustomerKana	◎	string	40	フリガナ	
7	TelNo	◎	string	13	電話番号	
8	PaymentTermDay		integer	2	支払期限日数	呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される。 ※セブン-イレブンを指定した場合は、指定可能な支払期限日数の下限が 1 となります。
9	MailAddress		string	256	結果通知先メールアドレス	お客様へ結果通知先メールアドレス
10	ShopMailAddress		string	256	加盟店メールアドレス	お客様への結果通知メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。 呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された加盟店メールアドレスで処理される。
11	ReserveNo		string	20	予約番号	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される。
12	MemberNo		string	20	会員番号	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される。
13	RegisterDisp1		string	32	POS レジ表示欄 1	ショップ名称を設定してください。 (例) ○△ギフトショップ
14	RegisterDisp2		string	32	POS レジ表示欄 2	POS レジに表示される。
15	RegisterDisp3		string	32	POS レジ表示欄 3	POS レジに表示される。
16	RegisterDisp4		string	32	POS レジ表示欄 4	POS レジに表示される。

17	RegisterDisp5		string	32	POS レジ表示欄 5	POS レジに表示される。
18	RegisterDisp6		string	32	POS レジ表示欄 6	POS レジに表示される。
19	RegisterDisp7		string	32	POS レジ表示欄 7	POS レジに表示される。
20	RegisterDisp8		string	32	POS レジ表示欄 8	POS レジに表示される。
21	ReceiptsDisp1		string	60	レシート表示欄 1	レシートに表示される。 例) ご利用ありがとうございました
22	ReceiptsDisp2		string	60	レシート表示欄 2	レシートに表示される。
23	ReceiptsDisp3		string	60	レシート表示欄 3	レシートに表示される。
24	ReceiptsDisp4		string	60	レシート表示欄 4	レシートに表示される。
25	ReceiptsDisp5		string	60	レシート表示欄 5	レシートに表示される。
26	ReceiptsDisp6		string	60	レシート表示欄 6	レシートに表示される。
27	ReceiptsDisp7		string	60	レシート表示欄 7	レシートに表示される。
28	ReceiptsDisp8		string	60	レシート表示欄 8	レシートに表示される。
29	ReceiptsDisp9		string	60	レシート表示欄 9	レシートに表示される。
30	ReceiptsDisp10		string	60	レシート表示欄 10	レシートに表示される。
31	ReceiptsDisp11	◎	string	42	お問い合わせ先	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される。
32	ReceiptsDisp12	◎	string	12	お問い合わせ先電話番号	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される。
33	ReceiptsDisp13	◎	string	11	お問い合わせ先受付時間	Loppi・Fami バウチャー受領書に表示される。 例) 09:00-18:00
34	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
35	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
36	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
37	ClientFieldFlag		string	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Convenience	-	string	5	支払先コンビニ	呼び出し時に指定した値、または弊社側で変換された値を返却します。
3	ConfNo	-	string	20	確認番号	お客様が支払い時に使用する番号を返却します。
4	ReceiptNo	-	string	32	受付番号	お客様が支払い時に使用する番号を返却します。
5	PaymentTerm	-	string	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
6	TranDate	-	string	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式
7	ReceiptUrl	-	String	256	払込票 URL	セブン-イレブンの場合のみ返却されます。(※1)
8	Checkstring	-	string	32	MD5 ハッシュ	OrderID~TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(※2)
9	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却
10	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
11	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
12	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
13	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 本項目はモジュールタイプのバージョンが[MODP 3.110.131 at 2015-1105]以上の場合のみ返却します

※2: 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

2.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranCvs】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranCvsInput	EntryExecTranCvsOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インタフェースを使用していきます。

【EntryExecTranCvsInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranCvsOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

2.2. コンビニ決済の支払停止を実行する

コンビニ決済では、未決済取引の支払停止操作が可能です。

支払停止が可能なコンビニ、期間については、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

2.2.1. コンビニ決済の支払停止の流れ

以下に、コンビニ決済の支払停止の流れをご説明します。

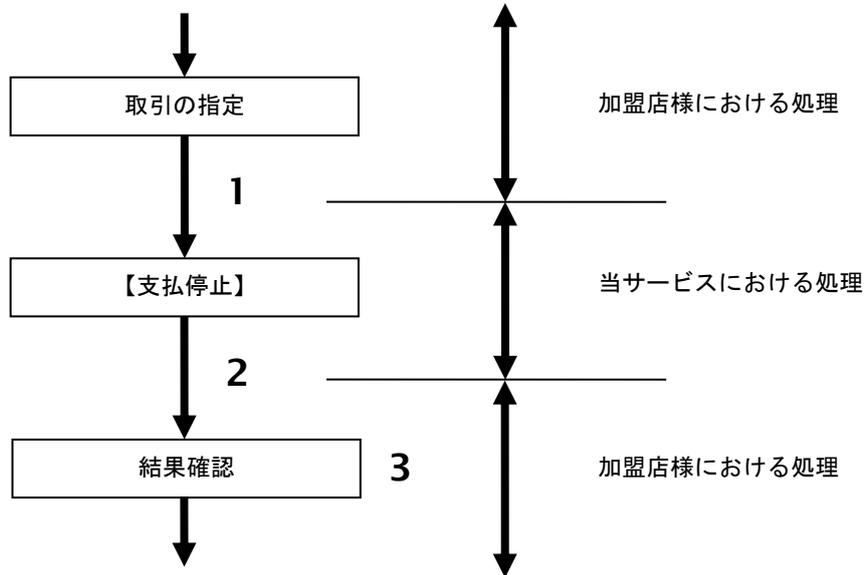


図 2.2.1-1 コンビニ決済 支払停止の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引を指定し当サービスの**【支払停止】**を呼び出します。
2. 当サービスは、後続の決済センターとの通信を行い支払停止処理を実施し結果を返します。
3. 加盟店様は、取消結果を確認します。

2.2.2. 各インタフェース仕様詳細

2.2.2.1. 支払停止

インタフェース概要

コンビニ決済センターとの通信を行い取引の支払停止処理を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【CvsCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	Exec	CvsCancelInput	CvsCancelOutput	プロトコルタイプの支払停止インタフェースを使用します。

【CvsCancelInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【CvsCancelOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	
2	Status	-	string	-	現状態	成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL : 支払停止
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

3. モバイル Suica 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

3.1. モバイル Suica 決済依頼する

購入時にお客様がモバイル Suica 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

3.1.1. モバイル Suica 決済の流れ

以下に、モバイル Suica 決済の流れをご説明します。

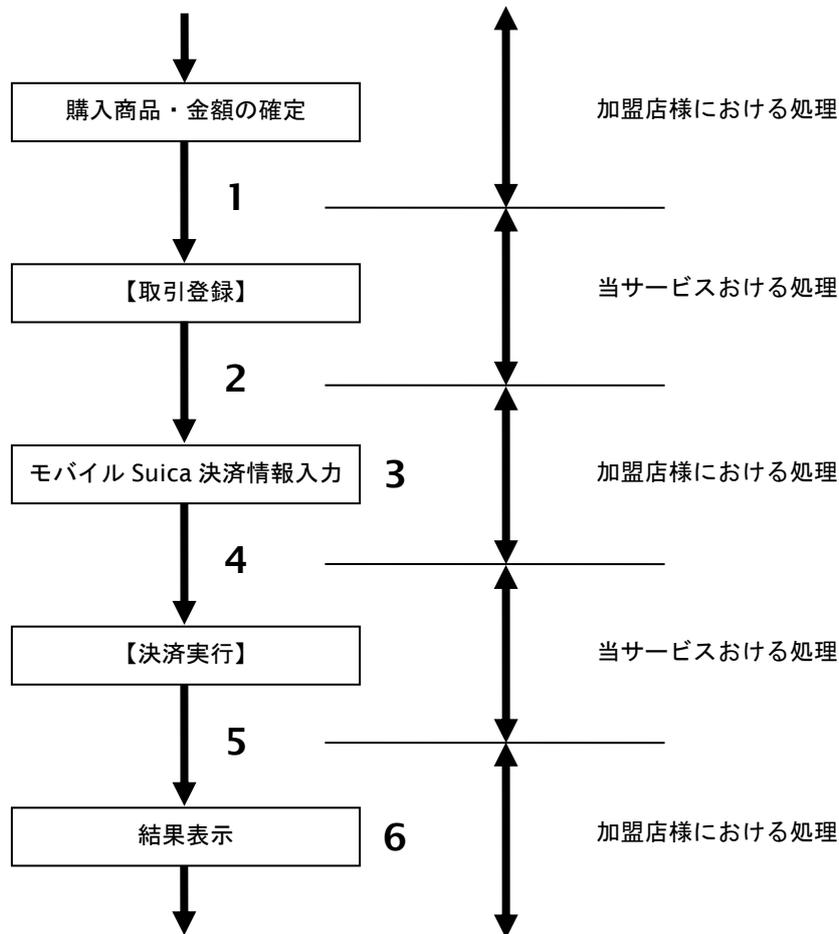


図 3.1.1-1 モバイル Suica 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様にモバイル Suica 決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたモバイル Suica 決済情報をもって当サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、モバイル Suica 決済情報を使用して J R 東日本との通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

3.1.2. 各インタフェース仕様詳細

3.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranSuica】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranSuicaInput	EntryTranSuicaOutput	モバイルSuicaタイプの取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranSuicaInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranSuicaOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Amount	◎	integer	5	利用金額	
5	Tax		integer	5	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

3.1.2.2. 決済実行

インターフェース概要

お客様が入力した情報で J R 東日本(Suica センター)と通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranSuica】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranSuicaInput	ExecTranSuicaOutput	モバイル Suica タイプの決済実行インターフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranSuicaInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranSuicaOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	空の場合はオーダーIDをシステムでセットし処理する。要一意性。
4	ItemName	◎	string	40	商品・サービス名	モバイル Suica アプリに表示される。
5	MailAddress	◎	string	256	メールアドレス	
6	ShopMailAddress		string	256	加盟店メールアドレス	お客様への決済開始メール、決済完了メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。
7	SuicaAddInfo1		string	256	決済開始メール付加情報	
8	SuicaAddInfo2		string	256	決済完了メール付加情報	
9	SuicaAddInfo3		string	256	決済内容確認画面付加情報	
10	SuicaAddInfo4		string	256	決済完了画面付加情報	
11	PaymentTermDay		integer	2	支払期限日数	呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される。
12	PaymentTermSec		integer	5	支払期限秒	最大 86,400 秒 (1 日) 呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限秒で処理される。
13	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
14	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
15	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
16	ClientFieldFlag		string	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0 : 返却しない(デフォルト) 1 : 返却する

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	
2	SuicaOrderNo	-	string	40	Suica 注文番号	オーダーID + "-" + 連番
3	ReceiptNo	-	string	9	受付番号	Suica 受付番号
4	PaymentTerm	-	string	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	TranDate	-	string	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式
6	Checkstring	-	string	32	MD5 ハッシュ	OrderID~TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(※1)
7	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却
8	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
10	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
11	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

3.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。

続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranSuica】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranSuicaInput	EntryExecTranSuicaOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インタフェースを使用していきます。

【EntryExecTranSuicaInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranSuicaOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

4. 楽天 Edy 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

4.1. 楽天 Edy 決済依頼する

購入時にお客様が楽天 Edy 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

4.1.1. 楽天 Edy 決済の流れ

以下に、楽天 Edy 決済の流れをご説明します。

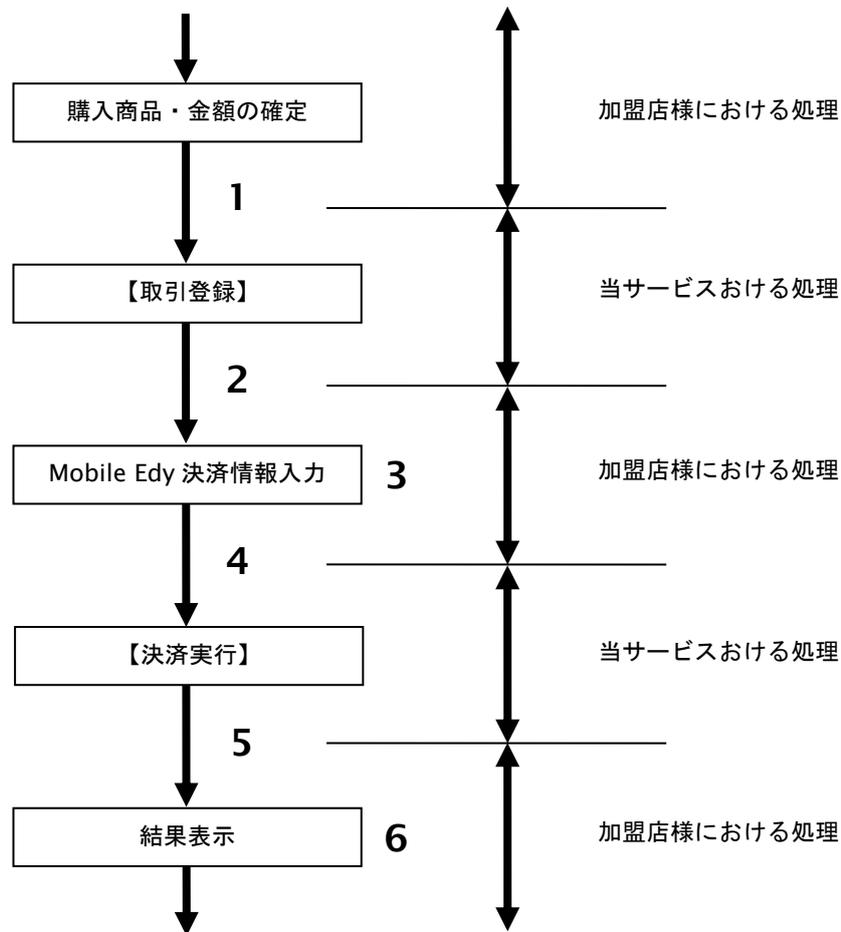


図 4.1.1-1 楽天 Edy 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様に楽天 Edy 決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力された楽天 Edy 決済情報をもって当サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 当サービスは、楽天 Edy 決済情報を使用して楽天 Edy との通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

4.1.2. 各インタフェース仕様詳細

4.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranEdy】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranEdyInput	EntryTranEdyOutput	楽天 Edy タイプの取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranEdyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranEdyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Amount	◎	integer	5	利用金額	
5	Tax		integer	5	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

4.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力した情報で楽天 Edy センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranEdy】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranEdyInput	ExecTranEdyOutput	プロトコルタイプの決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranEdyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranEdyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	空の場合はオーダーIDをシステムでセットし処理する。要一意性。
4	MailAddress	◎	string	256	メールアドレス	
5	ShopMailAddress		string	256	加盟店メールアドレス	お客様への決済開始メール、決済完了メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された加盟店メールアドレスで処理される。
6	EdyAddInfo1		string	180	決済開始メール付加情報	
7	EdyAddInfo2		string	320	決済完了メール付加情報	
8	PaymentTermDay		integer	2	支払期限日数	呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される。
9	PaymentTermSec		integer	5	支払期限秒	最大 86,400 秒 (1 日) 呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限秒で処理される。
10	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
11	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
12	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
13	ClientFieldFlag		string	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0 : 返却しない(デフォルト) 1 : 返却する

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	
2	ReceiptNo	-	string	16	受付番号	Edy 受付番号
3	EdyOrderNo	-	string	40	Edy 注文番号	オーダーID + "-" + 連番
4	PaymentTerm	-	string	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	TranDate	-	string	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式
6	Checkstring	-	string	32	MD5 ハッシュ	OrderID~TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(※1)
7	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却
8	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
10	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
11	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

4.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranEdy】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranEdyInput	EntryExecTranEdyOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インタフェースを使用していきます。

【EntryExecTranEdyInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranEdyOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

5. Pay-easy 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

5.1. Pay-easy 決済依頼する

購入時にお客様が Pay-easy 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

5.1.1. Pay-easy 決済の流れ

以下に、Pay-easy 決済の流れをご説明します。

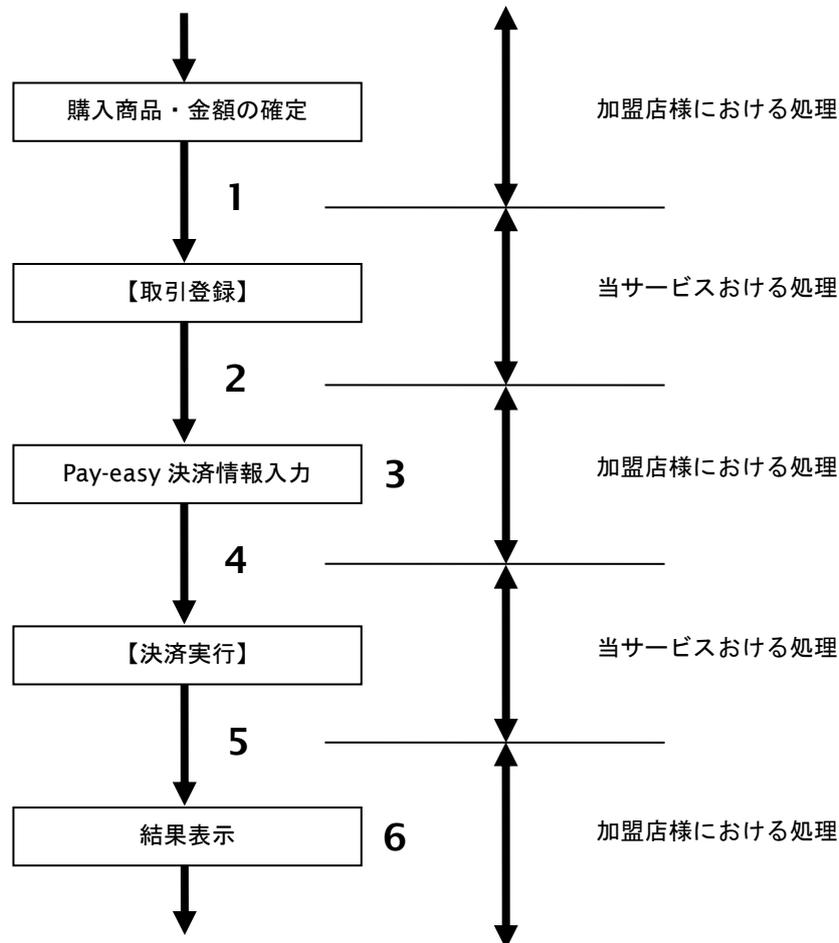


図 5.1.1-1 Pay-easy 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様に Pay-easy 決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力された Pay-easy 決済情報をもって当サービスの【決済依頼実行】を呼び出します。
5. 当サービスは、Pay-easy 決済情報を使用して後続の決済センターとの通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

5.1.2. 各インタフェース仕様詳細

5.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranPayEasy】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranPayEasyInput	EntryTranPayEasyOutput	Pay-easy タイプの取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranPayEasyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranPayEasyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
4	Amount	◎	integer	6	利用金額	
5	Tax		integer	6	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

5.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力した情報で後続の決済センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranPayEasy】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranPayEasyInput	ExecTranPayEasyOutput	Pay-easy タイプの決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranPayEasyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranPayEasyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	CustomerName	◎	string	40	氏名	
5	CustomerKana	◎	string	40	フリガナ	
6	TelNo	◎	string	13	電話番号	
7	PaymentTermDay		integer	2	支払期限日数	呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される。
8	MailAddress		string	256	結果通知先メールアドレス	お客様へ結果通知先メールアドレス
9	ShopMailAddress		string	256	加盟店メールアドレス	お客様への結果通知メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。 呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された加盟店メールアドレスで処理される。
10	ReceiptsDisp1	◎	string	42	お問い合わせ先	
11	ReceiptsDisp12	◎	string	12	お問い合わせ先電話番号	
12	ReceiptsDisp13	◎	string	11	お問い合わせ先受付時間	例) 09:00-18:00
13	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
14	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
15	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
16	ClientFieldFlag		string	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0 : 返却しない(デフォルト) 1 : 返却する
17	PaymentType		CHAR	1	決済タイプ	決済タイプを設定します。 設定する値については、別紙「仕向先会社コード一覧」を参照ください。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：決済タイプを指定した場合は利用されません。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	
2	CustID	-	string	11	お客様番号	
3	BkCode	-	string	5	収納機関番号	
4	ConfNo	-	string	20	確認番号	
5	EncryptReceiptNo	-	string	128	暗号化決済番号	金融機関選択画面を呼び出す際に利用
6	PaymentTerm	-	string	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
7	TranDate	-	string	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式
8	Checkstring	-	string	32	MD5 ハッシュ	OrderID～TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(※1)
9	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却
10	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
11	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
12	PaymentURL	-	string	256	金融機関選択画面 URL	金融機関選択画面に遷移する URL を返却します。 決済タイプを指定した場合に返却されません。 検証環境では固定の金融機関画面 URL を返却しますが、本番環境では取引ごとに異なる支払い用の URL を返却します。 <サンプル> https://www5.econ.ne.jp/pay/p_paymain.aspx?odrno=xxxxxxxxxxxxxx
13	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
14	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID～TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

5.1.2.3. 金融機関選択画面の表示 (PaymentType : E の場合)

処理概要 (決済実行時の PaymentType に E を指定した場合)

Pay-easy 決済において、お客様をそのままネットバンキングへ誘導する場合は、金融機関選択画面へと遷移させる必要があります。

金融機関選択画面はあらかじめ用意されていますので、決済実行の出力パラメータである金融機関選択画面 URL へ遷移するためのページを表示してください。

尚、決済実行後、各金融機関で支払い可能となるまで 20 秒程度お時間がかかります。

※Pay-easy 決済が集中した場合、各金融機関で支払い可能となるまで最大 2 時間程度お時間がかかる場合があります。

後続の金融機関の処理による影響です。

ATM 支払い、及び、金融機関選択画面からネットバンキングへ遷移して支払う場合が対象です。

金融機関のネットバンキングに直接ログインし、決済情報を入力して支払う場合は問題ありません。

金融機関選択画面への遷移ページパラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	PaymentURL	◎	CHAR	256	金融機関選択画面 URL	決済実行にて返却された文字列を指定します。 (文字列中に記号を含む)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

遷移用ページサンプル

```
<html>
  <head>
    <meta http-equiv="refresh" content="0;URL={ PaymentURL }">
  </head>
  <body>
    遷移しない場合は下記の URL をクリックしてください。
    <br>
    <a href="{ PaymentURL }">{ PaymentURL }</a>
  </body>
</html>
```

5.1.2.4. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranPayEasy】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranPayEasy Input	EntryExecTranPayEasy Output	プロトコルタイプの取引登録と決済 実行インタフェースを使用して行い ます。

【EntryExecTranPayEasyInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranPayEasyOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

5.2. Pay-easy 決済の支払停止を実行する

Pay-easy 決済では、未決済取引の支払停止操作が可能です。

支払停止が可能な期間については、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

5.2.1. Pay-easy決済の支払停止の流れ

以下に、Pay-easy 決済の支払停止の流れをご説明します。

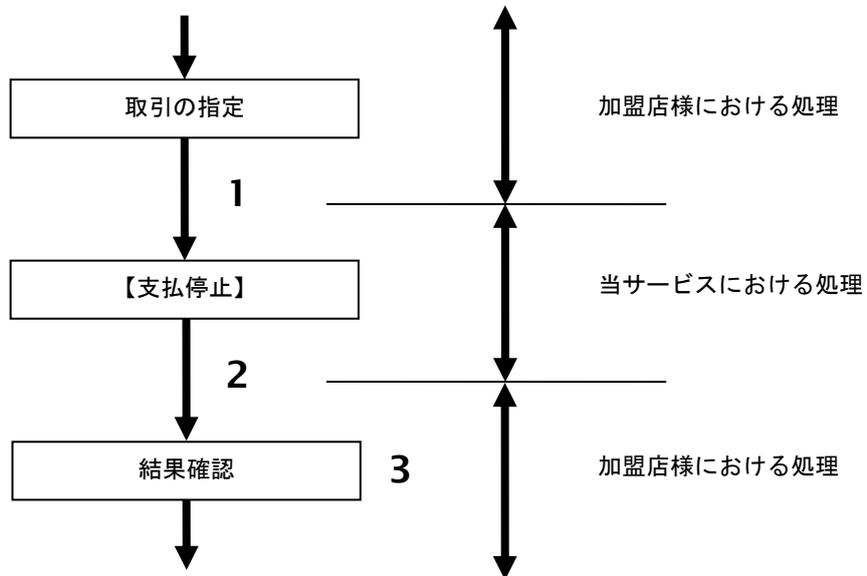


図 5.2.1-1 Pay-easy 決済 支払停止の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引を指定し当サービスの【支払停止】を呼び出します。
2. 当サービスは、後続の決済センターとの通信を行い支払停止処理を実施し結果を返します。
3. 加盟店様は、取消結果を確認します。

5.2.2. 各インタフェース仕様詳細

5.2.2.1. 支払停止

インタフェース概要

決済センターとの通信を行い取引の支払停止処理を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PayEasyCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	Exec	PayEasyCancelInput	PayEasyCancelOutput	プロトコルタイプの支払停止インタフェースを使用します。

【PayEasyCancelInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【PayEasyCancelOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	
2	Status	-	string	-	現状態	成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL : 支払停止
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

6. PayPal 決済インタフェース仕様

ドキュメント統合しましたので、今後は「PayPal 決済」をご参照ください。

7. WebMoney 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

各インタフェースの呼び出しは HTTPS 通信にて行う必要があります。

WebMoney 決済では、以下の 2 つの決済方法を提供しています。

※1 つのショップ ID では、2 つの決済方法の併用はできません。契約時にいずれかの決済方法を選択してください。

・都度決済

取引ごとに、WebMoney 決済画面に遷移してプリペイド番号を入力する方式です。

必ず WebMoney 決済画面への画面遷移が必要となります。

・クイック決済

クイック ID にプリペイド番号を登録することにより、WebMoney 決済画面に遷移せずに決済する方式です。

初回の取引時に、クイック ID を指定して WebMoney 決済画面に遷移すると、WebMoney 決済画面で入力されたプリペイド番号がクイック ID に登録されます。

次回以降の取引では、クイック ID を指定することにより登録されたプリペイド番号から決済金額が差し引かれ、WebMoney 決済画面に遷移せずに決済完了します。

※クイック決済では以下の場合のみ WebMoney 決済画面への遷移が必要となります。

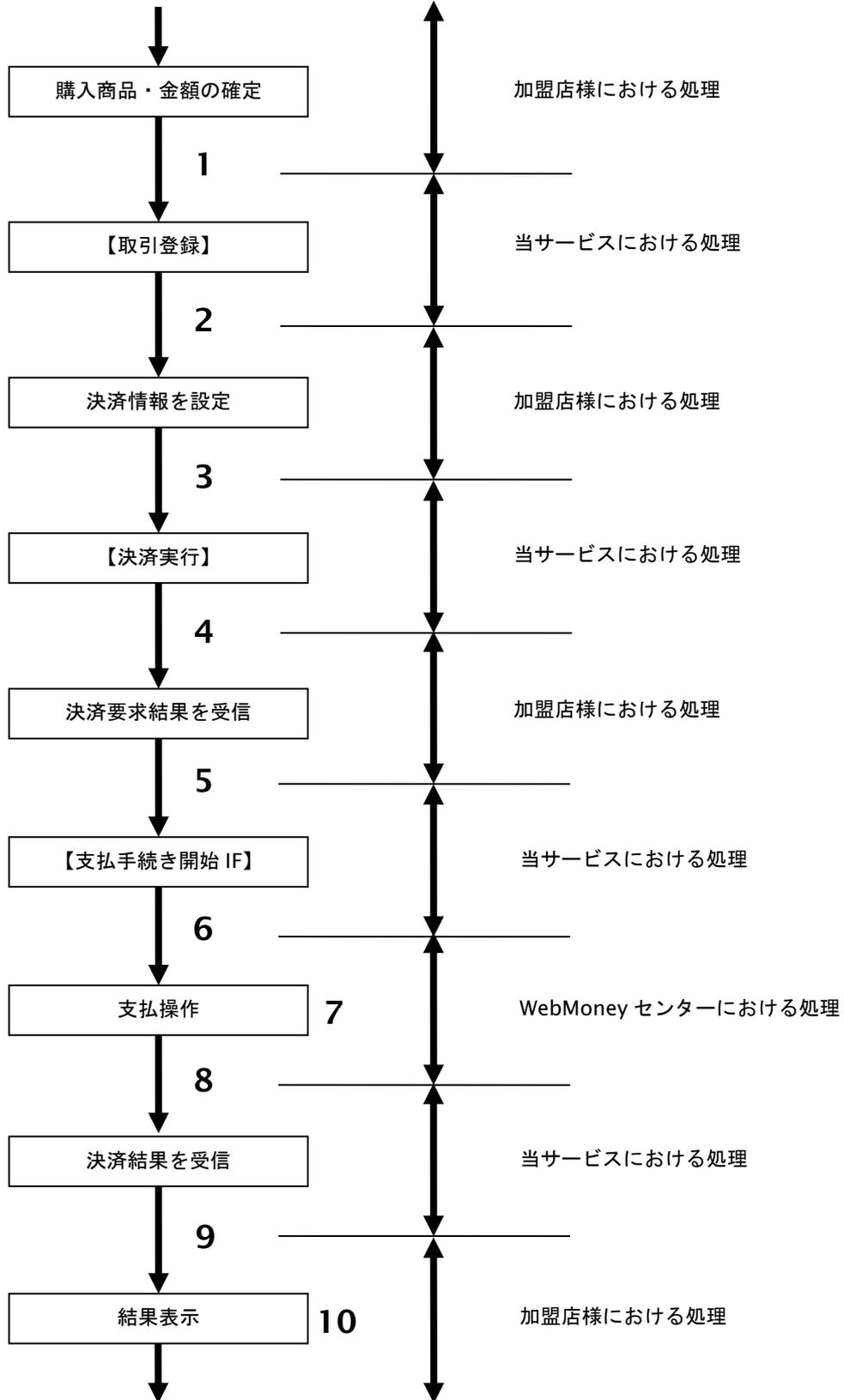
- ・指定されたクイック ID にプリペイド番号が登録されていない場合（初回登録）
- ・クイック ID に登録されたプリペイド番号の残高が決済金額に満たない場合（残高不足）

7.1. WebMoney 決済実行する

購入時にお客様が WebMoney 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。
 決済ごとに WebMoney 決済画面に遷移してプリペイド番号を入力します。

7.1.1. WebMoney 決済の流れ

以下に、WebMoney 決済の流れをご説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、WebMoney センターとの通信を行い決済要求結果を返します。
5. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
※当サービスから送信される決済開始メールによる誘導も可能です。
6. 当サービスは、リダイレクト機能を使用しお客様を WebMoney センターの決済画面に誘導します。
7. お客様は、WebMoney の決済画面にて支払操作を行います。
8. WebMoney センターは、決済結果を当サービスに送信します。
9. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

7.1.2. 各インタフェース仕様詳細

7.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranWebmoney】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranWebmoney Input	EntryTranWebmoney Output	WebMoney 決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranWebmoneyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranWebmoneyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
4	Amount	◎	integer	6	利用金額	
5	Tax		integer	6	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	
2	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
5	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

7.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

WebMoney センターと通信を行い決済要求結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranWebMoney】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranWebmoney Input	ExecTranWebmoney Output	WebMoney 決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranWebmoneyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranWebmoneyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	ItemName	◎	string	40	商品・サービス名	WebMoney の決済画面に表示する商品名を設定。
7	CustomerName	◎	string	40	氏名	お客様の氏名を設定。 決済開始メールに表示。
8	MailAddress		string	256	メールアドレス	決済開始メール送付先のお客様のメールアドレスを設定。
9	ShopMailAddress		string	256	加盟店メールアドレス	お客様への決済開始メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。 呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された加盟店メールアドレスで処理される。
10	PaymentTermDay		integer	2	支払期限日数	呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される。
11	RedirectURL		string	256	リダイレクト URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定。 WebMoney 上でお客様が支払操作を完了した場合や、キャンセルした場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信。
12	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
13	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
14	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	

15	ClientFieldFlag		string	1	加盟店自由項目返却 フラグ	以下のいずれかを設定 0：返却しない 1：返却する(デフォルト)
----	-----------------	--	--------	---	------------------	--

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	
2	PaymentTerm	-	string	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	TranDate	-	string	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
4	Checkstring	-	string	32	MD5 ハッシュ	OrderID~TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(※1)
5	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
6	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
7	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
8	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
9	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

7.1.2.3. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

WebMoney 決済において、お客様を WebMoney の決済画面へと遷移させる必要があります。

当サービスから送信される決済開始メールを利用する場合は、加盟店様で下記内容を実装する必要はございません。

加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始 IF に誘導してください。

当サービスは、お客様を WebMoney の決済画面に誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	WebmoneyStart Url	◎	string	-	支払手続き開始 IF の URL	本番用 https://p01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyStart.idPass テスト環境用 https://pt01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyStart.idPass
2	AccessID	◎	string	32	取引 ID	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページサンプル

【リダイレクトページ作成】 を利用することで、雛形内の対応するキーワードがパラメータの値で置き換えられた内容で取得することができます。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="WebmoneyStart" action="{WebmoneyStartUrl}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        WebMoneyの決済画面に遷移します。<br>
        ボタンをクリックしてください。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
</form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.WebmoneyStart.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

7.1.2.4. リダイレクトページ作成

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	webmoneyStart	pagePath, accessid, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessid	◎	string	32	取引 ID	
3	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

7.1.2.5. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranWebmoney】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranWebmoneyInput	EntryExecTranWebmoneyOutput	WebMoney 決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranWebmoneyInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranWebmoneyOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

7.2. WebMoney決済(クイック決済)を実行する

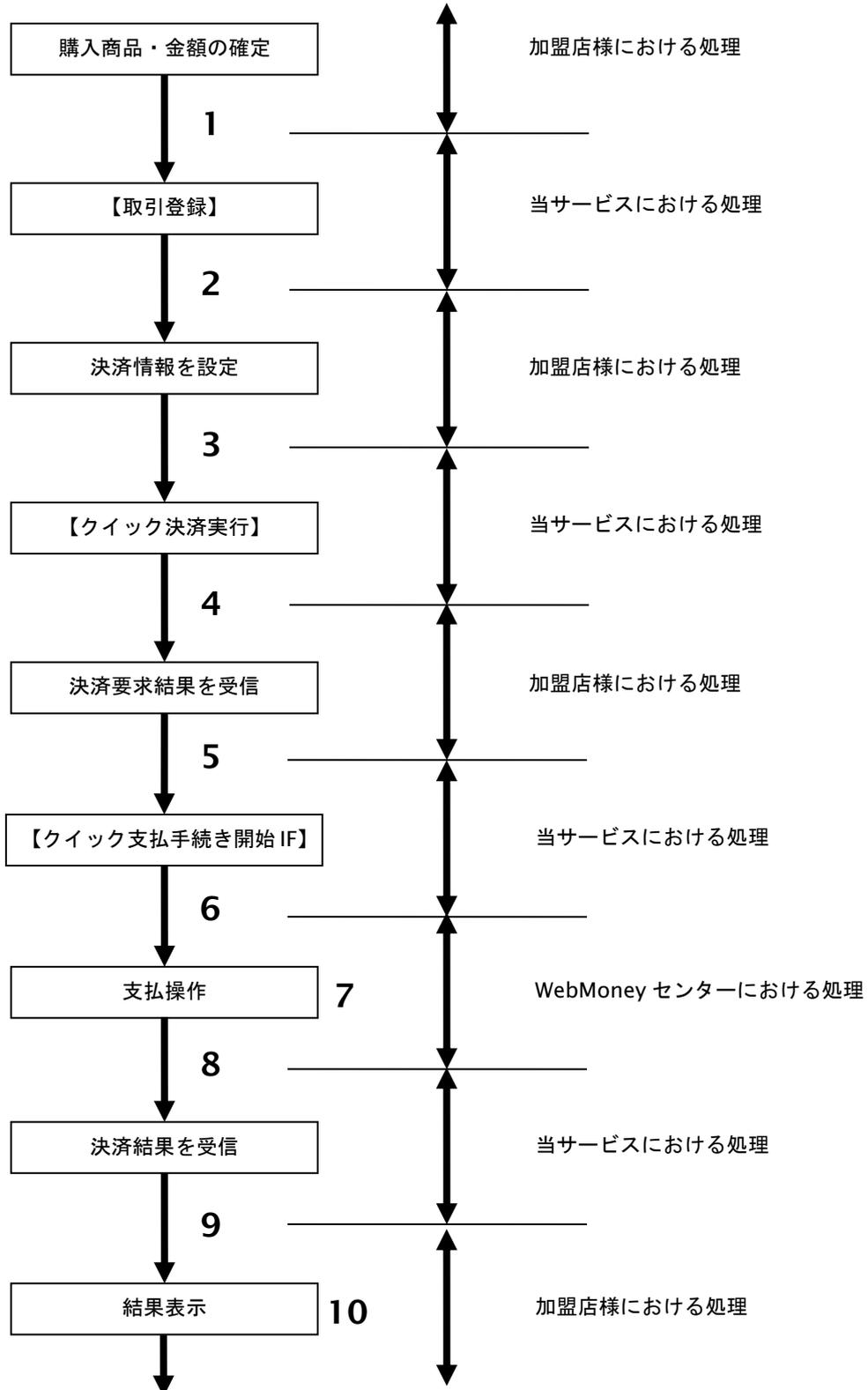
購入時にお客様がWebMoney決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

初回の決済時にクイックIDを指定すると、次回以降はWebMoney決済画面への遷移なしに決済完了します。

7.2.1. WebMoney決済(クイック決済)の流れ

以下に、WebMoney決済(クイック決済)の流れをご説明します。

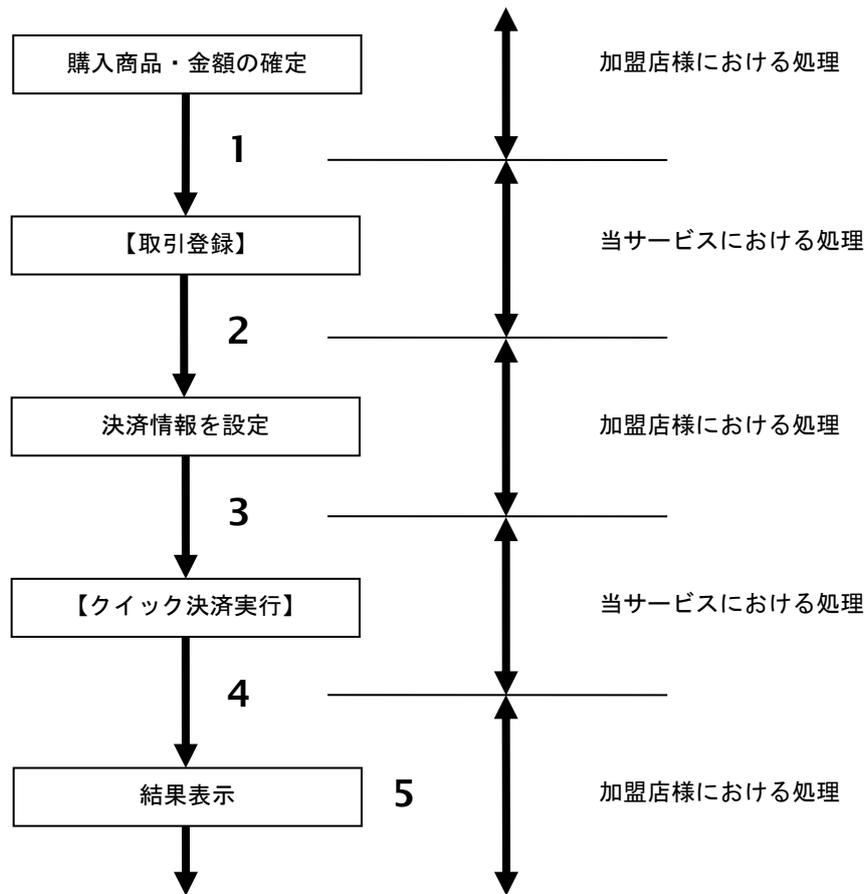
クイックID未登録(初回購入時)の場合



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報と新規のクイック ID を設定し当サービスの【クイック決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、WebMoney センターとの通信を行います。
5. 加盟店様は、お客様を当サービスの【クイック支払手続き開始 IF】に誘導します。
6. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を WebMoney センターの決済画面に誘導します。
7. お客様は、WebMoney の決済画面にてプリペイド番号を入力し支払操作を行います。
8. WebMoney センターはクイック ID にプリペイド番号を登録し、決済結果を当サービスに送信します。
9. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

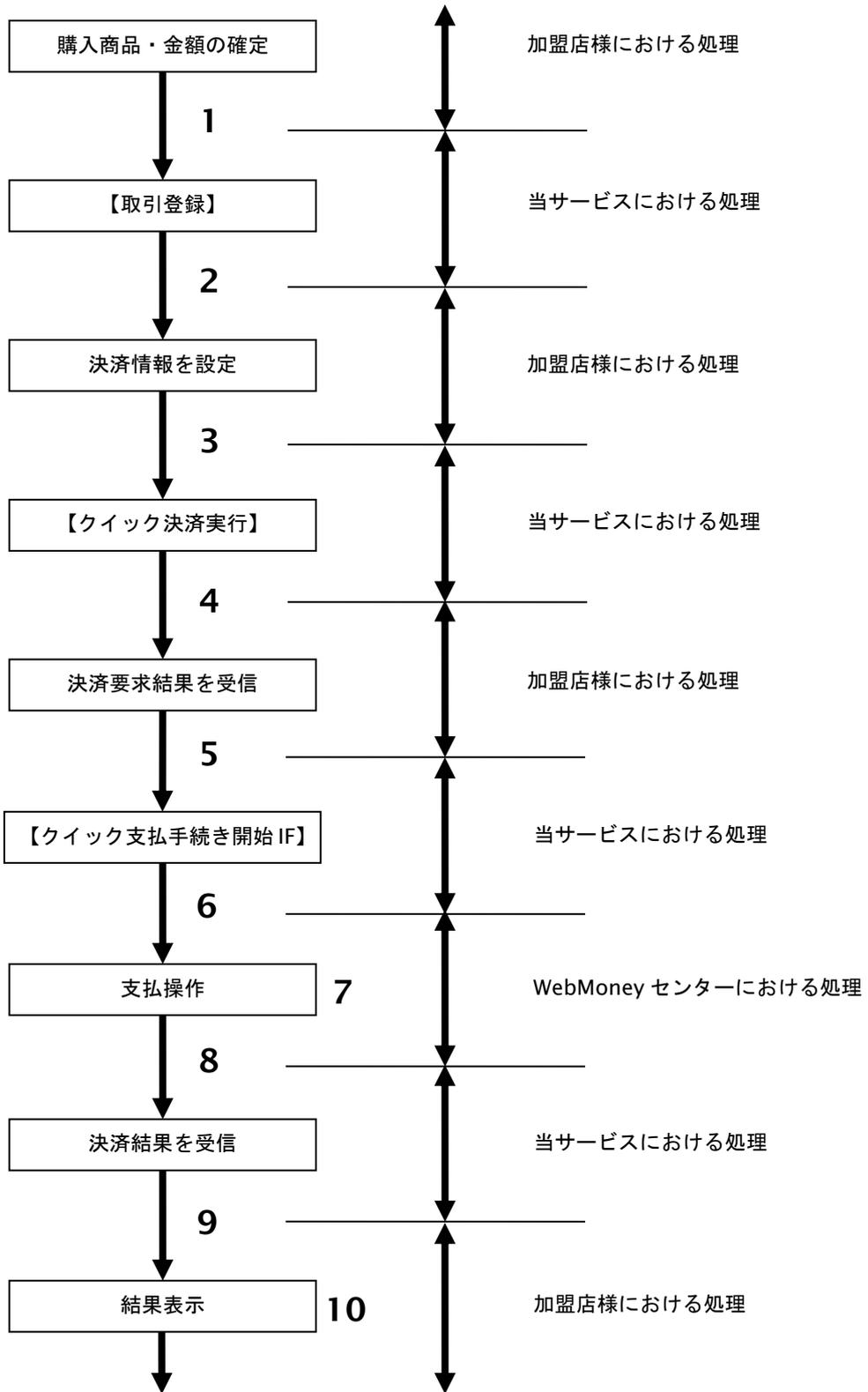
クイック ID 登録済みの場合



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報と**既存のクイックID**を設定し当サービスの**【クイック決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスはWebMoneyセンターとの通信を行い、クイックIDに登録されたプリペイド番号で決済を実行し、決済結果を返します。
5. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

クイック ID 登録済みで残高不足の場合



流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報と既存のクイック ID を設定し当サービスの【クイック決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、WebMoney センターとの通信を行います。
5. 加盟店様は、お客様を当サービスの【クイック支払手続き開始 IF】に誘導します。
6. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を WebMoney センターの決済画面に誘導します。
7. お客様は、WebMoney 決済画面にてプリペイド番号を入力して支払操作を行います。
8. WebMoney センターは、クイック ID にプリペイド番号を登録し、決済結果を当サービスに送信します。
9. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

7.2.2. 各インタフェース仕様詳細

7.2.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

WebMoney 決済(都度決済)の取引登録と同一です。

詳細については、WebMoney 決済(都度決済)の取引登録の項をご確認ください。

7.2.2.2. クイック決済実行

インタフェース概要

WebMoney センターと通信を行い決済要求結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranWebMoneyQuick】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranWebmoneyQuickInput	ExecTranWebmoneyQuickOutput	WebMoney 決済のクイック決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranWebmoneyQuickInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranWebmoneyQuickOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	
6	QuickID	◎	String	32	クイック ID	プリペイド番号を登録するクイック ID を指定します。 加盟店様側にて購入者ごとに重複しない ID を指定してください。既存の ID を指定した場合は、既存の ID に登録されたプリペイド番号から決済されます。
7	ItemName	◎	String	40	商品・サービス名	WebMoney の決済画面に表示する商品名を設定します。
8	PaymentTermDay		Integer	2	支払期限日数	呼び出しパラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される。
9	RedirectURL		String	256	リダイレクト URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を指定します。 クイック ID の初回登録や残高不足の場合は WebMoney 決済画面への遷移が生じます。 WebMoney 決済画面上でお客様が支払操作を完了した時や、キャンセルした時に、本項目で指定された URL に結果を送信します。 結果はリダイレクト経由で送信します。
10	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
11	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
12	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
13	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0 : 返却しない 1 : 返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

補足事項)

- ・「QuickID」について
QuickID は購入者を一意に識別する ID です。

初回購入時に、加盟店様にて購入者ごとにユニークな ID を割り当て、QuickID パラメータに指定してください。
新規の QuickID が指定した場合、支払手続き開始 IF へリダイレクトを行い、購入者を WebMoney 決済画面に誘導してください。

リダイレクト先の支払手続き開始 IF から遷移した WebMoney 決済画面で購入者がプリペイド番号を入力すると、プリペイド番号から決済金額が差し引かれ、プリペイド番号が QuickID に登録されます。

次回以降の購入時に、購入者に割り当てた QuickID を指定して決済実行すると、QuickID に登録されたプリペイド番号から決済金額が差し引かれ決済完了します。(WebMoney 決済画面への誘導は不要です)

※登録されているプリペイド番号の残高が決済金額に満たない場合は、初回購入時と同様に支払手続き開始 IF へリダイレクトを行ってください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	OrderID	-	String	27	オーダーID	
3	QuickID		String	32	クイック ID	
4	Status		String	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 UNPROCESS : 未決済 REXSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済成功
5	TranDate		String	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。(yyyyMMddHHmmss 書式)
6	PayCancel		String	1	キャンセル区分	"0"固定です。
7	ManagementNo		String	16	管理番号	決済完了した場合、支払手続きで使用された WebMoney の管理番号を返却します。
8	SettleCode		String	25	決済コード	決済完了した場合、WebMoney センターが返した決済コードを返却します。
9	CampaignUrl		String	256	抽選結果表示 URL	決済完了し WebMoney の決済キャンペーンで当選した場合、当選確認用 URL を返却します。 (返却値は URL エンコード値) ※当選しなかった場合は、本項目は空です。
10	Checkstring	-	String	32	MD5 ハッシュ	ShopID~TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(※1)
11	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
12	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
13	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
14	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
15	NextStep	-	String	8	次処理種別	正常に決済要求が処理された場合は、次処理の種別を返却します。 FINISH : 決済完了 CHARGE : 支払手続き
16	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	支払手続きが必要な場合、お客様の支払手続き期限を返却します。 (yyyyMMddHHmmss 書式)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをペースにしたハッシュ値

補足事項)

- ・「NextStep」について
NextStep は次にすべき処理を示します。

「FINISH」が返却された場合 :

指定された QuickID に登録されたプリペイド番号から決済金額が差し引かれ決済が完了しています。

購入者に決済手続きの完了を案内してください。

また、WebMoney の決済キャンペーンの抽選に当選した場合、当選内容確認画面の URL(抽選結果表示 URL) が返却されますので、購入者に当該 URL を通知してください。

「CHARGE」が返却された場合 :

指定された QuickID に登録されたプリペイド番号が存在しないか、登録されたプリペイド番号の残高が決済金額に満たない状態です。

クイック支払手続き開始 IF の URL に購入者を誘導してください。

7.2.2.3. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

クイック決済において、クイック ID の新規登録時、もしくは既存のクイック ID が残高不足の場合は、お客様を WebMoney の決済画面へと遷移させる必要があります。

加盟店様のサイトから画面遷移させるために、お客様を当サービスの支払手続き開始 IF に誘導してください。

当サービスは、お客様を WebMoney の決済画面に誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	WebmoneyQuickStartUrl	◎	String	-	支払手続き開始 IF の URL	本番用 https://p01.mul-pay.jp/payment/W ebmoneyQuickStart.idPass テスト環境用 https://pt01.mul-pay.jp/payment/W ebmoneyQuickStart.idPass
2	AccessID	◎	String	32	取引 ID	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

7.2.2.4. リダイレクトページ作成

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	webmoneyQuickStart	pagePath, accessid, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessid	◎	string	32	取引 ID	
3	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

7.2.2.5. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「クイック決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranWebmoney】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranWebmoneyQuickInput	EntryExecTranWebmoneyQuickOutput	WebMoney 決済の取引登録とクイック決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranWebmoneyQuickInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびにクイック決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranWebmoneyQuickOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびにクイック決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「クイック決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「クイック決済実行」の出力パラメータを参照してください。

7.2.2.6. 決済結果受信

処理概要

WebMoney センターから、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【クイック決済実行】時に指定されたりダイレクト URL に決済結果を通知します。

※リダイレクト URL が指定されていない場合は、当サービスの購入完了画面又はキャンセル画面を表示します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップ ID	【クイック決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	OrderID		CHAR	27	オーダー ID	
3	QuickID	-	CHAR	32	クイック ID	
4	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 PAYSUCCESS : 決済完了 PAYFAIL : 決済失敗
5	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。(yyyyMMddHHmmss 書式)
6	PayCancel		CHAR	1	キャンセル区分	以下のいずれかを返却します。 1 : 支払操作がキャンセルされた場合 0 : その他
7	ManagementNo	-	CHAR	16	管理番号	決済完了した場合、支払手続きで使用された WebMoney の管理番号を返却します。
8	SettleCode	-	CHAR	25	決済コード	決済完了した場合、WebMoney センターが返した決済コードを返却します。
9	CampaignUrl	-	CHAR	256	抽選結果表示 URL	決済完了し WebMoney の決済キャンペーンで当選した場合、当選確認用 URL を返却します。 (返却値は URL エンコード値) ※当選しなかった場合は、本項目は空です。
10	CheckString	-	CHAR	32	MD5 ハッシュ	ShopID~CampaignUrl+ショップパスワードのハッシュ値(※1)を返却します。
11	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	【クイック決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
12	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
13	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
14	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
15	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	
16	NextStep	-	CHAR	8	次処理種別	"FINISH"固定
17	PaymentTerm		CHAR	14	支払期限日時	空文字固定

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

7.3. クイックIDを削除する

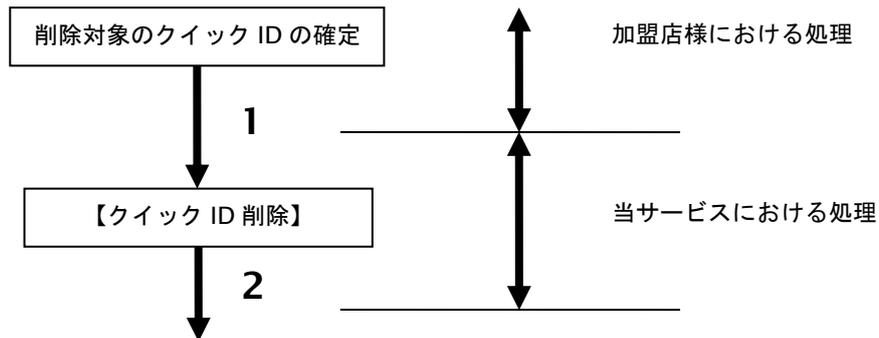
クイック決済を使用するとクイック ID にプリペイド番号が登録されます。

クイック ID を使用しなくなった場合は、無効化することによりクイック ID を使用不可にできます。

※無効化したクイック ID は再度使用することはできません。

7.3.1. クイックID無効化の流れ

以下に、クイック ID 削除の流れをご説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、無効化対象のクイック ID を確定し **【クイック ID 削除】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたクイック ID の削除要求を WebMoney センターに送信し、処理結果を加盟店様に返却します。

7.3.2. 各インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

指定されたクイック ID を無効化します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DeleteWebmoneyQuickId】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DeleteWebmoneyQuickIdInput	DeleteWebmoneyQuickIdOutput	WebMoney クイック決済のクイック ID 削除インタフェースを使用して、クイック ID を削除します。

【DeleteWebmoneyQuickIdInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【DeleteWebmoneyQuickIdOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	QuickID	◎	String	32	クイック ID	削除対象のクイック ID

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	QuickID		String	32	クイック ID	
2	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

7.4. クイックIDの利用明細画面を表示する

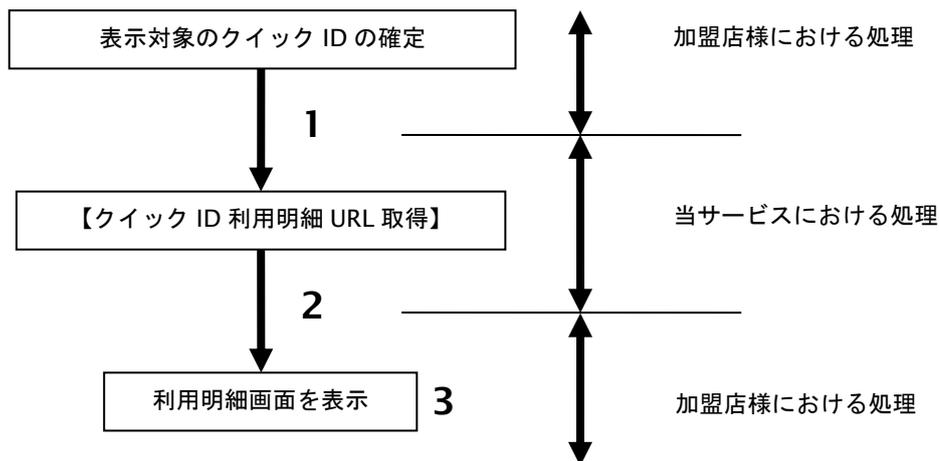
クイック ID の利用明細画面を表示することが可能です。

本操作にて、利用明細画面の URL を取得し購入者を利用明細画面に誘導します。

- ・ 本操作にて払い出される利用明細画面の URL は払い出しから 24 時間有効です。
- ・ クイック ID を削除した場合は、利用明細画面の表示はできません。

7.4.1. クイックIDの利用明細画面表示の流れ

以下に、クイック ID の利用明細画面表示の流れをご説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、表示対象のクイック ID を確定し【クイック ID 利用明細 URL 取得】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたクイック ID の利用明細画面の URL を加盟店様に返却します。
3. 加盟店様は、利用明細画面の URL に購入者を誘導します。

7.4.2. 各インタフェース仕様詳細

7.4.2.1. クイックID利用明細URL取得

インタフェース概要

指定されたクイック ID の利用明細画面の URL を取得します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【HistoryWebmoneyQuickId】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	HistoryWebmoneyQuickIdInput	HistoryWebmoneyQuickIdOutput	WebMoney クイック決済のクイック ID 利用履歴 URL 取得インタフェースを使用して、クイック ID の利用履歴 URL を取得します。

【HistoryWebmoneyQuickIdInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【HistoryWebmoneyQuickIdOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	QuickID	◎	String	32	クイック ID	表示対象のクイック ID を指定します。
4	QuickID	◎	String	256	戻り先 URL	利用明細画面の「戻る」ボタンの遷移先の URL を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	QuickID		String	32	クイック ID	
2	HistoryUrl		String	256	利用履歴画面 URL	利用明細画面の URL を返却します。
3	ExpireDate		String	14	有効期限	利用明細画面 URL の有効期限を返却します。(yyyyMMddhhmmss 形式)
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

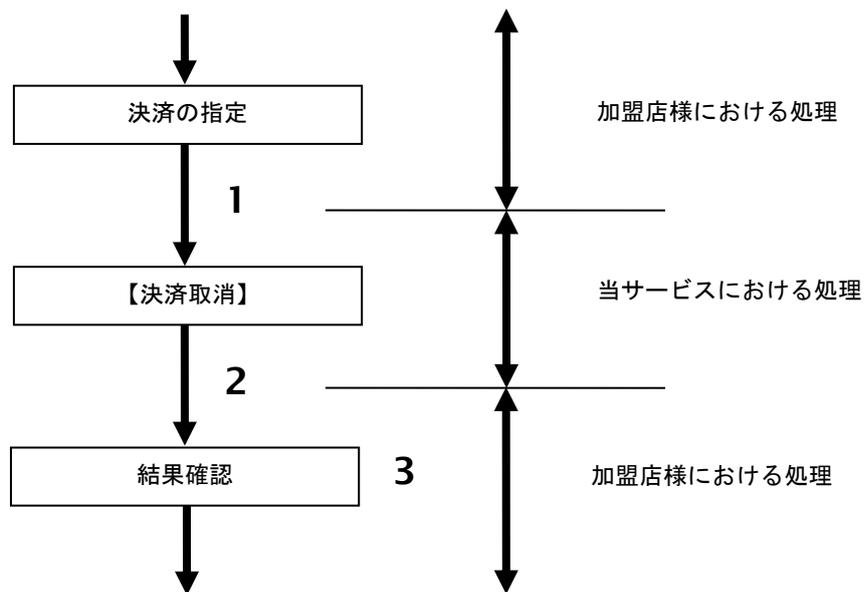
7.5. 決済の内容を取消する

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容を取り消すことが可能です。

- 加盟店様の契約コードによっては、返品できません。(返品可否については事前にお問い合わせください)
- 取消を行うと、決済金額を購入者様の WebMoney にポイントとして返還します。
- 取消は決済金額の全額が対象となります。(一部返品には対応していません)
- 取消が可能な期間は、決済実行日より 180 日間以内です。

7.5.1. 決済の内容を取消する流れ

以下に、決済の内容を取消する流れをご説明します。



流れの説明

1. 加盟店様は、取消対象の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済取消】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の取消を行い処理結果を返します。
3. 加盟店様は、決済取消の結果を確認します。

7.5.2. 各インタフェース仕様詳細

7.5.2.1. 決済取消

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して、決済内容の取消を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RefundWebmoney】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	RefundWebmoneyInput	RefundWebmoneyOutput	WebMoney 決済の返品インタフェースを使用して、決済内容の取消を行います。

【RefundWebmoneyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【RefundWebmoneyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	取引に付与したオーダーID値を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderId		String	27	オーダーID	
2	Status		String	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ RETURN 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

8. au PAY (au かんたん決済) インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

8.1. au PAY (au かんたん決済) 実行する

購入時にお客様が au PAY (au かんたん決済) に必要な情報を入力してから決済依頼します。

8.1.1. au PAY (au かんたん決済) の流れ

以下に、au PAY (au かんたん決済) の流れをご説明します。

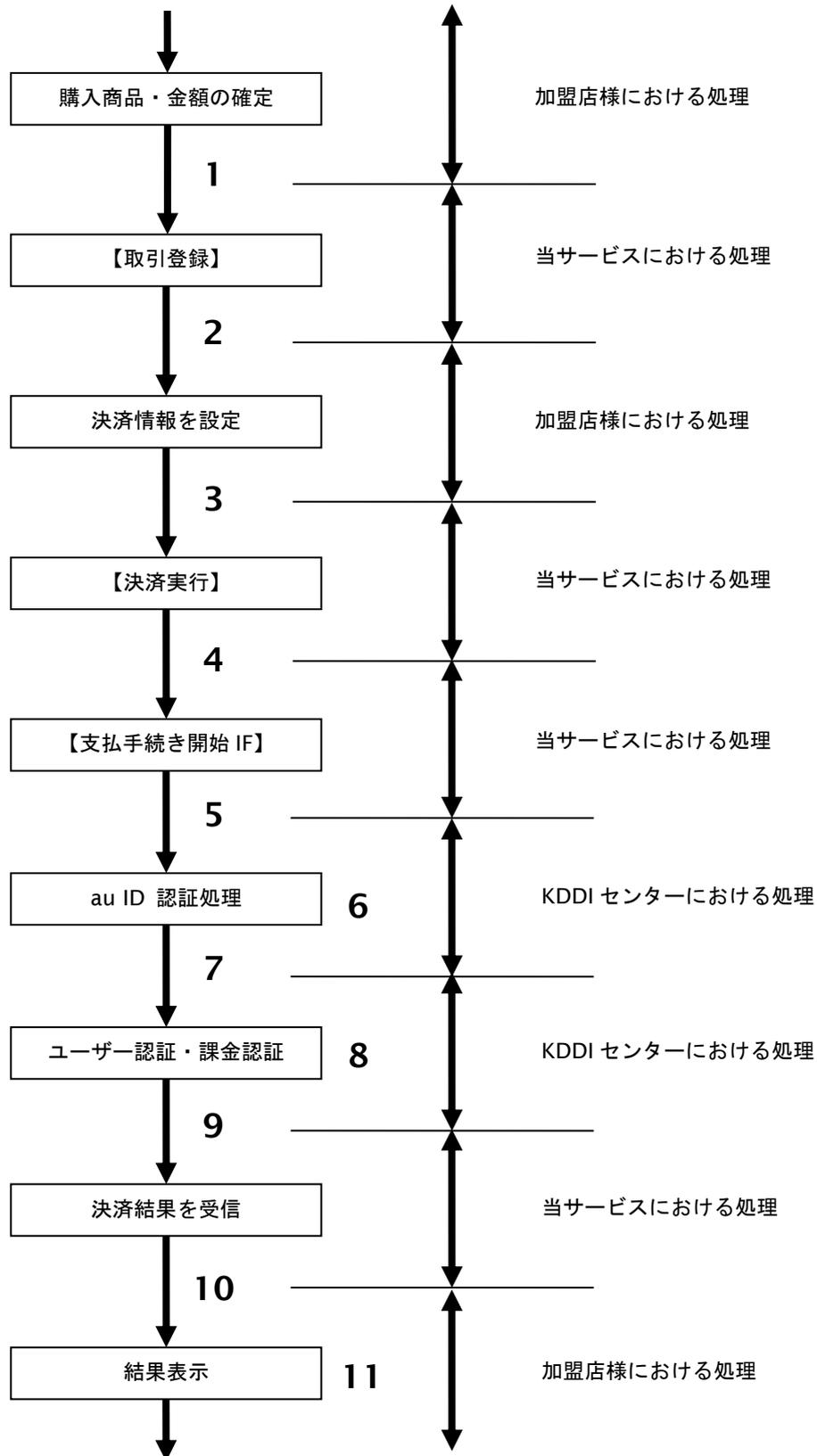


図 8.1.1-1 au PAY (au かんたん決済) の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの au ID 認証画面に誘導します。
6. お客様は、KDDI センターの au ID 認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用しお客様を KDDI センターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、au PAY (au かんたん決済) の決済画面にて支払操作を行います。
9. KDDI センターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

8.1.2. 各インタフェース仕様詳細

8.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranAu】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranAuInput	EntryTranAuOutput	au PAY (au かんたん決済) の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranAuInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranAuOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
4	JobCd	◎	string	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
5	Amount	◎	integer	7	利用金額	利用金額+税送料で 1 円以上 9,999,999 円以下である必要があります。
6	Tax		integer	7	税送料	

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

8.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranAu】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranAuInput	ExecTranAuOutput	au PAY (au かんたん決済) の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranAuInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranAuOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	SiteID	●	string	13	サイト ID	会員 ID 指定時は必須
7	SitePass	●	string	10	サイト Pass	会員 ID 指定時は必須
8	MemberID	●	string	60	会員 ID	
9	MemberName		string	255	会員名	
10	CreateMember	●	string	1	会員作成フラグ	会員が存在しない場合の動作を指定します。 0: 登録しない。 会員が存在しない場合、エラーを返す 1: 登録する。 会員が存在しない場合、新規登録する 会員 ID 指定時は必須
11	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
12	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
13	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
14	Commodity	◎	string	48	摘要	お客様が購入する商品の情報を設定。 KDDI センターでの決済時に表示される。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

15	RetURL	◎	string	256	決済結果戻し URL	<p>加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定。</p> <p>KDDI センター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信。</p>
16	PaymentTermSec		integer	5	支払開始期限秒	<p>お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限。</p> <p>最大 86,400 秒（1 日）</p> <p>呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理される</p>
17	ServiceName	◎	string	48	表示サービス名	<p>加盟店様のサービス名称。 お客様の購入履歴などに表示される。</p> <p>設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
18	ServiceTel	◎	string	15	表示電話番号	<p>加盟店様の電話番号。 お客様の購入履歴などに表示される。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字と” - “(ハイフン)」です。</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	string	32	アクセス ID	
2	Token	-	string	256	トークン	
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	
4	StartLimitDate	-	string	14	支払開始期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 1：出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

8.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranAu】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranAuInput	EntryExecTranAuOutput	au PAY (au かんたん決済) の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranAuInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranAuOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

8.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

au PAY (au かんたん決済) において、お客様を KDDI センターの au ID 認証画面へと遷移させる必要があります。
 ※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	auStart	pagePath, startURL, accessid, token, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	startURL	◎	string	256	支払手続き開始 IF の URL	
3	accessid	◎	string	32	取引 ID	
4	token	◎	string	256	トークン	
5	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="AuStart" action="{StartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        auかんたんの決済画面に遷移します。<br>
        ボタンをクリックしてください。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document. AuStart.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	
2	Token	◎	string	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

8.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

KDDI センターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	string	13	ショップ ID	該当取引のショップ ID を返却します。
2	OrderID	-	string	27	オーダー ID	該当取引のオーダー ID を返却します。
3	Status	-	string	-	現状態	<p>該当取引の取引状態を返却します。</p> <p>AUTHPROCESS : 認証中 AUTH : 仮売上完了 CAPTURE : 即時売上完了 PAYFAIL : 決済失敗</p> <p>※お客様が au PAY (au かんたん決済) の画面で支払方法に WebMoney を選択し決済が成功した場合、現状態は即時売上になります。</p>
4	TranDate	-	string	14	処理日時	<p>当サービスで処理を実施した日時を返却します。</p> <p>yyyyMMddHHmmss 書式</p>
5	PayInfoNo	-	string	16	決済情報番号	<p>オーソリ処理が正常終了した時に振り出される番号です。</p> <p>お客様が au ID 画面で確認できます。</p>
6	PayMethod	-	string	2	支払方法	<p>支払方法です。</p> <p>01 : 合算 02 : クレジットカード 03 : WebMoney 05 : au PAY 残高 (※) 06 : au PAY カード (※)</p> <p>お客様が au ID 画面で確認できます。 ※05、06 は au 随時契約がある場合のみ返却され、契約が無い場合は 01 が返却されます。</p>
7	ErrCode	-	array	3	エラーコード	<p>エラー発生時のみ値を設定します。</p> <p>複数ある場合は " " で接続された文字列 (※1)</p>
8	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	<p>エラー発生時のみ値を設定します。</p> <p>複数ある場合は " " で接続された文字列 (※1)</p>

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

8.2. 決済の内容をキャンセル・返品する

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセル・返品することが可能です。

- 精算後（売上確定した翌月以降）のキャンセルは、返品となります。
- WebMoneyのキャンセル・返品はできません。
- 返品の場合、実売上した金額以内で、一部返品が可能です。
- 返品は、1オーダーIDにつき1度のみ可能です。一部返品したオーダーについて、追加の返品はできません。

キャンセル可能期間は、以下の通りです。

- 仮売上のキャンセル：仮売上後90日以内
- 実売上のキャンセル：実売上処理した月内

返品可能期間は、以下の通りです。

- 売上確定月の翌月から翌々月末日まで

8.2.1. 決済内容をキャンセル・返品する流れ

以下に、決済の内容をキャンセル・返品する流れをご説明します。

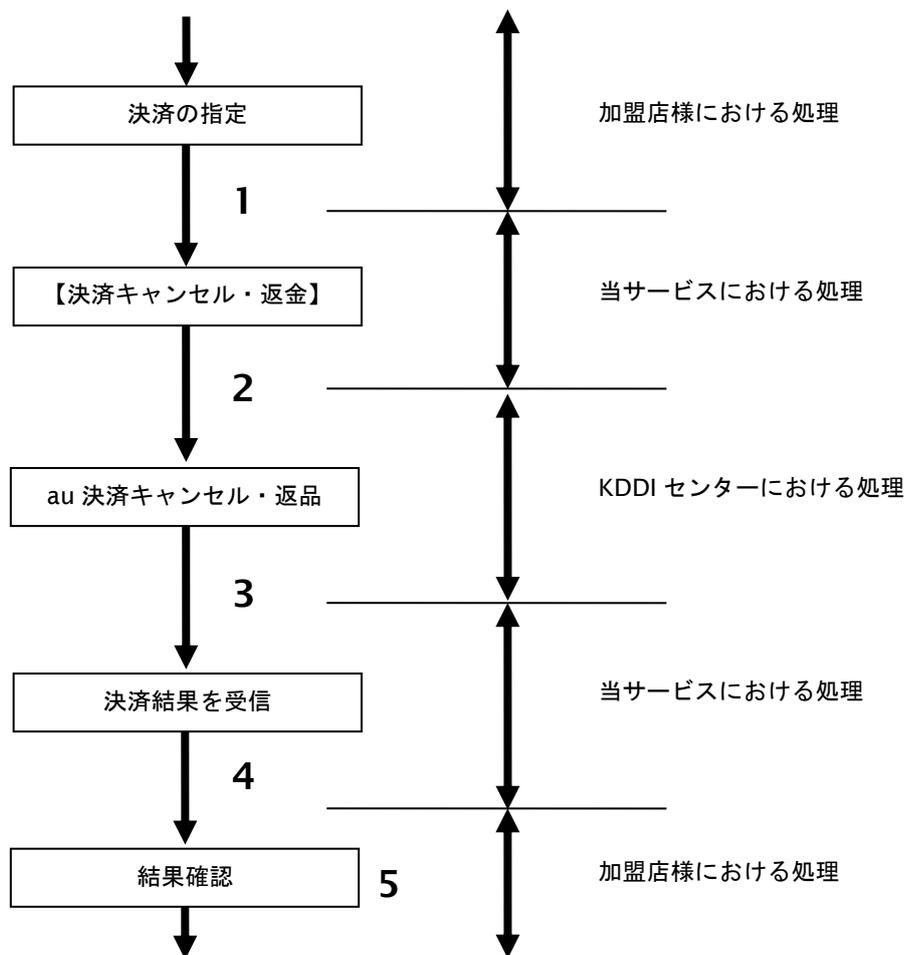


図 8.2.1-1 決済キャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済キャンセル・返金】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセル・返品リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、キャンセル・返品結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセル・返品の結果を確認します。

8.2.2. 各インタフェース仕様詳細

8.2.2.1. 決済キャンセル・返品

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【AuCancelReturn】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	AuCancelReturnInput	AuCancelReturnOutput	プロトコルタイプの決済キャンセル・返品インタフェースを使用します。

【AuCancelReturnInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AuCancelReturnOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	CancelAmount	◎	integer	7	キャンセル金額	
7	CancelTax		integer	7	キャンセル税送料	キャンセル金額+キャンセル税送料をキャンセル金額とします。(1円以上) キャンセル金額はオーソリ時の金額を指定してください。 ※0円の場合はエラーとする。 ※精算後(売上確定した翌月以降)のキャンセルのみ一部返品可能です。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	
2	Status	-	string	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL : キャンセル ・ RETURN : 返品 キャンセル・返品失敗時はキャンセル・返品処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	integer	7	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額 5000 円よりキャンセル金額 3000 円 => 利用金額 2000 円
4	Tax	-	integer	7	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料 250 円よりキャンセル税送料 150 円 => 税送料 100 円
5	CancelAmount	-	integer	7	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
6	CancelTax	-	integer	7	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
7	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
8	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

8.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- ・ 仮売上可能期間は、仮売上後90日以内です。
- ・ オーソリした金額以内で、金額を指定した実売上が可能です。
- ・ 実売上は、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上する事はできません。
- ・ 合算決済の場合のみ一部売上確定可能です。

詳細は、「1.2.1. 取引について」の内容を参照ください

8.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れをご説明します。

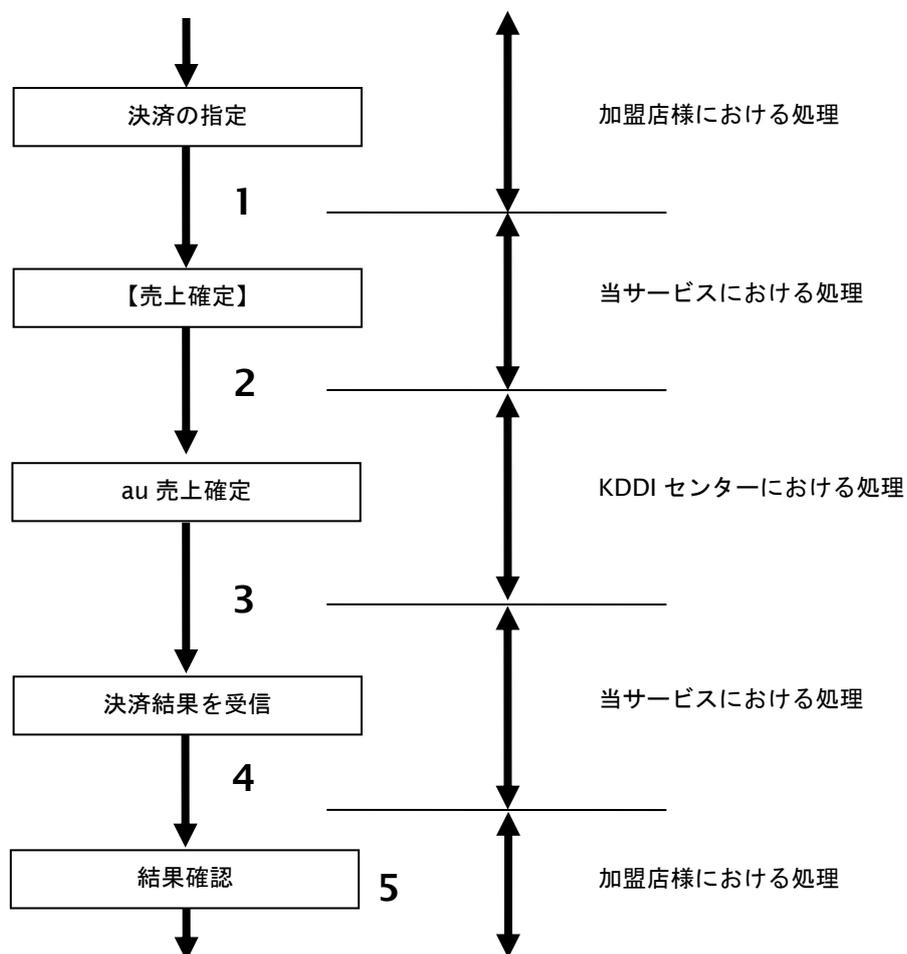


図 8.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【売上確定】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の売上確定リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、売上確定結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、売上確定結果を返します。
5. 加盟店様は、売上確定結果をお客様に表示します。

8.3.2. 各インタフェース仕様詳細

8.3.2.1. 実売上

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【AuSales】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	AuSalesInput	AuSalesOutput	プロトコルタイプの売上確定インタフェースを使用します。

【AuSalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AuSalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	Amount	◎	integer	7	利用金額	
7	Tax		integer	7	税送料	利用金額+税送料が売上金額となります(1円以上) ※0円の場合はエラーとします。 ※オーソリ時より大きい金額の場合はエラーとします。 ※オーソリ時と異なる金額の場合は、指定された金額で売上を確定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダ ID	
2	Status	-	string	-	現状態	売上確定成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES : 実売上 売上確定失敗時は売上確定処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	integer	7	利用金額	売上確定した利用金額を返却します。
4	Tax	-	integer	7	税送料	売上確定したを税送料を返却します。
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

8.4. OpenID 解除を行う

サイト ID、会員 ID を指定すると、該当会員の OpenID 解除を行います。お客様のサービス停止や新しい OpenID の取得が必要になった場合に、OpenID 解除を行ってください。

8.4.1. OpenID 解除を行う流れ

以下に、OpenID 解除を行う流れをご説明します。

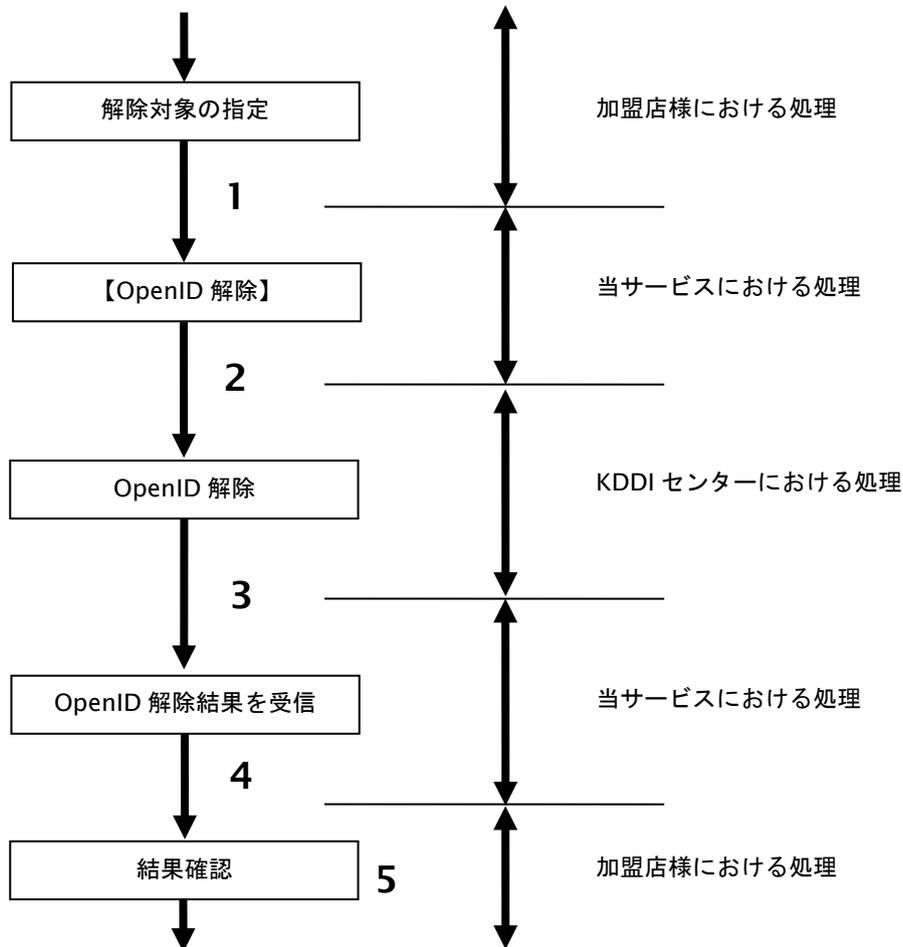


図 8.4.1-1 OpenID 解除の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、OpenID を解除するサイト ID とサイトパスワードと会員 ID を指定し、当サービスの **【OpenID 解除】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された会員の OpenID 解除リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、OpenID 解除結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、OpenID 解除結果を返します。
5. 加盟店様は、OpenID 解除結果を確認します。

8.4.2. 各インタフェース仕様詳細

8.4.2.1. OpenID 解除インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

OpenID 解除を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DeleteAuOpenID】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DeleteAuOpenIDInput	DeleteAuOpenIDOutput	プロトコルタイプの OpenID 解除インタフェースを使用します。

【DeleteAuOpenIDInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【DeleteAuOpenIDOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	SiteID	◎	string	13	サイト ID	
2	SitePass	◎	string	10	サイトパスワード	
3	MemberID	◎	string	60	会員 ID	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	SiteID	-	string	13	サイト ID	OpenID 解除が正常終了の場合は指定された SiteID が返却されます。
2	MemberID	-	string	60	会員 ID	OpenID 解除が正常終了の場合は指定された MemberID が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

9. au PAY (au かんたん決済) 継続課金インターフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインターフェース詳細についてご説明します。

9.1. au PAY (au かんたん決済) 継続課金実行する

購入時にお客様が au PAY (au かんたん決済) 継続課金に必要な情報を入力してから決済依頼します。

9.1.1. au PAY (au かんたん決済) 継続課金の流れ

以下に、au PAY (au かんたん決済) 継続課金の流れをご説明します。

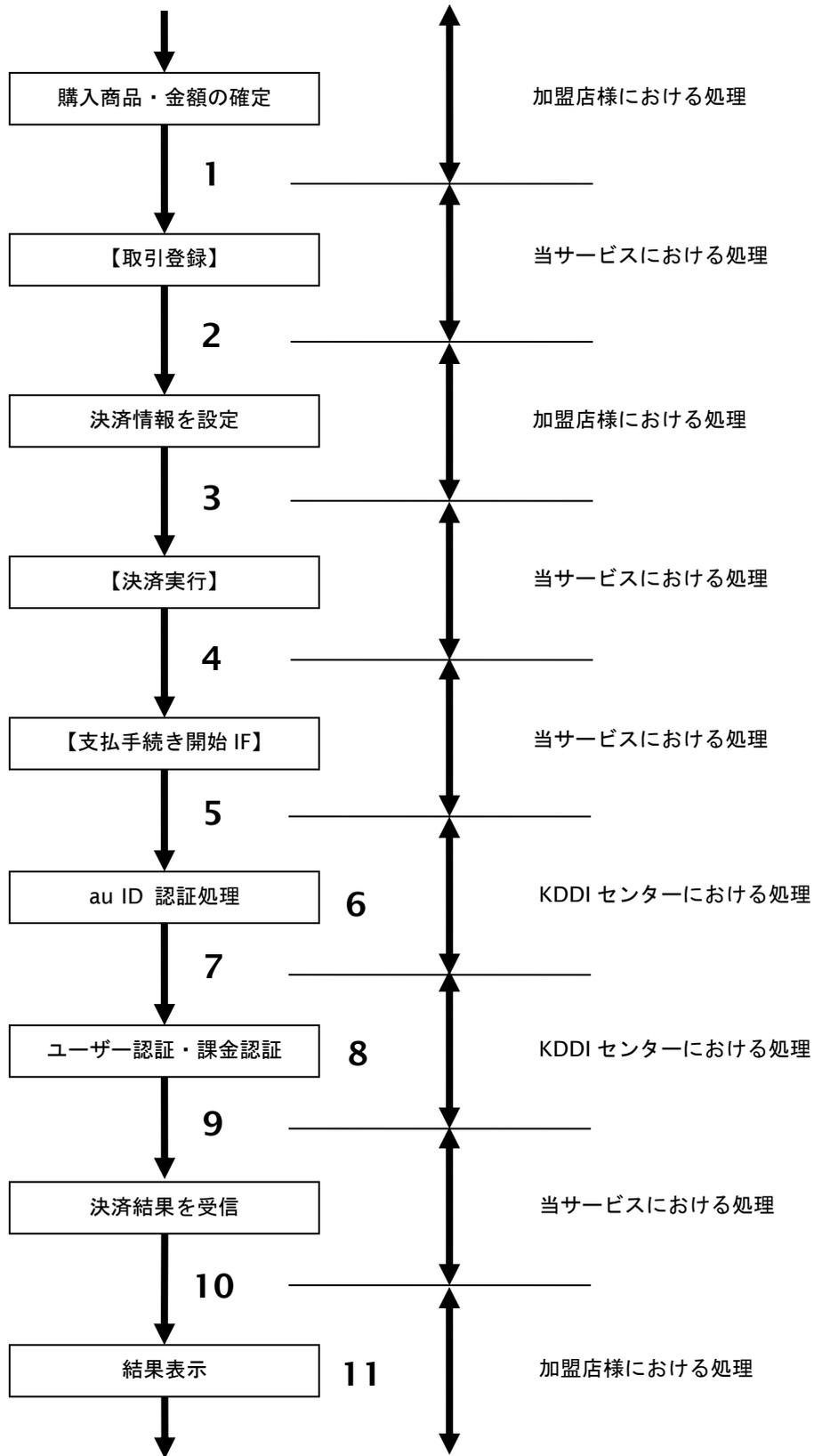


図 9.1.1-1 au PAY (au かんたん決済) 継続課金の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの au ID 認証画面に誘導します。
6. お客様は、KDDI センターの au ID 認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用しお客様を KDDI センターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、au PAY（au かんたん決済）の決済画面にて支払操作を行います。
9. KDDI センターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

9.1.2. 各インタフェース仕様詳細

9.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranAuContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranAuContinuanceInput	EntryTranAuContinuanceOutput	au PAY (au かんたん決済) 継続課金の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranAuContinuanceInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranAuContinuanceOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	String	27	オーダーID	
4	Amount	◎	Integer	7	課金利用金額	課金利用金額+課金税送料で 1 円以上 9,999,999 円以下である必要があります。
5	Tax		Integer	7	課金税送料	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※: 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※: 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

9.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranAuContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranAuContinuanceInput	ExecTranAuContinuanceOutput	au PAY (au かんたん決済) 継続課金の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranAuContinuanceInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranAuContinuanceOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	
6	SiteID	●	String	13	サイト ID	会員 ID 指定時は必須
7	SitePass	●	String	10	サイト Pass	会員 ID 指定時は必須
8	MemberID	●	String	60	会員 ID	
9	MemberName		String	255	会員名	
10	CreateMember	●	String	1	会員作成フラグ	会員が存在しない場合の動作を指定します。 0 : 登録しない。 会員が存在しない場合、エラーを返す 1 : 登録する。 会員が存在しない場合、新規登録する 会員 ID 指定時は必須
11	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
12	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
13	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
14	Commodity	◎	String	48	摘要	エンドユーザが継続課金を認識できる説明、および課金のタイミングを明記します。 ※内容が不適切な場合は au PAY (au かんたん決済) サービスが利用停止されることもあります。 記入例 毎月 1 日課金 毎月月末課金 利用開始されて日付にて毎月課金 ※設定可能な文字は「全角文字」です。 全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

15	AccountTimingKbn	◎	String	2	課金タイミング区分	“01”：課金タイミングで指定 “02”：月末
16	AccountTiming	●	String	2	課金タイミング	1~28 で設定。(29,30,31 は指定不可)
17	FirstAccountDate	◎	String	8	初回課金日	当日から 6 ヶ月先までの間の日を yyyyMMdd フォーマットで指定。 最大値 (6 ヶ月先) の例 6/17→12/17、8/31→2/28(29)
18	RetURL	◎	String	256	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定。 KDDI センター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信。
19	PaymentTermSec		Integer	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限。 最大 86,400 秒 (1 日) 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理される。
20	ServiceName	◎	String	48	表示サービス名	加盟店様のサービス名称。 お客様の購入履歴などに表示される。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
21	ServiceTel	◎	String	15	表示電話番号	加盟店様の電話番号。 お客様の購入履歴などに表示される。 設定可能な文字は「半角数字と” - “(ハイフン)」です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	アクセス ID	
2	Token	-	String	256	トークン	
3	StartURL	-	String	256	支払手続き開始 IF の URL	
4	StartLimitDate	-	String	14	支払開始期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

9.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranAuContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranAuContinuanceInput	EntryExecTranAuContinuanceOutput	au PAY (au かんたん決済) 継続課金の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranAuContinuanceInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranAuContinuanceOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

9.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

au PAY (au かんたん決済) 継続課金において、お客様を KDDI センターの au one-ID 認証画面へと遷移させる必要があります。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	auContinuanceStart	pagePath, startURL, accessid, token, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	startURL	◎	string	256	支払手続き開始 IF の URL	
3	accessid	◎	string	32	取引 ID	
4	token	◎	string	256	トークン	
5	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="AuStart" action="{AuContinuanceStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        auかんたんの決済画面に遷移します。<br>
        ボタンをクリックしてください。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document. AuStart.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	String	32	取引 ID	
2	Token	◎	String	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

9.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

KDDI センターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップ ID	該当取引のショップ ID を返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダー ID	該当取引のオーダー ID を返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER : 継続課金登録 PAYFAIL : 決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	AuContinuAccountld	-	CHAR	16	決済情報番号	オーソリ処理が正常終了した時に振り出される番号です。 お客様が au ID 画面で確認できます。
6	AuPayMethod	-	CHAR	2	支払方法	支払方法です。 01 : 合算 02 : クレジットカード 06 : au PAY カード お客様が au ID 画面で確認できます。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

9.2. 課金を売上取消・返品する

課金日が到来し課金された課金に対して、売上取消または返金が可能です。取引の取引 ID・取引パスワードおよび課金月を指定すると、指定された課金月の課金内容を売上取消・返品することが可能です。

- ・ 売上取消可能期間は課金月の月内です。
- ・ 返金可能期間は課金月の翌月から翌々月末日までです。
- ・ 返品の場合、キャンセル金額を設定可能です。
- ・ 初回課金、次回以降課金の区別はありません。
- ・ 売上取消・返金は1回のみ実施可能です。

9.2.1. 継続課金を売上取消・返品する流れ

以下に、決済の内容を売上取消・返品する流れをご説明します。

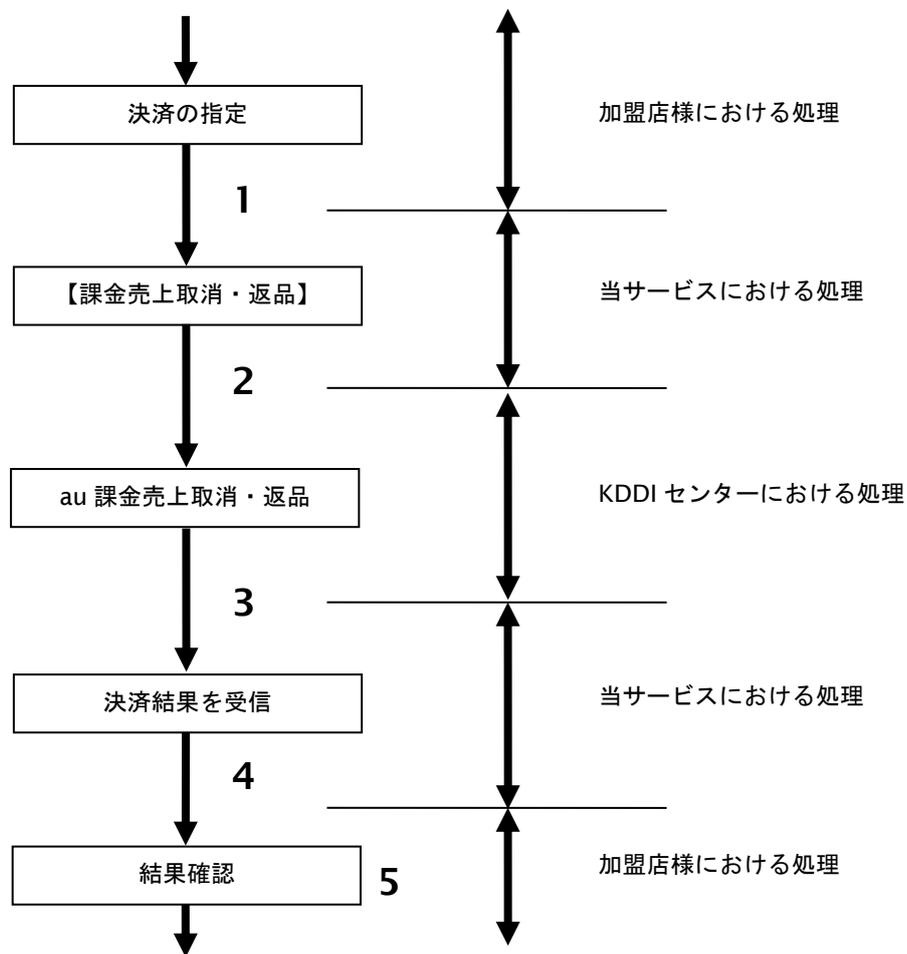


図 9.2.1-1 課金売上取消・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、売上取消・返品する課金の取引 ID と取引パスワードおよび課金月を指定し、当サービスの【課金売上取消・返品】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された課金の売上取消・返品リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、課金の売上取消・返品結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、売上取消・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、売上取消・返品の結果を確認します。

9.2.2. 各インタフェース仕様詳細

9.2.2.1. 課金売上取消・返品

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【AuContinuanceChargeCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	AuContinuanceChargeCancelInput	AuContinuanceChargeCancelOutput	プロトコルタイプの課金売上取消・返品インタフェースを使用します。

【AuContinuanceChargeCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AuContinuanceChargeCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	
6	CancelAmount	●	Integer	7	キャンセル金額	0 円以上、課金利用金額以内で指定します。 キャンセル金額 + キャンセル税送料で 1 円以上で設定する必要があります。 売上取消の場合は課金利用金額全額を指定します。 ※返金のみ金額指定可能です。
7	CancelTax	●	Integer	7	キャンセル税送料	0 円以上、課金税送料以内で指定します。 キャンセル金額 + キャンセル税送料で 1 円以上で設定する必要があります。 売上取消の場合は課金利用金額全額を指定します。 ※返金のみ金額指定可能です。
8	ContinuanceMonth	◎	String	6	課金月	売上取消・返金する課金月を設定します。 yyyyMM フォーマット

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	ContinuanceMonth	-	String	6	課金月	売上取消・返金処理を行った課金月を返却します (yyyyMM フォーマット)
3	Status	-	String	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL : キャンセル ・RETURN : 返品 キャンセル・返品失敗時はキャンセル・返金処理前のステータスが返却されます。
4	Amount	-	Integer	7	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額 5000 円よりキャンセル金額 3000 円 => 利用金額 2000 円
5	Tax	-	Integer	7	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料 250 円よりキャンセル税送料 150 円 => 税送料 100 円
6	CancelAmount	-	Integer	7	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
7	CancelTax	-	Integer	7	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
8	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

9.3. 継続課金を解約する

課金登録が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に登録した継続課金を解約することが可能です。
課金登録の解約とすでに課金されている各月の課金は連動しません。

- ・ 課金解約は登録後いつでも実行可能です。
- ・ 課金解約を実行すると、当該月またはその翌月から課金されなくなります。
- ・ 課金解約を実行しても、すでに発生した課金は売上取消・返金されません。

9.3.1. 継続課金を解約する流れ

以下に、継続課金を解約する流れをご説明します。

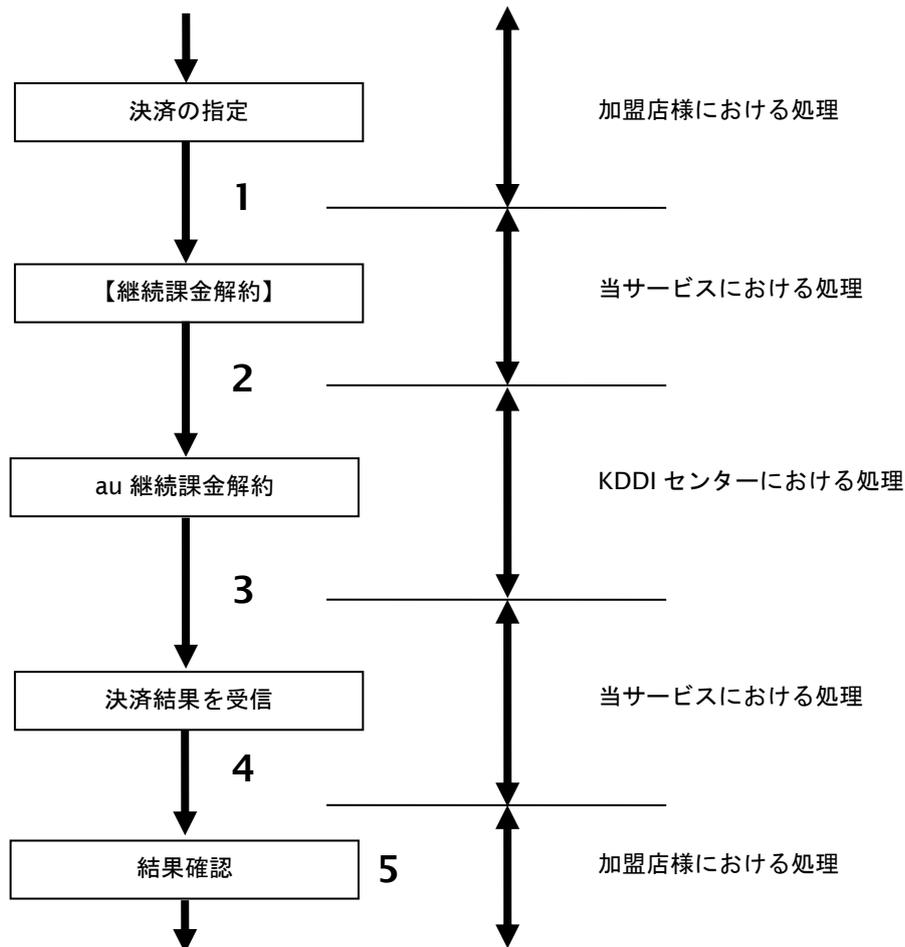


図 9.3.1-1 決済キャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、解約する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【継続課金解約】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された課金登録（取引）の解約リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、継続課金解約結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、継続課金解約結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金解約の結果を確認します

9.3.2. 各インタフェース仕様詳細

9.3.2.1. 継続課金解約

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【AuContinuanceCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	AuContinuanceCancel Input	AuContinuanceCancel Output	プロトコルタイプの継続課金解約 インタフェースを使用します。

【AuContinuanceCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AuContinuanceCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Status	-	String	-	現状態	継続課金解約成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL：継続課金解約 失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID～TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

9.4. OpenID 解除を行う

サイト ID、会員 ID を指定して該当会員の OpenID 解除が可能です。お客様のサービス停止や新しい OpenID の取得が必要になった場合に、OpenID 解除を使用してください。

※OpenID 連携を解除の前に、必ず継続課金解約を実施してください。

※OpenID 連携を解除すると自動的に KDDI センターにて継続課金が解約され、以後エンドユーザへ課金されなくなります。

OpenID 解除の詳細については「8.4. OpenID 解除を行う」を参照ください。

10. d 払い決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

10.1. d 払い決済実行する

購入時にお客様がd 払い決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

10.1.1. d払い決済の流れ

以下に、d 払い決済の流れをご説明します。

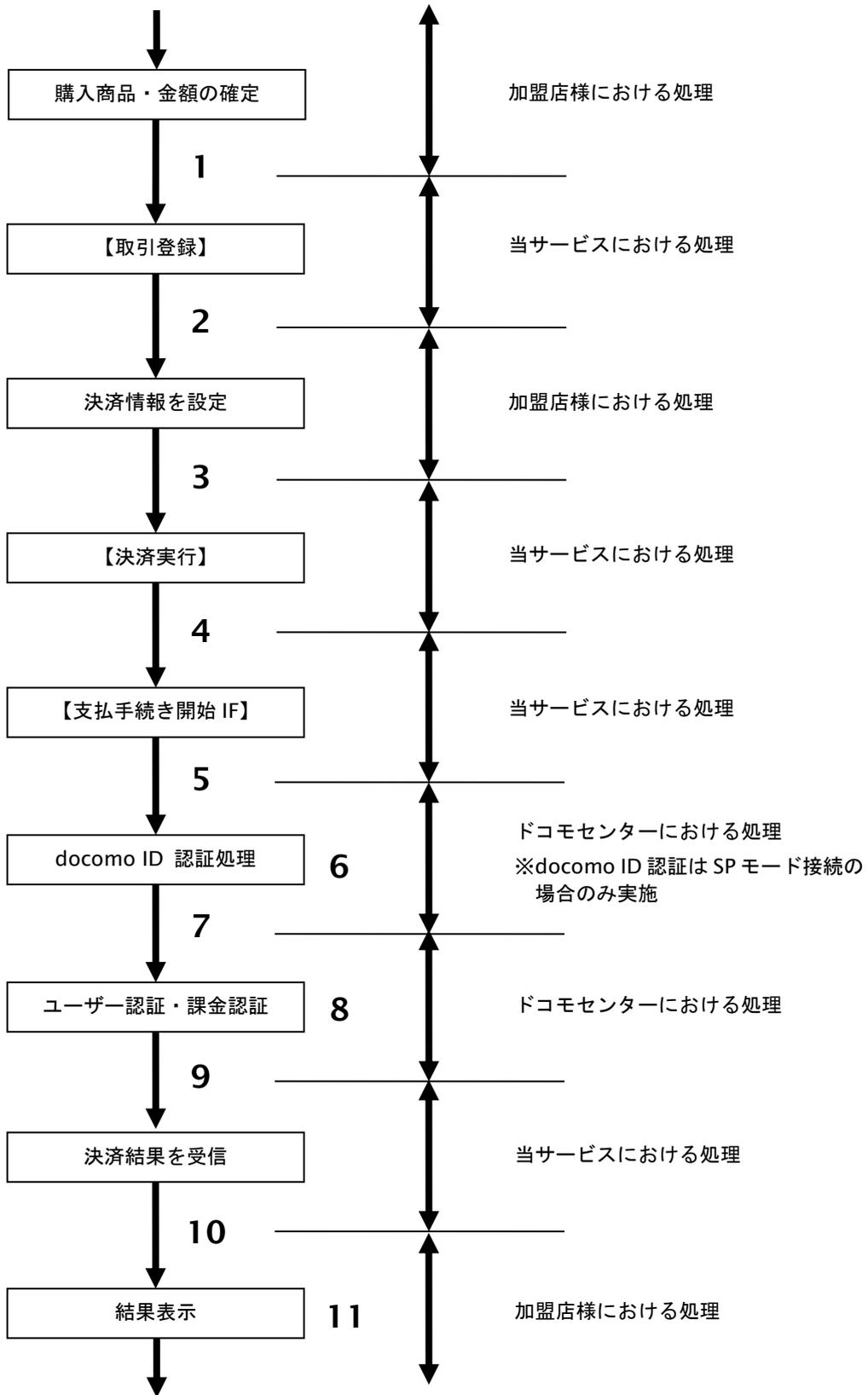


図 10.1.1-1 d 払い決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。
※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施
6. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、d 払い決済の決済画面にて支払操作を行います。
9. ドコモセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

10.1.2. 各インタフェース仕様詳細

10.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranDocomo】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranDocomoInput	EntryTranDocomoOutput	d 払い決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranDocomoInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranDocomoOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
4	JobCd	◎	string	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
5	Amount	◎	Integer	6	利用金額	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。
6	Tax		Integer	6	税送料	ドコモ料金合算払いの上限 : 10,000 円 ※お客様のご利用状況によって 30,000 円となります。 ドコモ口座払いの上限 : 500,000 円

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

10.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

随時決済を行う場合は、決済結果を返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranDocomo】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranDocomoInput	ExecTranDocomoOutput	d 払い決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranDocomoInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranDocomoOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
9	DocomoDisp1		string	40	ドコモ表示項目 1	sp モードの場合のみ、以下の d 払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。 改行が必要な場合は表示項目 1、表示項目 2 に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['][¥][/]以外となります。
10	DocomoDisp2		string	40	ドコモ表示項目 2	
11	RetURL	●	string	256	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。 随時決済の場合は設定不要です。

12	PaymentTermSec		integer	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限。 最大 86,400 秒 (1 日) 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理される
13	DispCompanyName		string	32	会社名(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する会社名です。 未指定の場合は、登録されている企業名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["]['][¥][/]以外です。 包括契約加盟店様のみ設定が可能です。
14	DispShopName		string	32	利用店舗名(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する店舗名です。 未指定の場合は、登録されているショップ名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["]['][¥][/]以外となります。
15	DispPhoneNumber		string	13 (※3)	連絡先電話番号(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する電話番号です。 設定可能な文字は半角数値と半角ハイフンのみです。
16	DispMailAddress		string	96 (※3)	メールアドレス(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するメールアドレスです。 設定可能な文字は半角英数字、[@](半角アットマーク)、[.](半角ピリオド)、[-](半角ハイフン)、[_](半角アンダースコア)のみとなります。
17	DispShopUrl		string	96 (※3)	問い合わせ URL(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する URL です。 設定可能な文字は半角英数と["]['][¥]以外の半角記号となります。 尚、"/"(半角スラッシュ)は 4 バイトとしてカウントされます。
18	DocomoCompanyCode		string	20	企業コード	NTT ドコモ社へ申請済の企業コードを設定します。 ネット包括契約加盟店様のみ設定が可能です。
19	DocomoShopCode		string	20	店舗コード	NTT ドコモ社へ申請済の店舗コードを設定します。 ネット包括契約加盟店様のみ設定が可能です。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：docomo と直接契約している加盟店様は、DispCompanyName～DispShopUrl の指定は不要です。

※2：ネット包括契約加盟店様は、DispCompanyName～DispShopUrl の値は無視され、企業コード、店舗コードに紐づいた内容が利用画面や明細に表示されます。

※3：DispPhoneNumber～DispShopUrl の設定値の合計バイト数を 96 バイト以内にしてください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	string	32	アクセス ID	
2	Token	-	string	256	トークン	
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	
4	StartLimitDate	-	string	14	支払開始期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

10.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranDocomo】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranDocom oInput	EntryExecTranDocom oOutput	d 払い決済の取引登録と決済実行 インタフェースを使用して、決済を実 施します。

【EntryExecTranDocomoInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranDocomoOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

10.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	docomoStart	pagePath, docomoStartInput, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessid	◎	string	32	取引 ID	
3	token	◎	string	256	トークン	
4	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name=" DocomoStartCall " action="{DocomoStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        d 払いの決済画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token " value="{Token}">
</form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document. DocomoStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	
2	Token	◎	string	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

10.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

ドコモセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

この決済結果は、ドコモセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショッピング管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTHPROCESS：認証中 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 お客様が My docomo 画面で確認できません。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

10.2. 決済の内容をキャンセル・返品する

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセル・返品することが可能です。

- ドコモセンターは24:00までに正常に受付けた取引を当日分として処理します。
- 仮売上の3秒後からキャンセル・返品が可能となります。
- 即時売上、実売上の1分後からキャンセル・返品が可能となります。
- すでに利用者に対しドコモから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。
- キャンセル可能期間は取引が発生した翌々月末20:00までです。
- 返品可能期間は取引が発生した日から179日後の20:00までです。一部返品も同様です。
- 取引の現状態が即時売上、実売上の場合、一部返品が可能です
- 取引の現状態が即時売上、実売上の場合、売上金額が0円になるまで一部返品が可能です。
(一部返品後、再度一部返品可能となるのは1分後です。)

10.2.1. 決済内容をキャンセル・返品する流れ

以下に、決済の内容をキャンセル・返品する流れをご説明します。

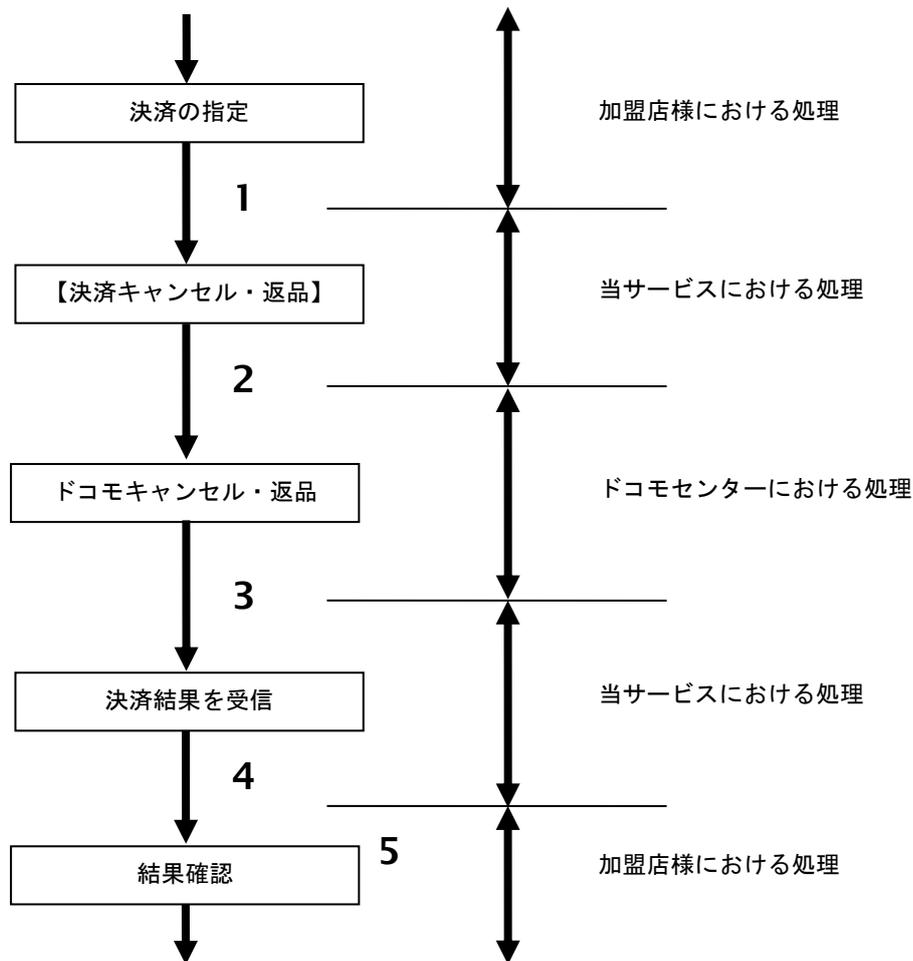


図 10.2.1-1 決済キャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済キャンセル・返品】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセル・返品リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、キャンセル・返品結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセル・返品の結果を確認します。

10.2.2. 各インタフェース仕様詳細

10.2.2.1. 決済キャンセル・返品

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoCancelReturn】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoCancelReturnInput	DocomoCancelReturnOutput	プロトコルタイプの決済キャンセル・返品インタフェースを使用します。

【DocomoCancelReturnInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【DocomoCancelReturnOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	CancelAmount	◎	Integer	6	キャンセル金額	キャンセル金額 + キャンセル税送料をキャンセル金額とします。(1 円以上)
7	CancelTax		Integer	6	キャンセル税送料	例) 請求 525 円より全額キャンセル→ キャンセル金額 : 525 請求 525 円より 210 円分キャンセル→ キャンセル金額 : 210

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：キャンセル
3	Amount	-	Integer	6	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額 5000 円よりキャンセル金額 3000 円 => 利用金額 2000 円
4	Tax	-	Integer	6	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料 250 円よりキャンセル税送料 150 円 => 税送料 100 円
5	CancelAmount	-	Integer	6	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
6	CancelTax	-	Integer	6	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
7	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
8	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

10.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- ・ 実売上可能期間は、取引登録した翌々月末20時までです。
- ・ オーソリ時の金額を減額して実売上が可能です。
- ・ 実売上は、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上することはできません。
- ・ 随時決済を行ったあとすぐに実売上を行う場合、3秒の待ち時間を入れてください。

10.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れをご説明します。

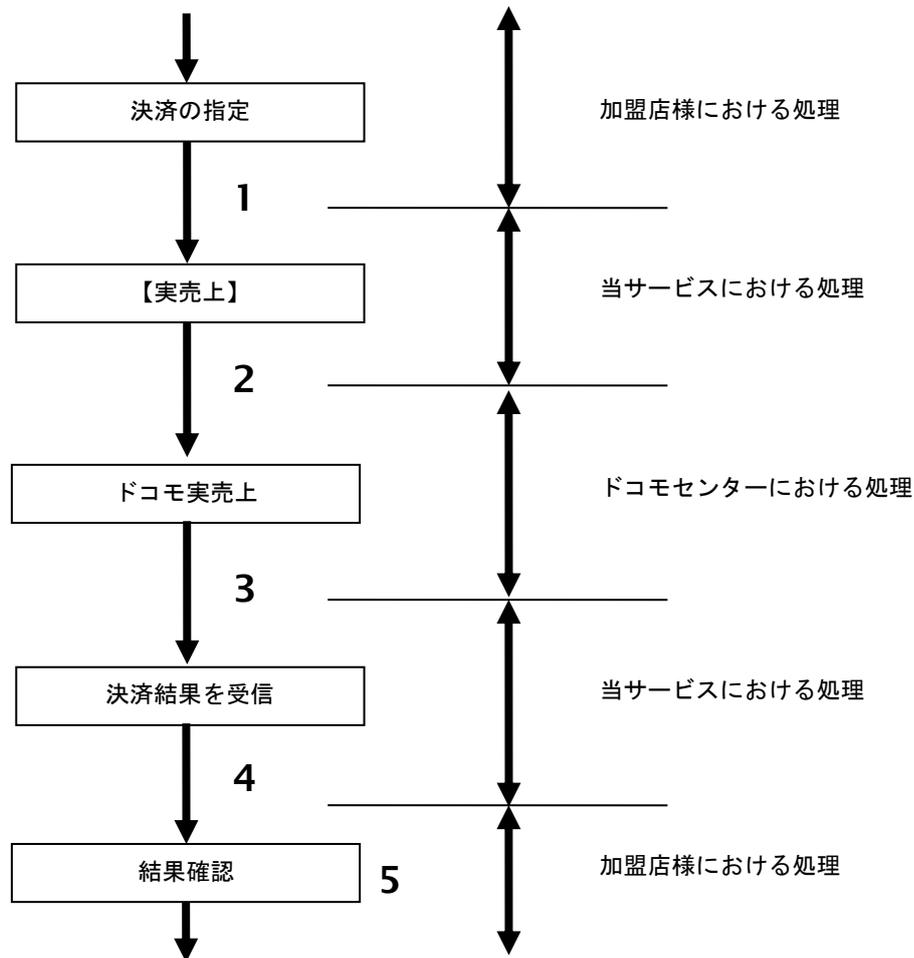


図 10.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【実売上】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、実売上結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、実売上結果を返します。
5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

10.3.2. 各インタフェース仕様詳細

10.3.2.1. 実売上

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoSales】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoSalesInput	DocomoSalesOutput	プロトコルタイプの実売上インタフェースを使用します。

【DocomoSalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【DocomoSalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	Amount	◎	Integer	6	利用金額	利用金額+税送料が売上金額となります(1円以上) ※合計が0円の場合はエラーとします。 ※オーソリ時より大きい金額の場合はエラーとします。
7	Tax		Integer	6	税送料	※オーソリ時と異なる金額の場合は、指定された金額で売上を確定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダ ID	
2	Status	-	string	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES 実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Integer	6	利用金額	実売上した利用金額を返却します。
4	Tax	-	Integer	6	税送料	実売上したを税送料を返却します。
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

10.4. 決済の内容を増額する

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済内容の増額が可能です。

- ・ ドコモセンターは24:00までに正常に受け付けた取引を当日分として処理します。
- ・ 即時売上、実売上の1分後から増額が可能となります。
- ・ キャンセル・返品可能期間は取引が発生した翌々月月末20:00までです。
- ・ 初回決済金額を超える増額はエラーとなります

10.4.1. 決済内容を増額する流れ

以下に、決済の内容を増額する流れをご説明します。

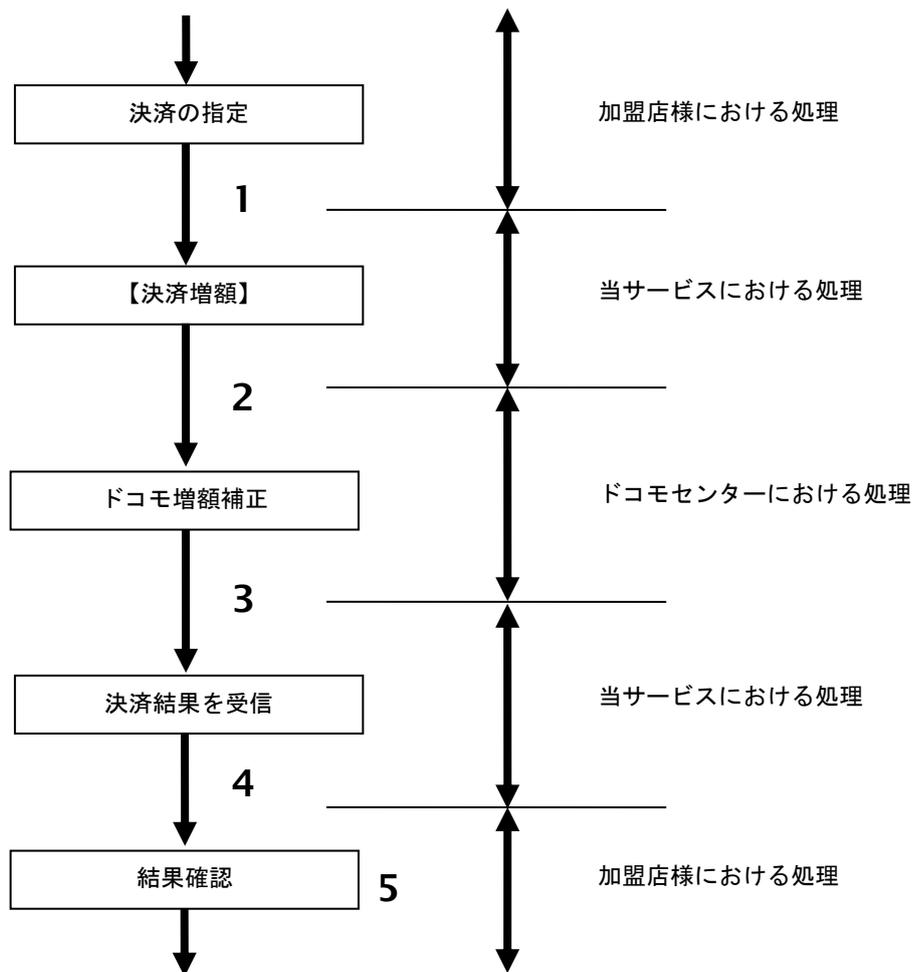


図 10.4.1-1 決済増額の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、増額する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【決済増額】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の増額補正リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、増額結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、増額結果を返します
5. 加盟店様は、決済増額の結果を確認します。

10.4.2. 各インタフェース仕様詳細

10.4.2.1. 決済増額

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomolIncrease】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomolIncreaseInput	DocomolIncreaseOutput	プロトコルタイプの決済増額インタフェースを使用します。

【DocomolIncreaseInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【DocomolIncreaseOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	IncreaseAmount	◎	Integer	6	増加金額	増加金額+増加税送料を増加金額とします。(1円以上)
7	IncreaseTax		Integer	6	増加税送料	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	増額成功時は以下のステータスが返却されます。 ・SALES: 実売上
3	Amount	-	Integer	6	利用金額	利用金額から増加金額を加算した結果を返却します。
4	Tax	-	Integer	6	税送料	税送料から増加税送料を加算した結果を返却します。
5	IncreaseAmount	-	Integer	6	増加金額	増加金額を返却します。
6	IncreaseTax	-	Integer	6	増加税送料	増加税送料を返却します。
7	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
8	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

11. ドコモ継続課金サービス決済インターフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインターフェース詳細についてご説明します。各インターフェースの呼び出しは HTTPS 通信にて行う必要があります。

11.1. ドコモ継続課金サービスを登録する

購入時にお客様がドコモ継続課金サービス決済に必要な情報を入力してから登録依頼します。

11.1.1. ドコモ継続課金サービス登録の流れ

以下に、ドコモ継続課金サービス登録の流れをご説明します。

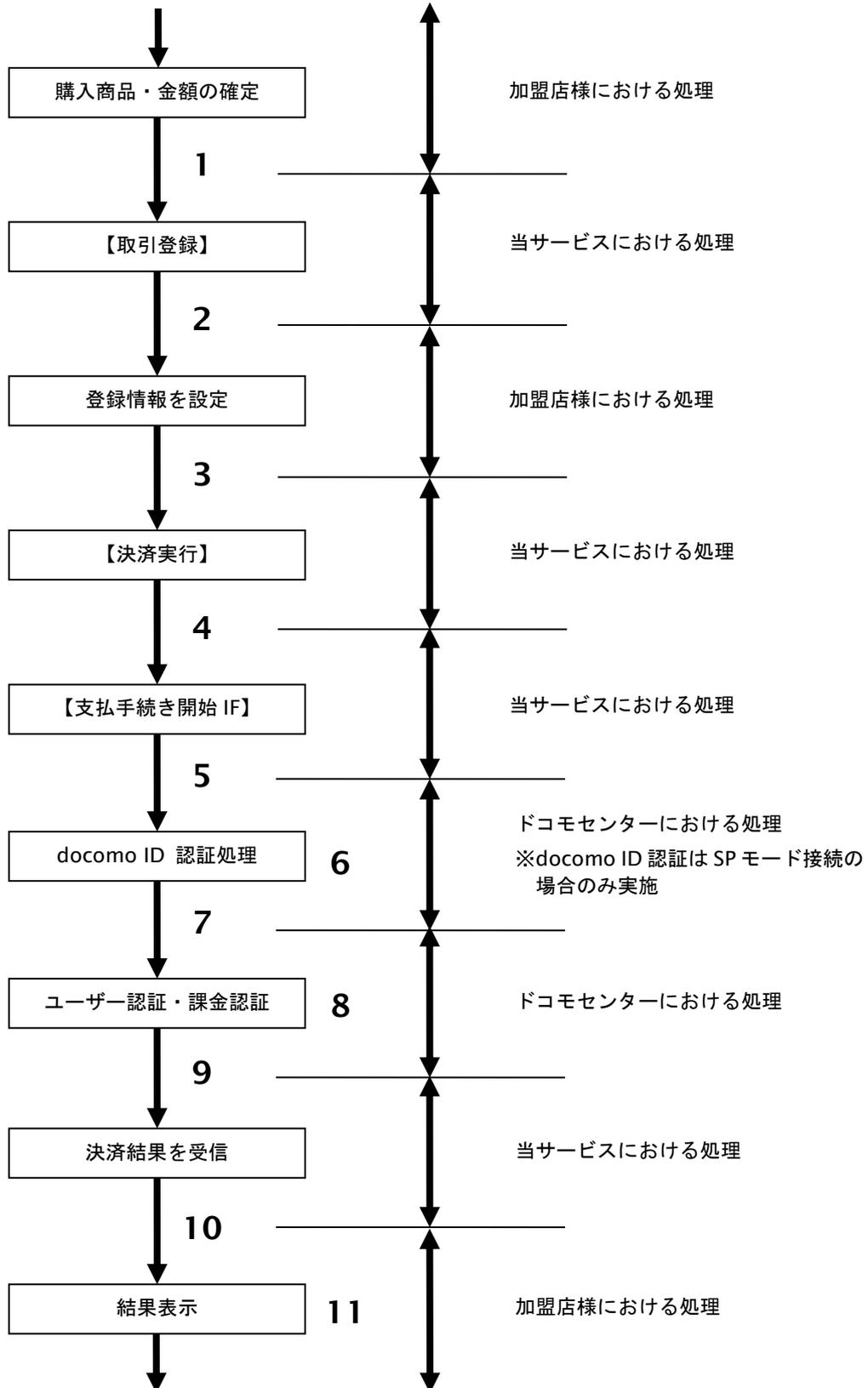


図 11.1.1-1 ドコモ継続課金サービス登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、申込情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。
※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施
6. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、ドコモ継続課金登録の登録画面にて支払操作を行います。
9. ドコモセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で登録結果を返します。
※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の処理結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。
11. 加盟店様は、登録結果をお客様に表示します。

11.1.2. 各インタフェース仕様詳細

11.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranDocomoContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranDocomoContinuanceInput	EntryTranDocomoContinuanceOutput	プロトコルタイプのドコモ継続課金取引登録インタフェースを使用します。

【EntryTranDocomoContinuanceInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranDocomoContinuanceOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	String	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	Integer	6	利用金額	
5	Tax		integer	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で 1 円以上ショップ上限金額以下である必要があります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	発行した ID を返却します。 ※: 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※: 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

11.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EnExecTranDocomoContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranDocomoContinuanceInput	ExecTranDocomoContinuanceOutput	プロトコルタイプのドコモ継続課金決済実行インタフェースを使用します。

【ExecTranDocomoContinuanceInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranDocomoContinuanceOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
9	DocomoDisp1		string	40	ドコモ表示項目 1	sp モードの場合のみ、以下の d 払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。
10	DocomoDisp2		string	40	ドコモ表示項目 2	改行が必要な場合は表示項目 1、表示項目 2 に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['][¥][/]以外となります。
11	RetURL	◎	string	256	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。

12	PaymentTermSec		integer	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。 最大 86,400 秒 (1 日) 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。
13	FirstMonthFreeFlag	◎	string	1	初月無料区分	初月の課金を無料にするか指定します。 0 : 初月無料にしない 1 : 初月無料にする
14	ConfirmBaseDate	◎	string	2	確定基準日	月々の継続課金を確定する日を指定します。 有効な日付は 10,15,20,25,31 です 尚、31 の場合は毎月月末に継続課金データを確定します。
15	DispCompanyName		string	32	会社名(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する会社名です。 未指定の場合は、登録されている企業名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え[" '] [¥] [/]以外です。 包括契約加盟店様のみ設定が可能です。
16	DispShopName		string	32	利用店舗名(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する店舗名です。 未指定の場合は、登録されているショップ名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え[" '] [¥] [/]以外となります。
17	DispPhoneNumber		string	13 (※3)	連絡先電話番号(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する電話番号です。 設定可能な文字は半角数値と半角ハイフンのみです。
18	DispMailAddress		string	96 (※3)	メールアドレス(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するメールアドレスです。 設定可能な文字は半角英数字、[@](半角アットマーク)、[.](半角ピリオド)、[-](半角ハイフン)、[_](半角アンダースコア)のみとなります。
19	DispShopUrl		string	96 (※3)	問い合わせ URL(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する URL です。 設定可能な文字は半角英数と[" '] [¥] 以外の半角記号となります。 尚、"/"(半角スラッシュ)は 4 バイトとしてカウントされます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1 : docomo と直接契約している加盟店様は、DispCompanyName~DispShopUrl の指定は不要です。

※2 : ネット包括契約加盟店様は、DispCompanyName~DispShopUrl の値は無視され、企業コード、店舗コードに紐づいた内容が利用画面や明細に表示されます。

※3 : DispPhoneNumber~DispShopUrl の設定値の合計バイト数を 96 バイト以内にしてください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	string	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	string	256	トークン	アクセス ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	StartLimitDate	-	string	14	支払開始期限日時	支払手続き開始 IF の呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

11.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranDocomoContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranDocom oContinuanceInput	EntryExecTranDocom oContinuanceOutput	ドコモ継続課金払い決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranDocomoContinuanceInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【E EntryExecTranDocomoContinuanceOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

11.1.2.4. 継続課金支払開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

お客様を ISP ごとに適切な画面に誘導します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	docomoContinuanceStart	pagePath, startURL, accessid, token, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	startURL	◎	string	256	支払手続き開始 IF の URL	
3	accessid	◎	string	32	取引 ID	
4	token	◎	string	256	トークン	
5	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoStartCall" action="{DocomoContinuanceStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        ドコモ継続課金サービスの支払画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.DocomoStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	
2	Token	◎	string	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

11.1.2.5. 支払結果受信

処理概要

ドコモセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

処理後に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：登録済 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	DocomoSettlementCode	-	CHAR	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 お客様が My docomo 画面で確認できます。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

11.2. 基本データの金額変更を行う

取引 ID・取引パスワード指定すると対象の基本データの金額変更が可能です。

変更した基本データ金額は翌月の課金データから適用されます。

- 金額変更実施方法は以下の2通りあります。
 1. 利用者の携帯端末から実施
 2. 加盟店様がインタフェースから実施
- 携帯端末からの変更の場合、増額・減額変更可能です。
- 加盟店様からの変更の場合、減額変更のみ可能です。
- 申込み、変更手続きから30分間は金額変更を受け付けできません。
- 月初の00:00～12:00までは携帯端末からの金額変更を受け付けていません。
- 月末20:00～翌12:00までは加盟店様からの金額変更を受け付けていません。

11.2.1. 携帯端末から基本データの金額変更を行う流れ

以下に、携帯端末から基本データの金額変更を行う流れをご説明します。

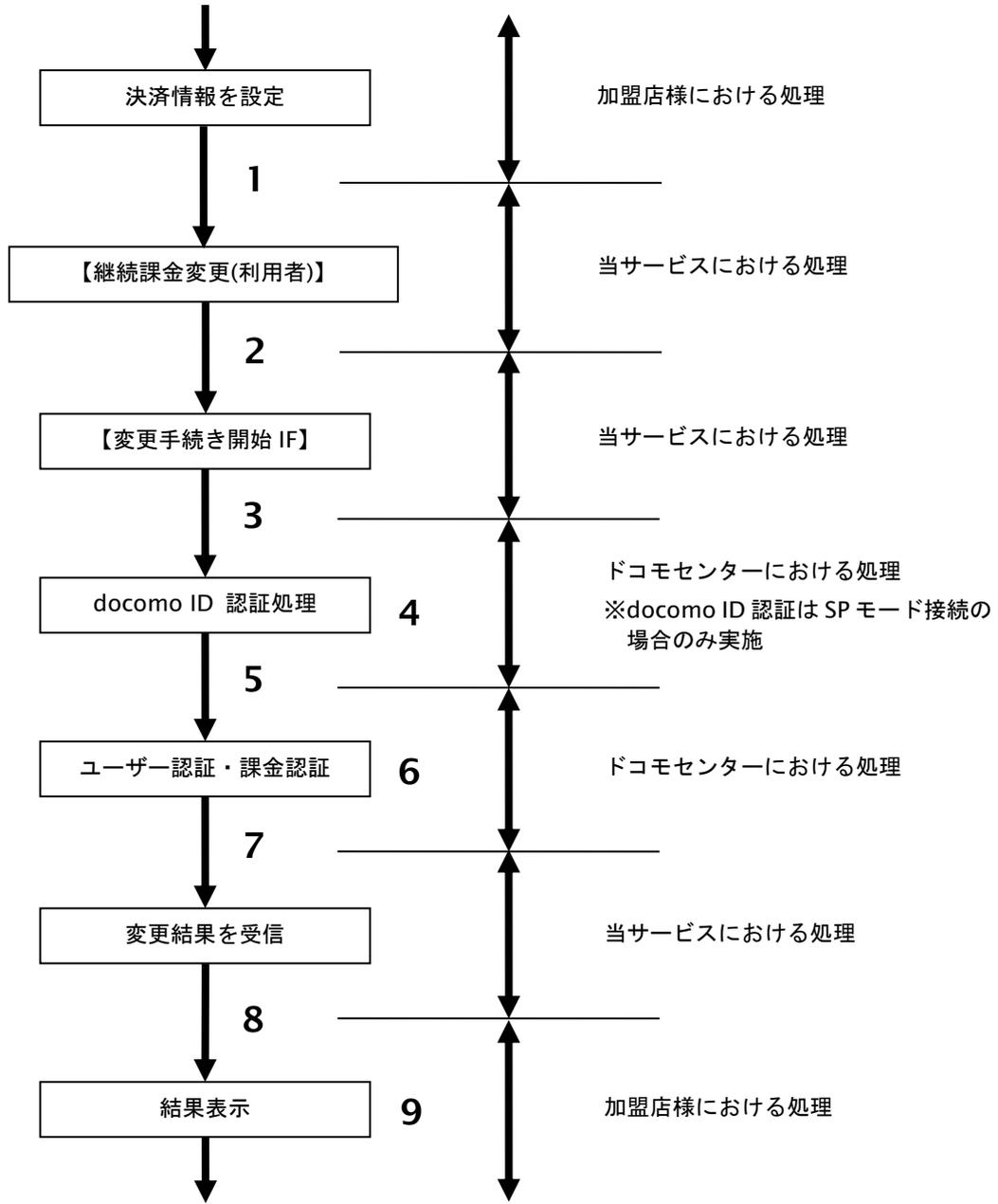


図 11.2.1-1 携帯端末から基本データ変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【**継続課金変更(利用者)**】を呼び出します。
2. 加盟店様は、お客様を当サービスの【**変更手続き開始 IF**】に誘導します。
3. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。
※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施
4. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの変更画面に誘導します。
6. お客様は、ドコモ継続課金決済の変更画面にて変更操作を行います。
7. ドコモセンターは、変更結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で変更結果を返します。
※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の変更結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。
9. 加盟店様は、変更結果をお客様に表示します。

11.2.2. 各インタフェース仕様詳細

11.2.2.1. 金額変更(利用者)

インタフェース概要

携帯端末から金額変更を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoContinuanceUserChange】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoContinuance UserChangeInput	DocomoContinuance UserChangeOutput	ドコモ継続課金の金額変更(利用者) インタフェースを使用します。

【DocomoContinuanceUserChangeInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【DocomoContinuanceUserChangeOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	Amount	◎	Integer	6	利用金額	
7	Tax		integer	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で 1 円以上ショップ上限金額以下である必要があります。
8	DocomoDisp1		string	40	ドコモ表示項目 1	sp モードの場合のみ、以下の d 払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。
9	DocomoDisp2		string	40	ドコモ表示項目 2	改行が必要な場合は表示項目 1 表示項目 2 分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['][¥][/]以外となります。

10	RetURL	◎	string	256	決済結果戻し URL	<p>加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。</p> <p>ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。</p>
11	PaymentTermSec		integer	5	支払開始期限秒	<p>お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。</p> <p>最大 86,400 秒（1 日）</p> <p>呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	string	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	string	256	トークン	アクセス ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	StartLimitDate	-	string	14	支払開始期限日時	支払手続き開始 IF の呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

11.2.2.2. 基本データ変更開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

お客様を ISP ごとに適切な画面に誘導します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	docomoContinuance Start	pagePath, startURL, accessid, token, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	startURL	◎	string	256	金額変更手続き開始 IF の URL	
3	accessid	◎	string	32	取引 ID	
4	token	◎	string	256	トークン	
5	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoStartCall" action="{DocomoContinuanceStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        ドコモ継続課金サービスの支払画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.DocomoStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	
2	Token	◎	string	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

11.2.3. 加盟店様から基本データの金額変更する

以下に、基本データの金額変更する流れをご説明します。

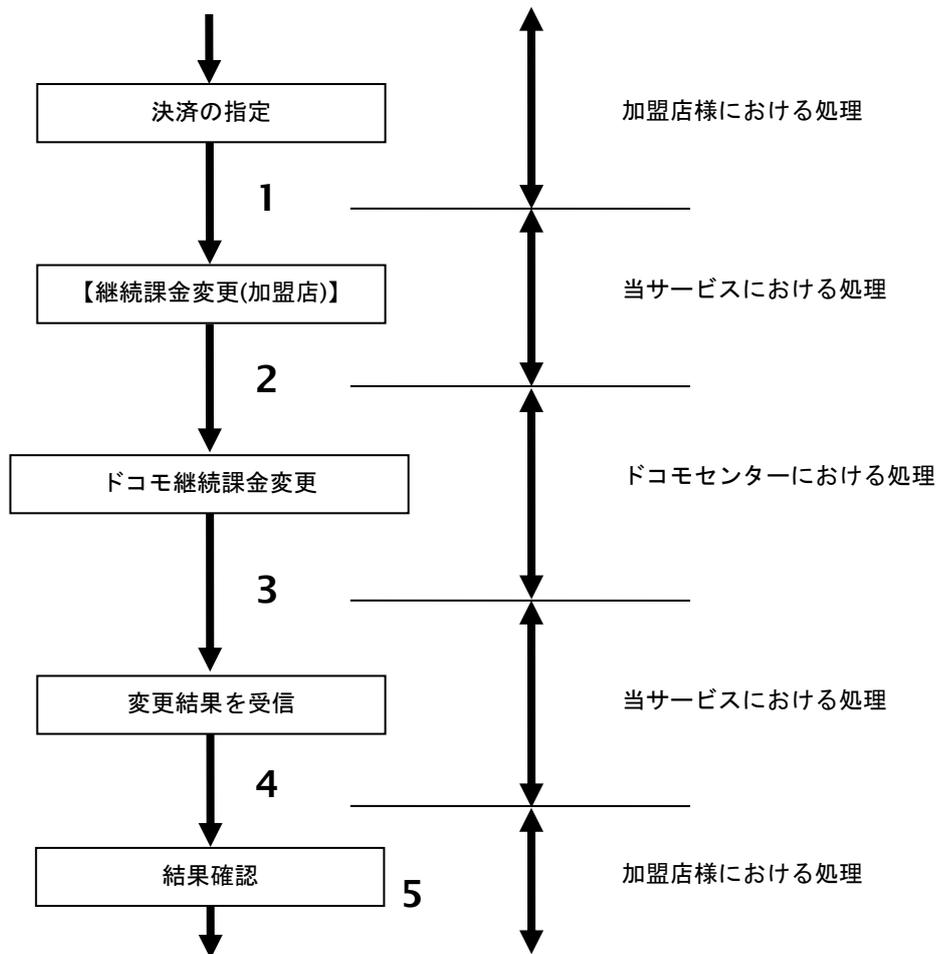


図 11.2.3-1 加盟店様からの基本データ金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する継続課金の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【継続課金金額変更(加盟店)】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された継続課金の金額変更リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、基本データ金額変更結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは基本データ金額変更結果を返します。
5. 加盟店様は、基本データ金額変更の結果を確認します。

11.2.4. 各インタフェース仕様詳細

11.2.4.1. 基本データ金額変更(加盟店)

インタフェース概要

加盟店様が基本データの金額変更を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoContinuanceShopChange】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoContinuanceShopChangeInput	DocomoContinuanceShopChangeOutput	ドコモ継続課金の金額変更(加盟店様)インタフェースを使用します。

【DocomoContinuanceShopChangeInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【DocomoContinuanceShopChangeOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	Amount	◎	Integer	6	利用金額	利用金額+税送料が変更金額となります。(1円以上)
7	Tax		integer	6	税送料	※変更前金額より大きい金額の場合はエラーとします。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	String	-	現状態	金額変更成功時は以下のステータスが返却されます。 ・RUN-CHANGE : 変更中
3	Amount	-	integer	6	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	integer	6	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

11.3. 継続課金の終了を行う

取引 ID・取引パスワード指定すると対象の継続課金の終了が可能です。

継続課金の終了を行うと、その月の月末で継続課金は終了されます。

- 継続課金の終了は、以下のいずれかで行うことができます。
 1. 利用者の携帯端末から実施
 2. 加盟店様がインタフェースから実施
- 終了月の課金データが処理中の場合、終了月無料を選択することはできません。
インタフェースパラメータエラーとなります。
- 申込み、金額変更手続きから 30 分間は継続課金の終了を受け付けできません。
- 月初の 00:00～12:00 までは携帯端末からの継続課金の終了を受け付けていません。
- 月末 20:00～翌 12:00 までは加盟店様からの継続課金の終了を受け付けていません。
- 加盟店様による継続課金の終了は、問題が発生した場合の対応などのみに行い、通常は携帯端末からの継続課金の終了を行ってください。

11.3.1. 携帯端末から継続課金の終了を行う流れ

継続課金の終了を行う流れをご説明します。

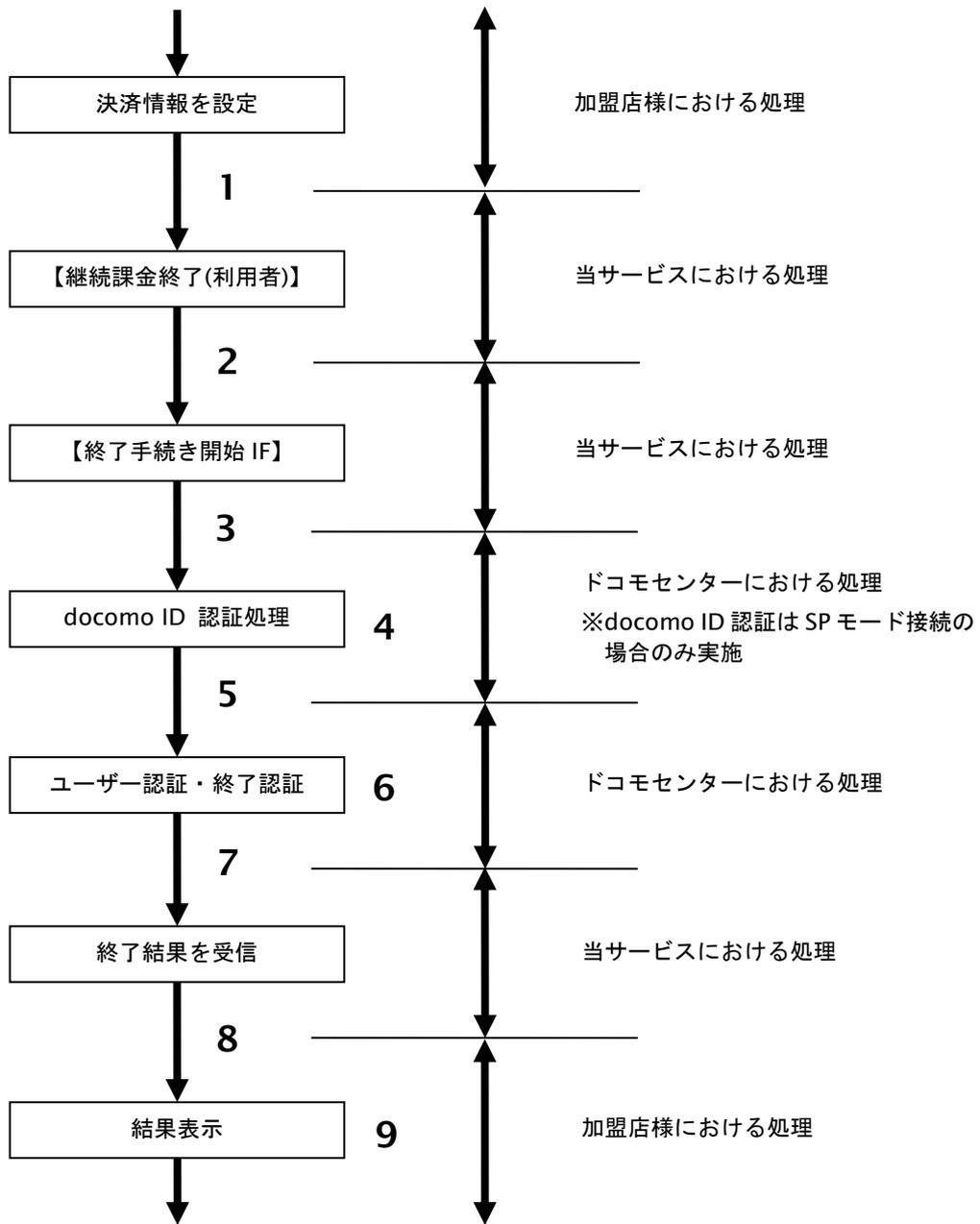


図 11.3.1-1 携帯端末から継続課金終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【継続課金終了(利用者)】を呼び出します。
2. 加盟店様は、お客様を当サービスの【継続課金終了手続き開始 IF】に誘導します。
3. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。
※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施
4. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、ドコモ継続課金終了の終了画面にて終了操作を行います。
7. ドコモセンターは、終了結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で終了結果を返します。
※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の終了結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。
9. 加盟店様は、終了結果をお客様に表示します。

11.3.2. 各インタフェース仕様詳細

11.3.2.1. 継続課金終了(利用者)

インタフェース概要

携帯端末から終了を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoContinuanceUserEnd】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoContinuanceUserEndInput	DocomoContinuanceUserEndOutput	ドコモ継続課金の終了(利用者)インタフェースを使用します。

【DocomoContinuanceUserEndInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【DocomoContinuanceUserEndOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	Amount	◎	integer	6	利用金額	現在の利用金額を指定します。
7	Tax		integer	6	税送料	現在の税送料を指定します。
8	DocomoDisp1		string	40	ドコモ表示項目 1	sp モードの場合のみ、以下の d 払い画面に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 決済内容確認画面 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。
9	DocomoDisp2		string	40	ドコモ表示項目 2	改行が必要な場合は表示項目 1、表示項目 2 に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['][¥][/]以外となります。

10	RetURL	◎	string	256	決済結果戻し URL	<p>加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。</p> <p>ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。</p>
11	PaymentTermSec		integer	5	支払開始期限秒	<p>お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。</p> <p>最大 86,400 秒 (1 日)</p> <p>呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。</p>
12	LastMonthFreeFlag	◎	string	1	終了月無料区分	<p>終了月の課金を無料にするか指定します。</p> <p>0 : 終了月無料にしない 1 : 終了月無料にする</p>

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	string	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	string	256	トークン	アクセス ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	StartLimitDate	-	string	14	支払開始期限日時	支払手続き開始 IF の呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

11.3.2.2. 継続課金終了開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

お客様を ISP ごとに適切な画面に誘導します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	docomoContinuanceStart	pagePath, startURL, accessid, token, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	startURL	◎	string	256	支払手続き開始 IF の URL	
3	accessid	◎	string	32	取引 ID	
4	token	◎	string	256	トークン	
5	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body onLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoStartCall" action="{DocomoContinuanceStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        ドコモ継続課金サービスの支払画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.DocomoStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	
2	Token	◎	string	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

11.3.3. 継続課金を終了する流れ

以下に、継続課金を終了する流れをご説明します。

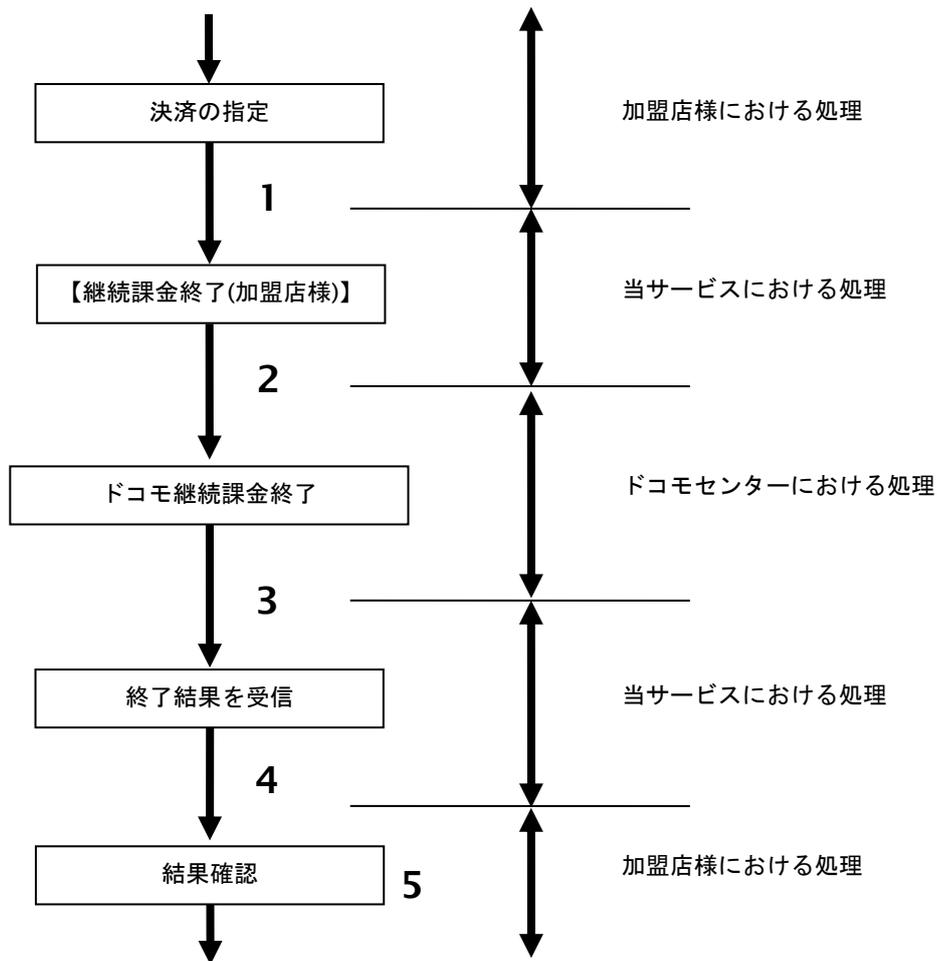


図 11.3.3-1 継続課金終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、終了する継続課金の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【継続課金終了(加盟店様)】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された継続課金の終了リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、継続課金終了結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、継続課金終了結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金終了の結果を確認します。

11.3.4. 各インタフェース仕様詳細

11.3.4.1. 継続課金終了(加盟店様)

インタフェース概要

継続課金の終了を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoContinuanceShopEnd】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoContinuanceShopEndInput	DocomoContinuanceShopEndOutput	ドコモ継続課金の終了(加盟店様)インタフェースを使用します。

【DocomoContinuanceShopEndInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【DocomoContinuanceShopEndOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	Amount	◎	integer	6	利用金額	現在の利用金額を指定します。
7	Tax		integer	6	税送料	現在の税送料を指定します。
8	LastMonthFreeFlag	◎	string	1	終了月無料区分	終了月の課金を無料にするか指定します。 0 : 終了月無料にしない 1 : 終了月無料にする

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	継続課金終了(加盟店様)要求成功時は以下のステータスが返却されます。 ・RUN-END: 終了中
3	Amount	-	integer	6	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	integer	6	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

11.4. 課金データを減額確定する

取引 ID・取引パスワード指定すると、当月未確定分の課金データを減額確定することが可能です。

- ・ 当月未確定の課金データを確定できます。
- ・ ドコモセンターは20:00までに正常に受け付けた取引を当日分として処理します。
- ・ すでに確定済みのデータを再度確定することはできません。
- ・ 減額確定のみ可能です。
- ・ 確定結果は日次課金ファイルにて通知します。
- ・ 減額確定に失敗した場合、当月は課金されません。

11.4.1. 課金データを減額確定する流れ

以下に、課金データの内容を減額確定する流れをご説明します。

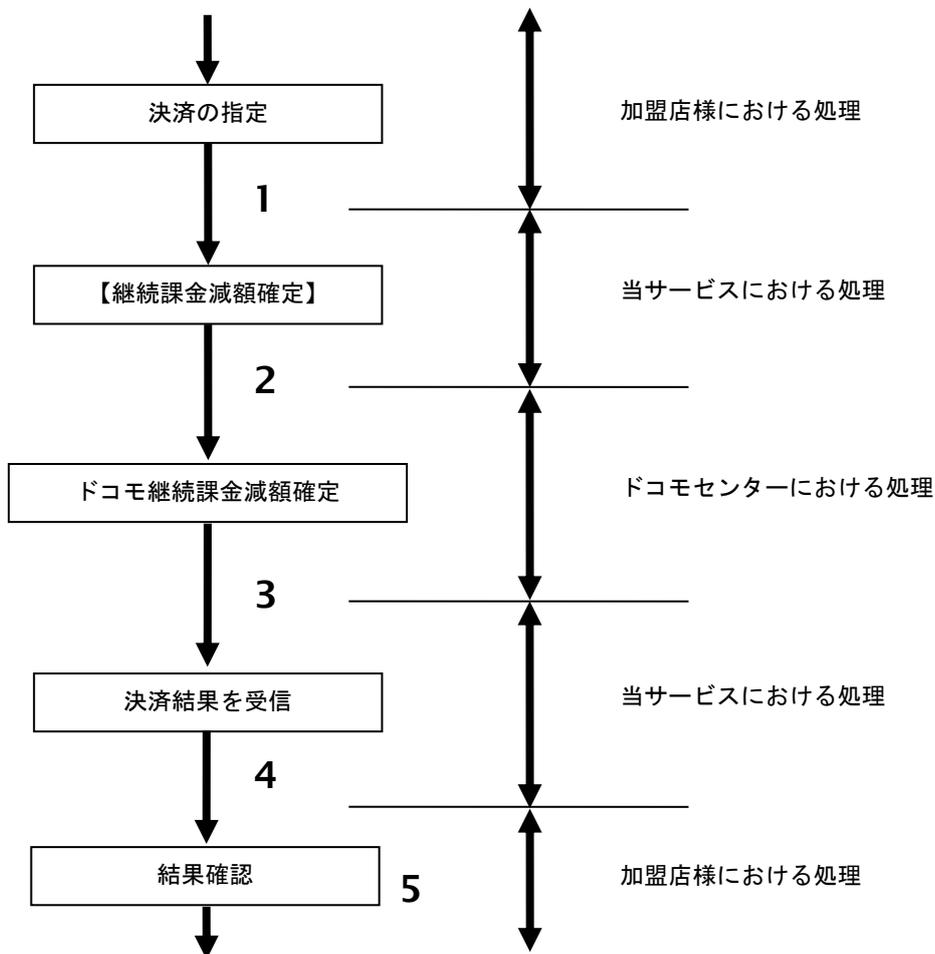


図 11.4.1-1 課金データ減額確定の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、減額確定する継続課金の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【継続課金減額確定】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された継続課金の減額確定リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、課金データ減額確定結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、課金データ減額確定結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金減額確定の結果を確認します。

11.4.2. 各インタフェース仕様詳細

11.4.2.1. 課金データ減額確定

インタフェース概要

課金データの減額確定を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoContinuanceSales】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoContinuanceSalesInput	DocomoContinuanceSalesOutput	ドコモ継続課金の減額確定インタフェースを使用します。

【DocomoContinuanceSalesInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【DocomoContinuanceSalesOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	Amount	◎	integer	6	利用金額	利用金額+税送料が減額確定金額となります(1円以上)
7	Tax		integer	6	税送料	※確定前金額より大きい金額の場合はエラーとします。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	減額確定成功時は以下のステータスが返却されます。 ・RUN：実行中
3	Amount	-	integer	6	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	integer	6	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

11.5. 課金データをキャンセル・返品する

取引 ID・取引パスワード・年月を指定すると、指定した課金データをキャンセル・返品することが可能です。

- ・ ドコモセンターは20:00までに正常に受け付けた取引を当日分として処理します。
- ・ 処理中の課金データのキャンセル・返品は不可です。
- ・ キャンセル・返品の取消はできません。
- ・ すでに利用者に対しドコモから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。
- ・ キャンセル可能期間は取引が発生した翌々月月末20:00までです。
- ・ 返品可能期間は取引が発生した日から179日後の20:00までです。一部返品も同様です。
- ・ 未確定データは全額キャンセルのみ可能です。

11.5.1. 課金データをキャンセル・返品する流れ

以下に、課金データをキャンセル・返品する流れをご説明します。

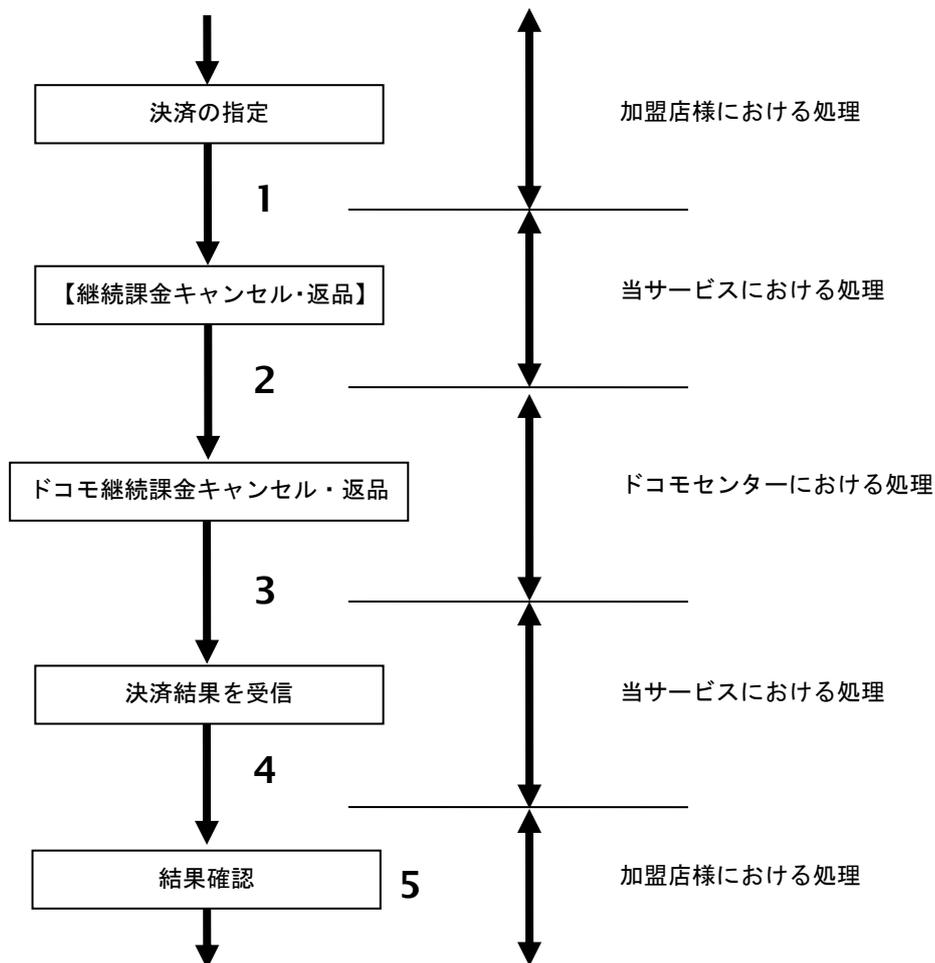


図 11.5.1-1 課金データキャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する継続課金の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの**【継続課金キャンセル・返品】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された継続課金のキャンセル・返品リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、継続課金キャンセル・返品結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、継続課金キャンセル・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金キャンセル・返品の結果を確認します。

11.5.2. 各インタフェース仕様詳細

11.5.2.1. 課金データキャンセル・返品

接続先 URL

/payment/DocomoContinuanceCancelReturn.idPass

インタフェース概要

課金データのキャンセル・返品を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoContinuanceCancelReturn】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoContinuanceCancelReturnInput	DocomoContinuanceCancelReturnOutput	ドコモ継続課金のキャンセル・返品インタフェースを使用します。

【DocomoContinuanceCancelReturnInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【DocomoContinuanceCancelReturnOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	CancelAmount	◎	integer	6	キャンセル金額	キャンセル金額 + キャンセル税送料をキャンセル金額とします。(1円以上)
7	CancelTax		integer	6	キャンセル税送料	例) 請求 525 円より全額キャンセル→キャンセル金額: 525 請求 525 円より 210 円分キャンセル→キャンセル金額: 210
8	ContinuanceMonth	◎	string	6	継続課金年月	キャンセル・返品する継続課金の年月を yyyyMM 形式で指定してください。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・RUN：処理中 キャンセル・返品はキャンセル・返品要求の翌営業日に確定されます。
3	Amount	-	integer	6	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額 500 円よりキャンセル金額 300 円 => 利用金額 200 円
4	Tax	-	integer	6	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料 250 円よりキャンセル税送料 150 円 => 税送料 100 円
5	CancelAmount	-	integer	6	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
6	CancelTax	-	integer	6	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
7	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
8	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

12. ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

12.1. ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済を実行する

購入時にお客様がソフトバンクまとめて支払い (B) 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

12.1.1. ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の流れ

以下に、ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の流れをご説明します。

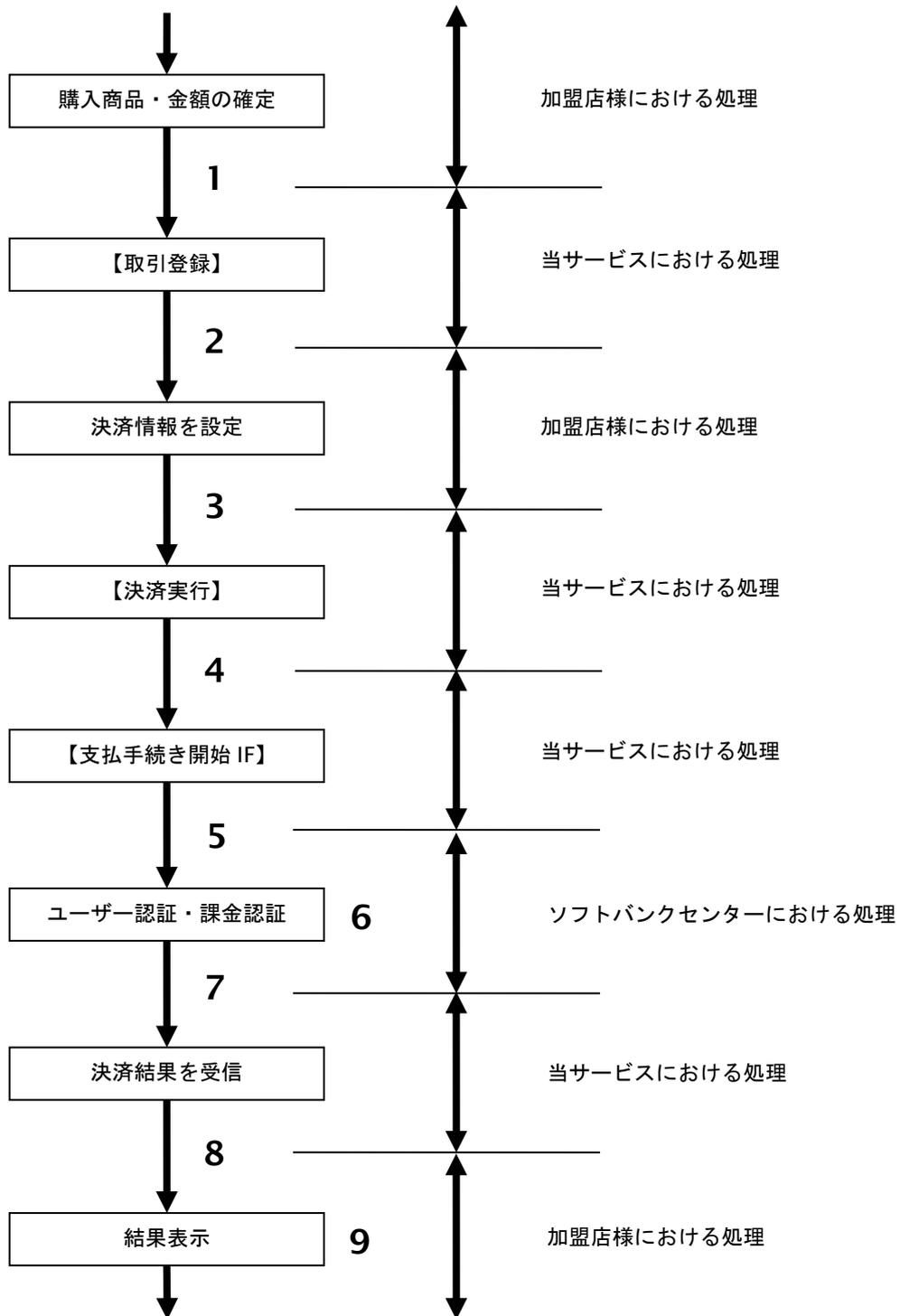


図 12.1.1-1 ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をソフトバンクセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の決済画面にて支払操作を行います。
7. ソフトバンクセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

12.1.2. 各インタフェース仕様詳細

12.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranSb】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranSbInput	EntryTranSbOutput	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranSbInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranSbOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	JobCd	◎	string	—	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
5	Amount	◎	Integer	6	利用金額	
6	Tax		Integer	5	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で1円以上10,000円以下である必要があります。 ソフトバンクまとめて支払い (B) の利用限度額初期設定は、3,000 円となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	発行した ID を返却します。 ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

12.1.2.2. 決済実行

インターフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranSb】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranSbInput	ExecTranSbOutput	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の決済実行インターフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranSbInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranSbOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
9	RetURL	◎	string	256	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 ソフトバンクセンター上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
10	PaymentTermSec		Integer	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。 最大 86,400 秒 (1 日) 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	string	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	string	256	トークン	アクセス ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	StartLimitDate	-	string	14	支払開始期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

12.1.2.3. 取引・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranSb】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranSbInput	EntryExecTranSbOutput	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranSbInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranSbOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

12.1.2.4. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	sbStart	pagePath, sbStartInput, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	token	◎	string	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。
4	encode	◎	string		リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読込の際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="SbStartCall" action="{SbStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        ソフトバンクケータイ支払いの決済画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.SbStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	String	32	取引 ID	
2	Token	◎	String	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力決済の内容をキャンセルする】

12.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

ソフトバンクセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップ ID	該当取引のショップ ID を返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダー ID	該当取引のオーダー ID を返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上 PAYFAIL : 決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	SbTrackingId	-	CHAR	14	ソフトバンク 処理トラッキング ID	オーソリ処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 お客様が利用履歴画面で確認できます。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

12.2. 決済内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。すでに利用者に対しソフトバンクから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。

キャンセル可能期間は以下のとおりです。

- ・ 売上が未確定の場合は、取引登録後 60 日間です。
- ・ 売上が確定済みの場合は、確定日を含めて 180 日間です。

※キャンセル期限を超過した場合はエラーコード” SB1000002” が返却されます。

キャンセルは、1オーダーIDにつき 1 度のみ実行可能です。

12.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れをご説明します。

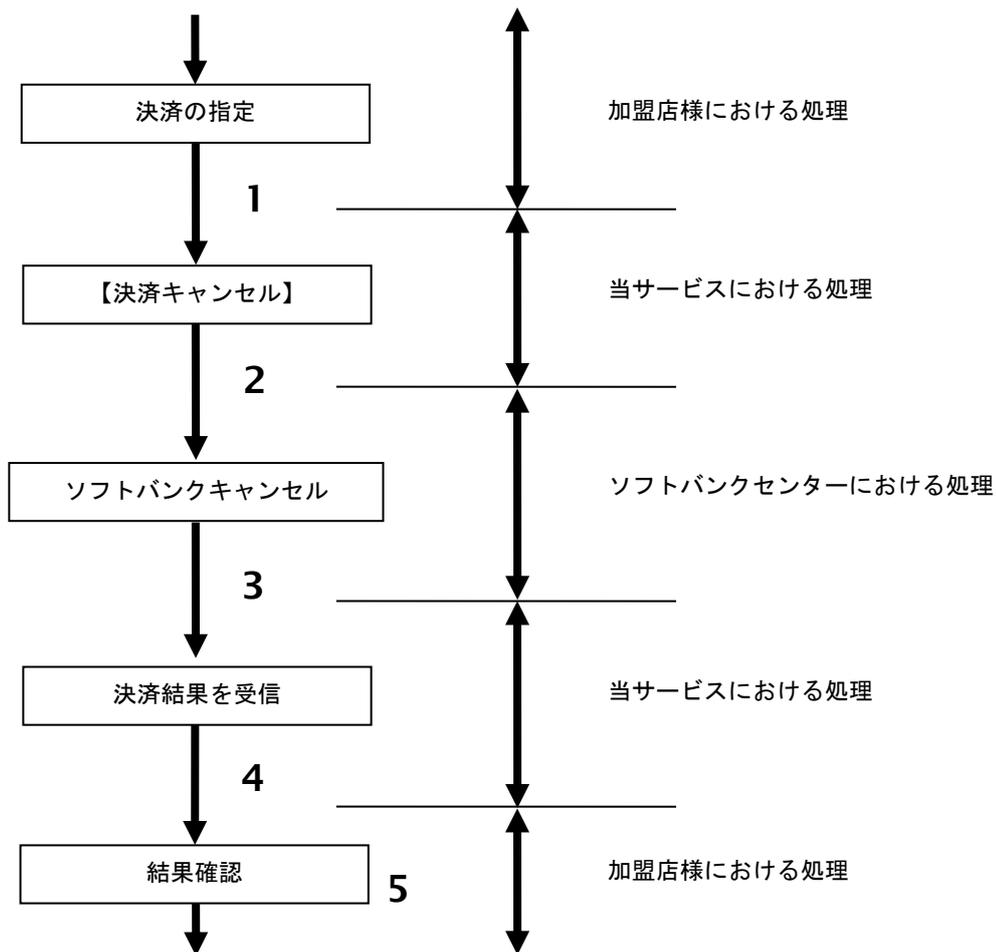


図 12.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済キャンセル】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをソフトバンクセンターに送信します。
3. ソフトバンクセンターは、キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

12.2.2. 各インタフェース仕様詳細

12.2.2.1. 決済キャンセル

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【SbCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	SbCancelInput	SbCancelOutput	プロトコルタイプの決済キャンセルインタフェースを使用します。

【SbCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【SbCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	CancelAmount	◎	Integer	5	キャンセル金額	
7	CancelTax		Integer	5	キャンセル税送料	キャンセル金額はオーソリ時の金額を指定してください。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL : キャンセル キャンセル失敗時はキャンセル処理前のステータスが返却されます。
3	CancelAmount	-	Integer	5	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
4	CancelTax	-	Integer	5	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

12.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- ・ 実売上可能期間は、申込後60日間までです。
- ・ 実売上は、1オーダーIDにつき1度のみ実行可能です。
- ・ オーソリ時の金額を減額して実売上が可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上する事はできません。

12.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れをご説明します。

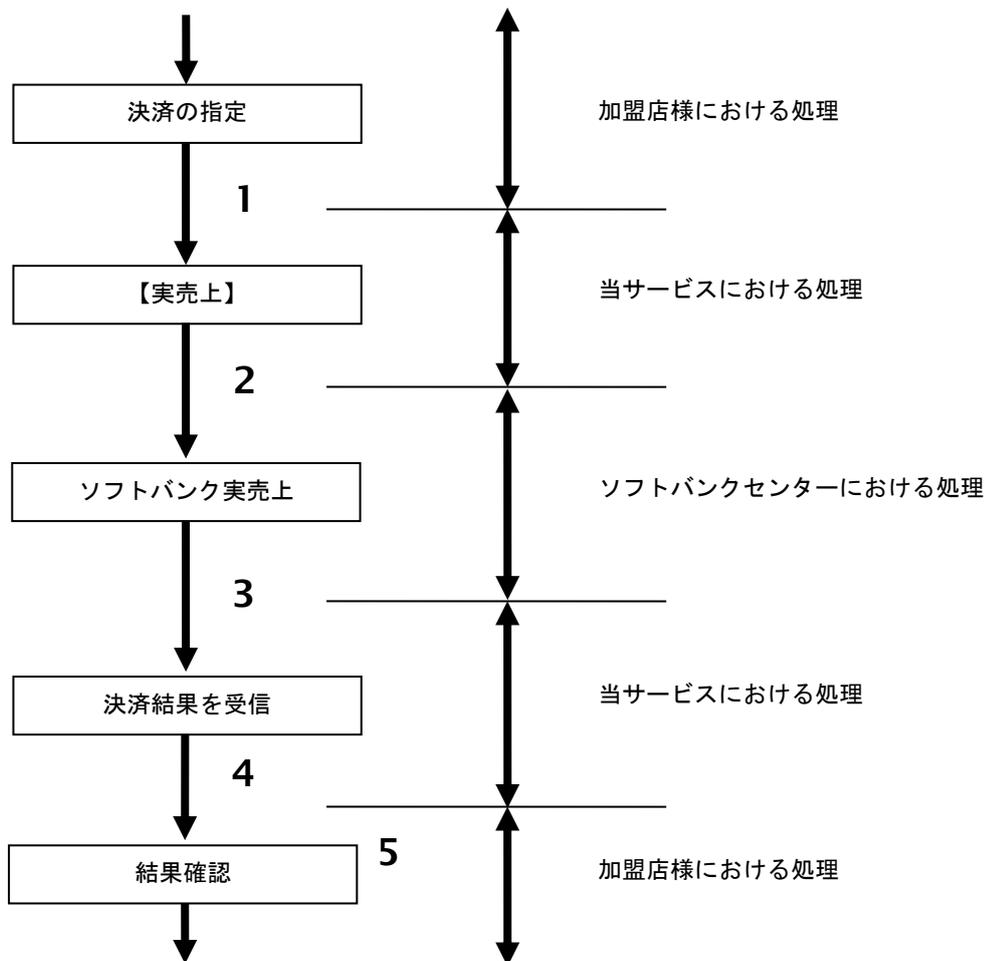


図 12.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【**実売上**】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストをソフトバンクセンターに送信します。
3. ソフトバンクセンターは、実売上結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、実売上結果を返します。
5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

12.3.2. 各インタフェース仕様詳細

12.3.2.1. 実売上

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【SbSales】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	SbSalesInput	SbSalesOutput	プロトコルタイプの実売上インタフェースを使用します。

【SbSalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【SbSalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	Amount	◎	Integer	5	利用金額	利用金額 + 税送料が売上金額となります。 ※利用金額が 1 円以上である必要があります。
7	Tax		Integer	5	税送料	※オーソリ時より金額が大きい場合はエラーとなります。 ※オーソリ時と異なる金額を指定した場合は、指定された金額で売上を確定します。残分を再度実売上する事はできません。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダ ID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES : 実売上 実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Integer	5	利用金額	
4	Tax	-	Integer	5	税送料	
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

13. じぶん銀行決済インタフェース仕様

じぶん銀行決済は提供終了しました。

14. JCB プリカ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

14.1. JCB プリカ決済を実行する

購入時にお客様がJCB プリカ決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

14.1.1. JCB プリカ決済の流れ

以下に、JCB プリカ決済の流れをご説明します。

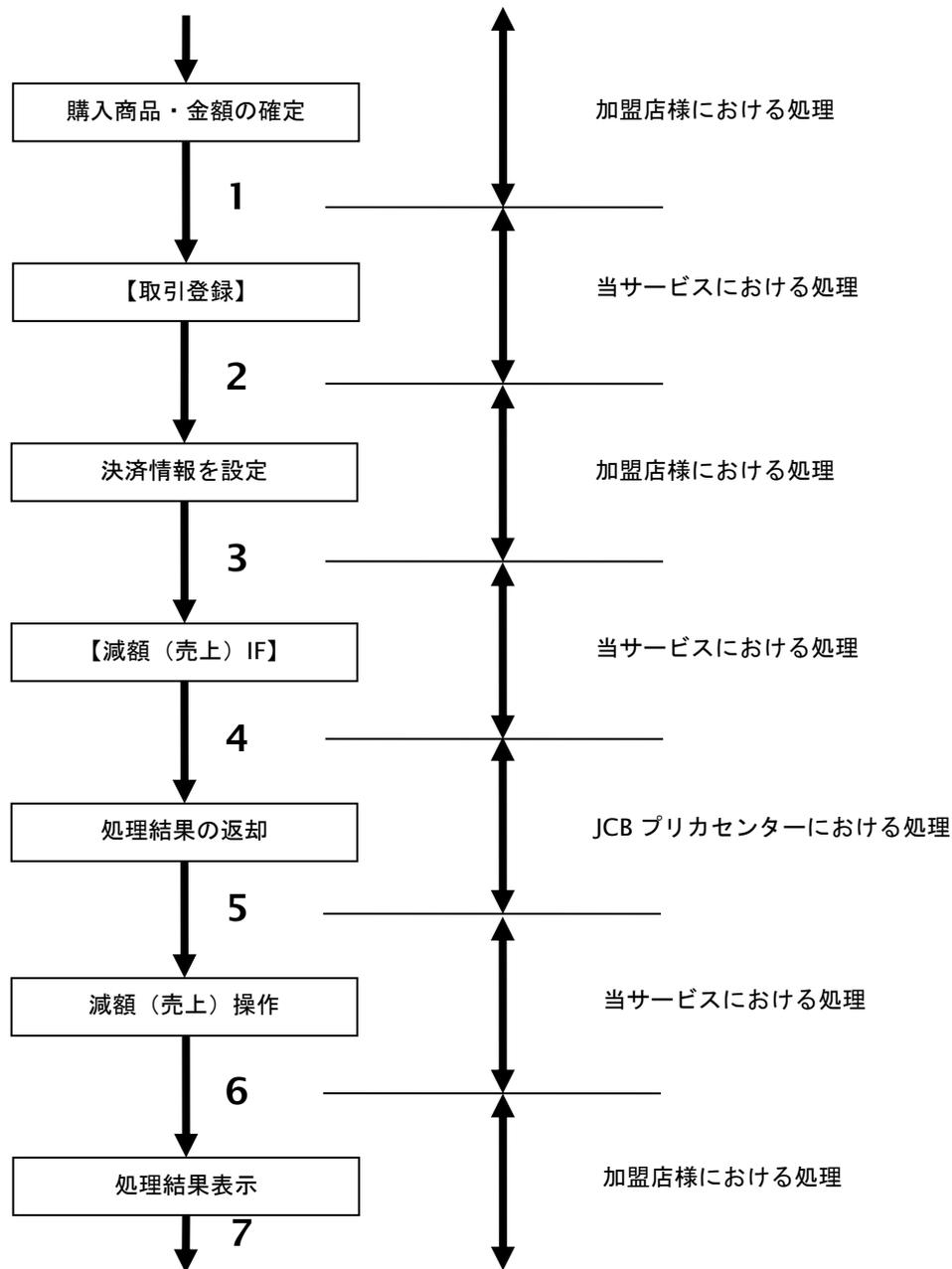


図 14.1.1-1 JCB プリカ決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、決済情報をもってJCB プリカセンターの【減額（売上）IF】を呼び出します。
5. JCB プリカセンターは、決済結果を当サービスに返します。
6. 当サービスは、決済結果を加盟店様に返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に決済結果を表示します。

14.1.2. 各インタフェース仕様詳細

14.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranJcbPreca	EntryTranJcbPrecaInput	EntryTranJcbPrecaOutput	JCB プリカ決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranJcbPrecaInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranJcbPrecaOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	String	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	Integer	7	利用金額	
5	Tax		Integer	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で 1 円以上 50,000 円以下である必要があります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	AccessID	-	String	32	取引ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

14.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

JCB プリカセンターと通信を行い決済要求結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranJcbPreca	ExecTranJcbPrecaInput	ExecTranJcbPrecaOutput	JCB プリカ決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranJcbPrecaInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranJcbPrecaOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		String	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	String	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	String	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	CardNo	◎	String	32	カード番号	決済に使用するカード番号を指定します。
8	ApprovalNo	◎	String	16	認証番号	決済に使用するカードの認証番号を指定します。
9	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
10	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
11	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
12	CarryInfo		String	34	持ち回り情報	自由に設定してください。 ※ここに設定した値は取引の実行時にJCB プリカセンターまで送信されます。 ※半角英数時と一部の記号が入力可能です。設定可能な文字については、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	取引 ID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	String	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES : 実売上 実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Integer	5	利用金額	
4	Tax	-	Integer	5	税送料	
5	BeforeBalance	-	Integer	5	利用前残高	決済に利用したカードの決済実行前の残高
6	AfterBalance	-	Integer	5	利用後残高	決済に利用したカードの決済実行後の残高
7	CardActivateStatus	-	String	1	カードアクティベートステータス	決済に利用したカードのアクティベートステータス 0 : 非アクティベート 1 : アクティベート 2 : 初回利用 (当取引でアクティベートされた)
8	CardTermStatus	-	String	1	カード有効期限ステータス	決済に利用したカードの有効期限の状態 0 : 有効期限内 1 : 有効期限切れ 2 : 利用開始前
9	CardInvalidStatus	-	String	1	カード有効ステータス	決済に利用したカードの有効/無効をあらわす 0 : 有効 1 : 無効
10	CardWebInquiryStatus	-	String	1	カードWEB参照ステータス	決済に利用したカードのWEB参照可否を表す 0 : WEB照会可 1 : WEB照会不可
11	CardValidLimit	-	String	8	カード有効期限	決済に利用したカードの有効期限年月日 (YYYYMMDD 形式)
12	CardTypeCode	-	String	4	券種コード	決済に利用したカードのJCBプリカセンターが規定する券種コード
13	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

14.1.2.3. 取引・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTranJcbPreca	EntryExecTranJcbPrecaInput	EntryExecTranJcbPrecaOutput	JCB プリカ決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranJcbPrecaInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranJcbPrecaOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

14.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の各種情報を指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。
キャンセル可能期間は以下のとおりです。

- ・ JCB プリカセンターにて取引が実行されてから 720 時間(30 日間)以内です。
- ・ キャンセルは、1オーダーIDにつき 1 度のみ実行可能です。

14.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れをご説明します。

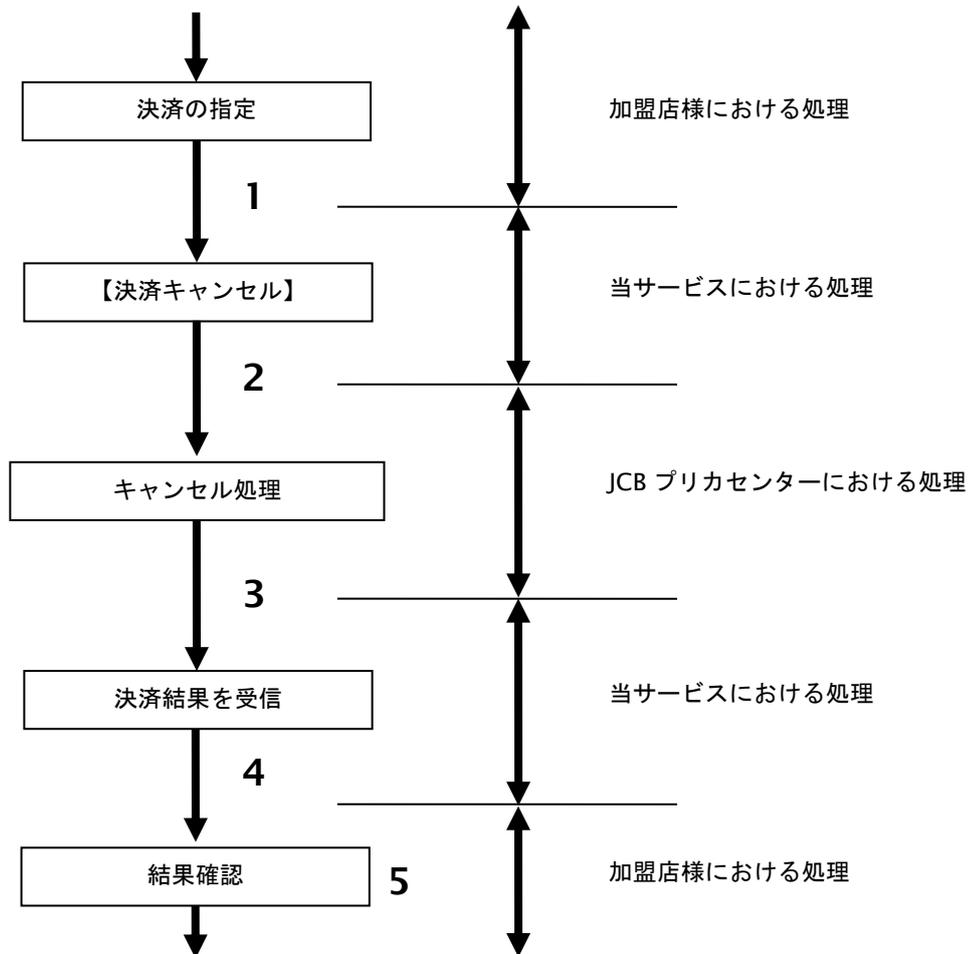


図 14.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済キャンセル】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをソフトバンクセンターに送信します。
3. JCB プリカセンターは、キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル結果を返します
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

14.2.2. 各インタフェース仕様詳細

14.2.3. 決済キャンセル

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doJcbPrecaCancel	JcbPrecaCancelInput	JcbPrecaCancelOutput	プロトコルタイプの決済キャンセルインタフェースを使用します。

【JcbPrecaCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【JcbPrecaCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	String	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL: キャンセル キャンセル失敗時はキャンセル処理前のステータスが返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

14.3. カード残高を参照する

決済に関わりなく指定の各種情報をもとに、カードの残高を照会することができます。

14.3.1. カード残高照会を行う流れ

以下に、カードの残高を参照する流れをご説明します。

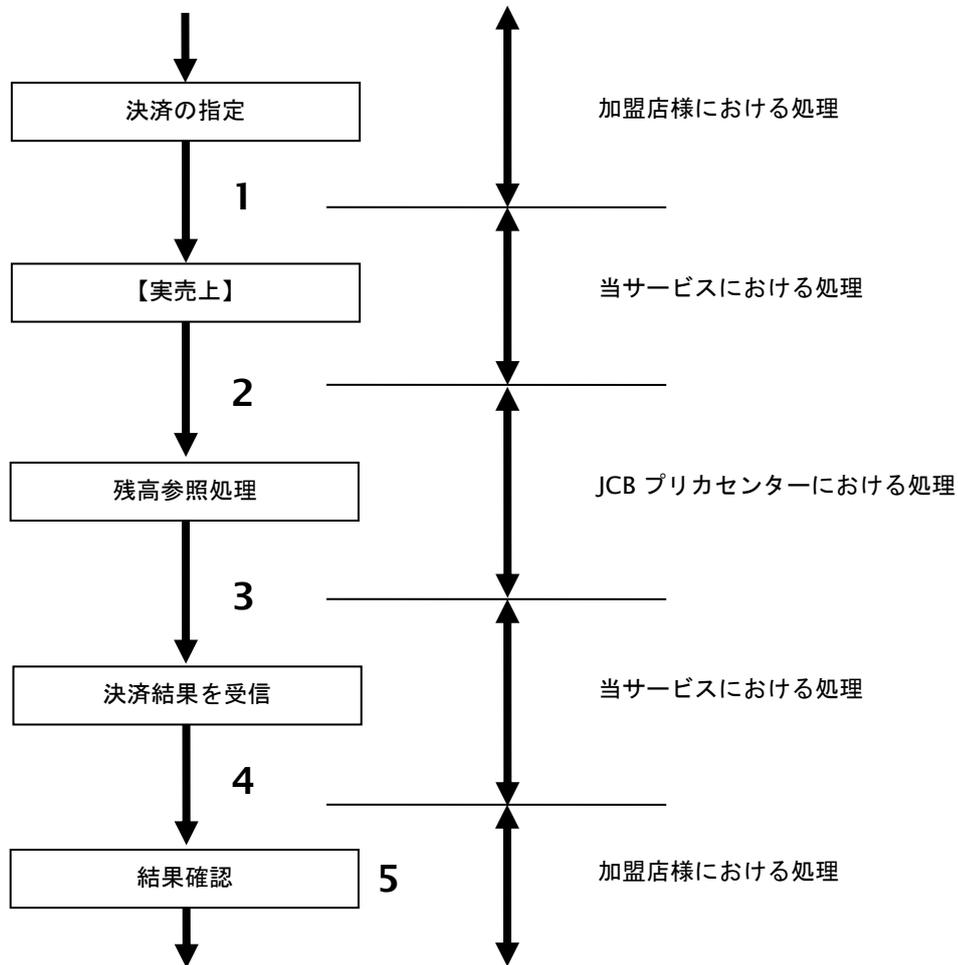


図 14.3.1-1 カードの残高照会の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、残高照会するカードの各種情報を指定し、当サービスの【残高照会 IF】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたカードの残高照会リクエストを JCB プリカセンターに送信します。
3. JCB プリカセンターは、残高照会結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、残高照会結果を加盟店様に返却します。
5. 加盟店様は、残高照会の結果を確認します。

14.3.2. 各インタフェース仕様詳細

14.3.3. 残高照会

インタフェース概要

カードの残高照会を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doJcbPrecaBalanceInquiry	JcbPrecaBalanceInquiryInput	JcbPrecaBalanceInquiryOutput	プロトコルタイプの残高照会インタフェースを使用します。

【JcbPrecaBalanceInquiryInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【JcbPrecaBalanceInquiryOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	CardNo	◎	String	32	カード番号	残高照会対象のカード番号
4	ApprovalNo	◎	String	16	認証番号	カード番号に対応する認証番号

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	CardNo	-	String	32	カード番号	残高照会対象のカード番号
2	Balance	-	String	7	残高	お客様の JCB プレモカードのご利用可能残高 (バリュー残高) です。
3	CardActivateStatus	-	String	1	カードアクティベートステータス	0: 非アクティベート 1: アクティベート済 2: 初回利用
4	CardTermStatus	-	String	1	カード有効期限ステータス	0: 有効期限内 1: 有効期限切れ 2: 利用開始前
5	CardInvalidStatus	-	String	1	カード有効ステータス	0: 有効 1: 無効
6	CardWebInquiryStatus	-	String	1	カード WEB 参照ステータス	0: WEB 参照可 1: WEB 参照不可
7	CardValidLimit	-	String	8	カード有効期限年月日	YYYYMMDD 形式
8	CardTypeCode	-	String	4	券種コード	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

15. NET CASH・nanaco ギフト決済インターフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインターフェース詳細についてご説明します。

15.1. NET CASH・nanacoギフト決済を実行する

購入時にお客様がNET CASH・nanacoギフト決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

15.1.1. NET CASH・nanacoギフト決済の流れ

以下に、NET CASH・nanacoギフト決済の流れをご説明します。

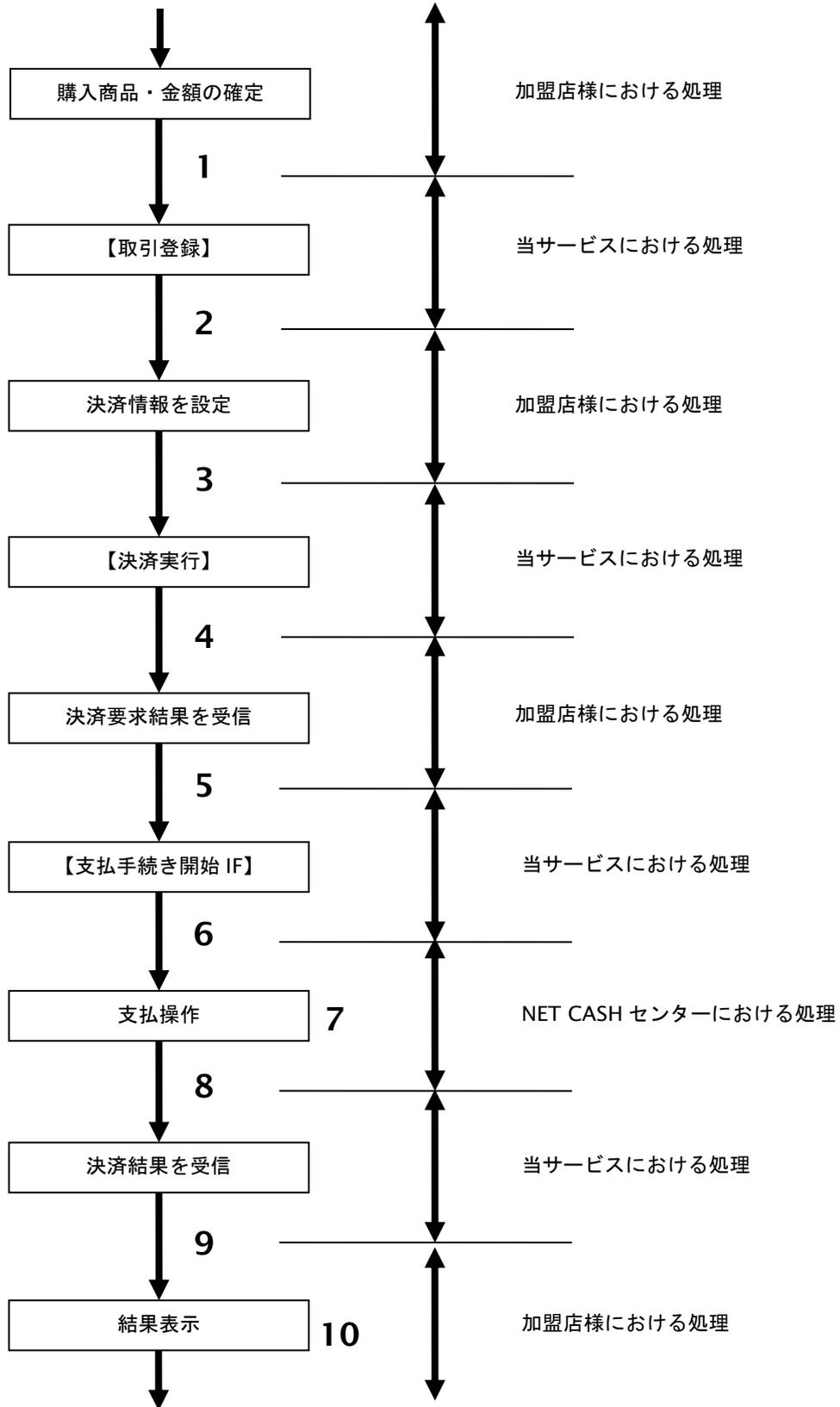


図 15.1.1-1 NET CASH・nanaco ギフト決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、NET CASH センターとの通信を行い決済要求結果を返します。
5. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
6. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を NET CASH・nanaco ギフトの決済画面に誘導します。
7. お客様は、NET CASH・nanaco ギフトの決済画面にて支払操作を行います。
8. NET CASH センターは、決済結果を当サービスに送信します。
9. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

15.1.2. 各インタフェース仕様詳細

15.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranNetcash】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranNetcashInput	EntryTranNetcashOutput	NET CASH・nanaco ギフト決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranNetcashInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranNetcashOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	Integer	8	利用金額	上限は 200,000 円となります。
5	Tax		Integer	8	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	発行した ID を返却します。 ※: 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※: 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

15.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranNetcash】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranNetcashInput	ExecTranNetcashOutput	NET CASH・nanaco ギフト決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranNetcashInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranNetcashOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	RetURL	◎	CHAR	256	リダイレクト URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を指定します。 NET CASH・nanaco ギフト上でお客様が支払操作を完了した場合や、キャンセルした場合に指定された URL に結果を送信します。 結果はリダイレクト経由で送信します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
10	NetCashPayType	◎	CHAR	40	決済方法	以下のいずれかを設定します。 NET CASH 決済 : ETCASH nanaco ギフト決済 : NCGIFT ご契約内容により利用可能な決済方法が異なります。詳細についてはサポートセンターまでお問い合わせください。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	string	256	トークン	アクセス ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ
5	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

15.1.2.3. 取引・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranNetcash】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranNetcashInput	EntryExecTranNetcashOutput	NET CASH・nanaco ギフト決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranNetcashInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranNetcashOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

15.1.2.4. 支払手続き開始IFの呼び出し

処理概要

NET CASH・nanaco ギフト決済において、お客様を NET CASH の決済画面へと遷移させる必要があります。
 加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始 IF に誘導してください。
 当サービスは、お客様を NET CASH・nanaco ギフトの決済画面に誘導します。
 ※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

お客様を NET CASH・nanaco ギフトの決済画面に誘導します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	NetcashStart	pagePath, NetcashStartInput, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	token	◎	string	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。
4	encode	◎	string		リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読込の際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="NetcashStartCall" action="{NetcashStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        NET CASH・nanaco ギフトの決済画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document. NetcashStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	String	32	取引 ID	
2	Token	◎	String	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力決済の内容をキャンセルする】

15.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

NET CASH センターから、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と支払操作をキャンセルした場合（オプション）に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

※リダイレクト URL が指定されていない場合は、当サービスの購入完了画面又はキャンセル画面を表示します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	16	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	CheckString	-	CHAR	32	MD5 ハッシュ	ShopID～TranDate+ショップパスワードハッシュ値(※1)します。
6	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)
7	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※2)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の ShopID～TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

16. 楽天ペイインタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

16.1. 楽天ペイを実行する

購入時にお客様が楽天ペイに必要な情報を入力してから決済依頼します。

16.1.1. 楽天ペイの流れ

以下に、楽天ペイの流れをご説明します。

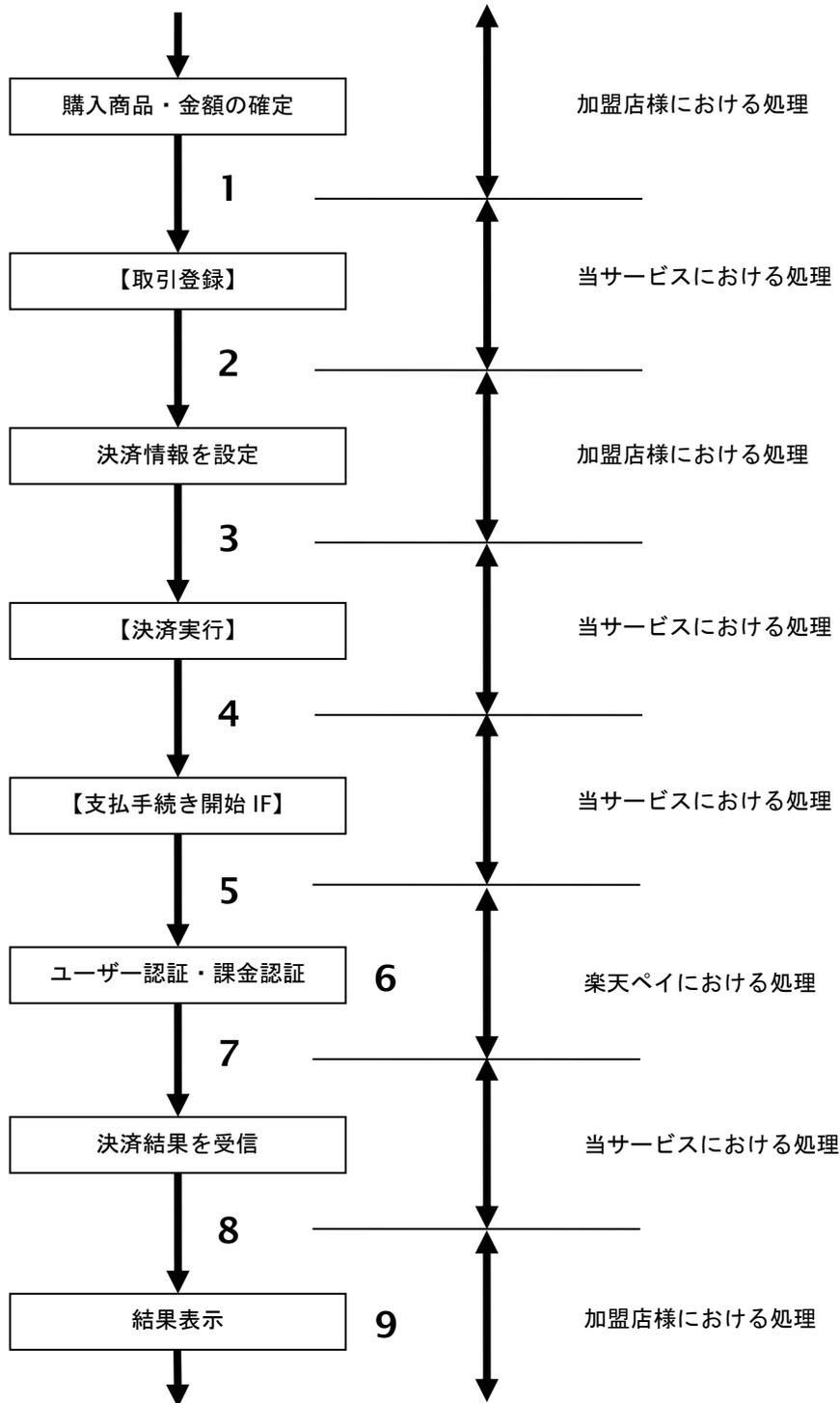


図 16.1.1-1 楽天ペイの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を楽天ペイ支払いセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、楽天ペイの決済画面にて支払操作を行います。
7. 楽天ペイは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で、決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

以下に、楽天ペイによる随時決済の流れをご説明します。

事前にサブスクリプション ID を取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。

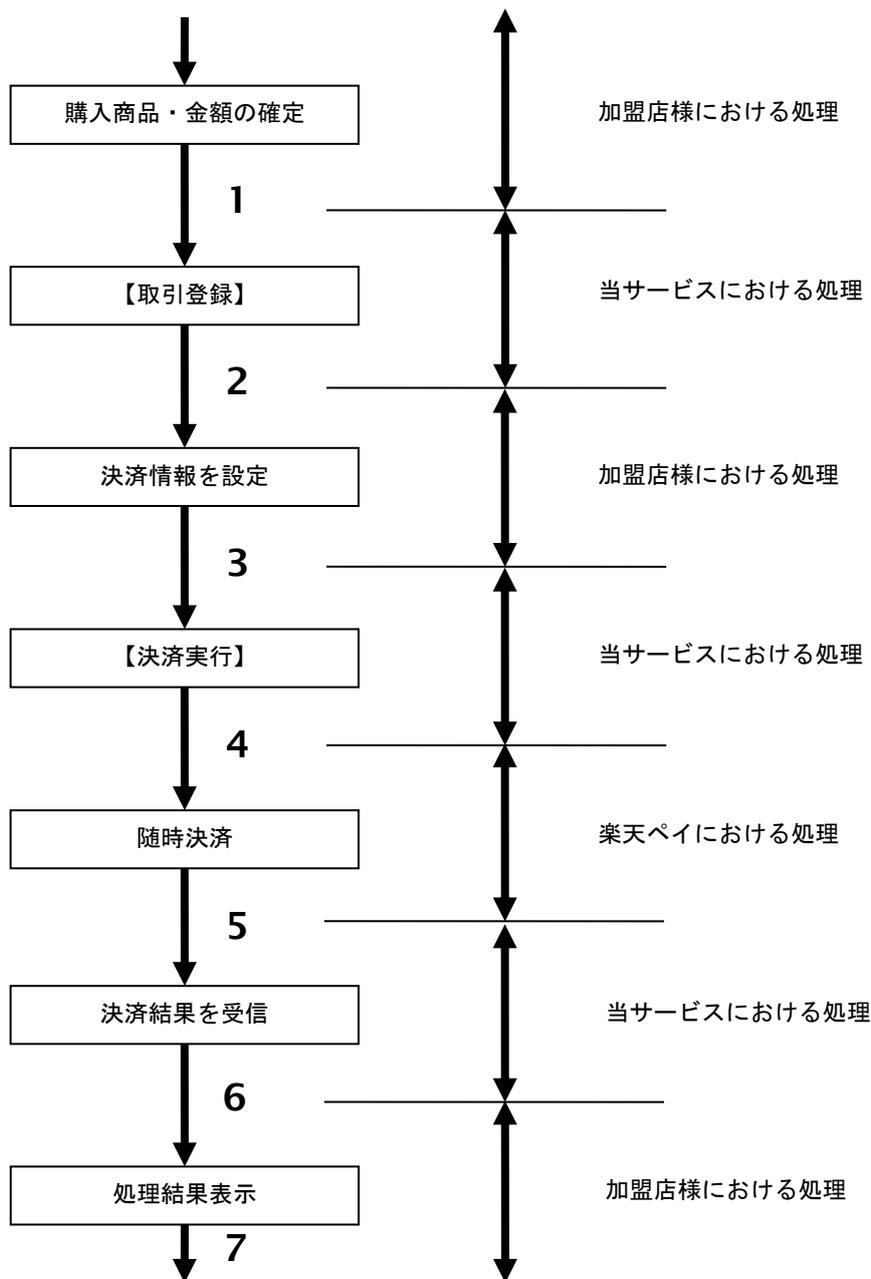


図 16.1.1-2 随時決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報及びサブスクリプション ID を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、指定された取引の随時決済リクエストを楽天ペイに送信します。
5. 楽天ペイは、随時決済結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、随時決済結果を返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

16.1.2. 各インタフェース仕様詳細

16.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranRakutenId】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranRakutenIdInput	EntryTranRakutenIdOutput	楽天ペイの取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranRakutenIdInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranRakutenIdOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	String	27	オーダー ID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	JobCd	◎	String	7	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 REGISTER：申込み（お客様への注文は行わずに随時決済に必要なサブスクリプション ID の発行を行います） ※加盟店様と楽天との契約で、取扱商材が DL の場合は「CAPTURE」、非ギャザリングの場合は「AUTH」を指定してください。
5	Amount	◎	Integer	8	利用金額	処理区分が「REGISTER」の場合、0 を指定してください。
6	Tax		Integer	8	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額＋税送料が決済金額となります。 利用金額＋税送料で 100 円以上 99,999,999 円以下である必要があります。 処理区分が「REGISTER」の場合、指定しないでください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	AccessID	-	string	32	取引ID	発行したIDを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

16.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

契約情報を確認し、これ以降の処理に必要なトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranRakutenId】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranRakutenIdInput	ExecTranRakutenIdOutput	楽天ペイ実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranRakutenIdInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranRakutenIdOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダー ID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
10	ItemId	●	CHAR	100	商品 ID	取引情報として表示される商品 ID を設定します。 【取引登録】で処理区分に「AUTH」及び「CAPTURE」を指定した場合に必須です。
11	ItemSubId		CHAR	77	商品サブ ID (※1)	取引情報として表示される商品サブ ID を設定します。
12	ItemName	●	CHAR	255	商品名	取引情報として表示される商品名を設定します。 【取引登録】で処理区分に「AUTH」及び「CAPTURE」を指定した場合に必須です。
13	RetURL	●	CHAR	2048	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 楽天ペイ上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。 随時決済の場合は設定不要です。

14	ErrorRcvURL	●	CHAR	2048	処理 NG 時 URL	<p>加盟店様が当サービスからの処理失敗となった結果を受信するための処理 NG 時 URL を設定します。</p> <p>楽天ペイ上でお客様が決済手続きを正常に完了できなかった場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。</p> <p>随時決済の場合は設定不要です。</p>
15	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	<p>お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。</p> <p>最大 86,400 秒（1 日）</p> <p>呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。</p>
16	Multitem		CHAR	30000	複数商品(※2)	<p>複数商品を指定する場合、設定してください。</p> <p>XML フォーマットを UTF-8 で BASE64 エンコーディングした値を設定してください。</p> <p>複数商品の商品個数 X 商品単価と取引登録時の利用金額 + 税送料は一致するように設定してください。</p>
17	SubscriptionType		CHAR	10	サブスクリプションタイプ	<p>決済を行う際のオプションを指定します。</p> <p>REGISTER：申込する（決済と同時に随時決済の際に必要なサブスクリプション ID を発行します） SETTLEMENT：随時決済をする（お客様の認証をしなくて済みます。サブスクリプション ID が必須です）</p> <p>【取引登録】で処理区分に「AUTH」及び「CAPTURE」を指定した場合にのみ設定することができます。</p> <p>都度決済のみの場合は設定不要です。</p>
18	SubscriptionName	●	CHAR	200	サブスクリプション名	<p>申込情報として表示されるサブスクリプション名を設定します。最大 200 文字まで指定できます。 (全角文字はひらがなカタナ数字記号と第 1・2 水準の漢字のみになります。4 バイト文字は使用できません。)</p> <p>【取引登録】で処理区分に「REGISTER」を指定した場合、及び、サブスクリプションタイプに「REGISTER」を指定した場合に必須です。 都度決済のみの場合は設定不要です。</p>
19	SettlementSubscriptionId	●	CHAR	20	決済用サブスクリプション ID	<p>随時決済を行う場合に設定します。</p> <p>サブスクリプションタイプに「SETTLEMENT」を指定した場合に必須です。それ以外の場合は無視されます。</p> <p>都度決済のみの場合は設定不要です。</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：加盟店様独自のポイントシステムがある加盟店様の場合必須となります。

[趣旨] 1つの加盟店様側ユーザ ID に対して、決済することができる楽天会員 ID は 1 つのみになります。(逆は可)

[目的] 1) 楽天スーパーポイント規約にて禁止されている「ポイントの合算」に該当する恐れがあるため

(楽天スーパーポイント利用規約 第 4 条 2 項)

2) 複数の楽天会員 ID を使用した不正利用被害の抑止のため

[実装方法] ユーザに対してユニークな文字列 (MD5 で暗号化したユーザ ID のハッシュ値等) を設定します。

これを楽天側で初回決済時の楽天会員 ID と紐付けることにより、1 つの加盟店様側ユーザ ID に対して複数の楽天会員 ID での決済をできなくしております。

※2：複数の商品を指定する場合のみ設定してください。

以下の XML フォーマットを UTF-8 で BASE64 エンコーディングした値を設定してください。

[XML フォーマット]

Lv	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	itemsInfo	-	-	-	商品情報親属性	
2	item	-	-	-	商品	複数指定することが可能です。
3	itemId	◎	CHAR	100	商品 ID	商品を特定する商品 ID を設定します。 XML 内で商品 ID が重複した場合エラーとなります。
4	itemName	◎	CHAR	255	商品名	商品を特定する商品名を設定します。
5	itemNumbers	◎	NUMBER	3	商品個数	商品の個数を設定します。
6	itemFee	◎	NUMBER	8	商品単価	商品単価を設定します。

XML ヘッダは不要です。

Base64 エンコーディングする前のデータが 30000 バイト以内になるように設定してください。

[XML 例]

```
<itemsInfo>
  <item>
    <itemId>ITEMID-001</itemId>
    <itemName>商品 0 0 1</itemName>
    <itemNumbers>5</itemNumbers>
    <itemFee>100</itemFee>
  </item>
  <item>
    <itemId>ITEMID-002</itemId>
    <itemName>商品 0 0 2</itemName>
    <itemNumbers>2</itemNumbers>
    <itemFee>80</itemFee>
  </item>
</itemsInfo>
```

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	String	256	トークン	アクセス ID のハッシュ値を返却します。 (※1)
3	StartURL	-	String	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始 IF の呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーID を返却します。 (※2)
6	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REQAUTH : 仮売上受付け REQCAPTURE : 即時売上受付け PAYFAIL : 決済失敗 (※2)
7	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式 (※2)
8	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPass を連結し MD5 ハッシュした値を返却します。 (※2)
9	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

※2 : 決済実行時にサブスクリプション ID を指定した場合 (随時決済の場合) に返却

16.1.2.3. 取引・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranRakutenId】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranRakutenIdInput	EntryExecTranRakutenIdOutput	楽天ペイの取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranRakutenIdInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranRakutenIdOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

16.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

楽天ペイにおいて、お客様を楽天ペイ画面へと遷移させる必要があります。

加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始 IF に誘導してください。

当サービスは、お客様を楽天ペイの決済画面に誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	rakutenIdStart	pagePath, RakutenIdStartInput, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	Token	◎	String	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。
4	encode	◎	String		リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読込の際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="RakutenIdStartCall" action="{RakutenIdStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        楽天ペイの決済画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document. RakutenIdStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	String	32	取引 ID	
2	Token	◎	String	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力決済の内容をキャンセルする】

16.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

楽天ペイから、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

この決済結果は、楽天ペイの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	c	-	CHAR	32	MD5 ハッシュ	チェック用の文字列(CheckString)を返却します。 ShopID+OrderID+ショップパスワードをMD5 ハッシュした値を返却します。
4	SubscriptionId	-	CHAR	20	サブスクリプションID	英数字 20 桁固定長の値を返却します。 【取引登録】で処理区分に「REGISTER」を指定した場合、及び、【決済実行】でサブスクリプションタイプに「REGISTER」を指定した場合に返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

16.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。キャンセル可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
- ・ 注文確定前の取引の場合、注文日の 5 ヶ月後の末日迄であること。
- ・ 注文確定後の取引の場合、注文確定の処理完了日から翌月末日迄であること。
- ・ キャンセルは、1 オーダーID につき 1 度のみ実行可能です。

16.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れをご説明します。

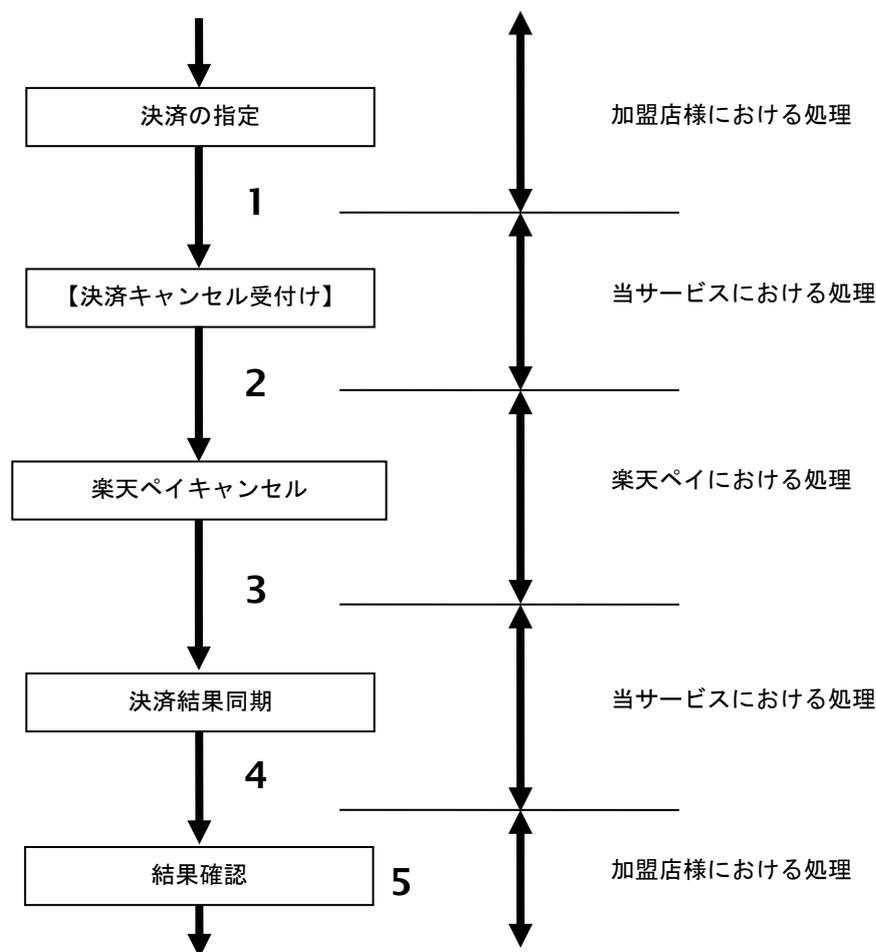


図 16.2.1 -1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済キャンセル】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストを楽天ペイに送信します。
3. 楽天ペイは、キャンセルを受付後、非同期でキャンセルを確定します。
4. 当サービスは、楽天ペイとの同期処理を行い、キャンセル結果を加加盟店様へ通知します。
(※ 楽天ペイ側で非同期処理が入るため 5 分～30 分かかります。)
5. 加加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

16.2.2. 各インタフェース仕様詳細

16.2.2.1. 決済キャンセル

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RakutenIdCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	RakutenIdCancelInput	RakutenIdCancelOutput	プロトコルタイプの決済キャンセルインタフェースを使用します。

【RakutenIdCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RakutenIdCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ REQCANCEL : 注文キャンセル受付け キャンセル失敗時はキャンセル処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	8	利用金額	利用金額金額を返却します。
4	Tax	-	Number	8	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

16.3. 決済の金額を変更する

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済の金額を変更することが可能です。金額変更可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
- ・ 注文確定前の取引の場合、注文日の 5 ヶ月後の末日迄であること。
- ・ 注文確定後の取引の場合、注文確定の処理完了日から翌月末日迄であること。

16.3.1. 決済の金額変更を行う流れ

以下に、決済の内容を金額変更する流れをご説明します。

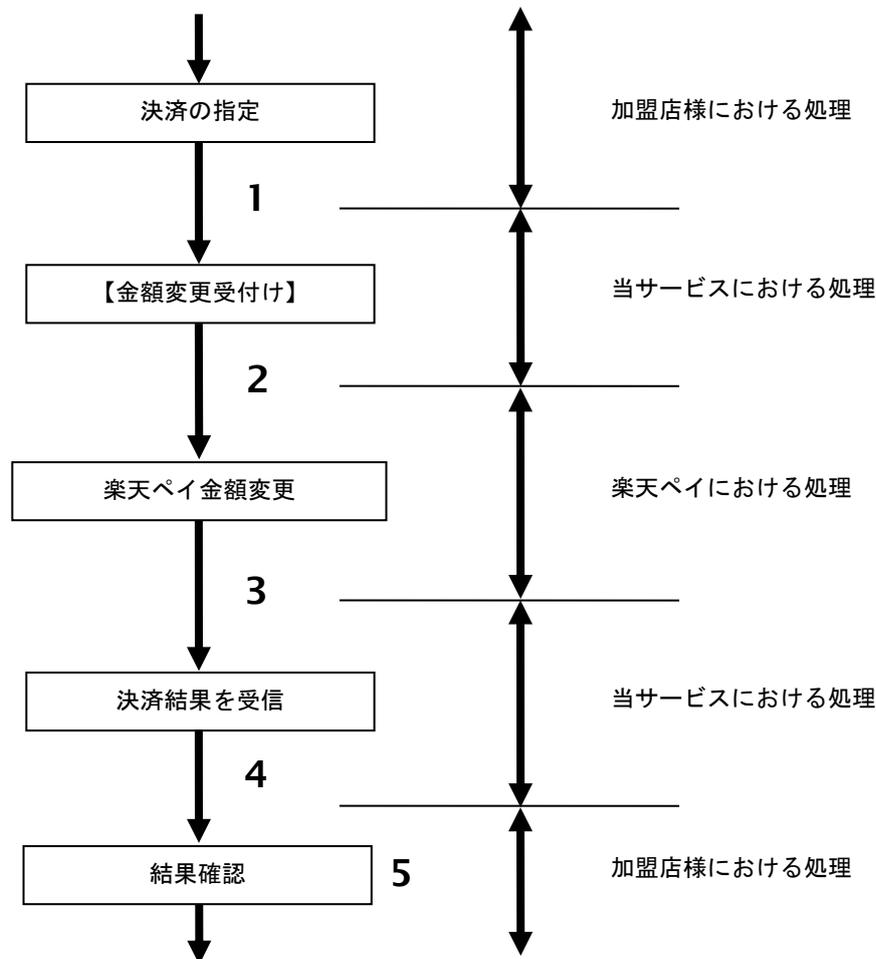


図 16.3.1-1 決済金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワード、変更後の利用金額と税送料を指定し、当サービスの **【金額変更】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の金額変更リクエストを楽天ペイに送信します。
3. 楽天ペイは、金額変更を受付後、非同期で金額変更を確定します。
4. 当サービスは、楽天ペイとの同期処理を行い、金額変更結果を加盟店様へ通知します。
(※ 楽天ペイ側で非同期処理が入るため 5 分～30 分かかります。)
5. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

16.3.2. 各インタフェース仕様詳細

16.3.2.1. 決済金額変更

インタフェース概要

楽天ペイの金額変更を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RakutenIdChange】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	RakutenIdChangeInput	RakutenIdChangeOutput	プロトコルタイプの金額変更インタフェースを使用します。

【RakutenIdChangeInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RakutenIdChangeOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	8	変更利用金額	指定の金額で利用金額を設定しなおします。
8	Tax		NUMBER	8	変更税送料	指定の金額で税送料を設定しなおします。
9	UseCoupon		CHAR	1	クーポン使用フラグ	決済時に使用されたクーポンを金額変更時にの使用するか否かを設定します。 0 : 使用しない 1 : 使用する 未指定の場合は、クーポンが使用されていない取引は「0」、クーポンが使用された取引は「1」をデフォルトで使用します。 ※クーポンが使用されていない取引に対して「1」を指定するとエラーが発生します。 ※クーポンが利用された取引で「1」を指定した場合、変更利用金額がクーポン金額より少ないとエラーが発生します。

10	Multitem	●	CHAR	30000	複数商品(※1)	複数商品を指定する場合、設定してください。 XML フォーマットを UTF-8 で BASE64 エンコーディングした値を設定してください。 複数商品の商品個数 X 商品単価と変更利用金額 + 変更税送料は一致するように設定してください。 決済実行時に複数商品を入力した場合は必須入力になります。 決済実行時に複数商品を入力していない場合金額変更時に複数商品を入力することはできません。
----	----------	---	------	-------	----------	---

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：複数の商品を指定する場合のみ設定してください。

以下の XML フォーマットを UTF-8 で BASE64 エンコーディングした値を設定してください。

[XML フォーマット]

Lv	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	itemsInfo	-	-	-	商品情報親属性	
2	item	-	-	-	商品	複数指定することが可能です。
3	itemId	◎	CHAR	100	商品 ID	商品を特定する商品 ID を設定します。 決済実行時に設定した商品 ID を設定してください。
3	itemNumbers	◎	NUMBER	3	商品個数	変更する商品個数を設定します。 変更しない場合は決済実行時又は直前の金額変更時に設定した商品個数を設定してください。 商品を削除する場合は商品個数に0を設定してください。
3	itemFee	◎	NUMBER	8	商品単価	変更する商品単価を設定します。 変更しない場合は決済実行時又は直前の金額変更時に設定した商品単価を設定してください。

XML ヘッダは不要です。

Base64 エンコーディングする前のデータが 30000 バイト以内になるように設定してください。

[XML 例]

<pre> <itemsInfo> <item> <itemId>ITEMID-001</itemId> <itemNumbers>5</itemNumbers> <itemFee>100</itemFee> </item> <item> <itemId>ITEMID-002</itemId> <itemNumbers>2</itemNumbers> <itemFee>80</itemFee> </item> </itemsInfo> </pre>
--

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQCHANGE：金額変更受付け キャンセル失敗時はキャンセル処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	8	利用金額	利用金額金額を返却します。
4	Tax	-	Number	8	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

16.4. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

実売上可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
- ・ 注文確定前の取引の場合、注文日の 5 ヶ月後の末日迄であること。
(カードのオーソリ期限はオーソリから 60 日有効となりますが、オーソリ期限切れの決済に対しこの売上確定処理を行った場合は、楽天側で再オーソリを行った後、売上確定を行います。)

16.4.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れをご説明します。

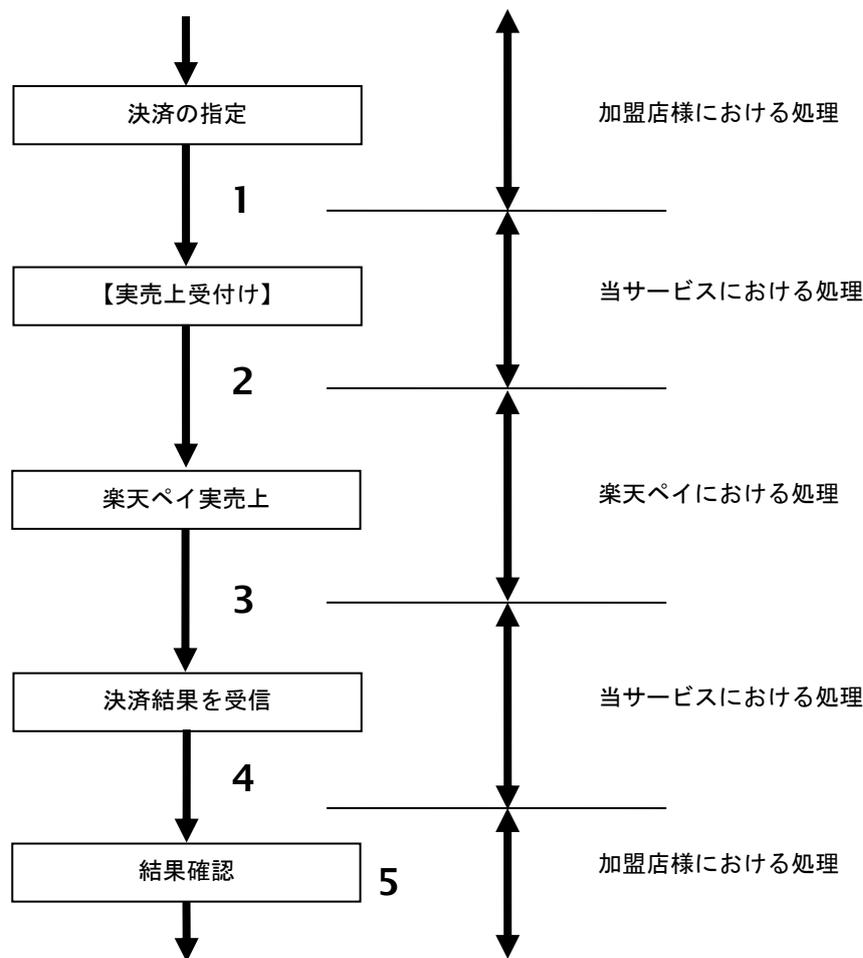


図 16.4.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【**実売上**】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストを楽天ペイに送信します
3. 楽天ペイは、実売上を受付後、非同期で実売上を確定します。
4. 当サービスは、楽天ペイとの同期処理を行い、実売上結果を加盟店様へ通知します。
(※ 楽天ペイ側で非同期処理が入るため 5 分～30 分かかります。)
5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

16.4.2. 各インタフェース仕様詳細

16.4.2.1. 実売上

インタフェース概要

楽天ペイの実売上を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RakutenIdSales】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	RakutenIdSalesInput	RakutenIdSalesOutput	プロトコルタイプの実売上インタフェースを使用します。

【RakutenIdSalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RakutenIdSalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQSALES：実売上受付け 実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	NUMBER	8	利用金額	実売上になった利用金額が返却されます。
4	Tax	-	NUMBER	8	税送料	実売上になった税送料が返却されます。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

17. 多通貨クレジットカード決済（MCP）インタフェース仕様

サービスの提供を終了しました。

18. LINE Pay 決済インタフェース仕様

サービスの提供を終了しました。

19. ネット銀聯決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

19.1. ネット銀聯決済実行する

購入時にお客様がネット銀聯決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

19.1.1. ネット銀聯決済の流れ

以下に、ネット銀聯決済の流れをご説明します。

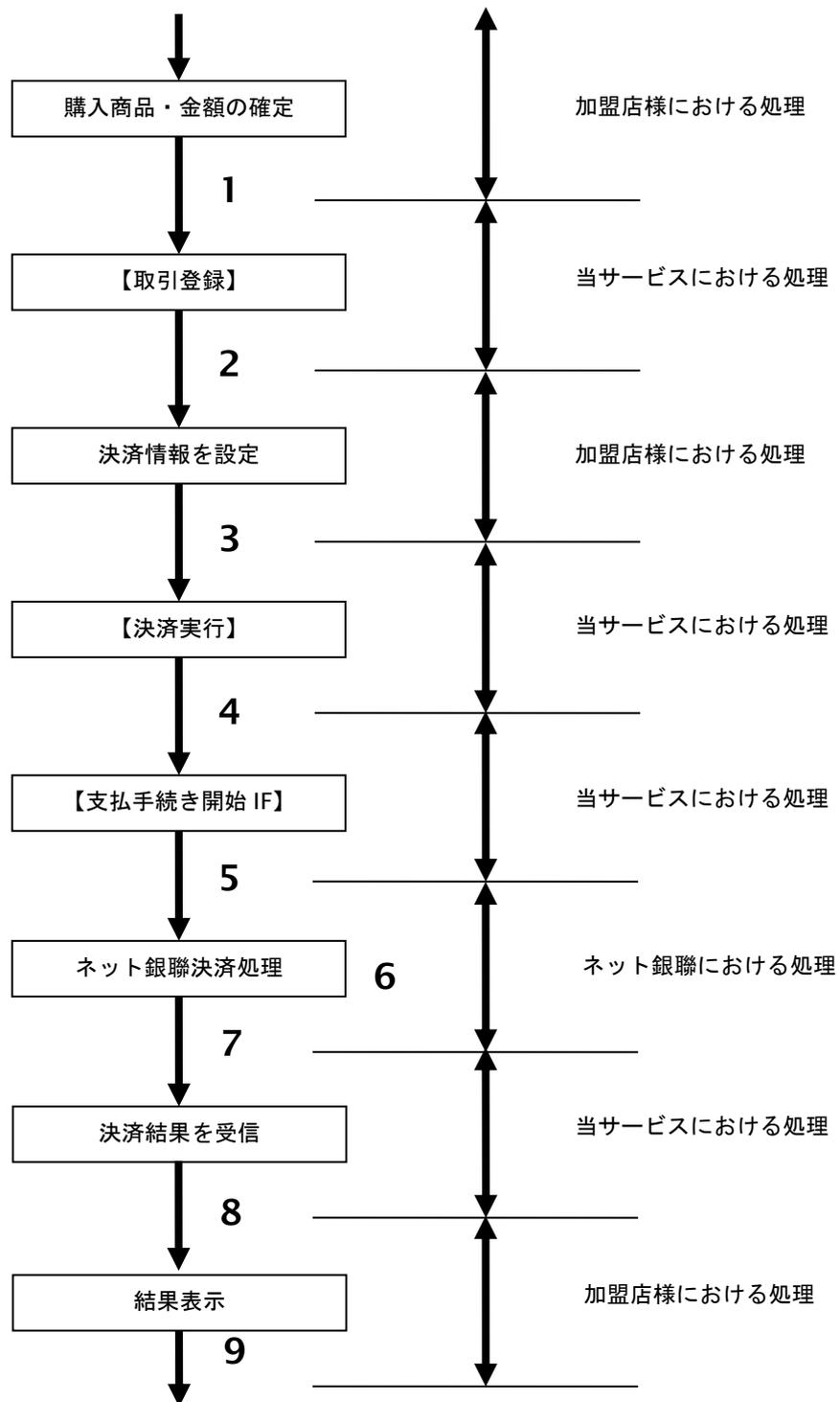


図 19.1.1-1 ネット銀聯決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をネット銀聯の決済画面に誘導します。
6. お客様は、ネット銀聯の決済画面にて支払操作を行います。
7. ネット銀聯は、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

19.1.2. 各インタフェース仕様詳細

注意事項) ネット銀聯決済では、仮売上(AUTH)が成功した場合でも、その後の通貨レート変動の影響により、実売上がエラーとなる場合がございます。
このため、弊社では仮売上/実売上の使用を推奨しておりません。即時売上(CAPTURE)の使用をお勧めします。

19.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranUnionpay】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranUnionpayInput	EntryTranUnionpayOutput	ネット銀聯決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranUnionpayInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranUnionpayOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
5	Amount	◎	NUMBER	8	利用金額	

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
5	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

19.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンと遷移 URL を返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranUnionpay】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranUnionpayInput	ExecTranUnionpayOutput	ネット銀聯決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranUnionpayInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranUnionpayOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	CommodityName		CHAR	255	商品名	半角英数字で指定してください。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
10	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0 : 返却しない(デフォルト) 1 : 返却する
11	RetURL	◎	CHAR	2048	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 お客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
12	ErrorRcvURL	◎	CHAR	2048	処理 NG 時 URL	加盟店様が当サービスからの処理失敗となった結果を受信するための処理 NG 時 URL を設定します。 お客様が決済手続きを正常に完了できなかった場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	CHAR	256	トークン	取引 ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	CHAR	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
5	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID～TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

19.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranUnionpay】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranUnion payInput	EntryExecTranUnion payOutput	ネット銀聯決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranUnionpayInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranUnionpayOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

19.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

ネット銀聯決済において、お客様をネット銀聯の決済画面へと遷移させる必要があります。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	unionpayStart	pagePath, UnionpayStartInput encode	CHAR	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	CHAR	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	Accessid	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。
4	encode	◎	CHAR	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="UnionpayStartCall" action="{UnionpayStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        ネット銀聯決済画面に遷移します。<br>
        ボタンをクリックしてください。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document. UnionpayStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	
2	Token	◎	CHAR	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

19.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

ネット銀聯決済から、当サービスに支払操作結果が通知されます。

支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と支払操作をキャンセルした場合（オプション）に通知されます。

※ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	32	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
6	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
7	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

19.2. 決済の内容をキャンセルする

仮売上/実売上/即時売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。

※キャンセルの実施期間は、仮売上の場合は処理完了日から 179 日以内、実売上/即時売上の場合は当日以内です。

19.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れをご説明します。

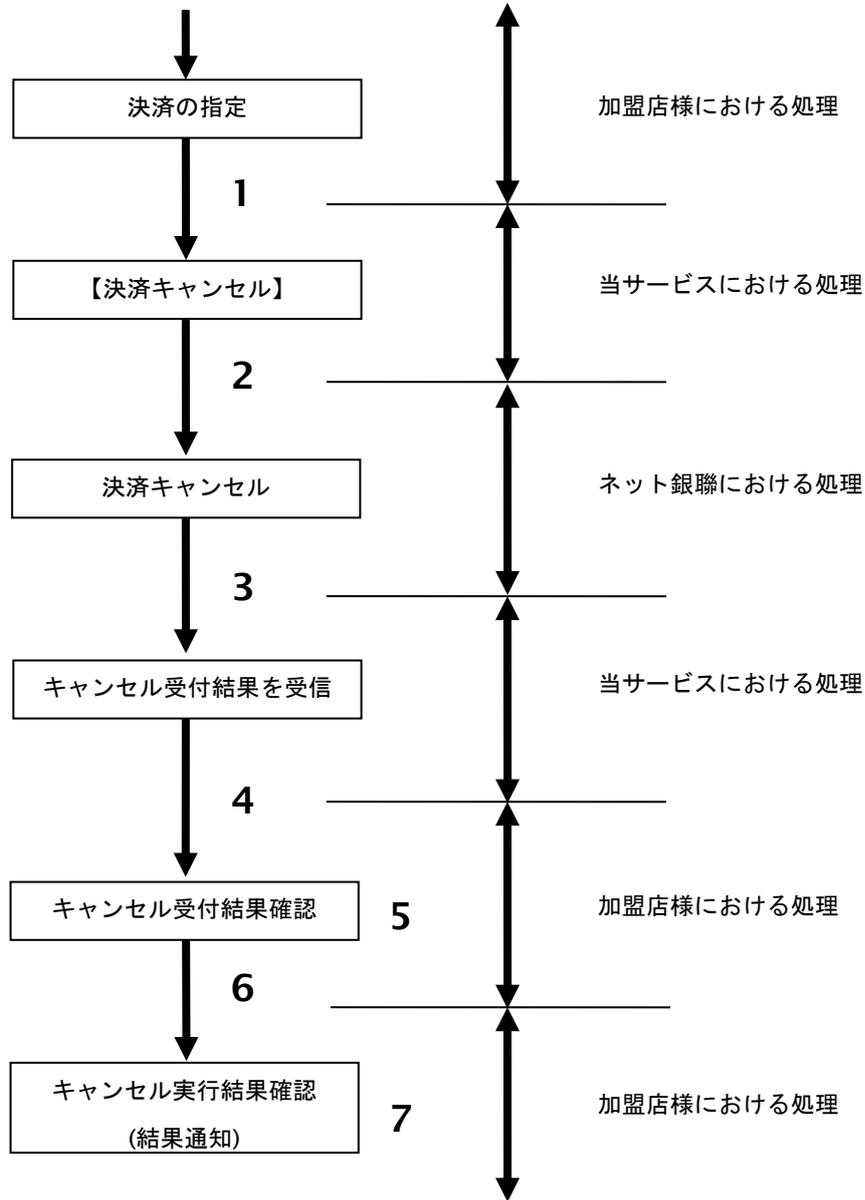


図 19.2.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【決済キャンセル】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをネット銀聯に送信します。
3. ネット銀聯は、キャンセル受付結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル受付結果を返します。
5. 加盟店様は、キャンセル受付結果を確認します。
6. 当サービスは、キャンセル実行結果を結果通知にて返します。
7. 加盟店様は、キャンセル実行結果を結果通知にて確認します。

注意) 決済キャンセル API の出力パラメータとして返却されるのは、決済キャンセル要求を受け付けたか否かを示す結果です。

決済キャンセルの実行結果は結果通知にて返却されますので、結果通知の内容で決済キャンセルの実行結果を確認してください。

19.2.2. 各インタフェース仕様詳細

19.2.2.1. 決済キャンセル

インタフェース概要

決済内容のキャンセルを行います。

※本インタフェースは、決済のキャンセル要求を行い要求結果を返します。

キャンセル処理の実行結果は別途結果通にて返却されます。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【UnionpayCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	UnionpayCancelInput	UnionpayCancelOutput	プロトコルタイプの決済キャンセルインタフェースを使用します。

【UnionpayCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【UnionpayCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【決済キャンセル】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQCANCEL：キャンセル要求中
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：出力内容の OrderID～TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

19.3. 決済の内容を返品する

即時売上、実売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容を返品することが可能です。

一部返品、全額返品が可能です。一部返品の場合、全額返品になるまで複数回実行することが可能です。

※返品の実施期間は、即時売上・実売上の処理完了日から 179 日以内です。

19.3.1. 決済内容を返品する流れ

以下に、決済の内容を返品する流れをご説明します。

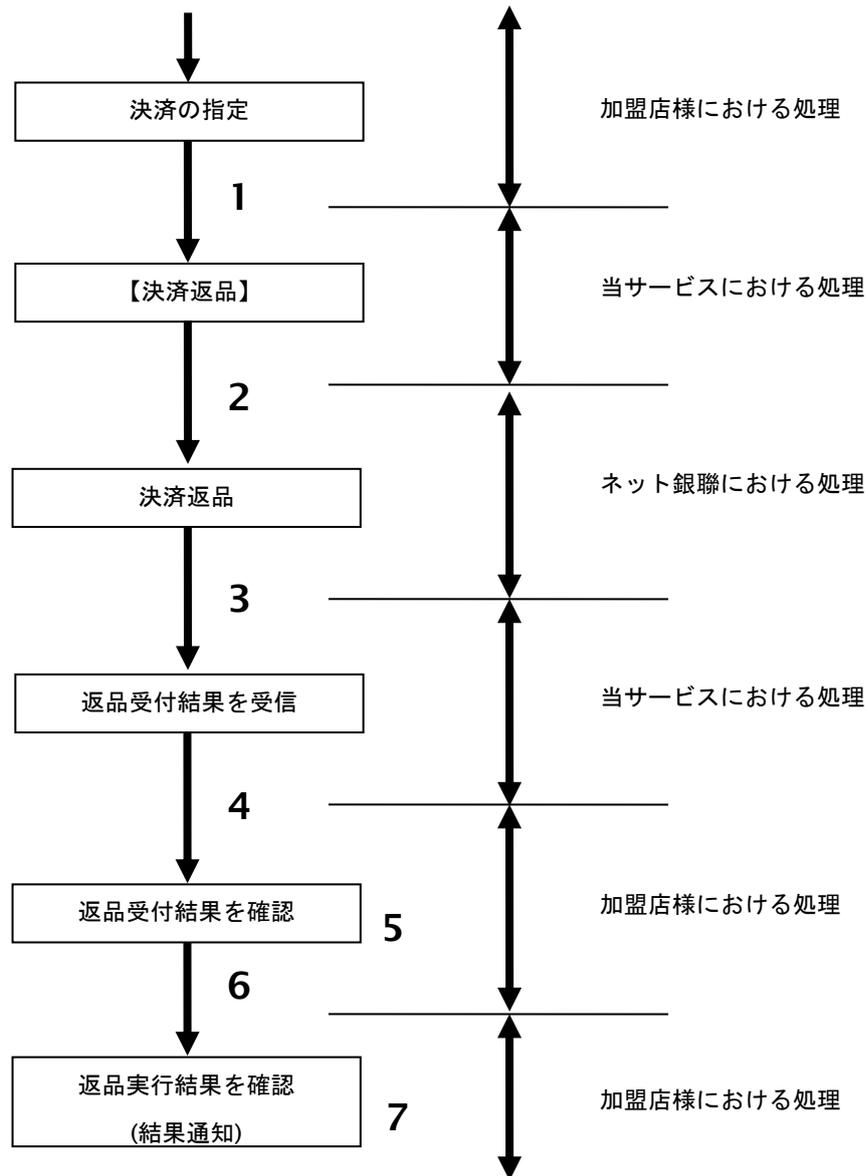


図 19.3.1-1 決済返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【決済返品】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の返品リクエストをネット銀聯に送信します。
3. ネット銀聯は、返品受付結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、返品受付結果を返します。
5. 加盟店様は、決済返品受付結果を確認します。
6. 当サービスは、返品実行結果を結果通知に返します。
7. 加盟店様は、返品実行結果を結果通知にて確認します。

(注意) 決済返品 API の出力パラメータとして返却されるのは、決済返品要求を受け付けたか否かを示す結果です。

決済返品の実行結果は結果通知にて返却されますので、結果通知の内容で決済返品の実行結果を確認してください。

19.3.2. 各インタフェース仕様詳細

19.3.2.1. 決済返品

インタフェース概要

即時売上、実売上の取引に対して決済内容の返品を行います。

※本インタフェースは、決済の返品要求を行い要求結果を返します。

返品処理の実行結果は別途結果通知にて返却されます。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【UnionpayReturn】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	UnionpayReturnInput	UnionpayReturnOutput	プロトコルタイプの決済返品インタフェースを使用します。

【UnionpayReturnInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【UnionpayReturnOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	CancelAmount	●	NUMBER	12	返品金額	返品金額+返品税送料を返品金額とします。(1円以上) 売上確定金額の一部返品が可能です。
7	CancelTax	●	NUMBER	12	返品税送料	例) 実売上 525 円より 210 円分返品 →返品金額: 210 例) 実売上 525 円を全額返品 →返品金額: 525

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【決済キャンセル】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ REQRETURN : 返品要求 一部返品時は返品処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	NUMBER	12	利用金額	利用金額から返品金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額 5,000 円より返品金額 3,000 円 → 利用金額 2,000 円
4	Tax	-	NUMBER	12	税送料	税送料から返品税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料 250 円より返品税送料 150 円 → 税送料 100 円
5	CancelAmount	-	NUMBER	12	返品金額	返品金額を返却します。
6	CancelTax	-	NUMBER	12	返品税送料	返品税送料を返却します。
7	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
8	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 出力内容の OrderID~TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

19.4. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- ・ オーソリした金額以内で、金額を指定した実売上が可能です。
- ・ 実売上は、1 オーダーID につき 1 度のみ実行可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上する事はできません。
- ・ 実売上の実施期間は、仮売上の処理完了日から 29 日以内です。

19.4.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れをご説明します。

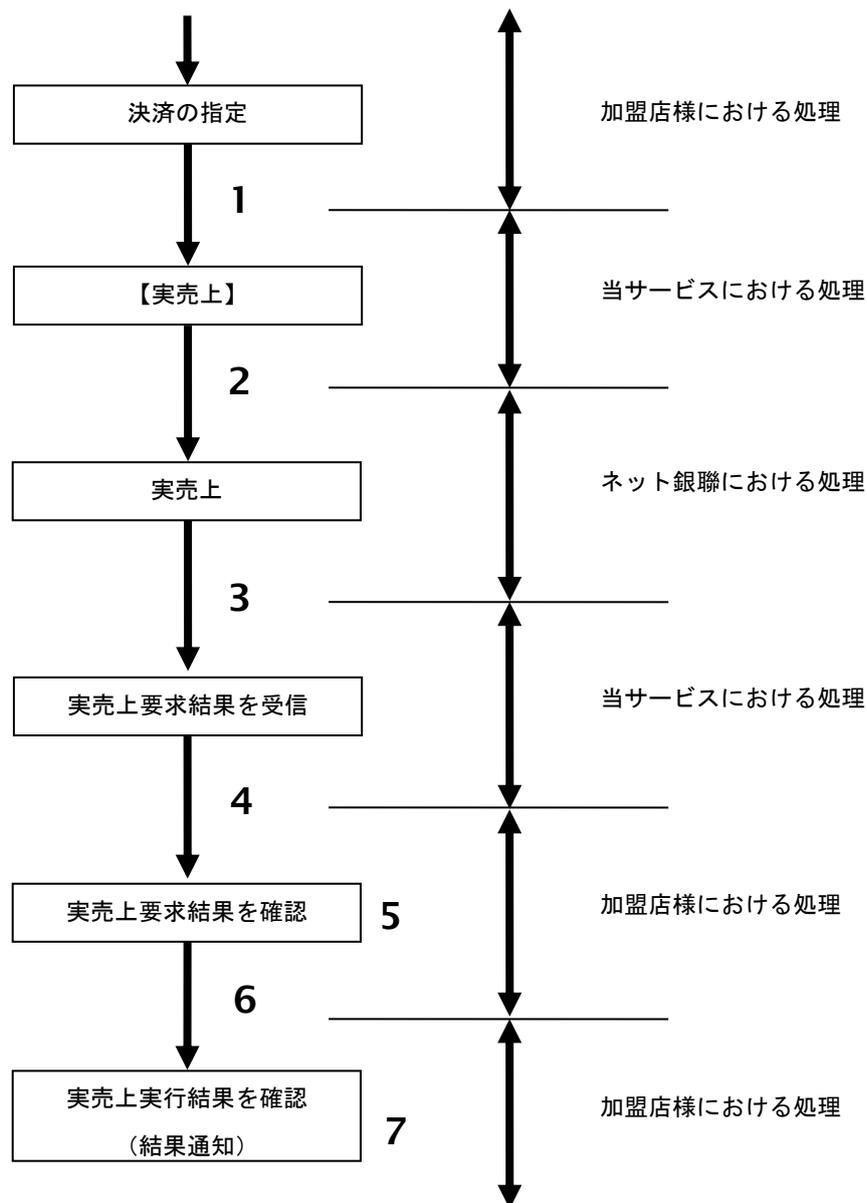


図 19.4.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【**実売上**】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストをネット銀聯に送信します。
3. ネット銀聯は、実売上受付結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、実売上受付結果を返します。
5. 加盟店様は、実売上受付結果を確認します。
6. 当サービスは、実売上実行結果を結果通知にて返します。
7. 加盟店様は、実売上実行結果を結果通知にて確認します。

注意) 実売上 API の出力パラメータとして返却されるのは、実売上要求を受け付けたか否かを示す結果です。

実売上の実行結果は結果通知にて返却されますので、結果通知の内容で実売上の実行結果を確認してください。

19.4.2. 各インタフェース仕様詳細

19.4.2.1. 実売上

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。

※本インタフェースは、決済の実売上要求を行い要求結果を返します。

実売上処理の実行結果は別途結果通にて返却されます。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【UnionpaySales】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	UnionpaySalesInput	UnionpaySalesOutput	プロトコルタイプの実売上インタフェースを使用します。

【UnionpaySalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【UnionpaySalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	Amount	◎	NUMBER	12	利用金額	利用金額+税送料が売上金額となります(1円以上)
7	Tax		NUMBER	12	税送料	※0円の場合はエラーとします。 ※オーソリ時より大きい金額の場合はエラーとします。 ※オーソリ時と異なる金額の場合は、指定された金額で売上を確定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	【実売上】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理時は以下のステータスが返却されます。 ・REQSALES : 実売上
3	Amount	-	NUMBER	12	利用金額	売上確定した利用金額を返却します。
4	Tax	-	NUMBER	12	税送料	売上確定した税送料を返却します。
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

20. ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

20.1. ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済を実行する

購入時にお客様がソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金に必要な情報を入力してから決済依頼します。

20.1.1. ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済の流れ

以下に、ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済の流れをご説明します。

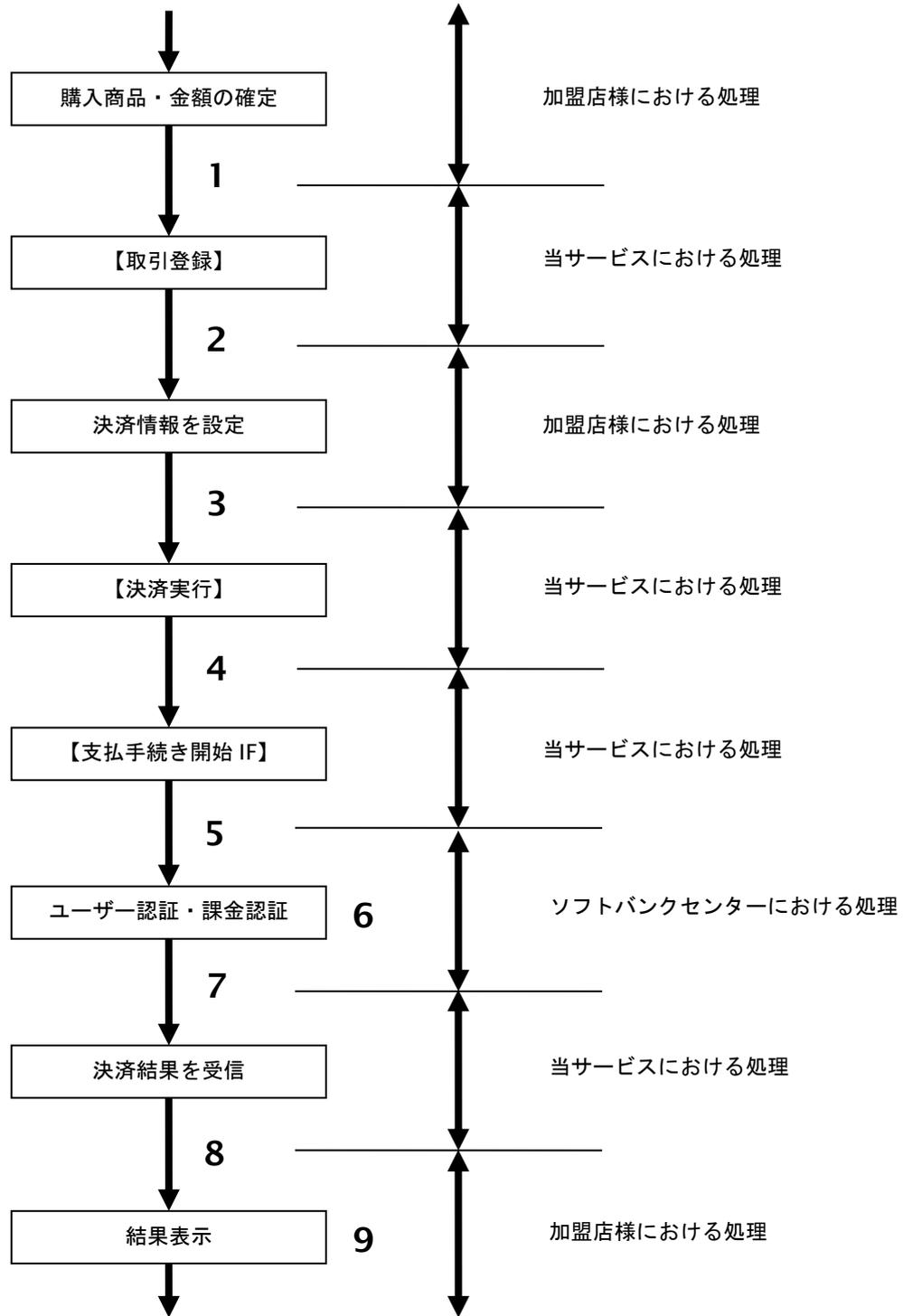


図 20.1.1-1 ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をソフトバンクセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の決済画面にて支払操作を行います。
7. ソフトバンクセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

20.1.2. 各インタフェースの仕様詳細

20.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranSbContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranSbContinuanceInput	EntryTranSbContinuanceOutput	ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranSbContinuanceInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranSbContinuanceOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	NUMBER	6	利用金額	
5	Tax		NUMBER	6	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

20.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranSbContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranSbContinuanceInput	ExecTranSbContinuanceOutput	ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranSbContinuanceInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranSbContinuanceOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
7	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
8	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
9	RetURL	◎	String	2048	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 ソフトバンクセンター上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
10	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。 最大 86,400 秒 (1 日) 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。
11	ChargeDay	◎	CHAR	2	課金基準日	月々の継続課金を確定する日を指定します。 有効な日付は 10,15,20,25,31 です。 尚、31 の場合は毎月月末に継続課金データを確定します。

12	FirstMonthFreeFlag	◎	CHAR	1	初月無料フラグ	継続課金申込時に課金するかを指定します。 0：課金する 1：課金しない（申込のみ）
----	--------------------	---	------	---	---------	---

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	String	256	トークン	取引 ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	String	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	StartLimitDate	-	CHAR	14	支払開始期限日時	支払手続き開始 IF の呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

20.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranSbContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranSbContinuanceInput	EntryExecTranSbContinuanceOutput	ソフトバンクまとめて支払い（B）継続課金決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranSbContinuanceInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranSbContinuanceOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

20.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	SbContinuanceStart	pagePath, SbContinuanceStartI nput, encode	CHAR	雛形ページの内容をもとに、リダイ レクト用 HTML ページを作成しま す。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	CHAR	-	雛形ページファイルへ のパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	Accessid	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定しま す。
3	Token	◎	CHAR	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定しま す。
4	encode	◎	CHAR	-	リダイレクトページの 文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に 使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

20.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

ソフトバンクセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

この決済結果は、ソフトバンクセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	32	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：継続課金登録 PAYFAIL：継続課金登録失敗 AUTHCANCEL：認証処理キャンセル
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	SbTrackingId	-	CHAR	14	ソフトバンク処理トラッキングID	継続課金申込処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 お客様が利用履歴画面で確認できます。
6	StartChargeMonth	-	CHAR	6	課金開始月	自動課金を行う開始月を返却します。 処理日時（ユーザが継続課金申込完了した日時）の翌月が設定されます。 yyyyMM 書式
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

20.2. 課金データを取消する

取引の取引 ID・取引パスワード・年月を指定すると、指定した課金データを取消することが可能です。

すでに利用者に対しソフトバンクから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。

キャンセル可能期間は以下のとおりです。

- ・ 売上が未確定の場合は、取引登録後 60 日間です。
- ・ 売上が確定済みの場合は、確定日を含めて 180 日間です。

※キャンセル期限を超過した場合はエラーコード” SC1000004”が返却されます。

キャンセルは、1 オーダーID につき 1 度のみ実行可能です。

20.2.1. 課金データを取消する流れ

以下に、決済の内容を取消する流れをご説明します。

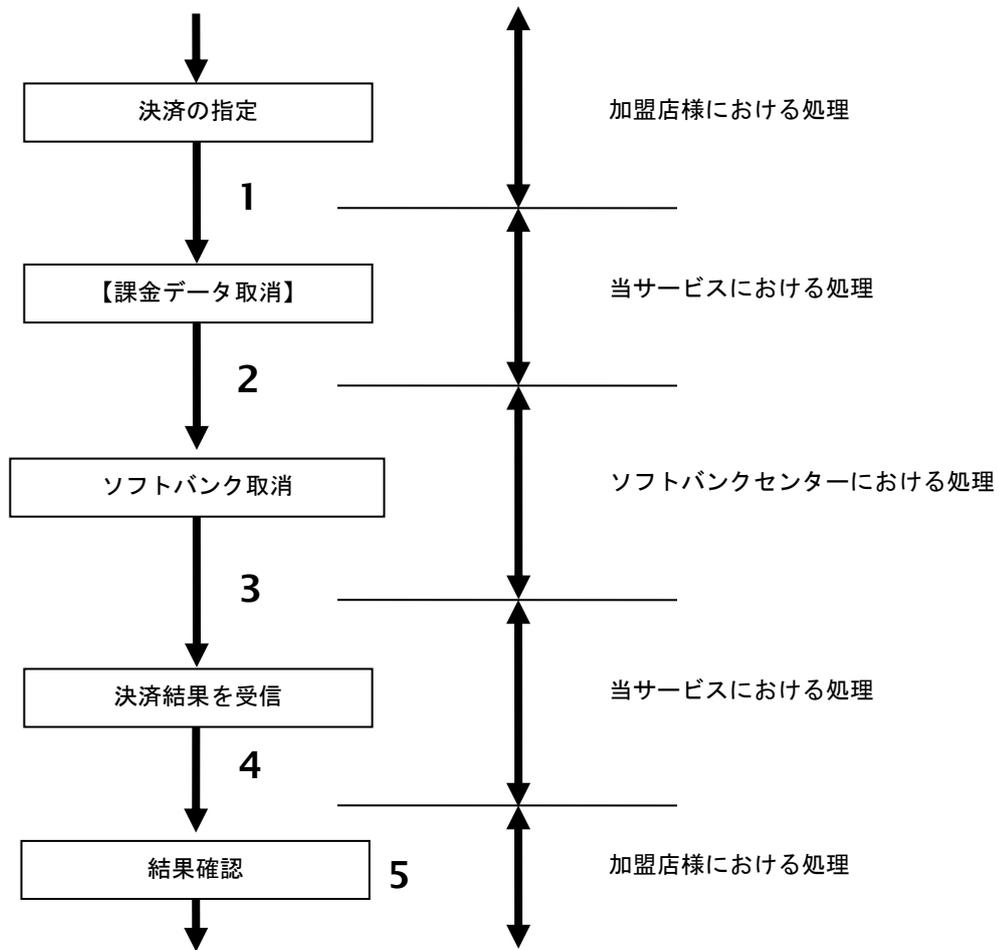


図 20.2.1-1 課金データ取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取消する取引の取引 ID・取引パスワード・年月を指定し、当サービスの【課金データ取消】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の取消リクエストをソフトバンクセンターに送信します。
3. ソフトバンクセンターは、取消結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、取消結果を返します。
5. 加盟店様は、課金データ取消の結果を確認します。

20.2.2. 各インタフェース仕様詳細

20.2.2.1. 課金データ取消

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【SbContinuanceChargeCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	SbContinuanceChargeCancelInput	SbContinuanceChargeCancelOutput	プロトコルタイプの課金データ取消インタフェースを使用します。

【SbContinuanceChargeCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【SbContinuanceChargeCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	
6	ContinuanceMonth	◎	String	6	課金月	取消する継続課金の年月を yyyyMM 書式で指定してください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Status	-	String	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL：課金要求取消 ・ RETURN：課金確定取消 取消失敗時は取消処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

20.3. 継続課金を解約する

課金登録が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に登録した継続課金を解約することが可能です。
課金登録の解約とすでに課金されている各月の課金は連動しません。

- ・ 課金解約は登録後いつでも実行可能です。
- ・ 課金解約を実行すると、翌月から課金されなくなります。
- ・ 課金解約を実行しても、すでに発生した課金は売上取消・返金されません。

20.3.1. 継続課金を解約する流れ

以下に、継続課金を解約する流れをご説明します。

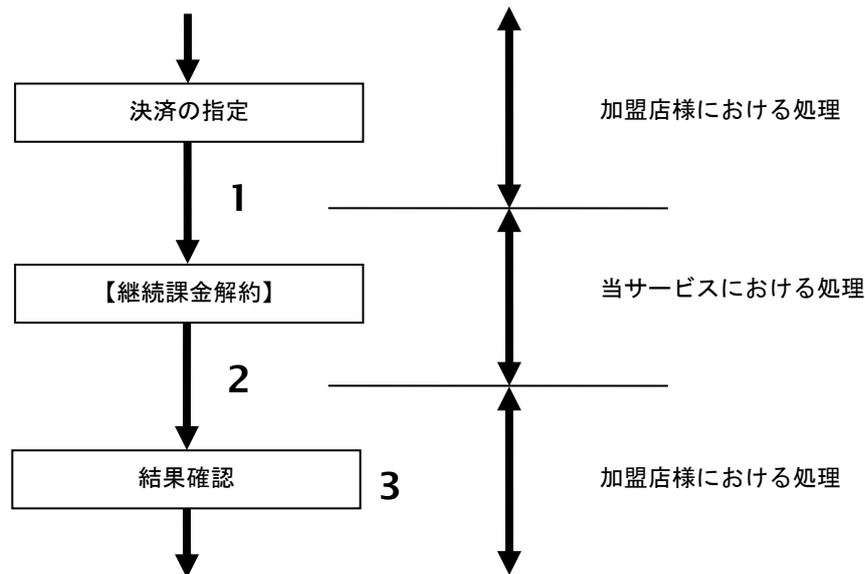


図 20.3.1-1 継続課金解約の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、解約する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【継続課金解約】を呼び出します。
2. 当サービスは、継続課金解約処理を行い結果を返します。
3. 加盟店様は、継続課金解約の結果を確認します。

20.3.2. 各インタフェース仕様詳細

20.3.2.1. 継続課金解約

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【SbContinuanceCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	SbContinuanceCancel Input	SbContinuanceCancel Output	プロトコルタイプの継続課金解約インタフェースを使用します。

【SbContinuanceCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【SbContinuanceCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Status	-	String	-	現状態	解約成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：継続課金解約
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21. リクルートかんたん支払い決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

21.1. リクルートかんたん支払い決済を実行する

購入時にお客様がリクルートかんたん支払い決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

21.1.1. リクルートかんたん支払い決済の流れ

以下に、リクルートかんたん支払い決済の流れをご説明します。

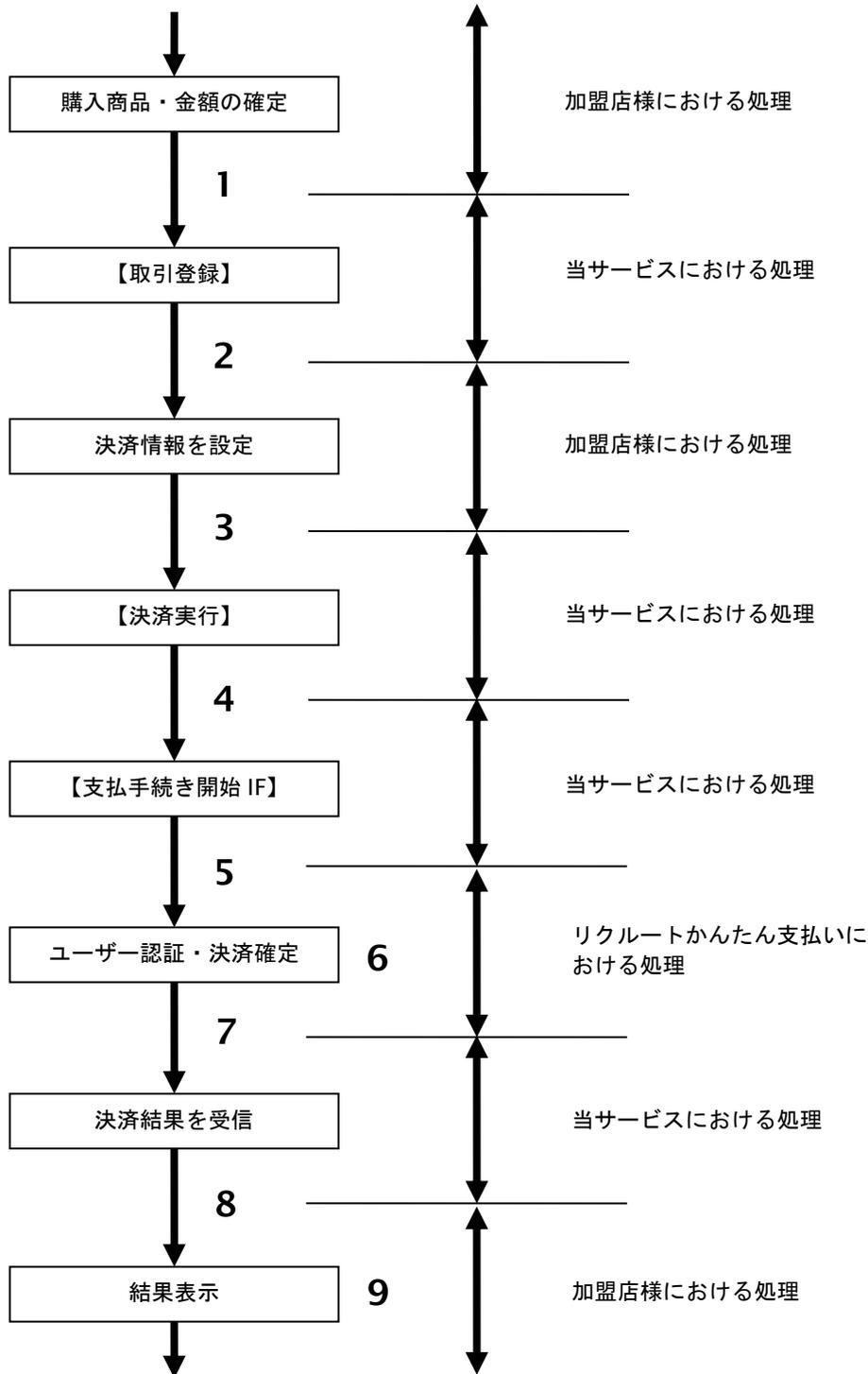


図 21.1.1-1 リクルートかんたん支払い決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をリクルートかんたん支払いの決済画面に誘導します。
6. お客様は、リクルートかんたん支払いの決済画面にて支払操作を行います。
7. リクルートかんたん支払いは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

21.1.2. 各インタフェース仕様詳細

21.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranRecruit】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranRecruitInput	EntryTranRecruitOutput	リクルートかんたん支払い決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranRecruitInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranRecruitOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	JobCd	◎	CHAR	-	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
5	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	
6	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で1円以上9,999,999円以下である必要があります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21.1.2.2. 決済実行

インターフェース概要

契約情報を確認し、これ以降の処理に必要なトークンを返却します。

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranRecruit】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranRecruitInput	ExecTranRecruitOutput	リクルートかんたん支払い決済実行インターフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranRecruit Input】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranRecruit Output】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		CHAR	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
8	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
9	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
10	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0: 返却しない(デフォルト) 1: 返却する
11	RetURL	◎	CHAR	2048	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 リクルートかんたん支払い上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
12	ItemName	◎	CHAR	512	商品名	商品名称を設定します。(※1)
13	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。 最大 3,600 秒 (1 時間) 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1: 文字バイトチェックは UTF-8 を使用しているため、全角文字は 3byte で換算されます。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	String	256	トークン	アクセス ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	String	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21.1.2.3. 取引・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranRecruit】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranRecruit Input	EntryExecTranRecruit Output	リクルートかんたん支払い決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranRecruitInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranRecruitOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

21.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

リクルートかんたん支払い決済において、お客様をリクルートかんたん支払い決済画面へと遷移させる必要があります。加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を当サービスの支払手続き開始 IF に誘導してください。当サービスは、お客様をリクルートかんたん支払い決済の決済画面に誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	recruitStart	pagePath, RecruitStartInput, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
3	Token	◎	String	256	トークン	【決済実行】で発行された値を設定します。
4	encode	◎	String		リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読込の際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

21.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

リクルートかんたん支払いから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

この決済結果は、リクルートかんたん支払いの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショッピング管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	32	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 PAYFAIL：決済失敗 REQCAPTURE：即時売上受け ※即時売上で決済した場合「即時売上受け」となります。リクルートかんたん支払いにて売上確定が行われた後「即時売上受け」から「即時売上」になります。「即時売上」は結果通知にて返却されます。
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassのハッシュ値を返却します。
6	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
7	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
9	RcOrderId	-	CHAR	16	注文番号	決済の注文番号を返却します。
10	RcOrderTime	-	CHAR	14	注文時刻	注文確定時間を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
11	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	購入者が行使したポイント数を返却します。
12	RcUseCoupon		CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
13	RcUseShopCoupon		CHAR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
14	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
15	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21.2. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすることが可能です。キャンセル可能な条件や期間は以下のとおりです。

(i) 注文確定前の場合

何回でもキャンセルを実施することができる(※)。

※一度キャンセル処理が成功した上でもう一度キャンセルを実施した場合はエラーになります。

(ii) 注文確定後、及び即時売上の取引の場合

注文確定の処理完了日の翌月末日迄であること。

21.2.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れをご説明します。

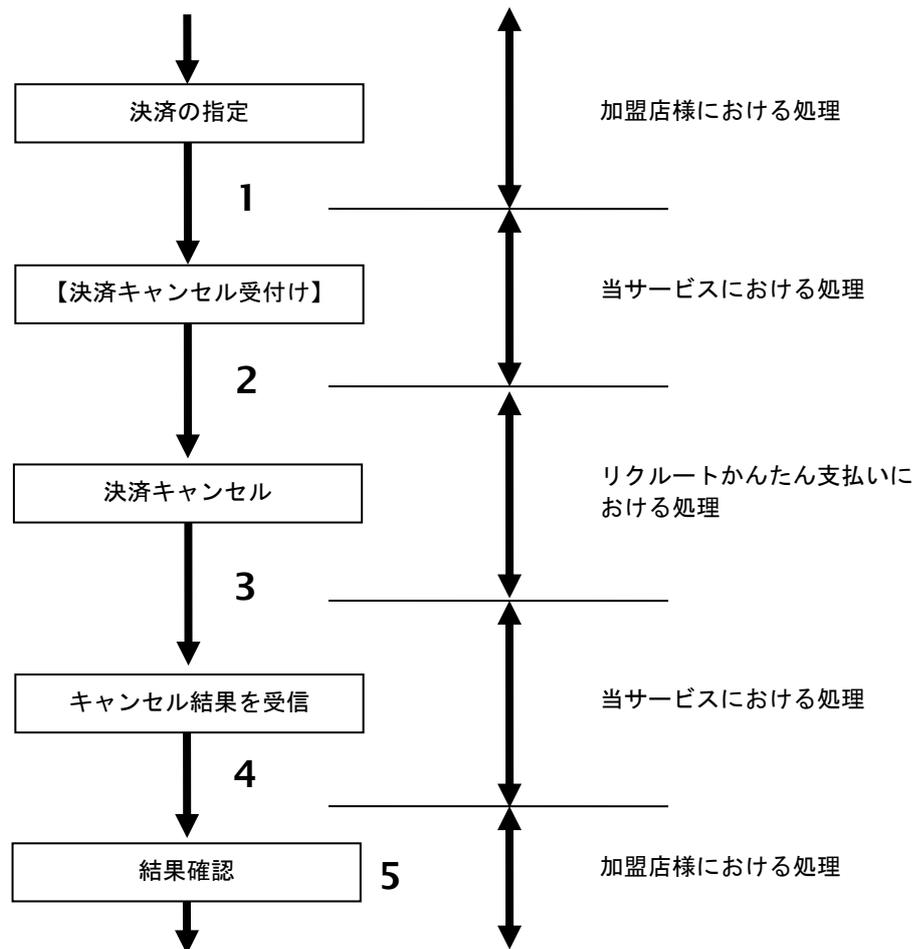


図 21.2.1 -1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【決済キャンセル】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のキャンセルリクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、キャンセル結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

21.2.2. 各インタフェース仕様詳細

21.2.2.1. 決済キャンセル

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RecruitCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	RecruitCancelInput	RecruitCancelOutput	プロトコルタイプの決済キャンセルインタフェースを使用します。

【RecruitCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RecruitCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ CANCEL : キャンセル ・ RETURN : 返品 処理失敗時は処理前の下記ステータスが維持されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ AUTH : 仮売上 ・ SALES : 実売上 ・ CAPTURE : 即時売上
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

実行可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
- ・ オーソリ有効期限内であること。

※オーソリ有効期限は、注文日を含む 1 日後から 60 日後までの期間を指します。加盟店様の申し込み時に、1 日から 60 日までの任意の期間を選択いただけます。

例) 注文日が 2 日で、有効期間を 15 日間を選択している場合、オーソリ有効期限は 16 日までとなります。

※オーソリの有効期限を超えた場合は、リクルートかんたん支払いにて自動でキャンセルされます。

21.3.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れをご説明します。

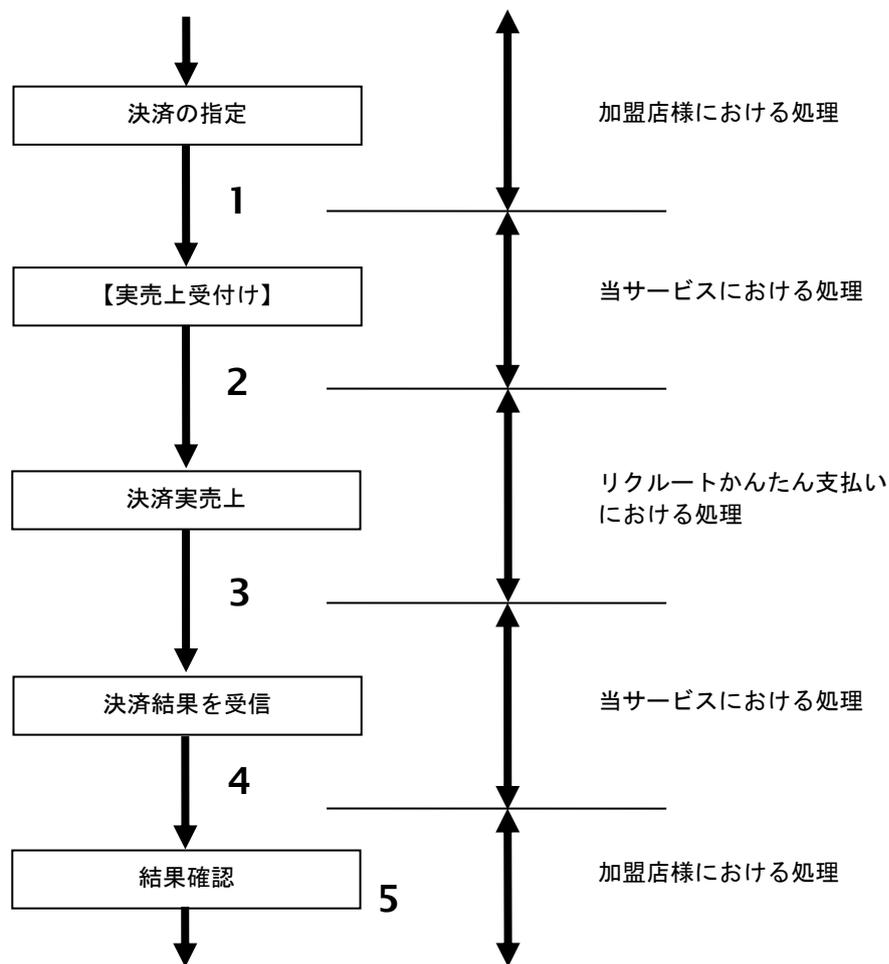


図 21.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【**実売上**】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の実売上リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、実売上結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、実売上結果を返します。
5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

21.3.2. 各インタフェースの仕様詳細

21.3.2.1. 実売上

インタフェース概要

リクルートかんたん支払い決済の実売上を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RecruitSales】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	RecruitSalesInput	RecruitSalesOutput	プロトコルタイプの実売上インタフェースを使用します。

【RecruitSalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RecruitSalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	Version		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES : 実売上 処理失敗時は処理前の下記ステータスが維持されます。 ・ AUTH : 仮売上
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21.4. 決済の金額を変更する

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済の金額を変更することが可能です。金額変更可能な条件や期間は以下のとおりです。

(i) 注文確定前の場合

金額変更が成功した場合、リクルートかんたん支払いから購入者に対してメールが送信される。

(ii) 注文確定後、及び即時売上の取引の場合

注文確定の処理完了日から翌月末日迄であること。

合計金額を増額することはできない。

金額変更が成功した場合、リクルートかんたん支払いから購入者に対してメールが送信される。

売上確定、即時売上を実施した日の翌日 AM0:00～AM1:00 は、リクルートかんたん支払いにて金額変更ができない。(エラーコード：RC1000109 が返却される)

※金額変更は何回でも実施することができます。

※金額変更時にクーポン利用下限金額を下回った場合、クーポンの利用が取り消されることがあります。

※購入時にポイントのみを利用し支払いされた場合、金額を増額することはできません。

※尚、売上の確定当日は金額変更を実施することはできません(翌日以降)。

21.4.1. 決済の金額を変更する流れ

以下に、決済の内容を金額変更する流れをご説明します。

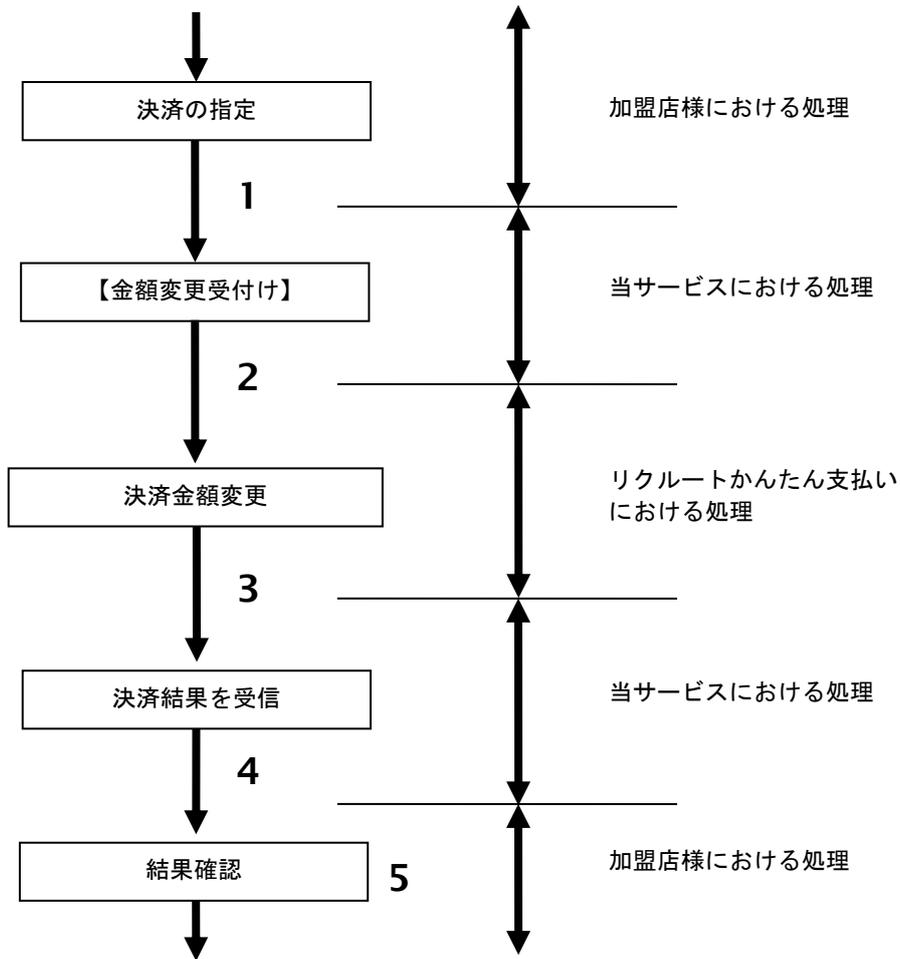


図 22.4.1-1 決済金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワード、変更後の利用金額と税送料を指定し、当サービスの【金額変更】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の金額変更リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、金額変更結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、金額変更結果を返します。
5. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

21.4.2. 各インタフェースの仕様詳細

21.4.2.1. 決済金額変更

インタフェース概要

リクルートかんたん支払い決済の金額変更を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RecruitChange】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	Exec	RecruitChangeInput	RecruitChangeOutput	プロトコルタイプの金額変更インタフェースを使用します。

【RecruitChangeInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RecruitChangeOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
7	Amount	◎	NUMBER	7	変更利用金額	指定の金額で利用金額を設定しなおします。
8	Tax		NUMBER	7	変更税送料	指定の金額で税送料を設定しなおします。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	金額変更成功時は以下の金額変更処理前のステータスが返却されます。 ・ AUTH : 仮売上 ・ SALES : 実売上 ・ CAPTURE : 即時売上 金額変更失敗時においても金額変更処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Number	7	利用金額	利用金額金額を返却します。
4	Tax	-	Number	7	税送料	税送料を返却します。
5	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	金額変更後のポイント数を返却します。
6	RcUseCoupon		CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。(※1) ※割引額が絶対値で入ります。
7	RcUseShopCoupon		CHAR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。(※1) ※値引き額が絶対値で入ります。
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

21.5. 決済のオーソリ期限延長を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、オーソリ期限延長が可能です。

オーソリ期限延長可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 仮売として登録した取引であること。
- ・ オーソリの有効期限内であること。

※オーソリが有効であっても、オーソリの期限延長が実施できる期間は注文日から注文日を含む 120 日間となります。

※オーソリの有効期限を超えた場合は、リクルートかんたん支払いにて自動でキャンセルされます。

※オーソリ有効期限は、注文日を含む 1 日後から 60 日後までの期間を指します。加盟店様の申し込み時に、1 日から 60 日までの任意の期間を選択いただけます。

注文日が 2 日で、有効期間を 15 日間に選択している場合、オーソリ有効期限は 16 日までとなります。

※オーソリ期限延長に失敗した場合、加盟店様側でお客様に対し有効なカードへの変更をお願いしていただく必要がございます。

21.5.1. オーソリ期限延長を行う流れ

以下に、オーソリ期限延長を行う流れをご説明します。

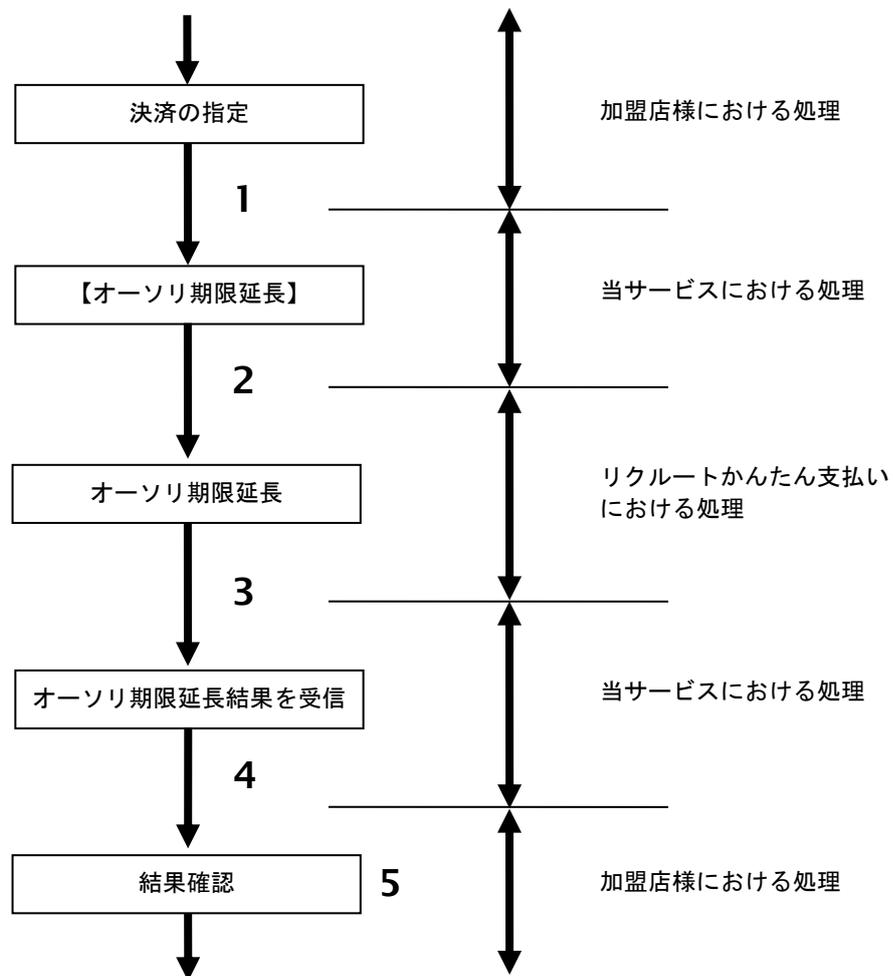


図 21.5.1-1 オーソリ期限延長の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、オーソリ期限延長する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【オーソリ期限延長】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引のオーソリ期限延長リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、オーソリ期限延長結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、オーソリ期限延長結果を返します。
5. 加盟店様は、オーソリ期限延長の結果を確認します。

21.5.2. 各インタフェース仕様詳細

21.5.2.1. オーソリ期限延長

インタフェース概要

仮売上の取引に対してオーソリ期限の延長を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RecruitUpdateAuth】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	Exec	RecruitUpdateAuthInput	RecruitUpdateAuthOutput	プロトコルタイプのオーソリ期限延長インタフェースを使用します。

【RecruitUpdateAuthInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RecruitUpdateAuthOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	VerSion		CHAR	3	パラメータバージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータ値を"&"で結合したパラメータを出力します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	金額変更成功時は以下のステータスが返却されます。 ・REQCHANGE：金額変更受付け 金額変更失敗時は金額変更処理前のステータスが返却されます。
3	RcUpdateAuthDay	-	CHAR	8	オーソリ期限延長実施日	オーソリ期限延長実施日を yyyyMMdd 形式で返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

22. リクルートかんたん支払い継続課金決済インターフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインターフェース詳細についてご説明します。

22.1. リクルートかんたん支払い継続課金決済を実行する

購入時にお客様がリクルートかんたん支払い継続課金に必要な情報を入力してから決済依頼します。

22.1.1. リクルートかんたん支払い継続課金決済の流れ

以下に、リクルートかんたん支払い継続課金決済の流れをご説明します。

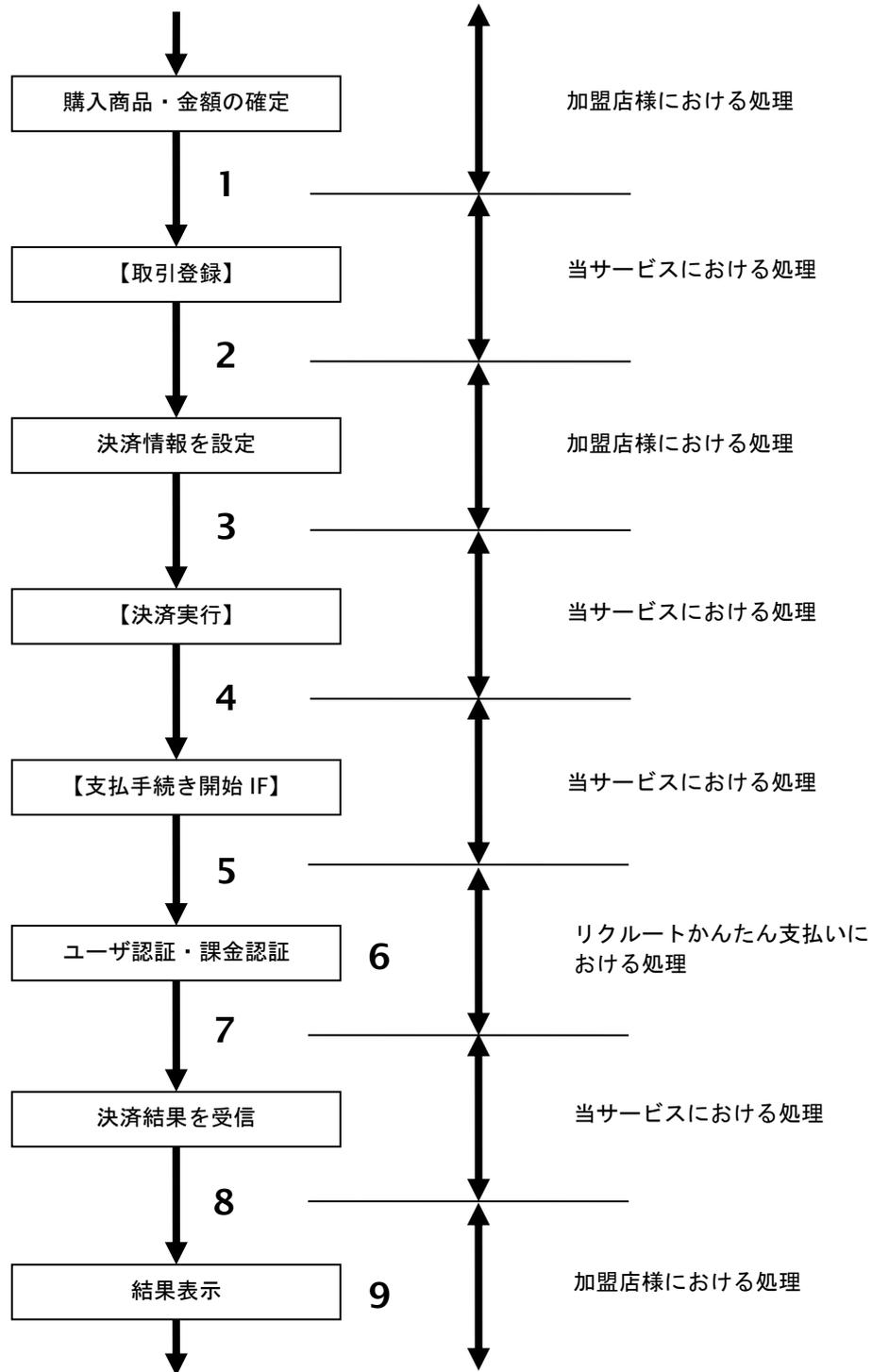


図 22.1.1-1 リクルートかんたん支払い継続課金決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をリクルートかんたん支払いの決済画面に誘導します。
6. お客様は、リクルートかんたん支払いの決済画面にて支払操作を行います。
7. リクルートかんたん支払いは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

22.1.2. 各インタフェース仕様詳細

22.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranRecruitContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranRecruitContinuanceInput	EntryTranRecruitContinuanceOutput	リクルートかんたん支払い継続課金決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranRecruitContinuanceInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranRecruitContinuanceOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	NUMBER	7	利用金額	
5	Tax		NUMBER	7	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で1円以上9,999,999円以下である必要があります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	
2	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCodeのn番目とErrInfoのn番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

22.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

契約情報を確認し、これ以降の処理に必要なトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranRecruitContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranRecruitContinuanceInput	ExecTranRecruitContinuanceOutput	リクルートかんたん支払い継続課金決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranRecruitContinuanceInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranRecruitContinuanceOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
7	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
8	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
9	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0 : 返却しない(デフォルト) 1 : 返却する
10	RetURL	◎	CHAR	2048	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 リクルートかんたん支払い継続課金上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
11	ItemName	◎	CHAR	512	商品名	商品名称を設定します。※
12	PaymentTermSec		NUMBER	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。 最大 3,600 秒 (1 時間) 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。
13	ChargeDay	◎	CHAR	2	課金基準日	月々の継続課金を確定する日を指定します。 有効な日付は 10,15,20,25,31 です。 尚、31 の場合は毎月月末に継続課金データを確定します。
14	FirstMonthFreeFlag	◎	CHAR	1	初月無料フラグ	継続課金申込時に課金するかを指定します。 0 : 課金する 1 : 課金しない

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※文字バイトチェックは UTF-8 を使用しているため、全角文字は 3byte で換算されます。

設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	String	256	トークン	アクセス ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	String	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
5	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

22.1.2.3. 取引・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranRecruitContinuance】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranRecruitContinuanceInput	EntryExecTranRecruitContinuanceOutput	リクルートかんたん支払い継続課金決済の取引登録と決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranRecruitContinuanceInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranRecruitContinuanceOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

22.1.2.4. 決済結果受信

処理概要

リクルートかんたん支払いから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作が失敗した場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

この決済結果は、リクルートかんたん支払いの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

※初月無料フラグが「0：課金する」の場合、初月課金の結果通知も送信されます。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップ ID	該当取引のショップ ID を返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダー ID	該当取引のオーダー ID を返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：継続課金登録 PAYFAIL：継続課金登録失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID, AccessID, ShopID, ShopPass のハッシュ値を返却します。
6	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却します。
7	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
9	RcContractId	-	CHAR	15	契約番号	継続課金の契約を一意に識別する ID を返却します。(リクルートかんたん支払いが発行)
10	RcOrderId	-	CHAR	16	注文番号	継続課金ごとに払い出す決済を一意に識別する ID を返却します。(リクルートかんたん支払いが発行)
11	RcOrderTime	-	CHAR	14	注文時刻	注文確定時間を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
12	RcCustomerId		CHAR	256	顧客 ID ハッシュ値	リクルート ID の MD5 ハッシュ値が返却されます。
13	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	購入者が行使したポイント数を返却します。
14	RcUseCoupon		CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
15	RcUseShopCoupon		CHAR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
16	RcStartChargeMonth	-	CHAR	6	課金開始月	自動課金を行う開始月を返却します。 処理日時(ユーザが継続課金申込完了した日時)の翌月が設定されます。 yyyyMM 書式
17	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

18	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
----	---------	---	------	---	----------	---

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)
ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

22.2. 課金データを取消する

取引の取引 ID・取引パスワード・年月を指定すると、指定した課金データを取消することが可能です。

取消可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 課金データの取消は 1 度のみ実行可能
- ・ 取引状態が「課金要求済み」「課金済み」の課金データに対し取消が実行可能
- ・ 取引状態が「課金済み」の場合、課金確定実行日の翌月末日迄、取消が実行可能

22.2.1. 課金データを取消する流れ

以下に、決済の内容を取消する流れをご説明します。

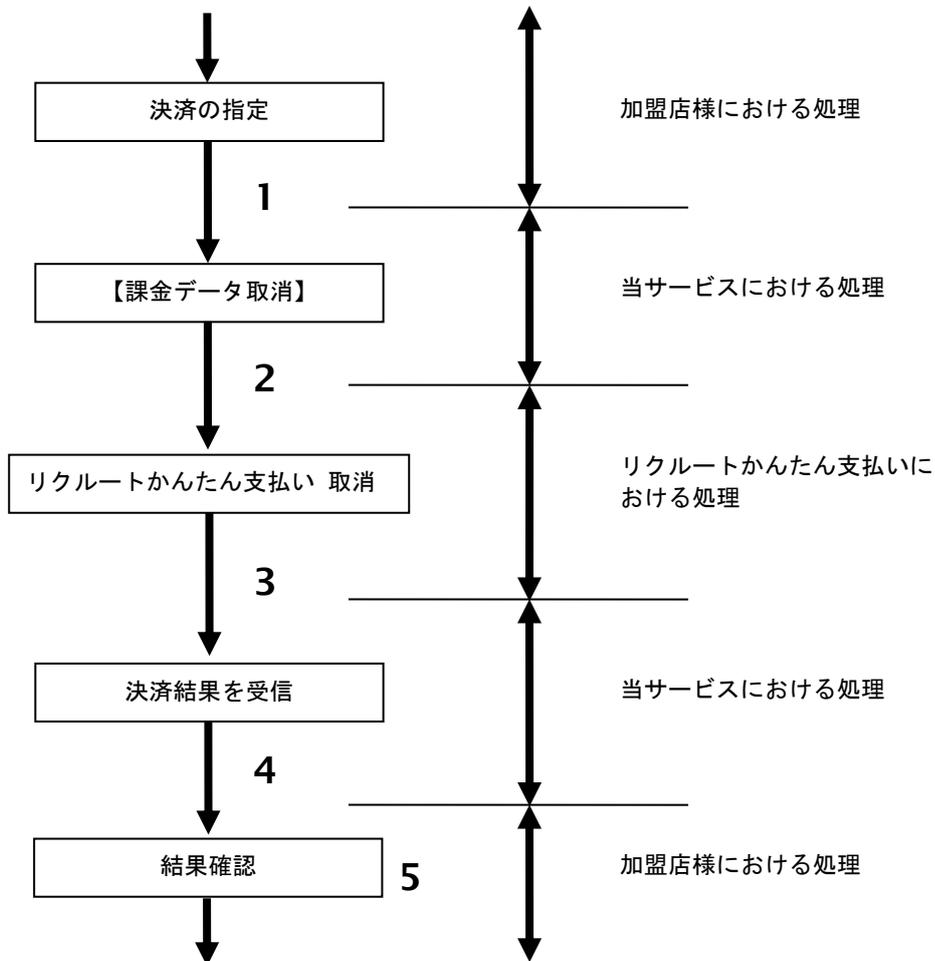


図 22.2.1-1 課金データ取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取消する取引の取引 ID・取引パスワード・年月を指定し、当サービスの **【課金データ取消】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の取消リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、取消結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、取消結果を返します。
5. 加盟店様は、課金データ取消の結果を確認します。

22.2.2. 各インタフェースの仕様詳細

22.2.2.1. 課金データ取消

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RecruitContinuanceChargeCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	Exec	RecruitContinuanceChargeCancelInput	RecruitContinuanceChargeCancelOutput	プロトコルタイプの課金データ取消インタフェースを使用します。

【RecruitContinuanceChargeCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RecruitContinuanceChargeCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	
6	ContinuanceMonth	◎	String	6	課金月	取消する継続課金の年月を yyyyMM 書式で指定してください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Status	-	String	-	現状態	キャンセル成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL：課金要求取消 ・ RETURN：課金確定取消 取消失敗時は取消処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

22.3. 継続課金を解約する

課金登録が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に登録した継続課金を解約することが可能です。解約可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 課金解約は課金申込後いつでも実行可能です。
- ・ 課金解約を実行すると、次回以降の課金要求が行われません。
- ・ 課金解約を実行しても、すでに発生した課金データは取消されません。
取消が必要な場合は、別途課金データの取消処理を行ってください

※ユーザがリクルートマイページから解約する場合があります。解約結果は結果通知にて連携されます。

※月初 5 日の課金要求時に強制解約される場合があります。解約結果は結果通知にて連携されます。

(加盟店様の申し込み時に、課金要求の際にクレジットカードの有効期間切れ・有効性エラー・与信枠不足などが発生した場合に、強制解約を行う・行わないを選択できる形となっております。)

22.3.1. 継続課金を解約する流れ

以下に、継続課金を解約する流れをご説明します。

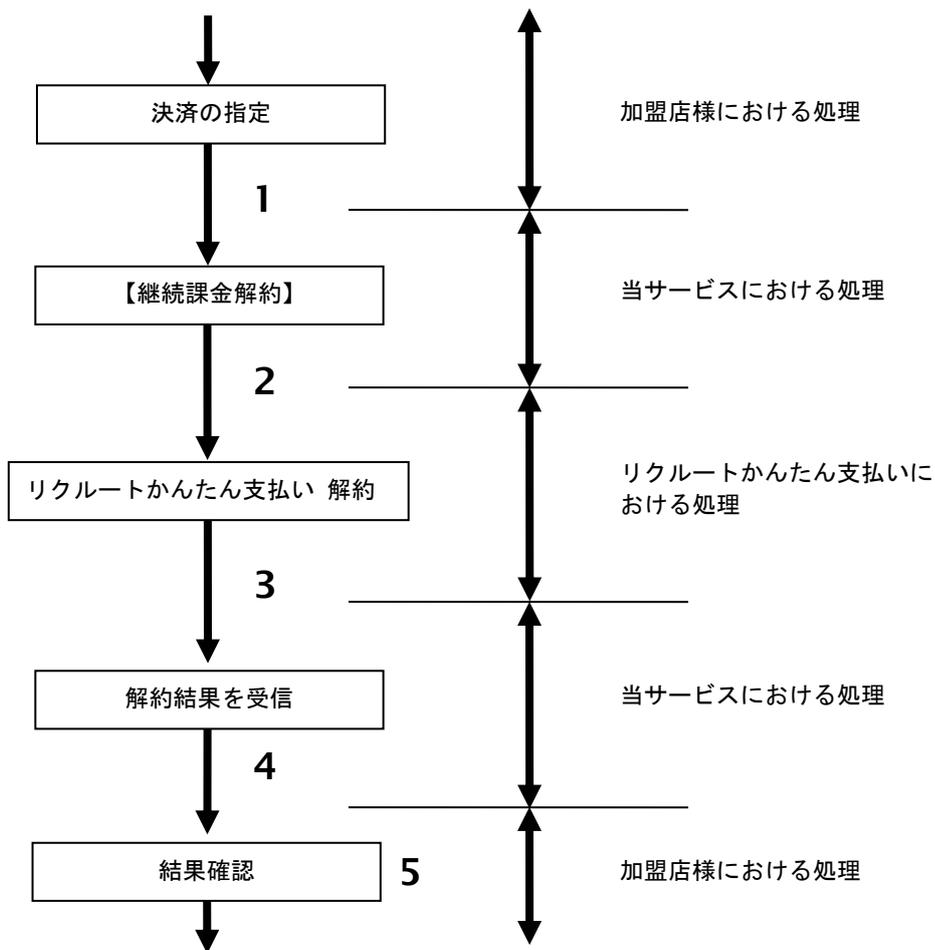


図 22.3.1-1 継続課金解約の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、解約する取引の取引 ID・取引パスワードを指定し、当サービスの【継続課金解約】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の継続課金解約リクエストをリクルートかんたん支払いに送信します。
3. リクルートかんたん支払いは、継続課金解約結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、継続課金解約結果を返します。
5. 加盟店様は、継続課金解約の結果を確認します。

22.3.2. 各インタフェース仕様詳細

22.3.2.1. 継続課金解約

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RecruitContinuanceCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	RecruitContinuance CancelInput	RecruitContinuance CancelOutput	プロトコルタイプの継続課金解約 インタフェースを使用します。

【RecruitContinuanceCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RecruitContinuanceCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Status	-	String	-	現状態	解約成功時は以下のステータスが返却 されます。 ・CANCEL：継続課金解約
3	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)となります
4	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

22.4. 継続課金の金額を変更する

継続課金登録中の取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、次回からの課金要求時の金額を変更することが可能です。

金額変更可能な条件や期間は以下のとおりです。

- ・ 金額変更を行うと次回以降の課金要求から変更後の金額で課金を行います。
- ・ すでに課金要求を行った課金データ、また課金確定を行った課金データに対しての金額変更はできません。

22.4.1. 継続課金の金額変更を行う流れ

以下に、金額変更する流れをご説明します。

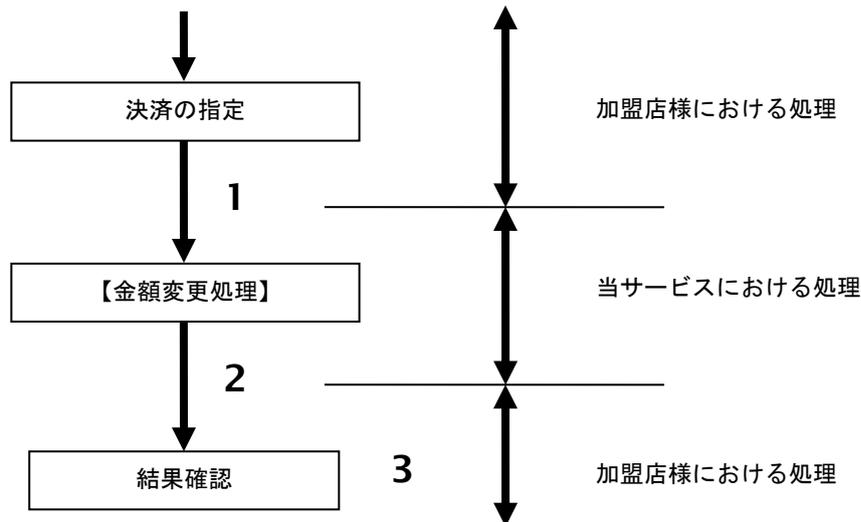


図 25.4.1-1 決済金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワード、変更後の利用金額と税送料を指定し、当サービスの【金額変更】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の金額変更処理を行います。
3. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

22.4.2. 各インタフェースの仕様詳細

22.4.2.1. 金額変更

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【RecruitContinuanceChange】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	RecruitContinuance ChangeInput	RecruitContinuance ChangeOutput	プロトコルタイプの継続課金金額変更インタフェースを使用します。

【RecruitContinuanceChangeInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【RecruitContinuanceChangeOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	String	13	ショップID	
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	String	32	取引ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	
6	Amount	◎	NUMBER	7	変更利用金額	指定の金額で利用金額を設定しなおします。
7	Tax		NUMBER	7	変更税送料	指定の金額で税送料を設定しなおします。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Status	-	String	-	現状態	以下の金額変更処理前のステータスが返却されます。 ・REGISTER：継続課金登録
3	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	利用金額を返却します。
4	Tax	-	NUMBER	7	税送料	税送料を返却します。
5	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります
6	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)となります

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

23. 銀行振込(バーチャル口座)インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

23.1. 概要

23.1.1. 口座契約形態について

銀行振込(バーチャル口座)の口座契約形態は2種類あります。

口座契約形態	説明
専有口座	加盟店様専用のバーチャル口座を、契約した口座数割り当てします。 バーチャル口座の口座名称には加盟店様の名称が付与されます。 「取引口座」、「継続口座」としての利用が可能です。
共有口座	複数の加盟店様でバーチャル口座を使いまわします。 バーチャル口座の口座名称は、「GMOPG」になります。 後述する「取引口座」として利用が可能です。

23.1.2. 取引口座・継続口座について

銀行振込(バーチャル口座)の利用方法は2種類あります。

利用方法	説明
取引口座	取引ごと(決済実行時)に、未使用(※1)の口座を割り当てします。 割り当てた口座への入金、もしくは取引の有効期限が切れると結果通知を行います。 入金および有効期限切れしたあと口座再利用保留期間経過後に、再利用可能となります。
継続口座	継続口座 ID を指定して口座を割り当てします。 割り当てた口座に対して入金されると、自動的に取引を作成し結果通知を行います。

※1：未使用の口座とは以下の状態を除く口座です。

取引中(入金待ち)、継続口座として口座 ID を割り当て中、口座再利用保留期間中

23.1.3. 取引の自動生成について

専有口座契約において、取引口座として割り当てしていないバーチャル口座に対して入金されると、自動的に入金済み状態の取引を作成し結果通知を行います。

(継続口座としても使用していない未使用口座に対する入金の場合でも自動生成されます)

自動作成される取引情報は以下のとおりです。

利用方法	説明
オーダーID	“VA-ORDER” + yyyyMMddHHmmssSSS 例) VA-ORDER20160101172613638
利用金額(振込依頼金額)	入金された金額
税送料(振込依頼金額)	0
取引状態	入金済み
処理日付	入金を取り込んだ日付

また、共有口座において、取引の有効期限が切れたあとで入金された場合、加盟店様に当該入金が加盟店様へのものであることを確認した上で、入金済み状態の取引を作成する場合がございます。

23.2. 取引口座を利用する

取引登録を行い、該当取引に対して決済実行を行います。

決済実行を行うと、取引ごとにバーチャル口座が割り当てられ、加盟店様に返却されます。

(決済実行により取引ごとに割り当てられた口座を「取引口座」と記載します)

加盟店様は返却された「取引口座」に対する振込みをお客様に依頼します。

取引口座は、お客様から入金されるか、入金取引有効期限(+取引猶予期間)が切れるまで利用可能です。

入金もしくは取引有効期限(+取引猶予期間)後に取引口座は開放され、別の取引に割り当てられます。

23.2.1. 取引口座利用の流れ

以下に、取引口座利用の流れをご説明します。

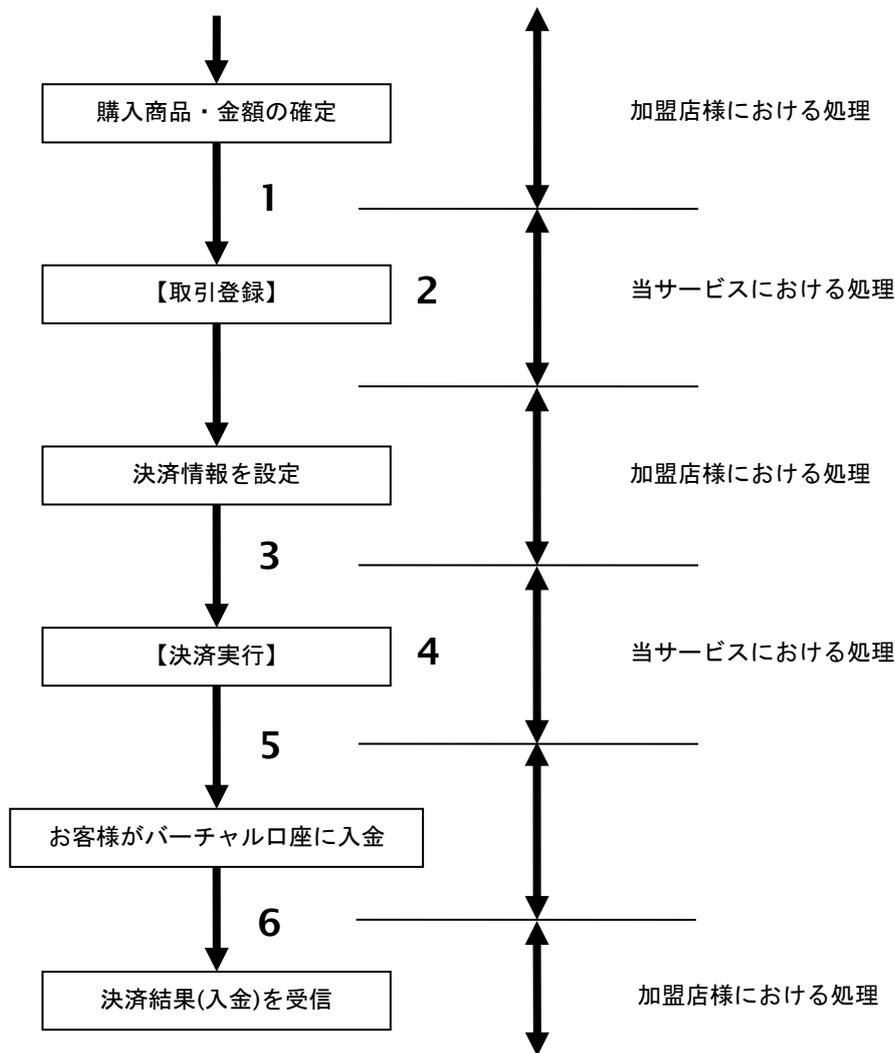


図 23.2.1-1 取引口座利用の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、未使用のバーチャル口座を割り当てます。
決済情報としてお客様のメールアドレスを設定していた場合は、振込依頼メールを送信します。
【決済実行】の結果として、バーチャル口座の口座情報（銀行コード、支店コード、口座番号）を加盟店様に返却します。
5. **【決済実行】**にてメールアドレスを設定しなかった場合は、加盟店様からお客様に振込依頼をします。
6. お客様が入金をした場合、弊社から加盟店様に結果通知にて入金を通知します。
(**【決済実行】**に指定した取引有効日数を経過しても入金なかった場合は、有効期限切れを通知します)

23.2.2. 各インタフェース仕様詳細

23.2.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranVirtualaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranVirtualaccountInput	EntryTranVirtualaccountOutput	銀行振込(バーチャル口座)の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranVirtualaccountInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranVirtualaccountOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	String	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	Number	8	利用金額 (振込依頼金額)	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が振込依頼金額となります。
5	Tax		Number	7	税送料(振込依頼金額)	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	AccessID	-	String	32	取引ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

23.2.2.2. 決済実行

インターフェース概要

振込依頼に関する情報を受け取り、バーチャル口座の口座情報を返却します。

振込依頼情報としてお客様のメールアドレスを指定すると、振込依頼メールを送信します。

(メールアドレス未指定の場合は、加盟店様からお客様に振込依頼をしてください)

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranVirtualaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	Exec	ExecTranVirtualaccountInput	ExecTranVirtualaccountOutput	銀行振込(バーチャル ID)決済実行インターフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranVirtualaccountInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranVirtualaccountOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		String	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
6	OrderID	◎	String	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
7	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
8	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
9	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
10	TradeDays	◎	NUMBER	2	取引有効日数	取引が有効な日数を指定してください。
11	TradeReason		String	64	取引事由	取引の内容を設定してください。 本項目は、振込依頼メールの「利用内容」欄に記載されます。
12	TradeClientName		String	64	振込依頼者氏名	振込依頼者の氏名を設定してください。
13	TradeClientMailaddress		String	256	振込依頼者メールアドレス	振込依頼者のメールアドレスを設定してください。 設定した場合は、当該メールアドレスに振込依頼メールが送信されます。 未設定の場合は、お客様に対して加盟店様から振込依頼をしてください。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

取引有効日数について

お客様が振込を行う期日を日数で指定します。

お客様には、出力パラメータで返される「取引有効期限」を振込期限として案内してください。

(振込依頼メールには本パラメータで指定された振込期限が記載されます)

尚、振込期限内に入金がない場合、当該取引は取引猶予期間後に有効期限切れとなり、払い出されたバーチャル口座は利用不能となります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	AccessID	-	String	32	アクセス ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	BankCode	-	String	4	銀行コード	振込先口座の銀行コードを返却します。
3	BankName	-	String	30	銀行名	振込先口座の銀行名を返却します。
4	BranchCode	-	String	3	支店コード	振込先口座の支店コードを返却します。
5	BranchName	-	String	30	支店名	振込先口座の支店名を返却します。
6	AccountType	-	String	1	預金種別	振込先口座の預金種別を返却します。 1：普通預金、2：当座預金
7	AccountNumber	-	String	7	口座番号	振込先口座の口座番号を返却します。
8	AvailableDate	-	String	8	取引有効期限	入力パラメータで指定された取引有効日数を元に算出された取引有効期限を返却します。
9	TradeCode	-	String	7	振込コード	振込時に「依頼人名」に入力するコードを返却します。 お客様が振込を行う際に「振込依頼人名」欄に振込コード+お客様氏名を入力するように案内してください。
10	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

23.2.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranVirtualaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranVirtualaccountInput	EntryExecTranVirtualaccountOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インタフェースを使用していきます。

【EntryExecTranVirtualaccountInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranVirtualaccountOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

23.3. 継続口座を利用する

<<本機能は、銀行振込(バーチャル口座)の専有口座契約の加盟店様のみご利用できます>>

継続口座登録をすると、継続的に利用可能なバーチャル口座が割り当てられ、口座情報（銀行コード、銀行名、支店コード、支店名、預金種別、口座番号）が返却されます。

（継続口座登録された口座を「継続口座」と記載します）

継続的に入金を受ける口座が必要な場合に、継続口座をご利用ください。

継続口座に入金された場合は、自動的に入金済み状態の取引が作成され結果通知が行われます。

23.3.1. 継続口座利用の流れ

以下に、継続口座利用の流れをご説明します。

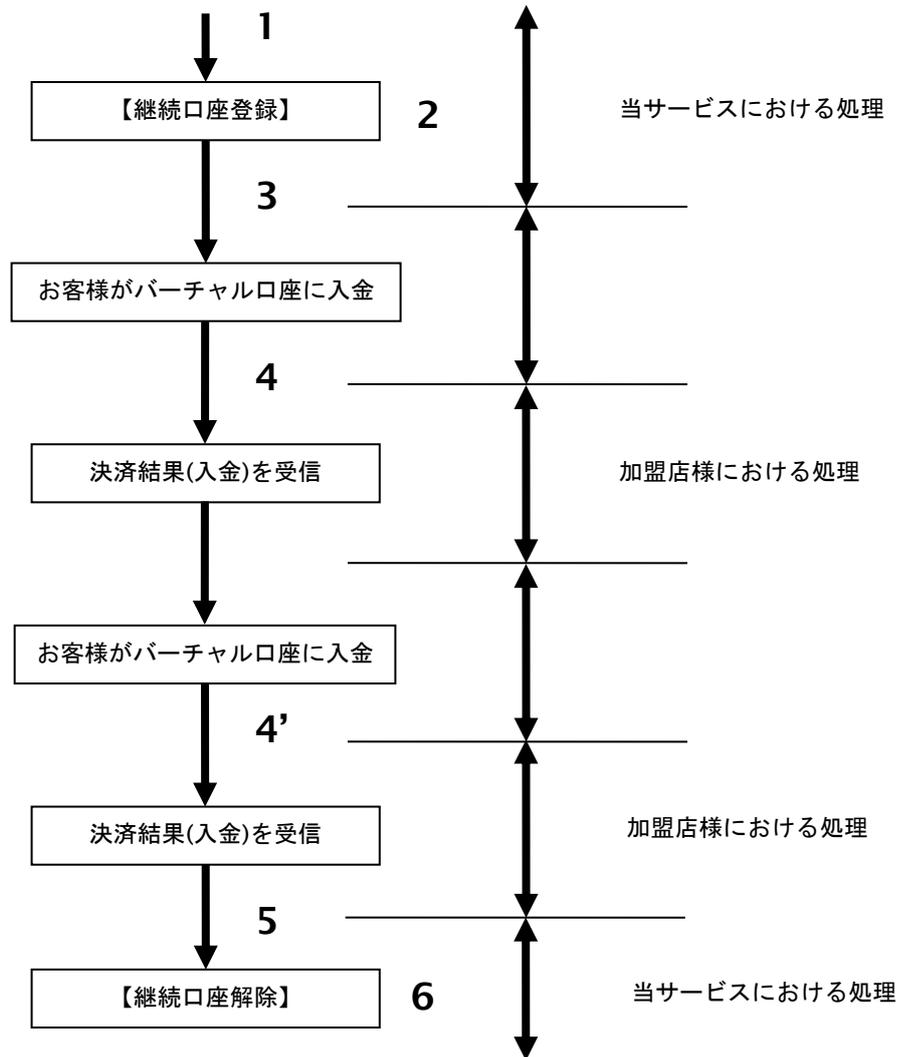


図 23.3.1-1 継続口座利用の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、当サービスの【継続口座登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、加盟店様の保有するバーチャル口座から未使用の口座を割り当てます。
【継続口座登録】の結果として、割り当てした口座情報（銀行コード、支店コード、口座番号）を加盟店様に返却します。
3. 加盟店様は、返却されたバーチャル口座への振込をお客様に依頼します。
4. お客様が入金をした場合、当サービスは入金済み状態の取引を登録し、加盟店様に結果通知にて入金を通知します。
(4' 該当口座への入金が発生した場合は、その都度 取引登録および入金を通知します)
5. 該当口座の利用をやめる場合、加盟店様は当サービスの【継続口座解除】を呼び出します。
6. 当サービスは、該当するバーチャル口座を未使用状態に変更します。
未使用状態のバーチャル口座は、取引口座として利用されます。

23.3.2. 各インタフェース仕様詳細

23.3.2.1. 継続口座登録

インタフェース概要

入力パラメータで指定した口座 ID に対して未使用のバーチャル口座を割り当てし、口座情報を返却します。
返却された口座は、継続口座として利用可能です。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【AssignVirtualaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	Exec	AssignVirtualaccount Input	AssignVirtualaccount Output	銀行振込(バーチャル ID)継続口座登録インタフェースを使用して、決済を実施します。

【AssignVirtualaccountInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【AssignVirtualaccountOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		String	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	ReserveID	◎	String	32	継続口座 ID	加盟店様が継続口座を識別するための ユニークな値を設定します。
5	BankCode		String	4	銀行コード	銀行コードを設定します。
6	BranchCode		String	3	支店コード	支店コードを設定します。
7	AccountType		String	1	預金種別	預金種別を設定します。 1: 普通預金、2: 当座預金
8	AccountNumber		String	7	口座番号	口座番号を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ReserveID	-	String	32	継続口座 ID	呼び出し時に指定した継続口座 ID を返却します。
2	BankCode	-	String	4	銀行コード	振込先口座の銀行コードを返却します。
3	BankName	-	String	30	銀行名	振込先口座の銀行名を返却します。
4	BranchCode	-	String	3	支店コード	振込先口座の支店コードを返却します。
5	BranchName	-	String	30	支店名	振込先口座の支店名を返却します。
6	AccountType	-	String	1	預金種別	振込先口座の預金種別を返却します。 1：普通預金、2：当座預金
7	AccountNumber	-	String	7	口座番号	振込先口座の口座番号を返却します。
8	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

23.3.2.2. 継続口座解除

インタフェース概要

入力パラメータで指定した口座 ID に割り当てられている継続口座を解除します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【FreeVirtualaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	Exec	FreeVirtualaccountInput	FreeVirtualaccountOutput	銀行振込(バーチャル ID)継続口座解除インタフェースを使用して、決済を実施します。

【FreeVirtualaccountInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【FreeVirtualaccountOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		String	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	ReserveID	◎	String	32	継続口座 ID	加盟店様が継続口座を識別するためのユニークな値を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ReserveID	-	String	32	継続口座 ID	呼び出し時に指定した継続口座 ID を返却します。
2	BankCode	-	String	4	銀行コード	解除された継続口座の銀行コードを返却します。
3	BankName	-	String	30	銀行名	解除された継続口座の銀行名を返却します。
4	BranchCode	-	String	3	支店コード	解除された継続口座の支店コードを返却します。
5	BranchName	-	String	30	支店名	解除された継続口座の支店名を返却します。
6	AccountType	-	String	1	預金種別	解除された継続口座の預金種別を返却します。 1：普通預金、2：当座預金
7	AccountNumber	-	String	7	口座番号	解除された継続口座の口座番号を返却します。
8	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

23.4. 専有口座情報照会を実行する

<<本機能は、銀行振込(バーチャル口座)の専有口座契約の加盟店様のみご利用できます>>

銀行振込(バーチャル口座)の専有口座契約の加盟店様は、保有するバーチャル口座に関する以下の照会が可能です。

- ・ 保有するバーチャル口座の一覧の取得
- ・ 保有するバーチャル口座に対する入金履歴の一覧の取得

23.4.1. 専有口座情報照会実行の流れ

以下に、専有口座情報照会実行の流れをご説明します。

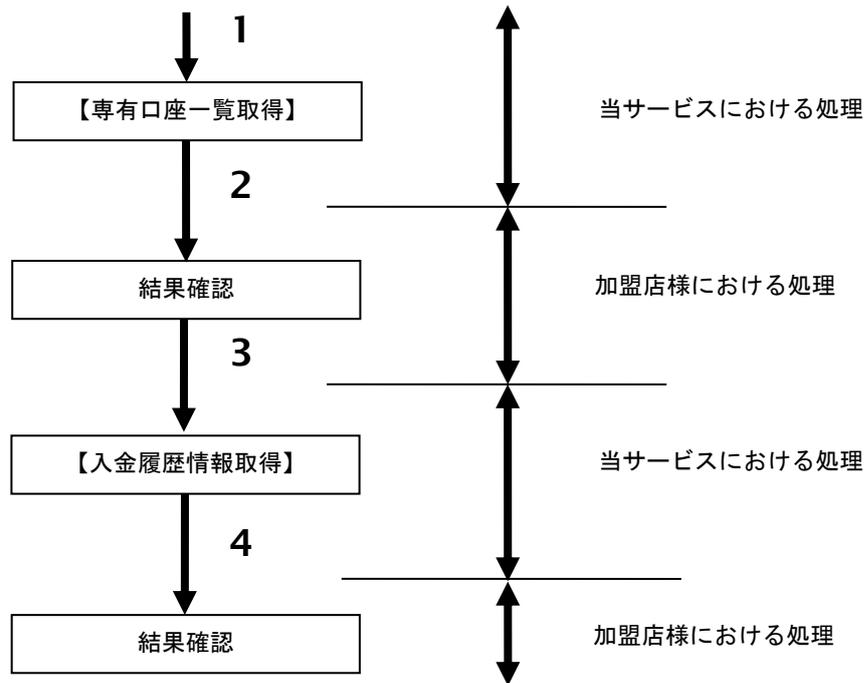


図 23.4.1-1 専有口座情報照会の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、当サービスの**【専有口座一覧取得】**を呼び出します。
2. 当サービスは、加盟店様が保有するバーチャル口座の一覧を返却します。
3. 加盟店様は、当サービスの**【入金履歴情報取得】**を呼び出します。
4. 当サービスは、指定されたバーチャル口座の入金履歴の一覧を返却します。

23.4.2. 各インタフェース仕様詳細

23.4.2.1. 専有口座一覧取得

インタフェース概要

加盟店様が保有するバーチャル口座をリスト形式で返却します。

※エラーの場合は、エラーコードとエラー詳細コードを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ListTranVirtualaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ListTranVirtualaccountInput	ListTranVirtualaccountOutput	銀行振込(バーチャル口座)専有口座一覧取得インタフェースを使用して、取引を開始します。

【ListVirtualaccountInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ListVirtualaccountOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		String	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	String	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

正常終了の場合)

CSV形式で出力します。

{BankCode},{BranchCode},{AccountType},{AccountNumber},{AccountStatus},{ReserveID}

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	BankCode	-	String	4	銀行コード	銀行コードを返却します。
2	BranchCode	-	String	3	支店コード	支店コードを返却します。
3	AccountType	-	String	1	預金種別	預金種別を返却します。 1：普通預金、2：当座預金
4	AccountNumber	-	String	7	口座番号	口座番号を返却します。
5	AccountStatus	-	String	32	口座状態	口座の状態を返却します。 UNUSED：未使用 TRADING：取引中(取引口座) TRANSFERRED：入金済み(取引口座) EXPIRED：有効期限切れ(取引口座) ASSIGNED：継続口座 ID 割当中(継続口座)
6	ReserveID	-	String	32	継続口座 ID	口座状態が"ASSIGNED"の場合、割り当てされている継続口座 ID をセットします。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

異常終了の場合)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

23.4.2.2. 入金履歴情報取得

インタフェース概要

指定したバーチャル口座に対する入金の履歴情報を返却します。

※エラーの場合は、エラーコードとエラー詳細コードを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【InquiryTranVirtualaccount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	InquiryVirtualaccount Input	InquiryVirtualaccount Output	銀行振込(バーチャル ID)入金履歴情報取得インタフェースを使用して、決済を実施します。

【InquiryVirtualaccountInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【InquiryVirtualaccountOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Version		String	3	バージョン	パラメータバージョン (予約項目のため、省略してください。)
2	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	String	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	ReserveID	◎	String	32	継続口座 ID	加盟店様が継続口座を識別するためのユニークな値を設定します。
5	BankCode		String	4	銀行コード	銀行コードを設定します。
6	BranchCode		String	3	支店コード	支店コードを設定します。
7	AccountType		String	1	預金種別	預金種別を設定します。 1: 普通預金、2: 当座預金
8	AccountNumber		String	7	口座番号	口座番号を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

補足事項)

継続口座 ID もしくは口座情報 (BankCode, BranchCode, AccountType, AccountNumber) のいずれかを指定します。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

正常終了の場合)

レスポンスボディに以下の形式で出力します。

InquiryNumber},{SettlementDate},{SettlementAmount},{TradeClientName},{TradeSummary},{TransferStatus}

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	InquiryNumber	-	String	8	照会番号	銀行から返された照会番号を返却します。
2	SattlementDate	-	String	8	勘定日	銀行から返された勘定日を返却します。 (フォーマット: YYYYMMDD)
3	SettlementAmount	-	NUMBER	13	入金金額	銀行から返された入金金額を返却します。
4	TradeClientName	-	String	144	振込依頼人名	銀行から返された振込依頼人名を返却します。
5	TradeSummary	-	String	60	適要	銀行から返された適要を返却します。
6	TransferStatus	-	String	32	入金状態	入金状態を返却します。 RELATED_ONETIME: 取引口座への入金 RELATED_ASSIGN: 継続口座への入金 RELATED_FORCE: 強制紐付け(※1) RETURN: 振り戻し(※2)

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※1: 取引が有効期限切れ後に入金された場合など、弊社にて入金済み状態の取引を新規作成したことを示します。

※2: 入金があったものの、振込者からの依頼で入金を取り消したことを示します。

異常終了の場合)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

24. Paid 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

24.1. 取引先を登録する

取引先を Paid に登録します。登録後、Paid において審査が行われます。審査が完了すると Paid で取引ができるようになります。取引様が既に Paid 会員であっても、加盟店様（Paid アカウント）ごとに審査が必要となります。

※審査には通常 1～3 営業日掛かります。

加盟店様サイトの会員新規登録時に登録頂くか、加盟店様サイトの既存会員情報を元に Paid の取引先登録して頂く想定です。加盟店様サイトの会員登録時は、Paid の取引先登録必須項目をご準備ください。

※取引登録時には以下のページ内の Paid 利用規約をご案内ください。

<https://paid.jp/>

24.1.1. 取引先を登録する流れ

以下に、取引先を登録する流れをご説明します。

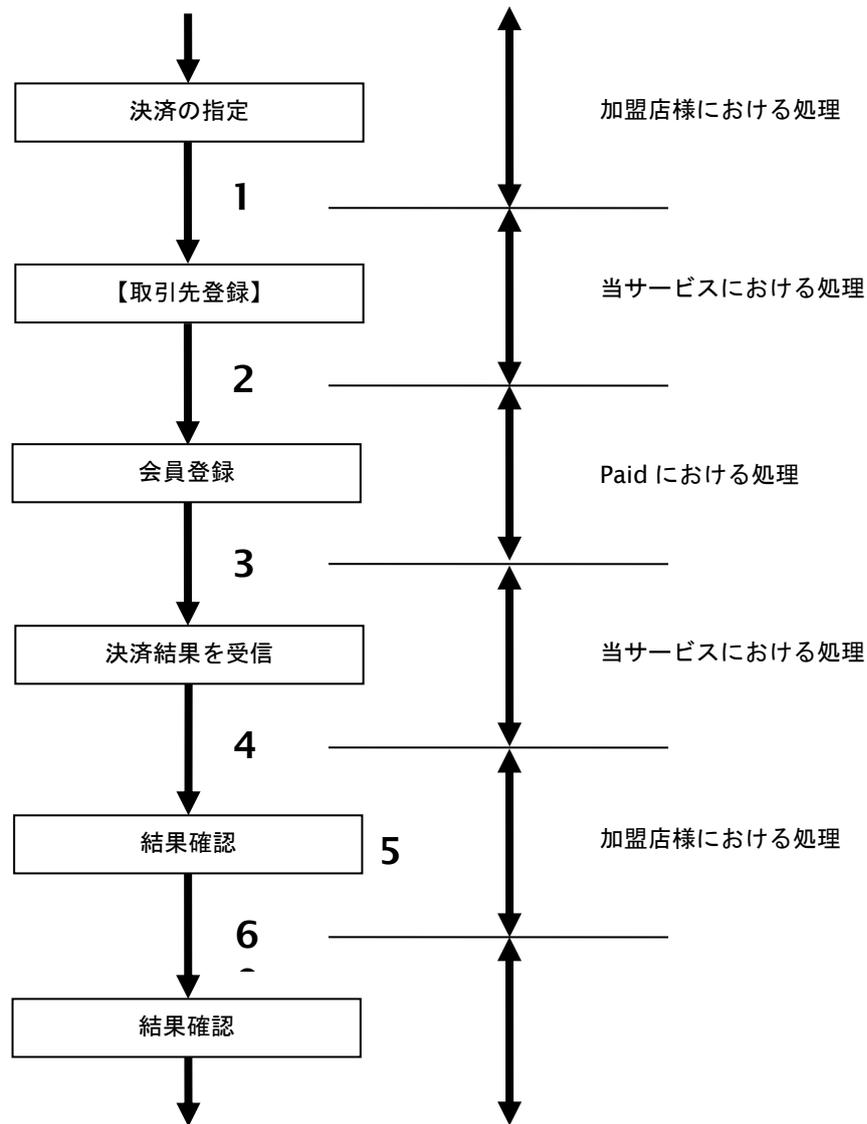


図 24.1.1-1 取引先登録の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引先情報をもって当サービスの**【取引先登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引先の会員登録リクエストをPaidに送信します。
3. Paidは、会員登録結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、会員登録結果を返します。
5. 加盟店様は、会員登録の結果を確認します。
6. Paidは、会員登録内容を元に利用審査を行います。
審査が完了すると会員のメールアドレスに審査結果をメールします。

24.1.2. 各インタフェース仕様詳細

24.1.2.1. 取引先登録

インタフェース概要

指定された取引先情報を登録します。

※登録すると Paid で取引先の審査が行われます。Paid から取引先にメールや電話で連絡をする場合があります。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

※本 API の桁数は Paid の仕様に合わせた文字数となります。

【SavePaidBuyer】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	SavePaidBuyerInput	SavePaidBuyerOutput	プロトコルタイプの取引先登録インタフェースを使用して、取引先を登録します。

【SavePaidBuyerInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【SavePaidBuyerOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	PaidBuyerID	◎	CHAR	20	Paid 取引先 ID	Paid において加盟店様の取引先を識別する一意な ID を設定します。
4	CompanyName	◎	CHAR	50	会社名	個人事業主の場合は屋号・店舗等をご入力ください。
5	CompanyNameKana	◎	CHAR	50	会社名カナ	
6	RepresentativeSei	◎	CHAR	50	代表者姓	
7	RepresentativeMei	◎	CHAR	50	代表者名	
8	RepresentativeSeiKana	◎	CHAR	50	代表者姓カナ	
9	RepresentativeMeiKana	◎	CHAR	50	代表社名カナ	
10	ZipCode	◎	CHAR	8	郵便番号	999-9999 形式。
11	Prefecture	◎	CHAR	5	都道府県	
12	Address1	◎	CHAR	50	市区町村	
13	Address2	◎	CHAR	50	町名・番地	
14	Address3		CHAR	50	ビル・マンション名	
15	AuxName		CHAR	50	部署名 / 支店名	
16	ClerkSei	◎	CHAR	50	担当者姓	
17	ClerkMei	◎	CHAR	50	担当者名	
18	ClerkSeiKana	◎	CHAR	50	担当者姓カナ	
19	ClerkMeiKana	◎	CHAR	50	担当者名カナ	

20	Tel	◎	CHAR	25	電話番号	市外局番からハイフンを入れて入力。
21	Fax		CHAR	25	FAX 番号	市外局番からハイフンを入れて入力。
22	MobileTel		CHAR	25	携帯電話番号	999-9999-9999 形式。
23	Email	◎	CHAR	100	メールアドレス	
24	ClosingDay		NUMBER	2	締め日	20 : 20 日締め 31 : 末日締め ※デフォルト値は 31
25	PaymentMethod		NUMBER	1	お支払い方法	1 : 銀行振り込み 2 : 口座振替 3 : コンビニ払い ※デフォルト値は 1 ※コンビニ払いでご請求額が 30 万円を超えた場合は銀行振り込みとなります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	PaidBuyerID	-	CHAR	20	Paid 取引先 ID	
2	PaidID	-	CHAR	10	Paid 番号	Paid に登録した企業に割り振られる番号
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

24.2. 取引のステータスを確認する

取引先 ID を指定すると、取引先の審査状態（ステータス）を確認できます。

24.2.1. 取引先ステータス確認を行う流れ

以下に、取引先ステータス確認を行う流れをご説明します。

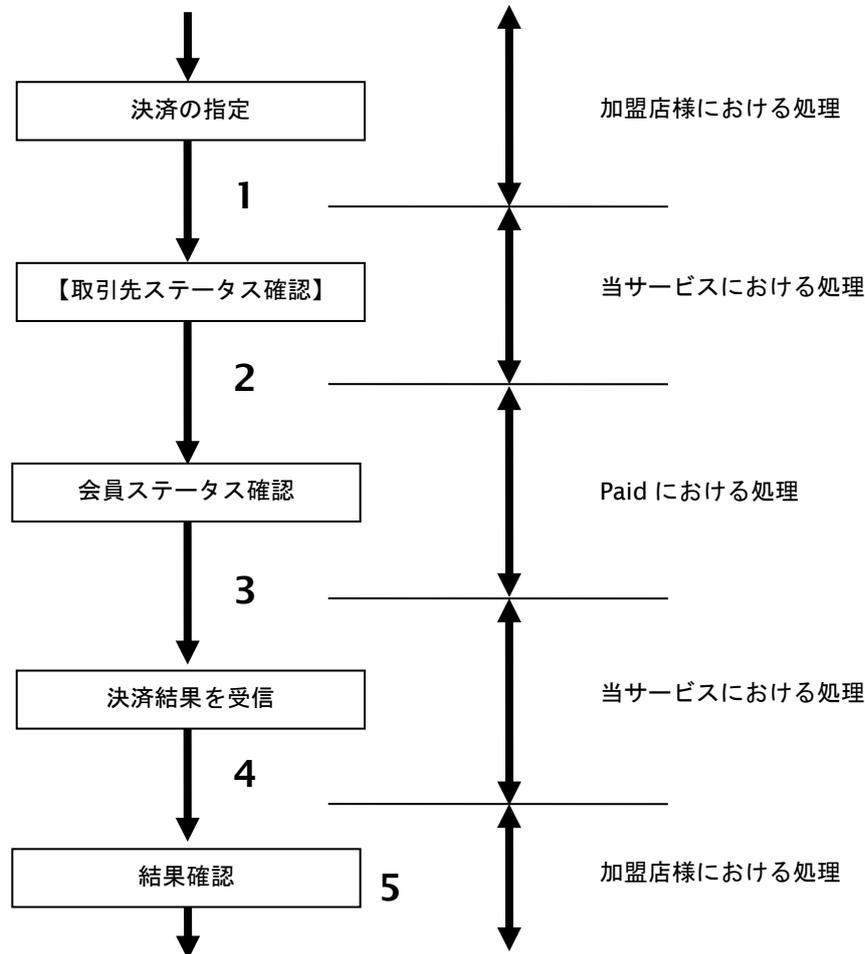


図 24.2.1-1 取引先ステータス確認の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確認する取引先の取引先 ID を指定し、当サービスの**【取引先ステータス確認】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引先の会員ステータス確認リクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、会員ステータス確認結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、取引先ステータス確認結果を返します。
5. 加盟店様は、取引先ステータス確認の結果を確認します。

24.2.2. 各インタフェースの仕様詳細

24.2.2.1. 取引先ステータス確認

インタフェース概要

取引先の審査状態を確認します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【CheckPaidBuyer】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	CheckPaidBuyerInput	CheckPaidBuyerOutput	プロトコルタイプの取引先ステータス確認インタフェースを使用して、取引先のステータスを確認します。

【CheckPaidBuyerInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【CheckPaidBuyerOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	PaidBuyerID	◎	CHAR	20	Paid 取引先 ID	Paid において加盟店様の取引先を識別する一意な ID を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	PaidBuyerID	-	CHAR	20	Paid 取引先 ID	Paid において加盟店様の取引先を識別する一意な ID
2	BuyerStatus	-	CHAR	-	審査状態	取引先の審査状態です。 1：審査中 2：利用可能-取引中 3：利用可能-取引不可 4：利用不可 ※「2」の場合、取引可能です。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

24.2.2.2. 取引先利用可能額確認

インタフェース概要

取引先の利用可能額を確認します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【CheckPaidRestAmount】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	CheckPaidRestAmountInput	CheckPaidRestAmountOutput	プロトコルタイプの取引先利用可能額確認インタフェースを使用して、取引先の利用可能額を確認します。

【CheckPaidRestAmountInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【CheckPaidRestAmountOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	PaidBuyerID	◎	CHAR	20	Paid 取引先 ID	Paid において加盟店様の取引先を識別する一意な ID を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	PaidBuyerID	-	CHAR	20	Paid 取引先 ID	Paid において加盟店様の取引先を識別する一意な ID
2	RestAmount	-	CHAR	-	利用可能額	取引先の利用可能額です。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

24.3. Paid 決済を実行する

購入時にお客様が Paid 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

24.3.1. Paid 決済の流れ

以下に、Paid 決済の流れをご説明します。

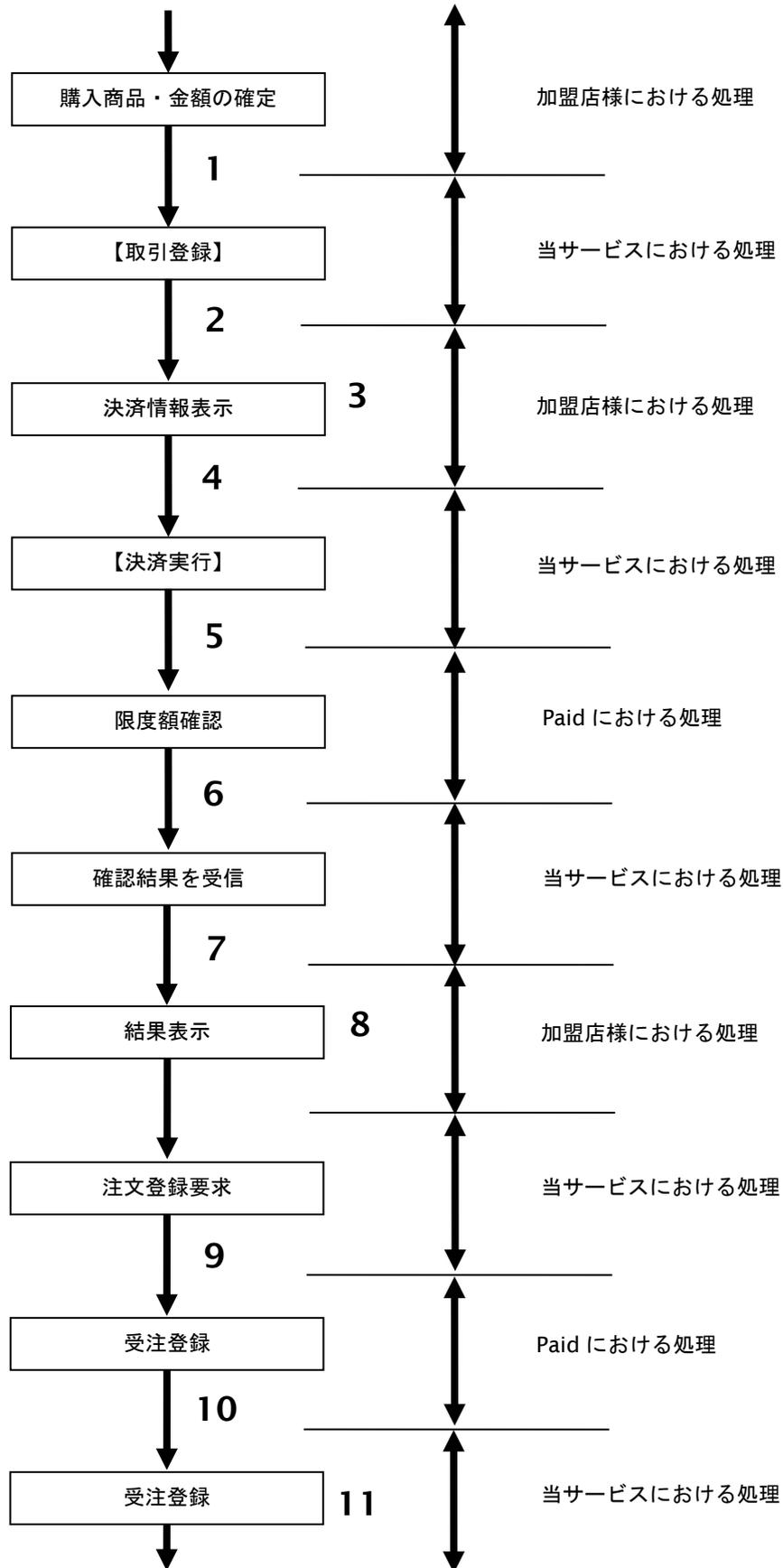


図 24.3.1-1 Paid 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様に決済内容を確認して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、確認された決済内容をもって当サービスの【決済実行】を呼び出します。
5. 当サービスは、取引先の限度額確認リクエストを Paid に送信します。
6. Paid は、限度額確認結果を当サービスに送信します。
7. 当サービスは、決済実行結果を返します。
8. 加盟店様は、決済実行の結果を確認します。
9. 決済完了後、当サービスは取引の受注登録リクエストを Paid に送信します。
10. Paid は、受注登録結果を当サービスに送信します。
11. 当サービスは、受注登録結果を受信します。

加盟店様は結果を結果通知、または管理画面で確認することができます。

24.3.2. 各インタフェース仕様詳細

24.3.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranPaid】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranPaidInput	EntryTranPaidOutput	プロトコルタイプの取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranPaidInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranPaidOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	NUMBER	10	利用金額	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。
5	Tax	◎	NUMBER	10	税送料	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	CHAR	32	取引ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーIDでも決済手段が異なると、異なった「取引ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

24.3.2.2. 決済実行

インターフェース概要

指定した決済内容で Paid に限度額の確認を行い、結果を返します。

処理完了後に Paid に受注登録しますので、ご利用状況によりご注文がキャンセル（決済失敗）される場合があります。

※決済結果は結果通知、または管理画面で確認することができます。

※Paid では受注登録の翌日を起算日として 180 日経過すると、取引が自動キャンセルされます。

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranPaid】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranPaidInput	ExecTranPaidOutput	プロトコルタイプの決済実行インターフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranPaidInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranPaidOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	PaidBuyerID	◎	CHAR	20	Paid 取引先 ID	Paid において加盟店様の取引先を識別する一意な ID を設定します。
7	Contents		CHAR	80	注文内容	Paid の「注文内容」を設定します。 未指定の場合、Paid に登録される「注文内容」はオーダーID が自動で設定されます。 ※桁数は Paid の仕様に合わせて文字数となります。
8	ClientField1		CHAR	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
9	ClientField2		CHAR	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
10	ClientField3		CHAR	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
11	ClientFieldFlag		CHAR	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定します。 0 : 返却しない(デフォルト) 1 : 返却する

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ REQSUCCESS : 要求成功 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	【決済実行】時に加盟店自由項目返却フラグが返却する場合のみ返却
4	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
5	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
6	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

24.3.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranPaid】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranPaidInput	EntryExecTranPaidOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インタフェースを使用していきます。

【EntryExecTranPaidInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranPaidOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

24.4. 決済の金額を変更する

仮売上状態の取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済内容の金額を変更すること(以下、金額変更)が可能です。

24.4.1. 金額変更を行う流れ

以下に、金額変更を行う流れをご説明します。

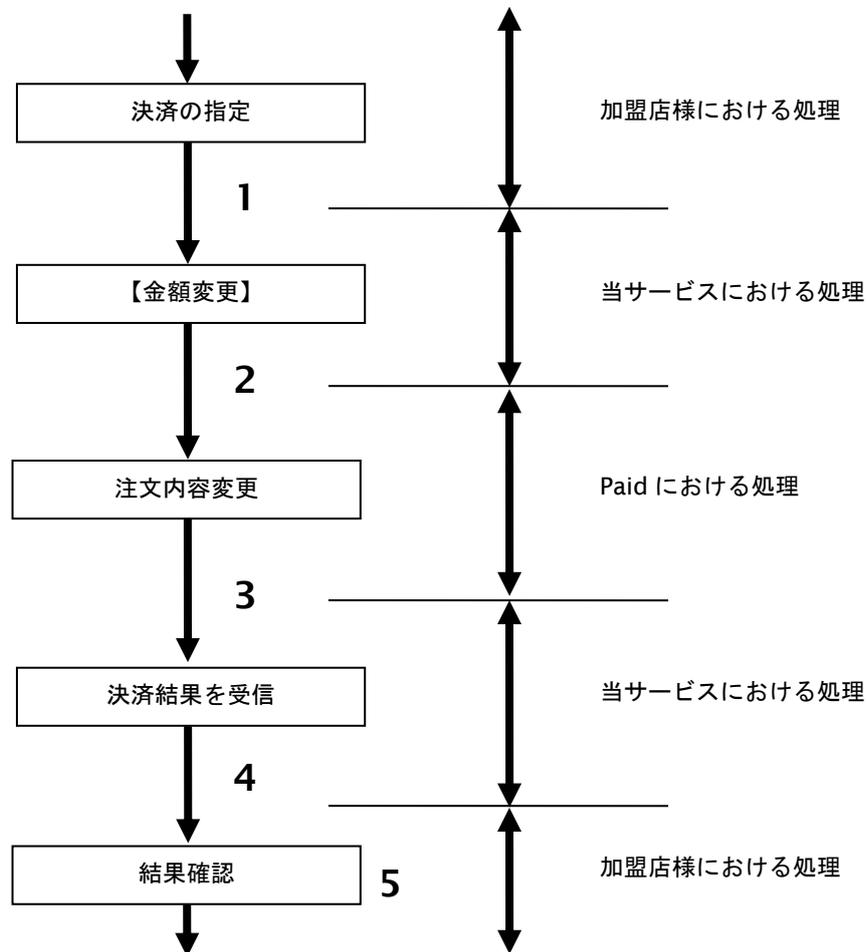


図 24.4.1-1 金額変更の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、金額変更する取引の取引 ID と取引パスワード、変更後の利用金額と税送料を指定し、当サービスの【金額変更】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の注文内容変更リクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、注文内容変更結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、金額変更結果を返します。
5. 加盟店様は、金額変更の結果を確認します。

24.4.2. 各インタフェースの仕様詳細

24.4.2.1. 金額変更

インタフェース概要

仮売上の取引に対して金額の変更を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaidChange】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	PaidChangeInput	PaidChangeOutput	プロトコルタイプの金額変更インタフェースを使用します。

【PaidChangeInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【PaidChangeOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	Amount	◎	NUMBER	10	利用金額	変更後の利用金額を設定します。 ※利用金額と税送料の合計が 10 桁。
7	Tax		NUMBER	10	税送料	変更後の税送料を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ AUTH : 仮売上 処理失敗時は処理前の下記ステータスが維持されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

24.5. 決済の内容をキャンセルする

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前実施した決済内容をキャンセルすること(以下、決済キャンセル)が可能です。

24.5.1. 決済内容をキャンセルする流れ

以下に、決済の内容をキャンセルする流れをご説明します。

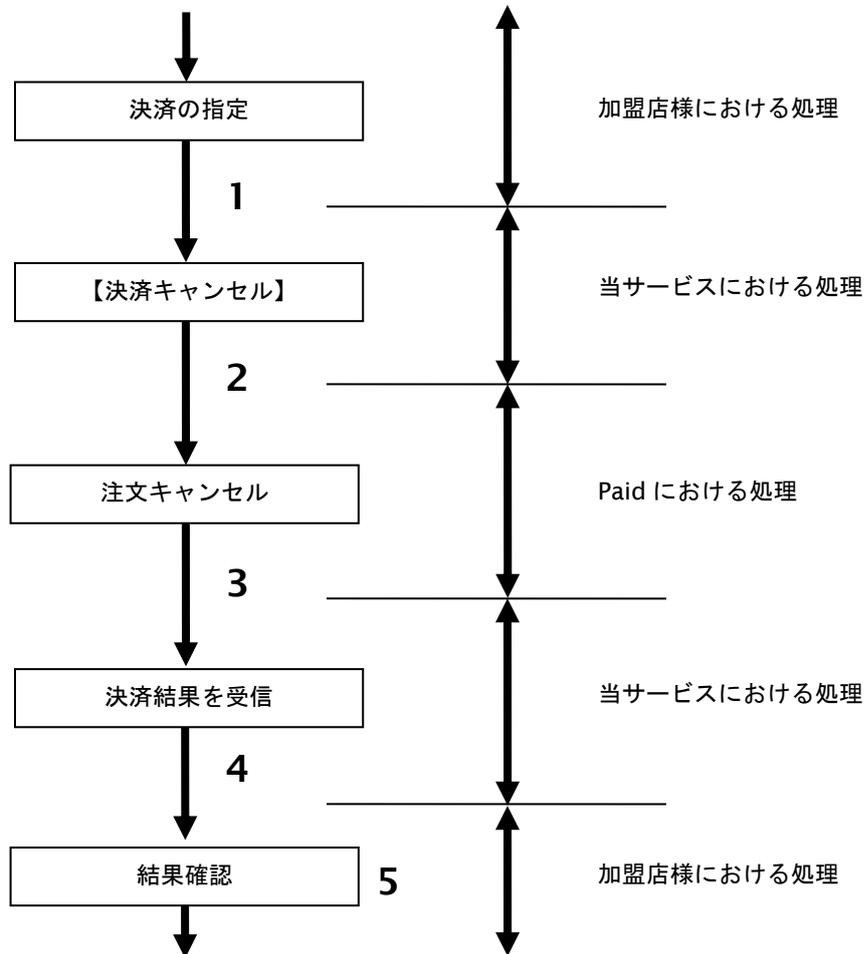


図 24.5.1-1 決済キャンセルの流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセルする取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済キャンセル】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の注文キャンセルリクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、注文キャンセル結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、決済キャンセル結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセルの結果を確認します。

24.5.2. 各インタフェース仕様詳細

24.5.2.1. 決済キャンセル

インタフェース概要

仮売上の取引に対して決済内容のキャンセルを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaidCancel】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	PaidCancelInput	PaidCancelOutput	プロトコルタイプの決済キャンセルインタフェースを使用します。

【PaidCancelInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【PaidCancelOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・CANCEL：キャンセル 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

24.6. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

24.6.1. 実売上を行う流れ

以下に、実売上を行う流れをご説明します。

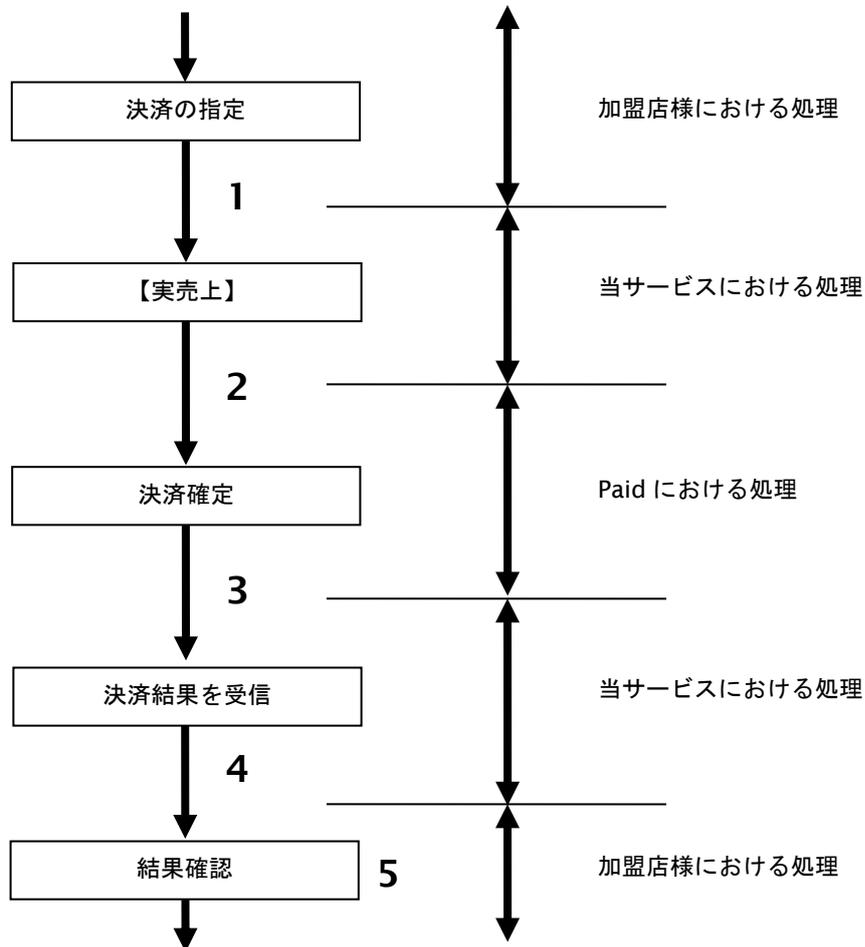


図 24.6.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの【**実売上**】を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の確定リクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、確定結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、確定結果を返します。
5. 加盟店様は、決済確定の結果を確認します。

24.6.2. 各インタフェース仕様詳細

24.6.2.1. 実売上

インタフェース概要

仮売上の取引に対して実売上を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaidSales】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	PaidSalesInput	PaidSalesOutput	プロトコルタイプの実売上インタフェースを使用します。

【PaidSalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【PaidSalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	FixedAt		CHAR	8	決済確定日	<p>(本パラメータを利用するには設定が必要なため弊社にご連絡ください。) 決済確定日に過去日を指定し実売上を行うことが可能です。</p> <p>当日の日付が 21 日～第 2 営業日 (※1) の場合：21 日～当日の範囲で指定可能。 当日の日付が第 3 営業日 (※2) ～20 日の場合：第 3 営業日 (※2) ～当日の範囲で指定可能。</p> <p>※1 1 月と 5 月は第 1 営業日。(ただし 5 月は 1 日、2 日が平日の場合、第 2 営業日。) ※2 1 月と 5 月は第 2 営業日。(ただし 5 月は 1 日、2 日が平日の場合、第 3 営業日。)</p> <p>例) 2020/8/4 時点で指定できる日付：2020/7/21～2020/8/4 2020/8/13 時点で指定できる日付：2020/8/5～2020/8/13 2020/8/25 時点で指定できる日付：2020/8/21～2020/8/25</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES : 実売上 処理失敗時は処理前の下記ステータスが維持されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

24.7. 決済の返品をする

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済を返品することが可能です。

※実売上後、180 日以上経過すると返品できません。

24.7.1. 決済の返品をする流れ

以下に、決済を返品する流れをご説明します。

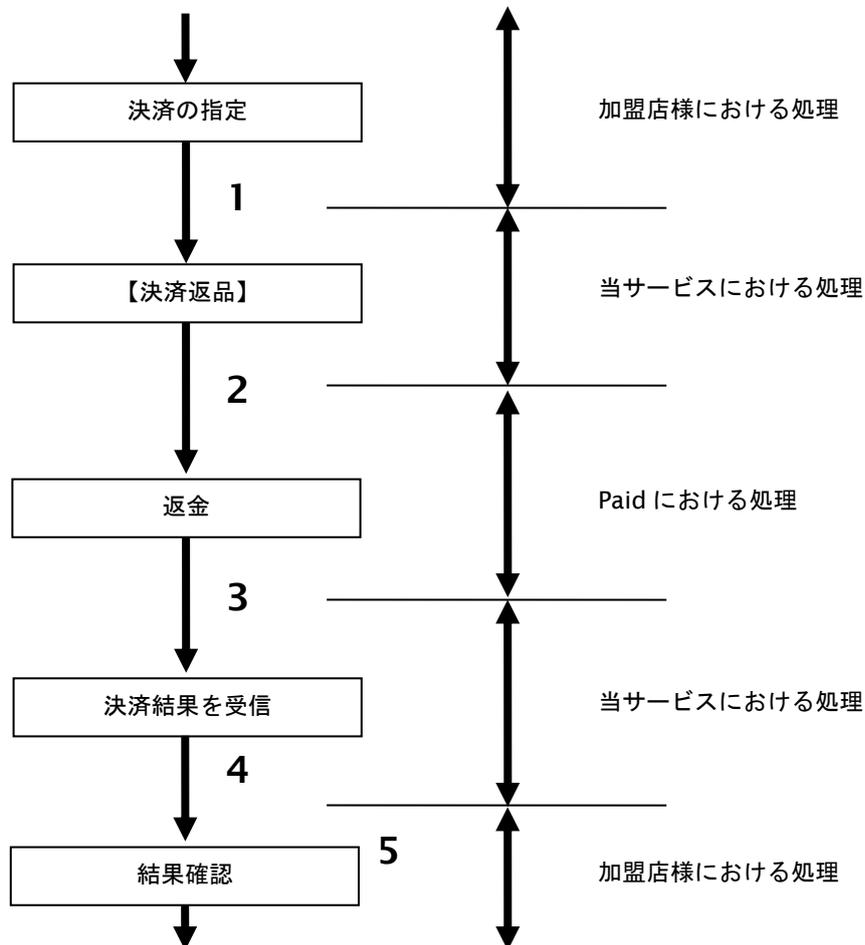


図 24.7.1-1 決済返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【決済返品】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の返金リクエストを Paid に送信します。
3. Paid は、返金結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、返品結果を返します。
5. 加盟店様は、決済返品の結果を確認します。

24.7.2. 各インタフェースの仕様詳細

24.7.2.1. 決済返品

インタフェース概要

決済が完了した取引に対して返品を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaidReturn】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	PaidReturnInput	PaidReturnOutput	プロトコルタイプの決済返品インタフェースを使用します。

【PaidReturnInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【PaidReturnOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID	◎	CHAR	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	CHAR	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	CHAR	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	CHAR	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	CHAR	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	CHAR	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ RETURN：返品 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

25. d 払い随時決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

25.1. 利用承諾を行う

お客様から事前に利用承諾を1回取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。お客様による利用承諾のみでは決済は発生しません。加盟店様は商品・役務などの提供の状況に応じ別途、随時決済を行います。

- 利用承諾処理が正常に完了するとドコモよりお客様にレシートメールが送信されます。
- 利用承諾の内容はドコモのご利用履歴に表示されます。
- 利用承諾を行ったあと即時に随時決済を行う場合、3秒の待ち時間を入れてください。

25.1.1. 利用承諾の流れ

以下に、利用承諾の流れをご説明します。

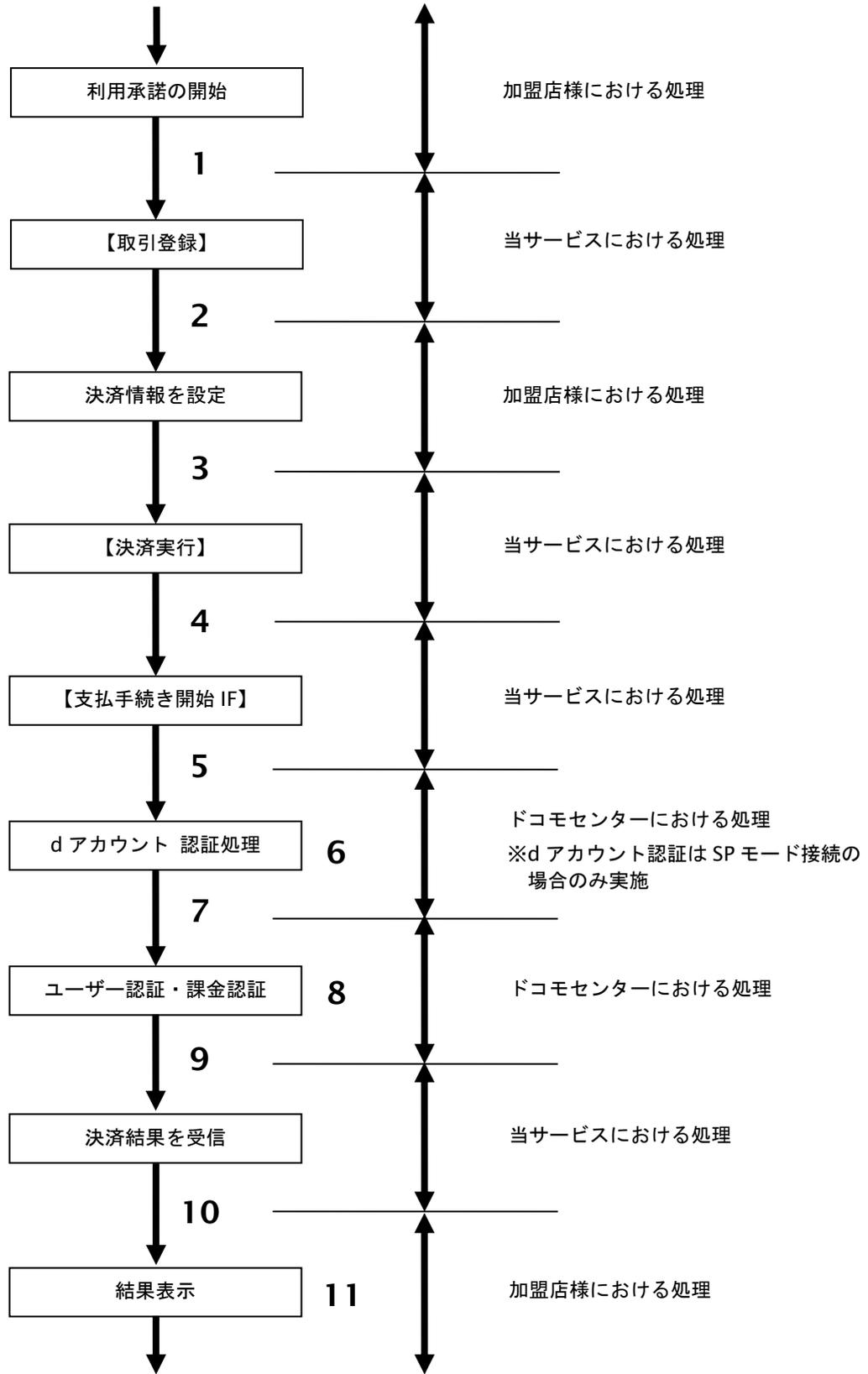


図 25.1.1-1 利用承諾の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、お客様に利用承諾に関する案内を告知した上で当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの d アカウント認証画面に誘導します。
※d アカウント認証は SP モード接続の場合のみ実施
6. お客様は、ドコモセンターの d アカウント認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、d 払い決済の決済画面にて支払操作を行います。
9. ドコモセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
※ドコモセンター障害などにより、リダイレクト経由の処理結果と結果通知に相違が発生する場合がございます。その場合、結果通知を正としてください。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

25.1.2. 各インタフェース仕様詳細

25.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranDocomoAccept】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranDocomoAcceptInput	EntryTranDocomoAcceptOutput	d 払い決済の利用承諾取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranDocomoAcceptInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranDocomoAcceptOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

25.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranDocomo】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranDocomoAcceptInput	ExecTranDocomoAcceptOutput	d 払い決済の利用承諾決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranDocomoAcceptInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranDocomoAcceptOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
9	DocomoDisp1		string	40	ドコモ表示項目 1	sp モードの場合のみ、以下の d 払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。
10	DocomoDisp2		string	40	ドコモ表示項目 2	改行が必要な場合は表示項目 1、表示項目 2 に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["][.]['][¥][/]以外となります。
11	RetURL	◎	string	256	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
12	PaymentTermSec		integer	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限。 最大 86,400 秒 (1 日) 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理される

13	DispCompanyName		string	32	会社名(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する会社名です。 未指定の場合は、登録されている企業名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["]['][¥][/]以外です。 包括契約加盟店様のみ設定が可能です。
14	DispShopName		string	32	利用店舗名(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する店舗名です。 未指定の場合は、登録されているショップ名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え["]['][¥][/]以外となります。
15	DispPhoneNumber		string	13 (※3)	連絡先電話番号(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する電話番号です。 設定可能な文字は半角数値と半角ハイフンのみです。
16	DispMailAddress		string	96 (※3)	メールアドレス(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するメールアドレスです。 設定可能な文字は半角英数字、[@](半角アットマーク)、[.](半角ピリオド)、[-](半角ハイフン)、[_](半角アンダースコア)のみとなります。
17	DispShopUrl		string	96 (※3)	問い合わせ URL(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する URL です。 設定可能な文字は半角英数と["]['][¥]以外の半角記号となります。 尚、"/"(半角スラッシュ)は 4 バイトとしてカウントされます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：docomo と直接契約している加盟店様は、DispCompanyName～DispShopUrl の指定は不要です。

※2：ネット包括契約加盟店様は、DispCompanyName～DispShopUrl の値は無視され、企業コード、店舗コードに紐づいた内容が利用画面や明細に表示されます。

※3：DispPhoneNumber～DispShopUrl の設定値の合計バイト数を 96 バイト以内になしてください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	
2	Token	-	string	256	トークン	
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	
4	StartLimitDate	-	string	14	支払開始期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

25.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryExecTranDocomo】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranDocomoAcceptInput	EntryExecTranDocomoAcceptOutput	d 払い決済の利用承諾取引登録と利用承諾決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranDocomoAcceptInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranDocomoAcceptOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

25.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

お客様をドコモセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【RedirectUtil】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	docomoAcceptStart	pagePath, docomoAcceptStartIn put, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessid	◎	string	32	取引 ID	
3	token	◎	string	256	トークン	
4	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="DocomoAcceptStartCall" action="{DocomoAcceptStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          d 払いの利用承諾画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script>
  <!--
    function OnLoadEvent() {
      document.DocomoAcceptStartCall.submit();
    }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	string	32	取引 ID	
2	Token	◎	string	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

25.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

ドコモセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

この決済結果は、ドコモセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショッピング管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：利用承諾 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	DocomoAcceptCode	-	CHAR	12	ドコモ承諾番号	正常終了した際にドコモから払い出される番号です。 お客様が My docomo 画面で確認できます。
6	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID, AccessID, ShopID, ShopPass を連結し MD5 ハッシュした値を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

25.2. 利用承諾の終了を行う

利用承諾時の取引 ID・取引パスワードを指定すると、利用承諾を終了することが可能です。

- ・ 月末 20:00～23:59 は、利用承諾の終了はできません。
- ・ 利用承諾が発生した月、もしくは随時決済で決済が発生した最終月を初月（N 年 n 月）とし、14 ヶ月目の 12 日 AM5:00 までに随時決済が行われなかった場合は、ドコモにより利用承諾が終了されます。
- ・ お客様が利用承諾を登録した状態で、ドコモの携帯電話サービスを解約するなどの手続きを行った場合は、ドコモにより利用承諾が終了されます。
- ・ 利用承諾が終了すると随時決済を行うことはできません。
- ・ 随時決済をした後に利用承諾を終了した場合でも、随時決済の取引に対し実売上・キャンセル・返品・増額を行うことができます。これらの処理は随時決済を行った翌々月末 20 時まで行うことができます。
- ・ 利用承諾の終了時にドコモよりお客様へレシートメールは送信されません。
- ・ ドコモのご利用履歴には利用承諾の終了を行った翌日未明に反映されます。
(N-1 日 20:00 ～ N 日 19:59 までに行った利用承諾の終了が N+1 日未明に反映されます。)

25.2.1. 利用承諾の終了の流れ

以下に、利用承諾の終了の流れをご説明します。

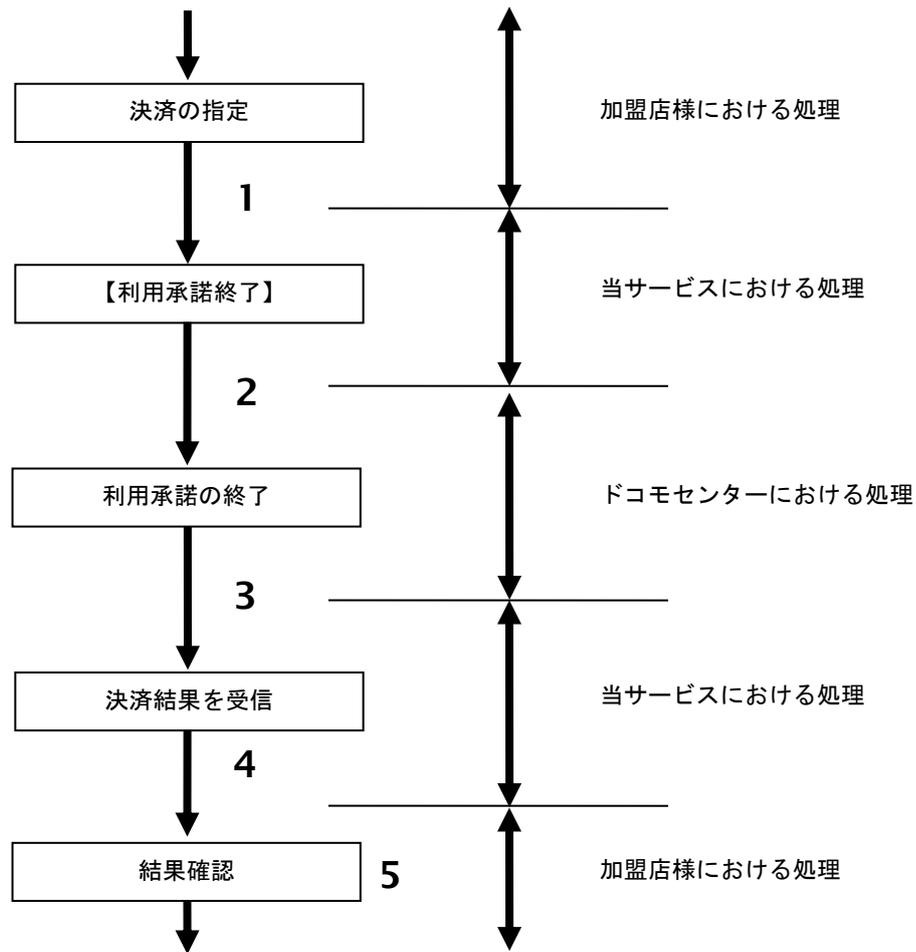


図 25.2.1-1 利用承諾の終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、利用承諾を終了する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【利用承諾終了】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の利用承諾終了リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、利用承諾終了結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、利用承諾終了結果を返します。
5. 加盟店様は、利用承諾終了結果をお客様に表示します。

25.2.2. 各インタフェース仕様詳細

25.2.2.1. 利用承諾終了

インタフェース概要

指定されたドコモ承諾番号に対し承諾終了処理を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【DocomoAcceptUserEnd】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	DocomoAcceptUserEndInput	DocomoAcceptUserEndOutput	d 払い決済の利用承諾終了インタフェースを使用して、取引を開始します。

【DocomoAcceptUserEndInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【DocomoAcceptUserEndOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	DocomoAcceptCode	◎	string	12	ドコモ承諾番号	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	32	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ END：利用承諾終了 処理失敗時は処理前のステータスが返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力

25.3. 随時決済を実行する

購入時にお客様がドコモケ払い決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

25.3.1. 随時決済の流れ

以下に、d払いによる随時決済の流れをご説明します。

お客様から事前に利用承諾を1回取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。

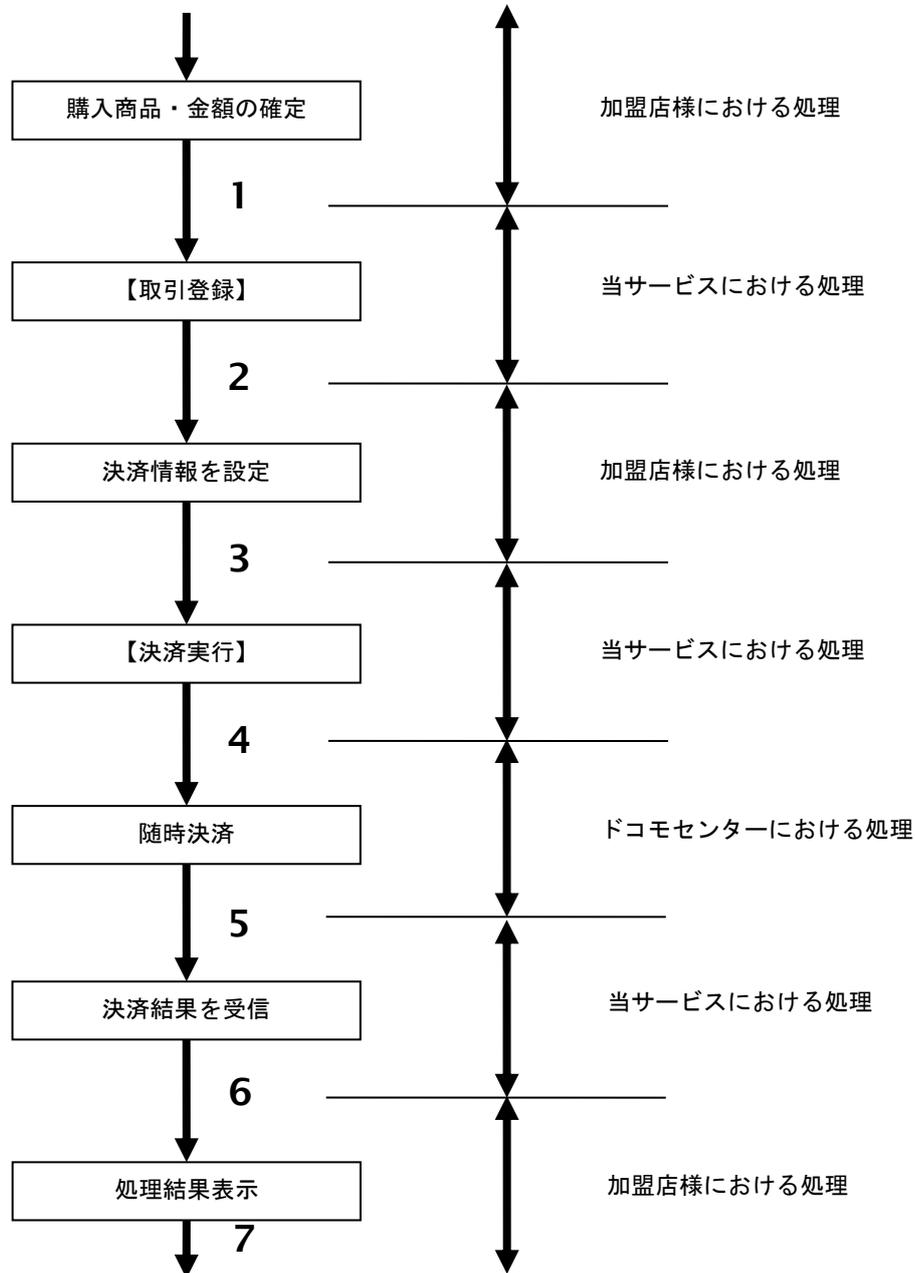


図 25.3.1-1 随時決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報及びドコモ承諾番号を設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、指定された取引の随時決済リクエストをドコモセンターに送信します。
5. ドコモセンターは、随時決済結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、随時決済結果を返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

25.3.2. 各インタフェース仕様詳細

25.3.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranDocomo】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranDocomoInput	EntryTranDocomoOutput	d 払い決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranDocomoInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranDocomoOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
4	JobCd	◎	string	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
5	Amount	◎	Integer	6	利用金額	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。
6	Tax		Integer	6	税送料	ドコモ料金合算払いの上限 : 10,000 円 ※お客様のご利用状況によって 30,000 円となります。 ドコモ口座払いの上限 : 500,000 円
7	PaymentType	●	string	1	決済タイプ	1 : 随時決済 ※随時決済を行う場合、必須となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

25.3.2.2. 決済実行

インタフェース概要

随時決済を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranDocomo】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranDocomoInput	ExecTranDocomoOutput	d 払い決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranDocomoInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranDocomoOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
9	DocomoDisp1		string	40	ドコモ表示項目 1	sp モードの場合のみ、以下の d 払い画面に表示されます。 ・ 決済内容確認画面 ・ 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。 改行が必要な場合は表示項目 1、表示項目 2 に分けて設定してください。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え[""][''] [¥] [/]以外となります。
10	DocomoDisp2		string	40	ドコモ表示項目 2	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する会社名です。 未指定の場合は、登録されている企業名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え[""][''] [¥] [/]以外です。 包括契約加盟店様のみ設定が可能です。
11	DispCompanyName		string	32	会社名(※1,2)	

12	DispShopName		string	32	利用店舗名(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として使用する店舗名です。 未指定の場合は、登録されているショップ名を使用します。 設定可能な文字は、別紙「制限事項一覧」で禁止している文字に加え[" '] [¥] [/]以外となります。
13	DispPhoneNumber		string	13 (※3)	連絡先電話番号(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する電話番号です。 設定可能な文字は半角数値と半角ハイフンのみです。
14	DispMailAddress		string	96 (※3)	メールアドレス(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示するメールアドレスです。 設定可能な文字は半角英数字、[@](半角アットマーク)、[.](半角ピリオド)、[-](半角ハイフン)、[_](半角アンダースコア)のみとなります。
15	DispShopUrl		string	96 (※3)	問い合わせ URL(※1,2)	ドコモセンターの決済ページ及び決済結果メール等の連絡先として表示する URL です。 設定可能な文字は半角英数と[" '] [¥]以外の半角記号となります。 尚、"/"(半角スラッシュ)は4バイトとしてカウントされます。
16	DocomoAcceptCode		string	12	ドコモ承諾番号	随時決済を行う場合に設定します。 事前に利用承諾を行いドコモより払い出されるドコモ承諾番号を設定してください。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：docomoと直接契約している加盟店様は、DispCompanyName～DispShopUrlの指定は不要です。

※2：ネット包括契約加盟店様は、DispCompanyName～DispShopUrlの値は無視され、企業コード、店舗コードに紐づいた内容が利用画面や明細に表示されます。

※3：DispPhoneNumber～DispShopUrlの設定値の合計バイト数を96バイト以内になしてください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
2	Status	-	string	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 PAYFAIL：決済失敗
3	TranDate	-	string	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
4	DocomoSettlementCode	-	string	12	ドコモ決済番号	処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 お客様が My docomo 画面で確認できます。
5	CheckString	-	string	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結しMD5ハッシュした値を返却します。
6	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
7	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

25.4. 決済の内容をキャンセル・返品する

「10.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」を参照ください。

25.5. 売上の確定を行う

「10.3. 売上の確定を行う」を参照ください。

25.6. 決済の内容を増額する

「10.4. 決済の内容を増額する」を参照ください。

26. au PAY (au かんたん決済) 随時決済インターフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインターフェース詳細についてご説明します。

26.1. 利用承諾を行う

お客様から事前に利用承諾を 1 回取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。加盟店様は商品・役務などの提供の状況に応じ別途、随時決済を行います。随時決済は利用承諾後に払い出される au 承諾番号を利用します。

- au 承諾番号の有効期限は発効日、もしくは随時決済での最終利用日より 5 年です。
- お客様が au の携帯電話サービスを解約するなどの手続きを行った場合は、au 承諾番号は無効となり随時決済時にエラーとなります。
- お客様が au ID 画面にて ID 連携解除した場合、au 承諾番号は無効となり随時決済時にエラーとなります。
- お客様が au のご利用内容の確認画面で選択したお支払い方法が以下でない場合エラーとなります。
合算、クレジットカード、au PAY カード

26.1.1. 利用承諾の流れ

以下に、利用承諾の流れをご説明します。

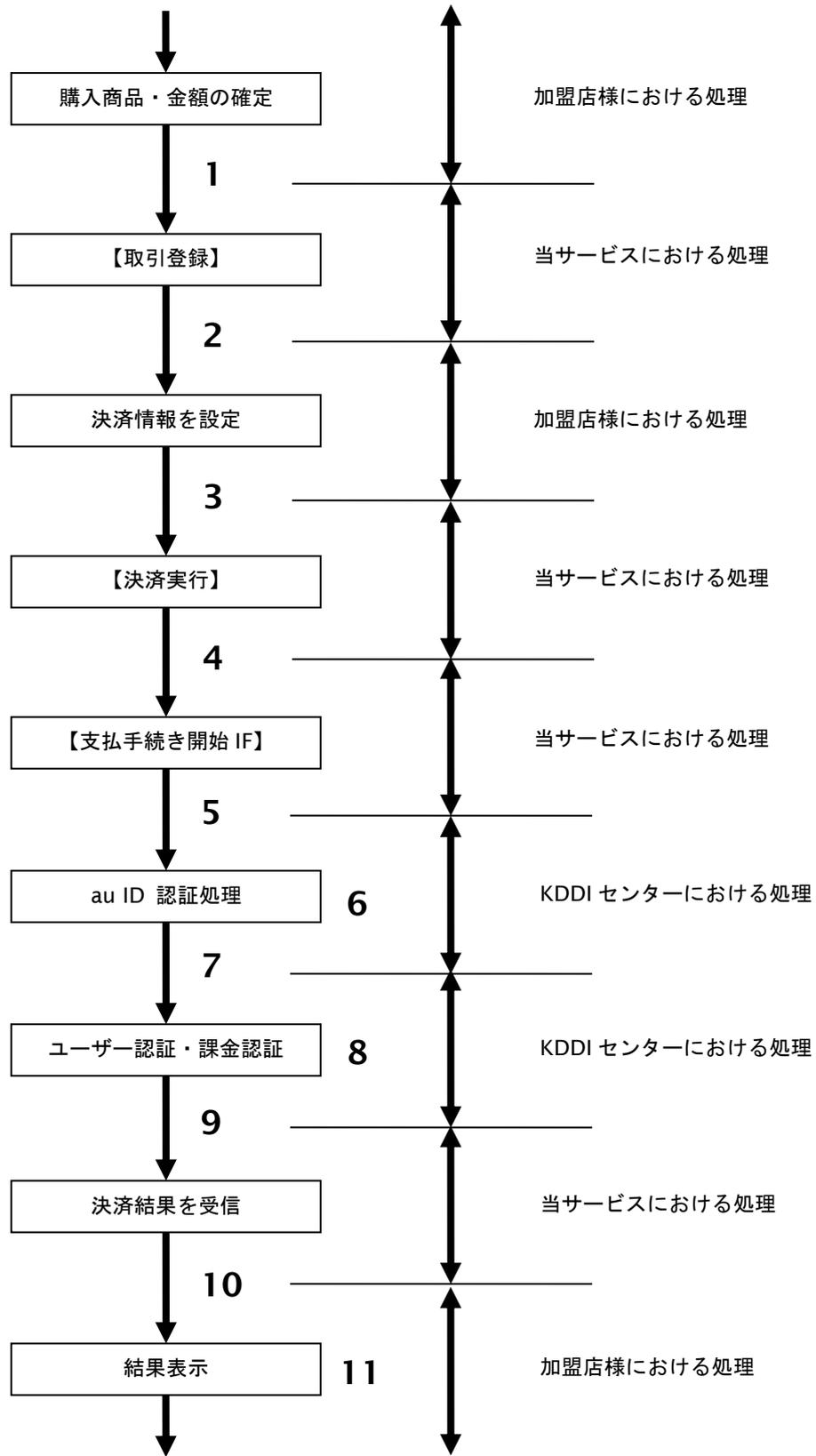


図 26.1.1-1 利用承諾の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの au ID 認証画面に誘導します。
6. お客様は、KDDI センターの au ID 認証画面にて ID の連携を行います。
7. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様を KDDI センターの決済画面に誘導します。
8. お客様は、au PAY (au かんたん決済) の決済画面にて支払操作を行います。
9. KDDI センターは、決済結果を当サービスに送信します。
10. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果 (au 承諾番号) を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

26.1.2. 各インタフェース仕様詳細

26.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranAuAcceptInput	EntryTranAuAcceptOutput	au PAY (au かんたん決済) の利用承諾取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【doEntryTranAuAccept】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【doEntryTranAuAccept】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	発行した ID を返却します。 ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

26.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranAuAcceptInput	ExecTranAuAcceptOutput	au PAY (au かんたん決済) の利用承諾決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranAuAcceptInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranAuAcceptOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	SiteID	●	string	13	サイト ID	弊社が発行する値を設定します。 会員 ID 指定時は必須です。
7	SitePass	●	string	20	サイトパスワード	弊社が発行する値を設定します。 会員 ID 指定時は必須です。
8	MemberID	●	string	60	会員 ID	決済する対象の会員 ID を設定します。
9	MemberName		string	255	会員名	登録する名前を設定します。
10	CreateMember	●	string	1	会員作成フラグ	会員が存在しない場合の動作を指定します。 0 : 登録しない。 会員が存在しない場合、エラーを返す 1 : 登録する。 会員が存在しない場合、新規登録する 会員 ID 指定時は必須です。
11	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
12	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
13	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
14	Commodity	◎	string	48	摘要	お客様が購入する商品の情報を設定します。 KDDI センターでの決済時に表示されます。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

15	RetURL	◎	string	256	決済結果戻し URL	<p>加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。</p> <p>KDDI センター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、当サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。</p>
16	PaymentTermSec		integer	5	支払開始期限秒	<p>お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。</p> <p>最大 86,400 秒（1 日）</p> <p>呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。</p>
17	ServiceName	◎	string	48	表示サービス名	<p>加盟店様のサービス名称です。お客様の購入履歴などに表示されます。</p> <p>設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。</p>
18	ServiceTel	◎	string	15	表示電話番号	<p>加盟店様の電話番号です。お客様の購入履歴などに表示されます。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字と” - “(ハイフン)」です。</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	String	256	トークン	取引 ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	String	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	StartLimitDate	-	String	14	支払開始期限日時	支払手続き開始 IF の呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

26.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranAuAcceptInput	EntryExecTranAuAcceptOutput	au PAY (au かんたん決済) の利用承諾取引登録と利用承諾決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranAuAcceptInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranAuAcceptOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

26.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

au PAY (au かんたん決済) において、お客様を KDDI センターの au ID 認証画面へと遷移させる必要があります。
 ※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	auAcceptStart	pagePath, AuAcceptStartInput, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessid	◎	string	32	取引 ID	
3	token	◎	string	256	トークン	
4	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="AuAcceptStartCall" action="{AuAcceptStartURL}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          au の決済画面へ遷移します。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
    <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
  </form>
  <script >
  <!--
    function OnLoadEvent() {
      document.AuAcceptStartCall.submit();
    }
  //-->
  </script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	String	32	取引 ID	
2	Token	◎	String	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

26.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

KDDI センターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

この決済結果は、KDDI センターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にて確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップ ID	該当取引のショップ ID を返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダー ID	該当取引のオーダー ID を返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER : 利用承諾 PAYFAIL : 決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	PayMethod	-	CHAR	2	支払方法	支払方法です。 01 : 合算 02 : クレジットカード 06 : au PAY カード お客様が au ID 画面で確認できます。
6	AuAcceptCode	-	CHAR	14	au 承諾番号	オーソリ処理が正常終了した時に弊社にて払い出す番号です。 随時決済に利用します。
7	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID, AccessID, ShopID, ShopPass を連結し MD5 ハッシュした値を返却します。
8	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は " " で接続された文字列 (※1)
9	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は " " で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

26.2. 利用承諾の終了を行う

利用承諾時の取引 ID・取引パスワードを指定すると、利用承諾を終了することが可能です。

お客様のサービス停止や au 承諾番号が不必要になった場合に行ってください。

26.2.1. 利用承諾の終了を行う流れ

以下に、利用承諾の終了を行う流れをご説明します。

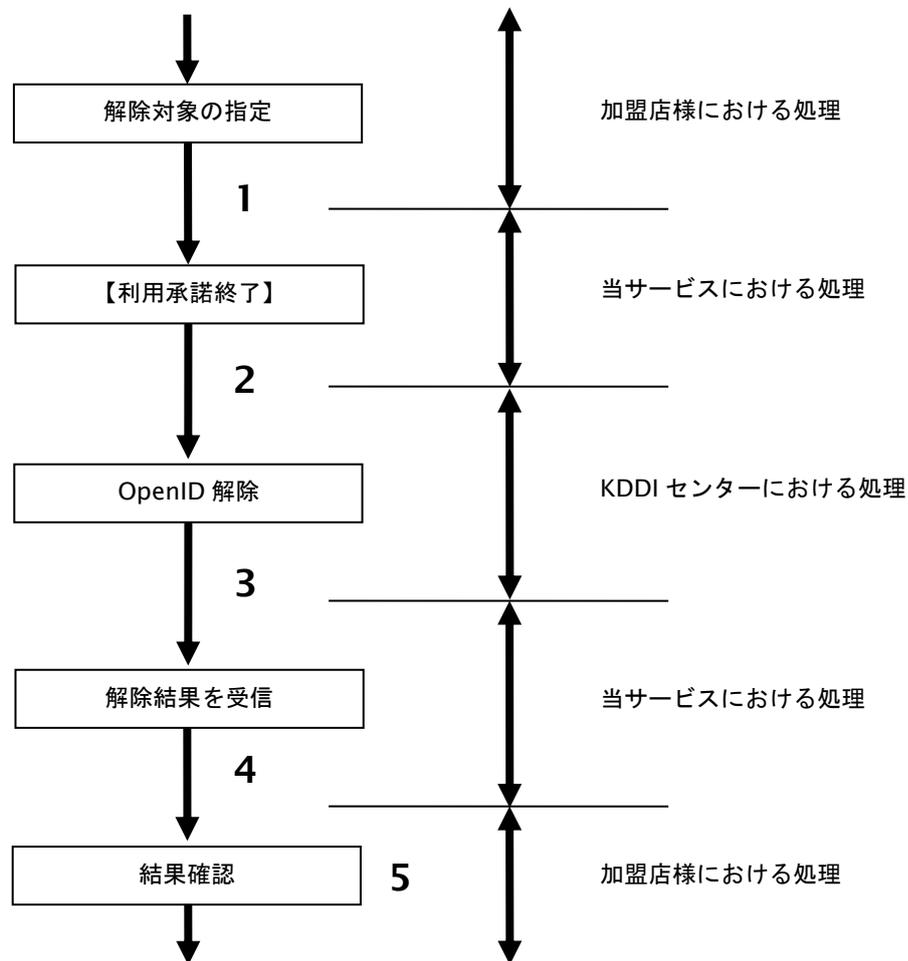


図 26.2.1-1 利用承諾終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、利用承諾を終了する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【利用承諾終了】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された au 承諾番号に該当する OpenID 解除リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、OpenID 解除結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、利用承諾終了結果を返します。
5. 加盟店様は、利用承諾終了結果を確認します。

26.2.2. 各インタフェース仕様詳細

26.2.2.1. 利用承諾終了

インタフェース概要

利用承諾の終了を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	AuAcceptUserEndInput	AuAcceptUserEndOutput	au PAY (au かんたん決済) の利用承諾終了インタフェースを使用して、取引を開始します。

【AuAcceptUserEndInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【AuAcceptUserEndOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	AuAcceptCode	◎	string	14	au 承諾番号	

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・END: 利用承諾終了
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

26.3. 随時決済を実行する

購入時にお客様が au PAY（au かんたん決済）に必要な情報を入力してから決済依頼します。

26.3.1. 随時決済の流れ

以下に、随時決済の流れをご説明します。事前に au 承諾番号を取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。

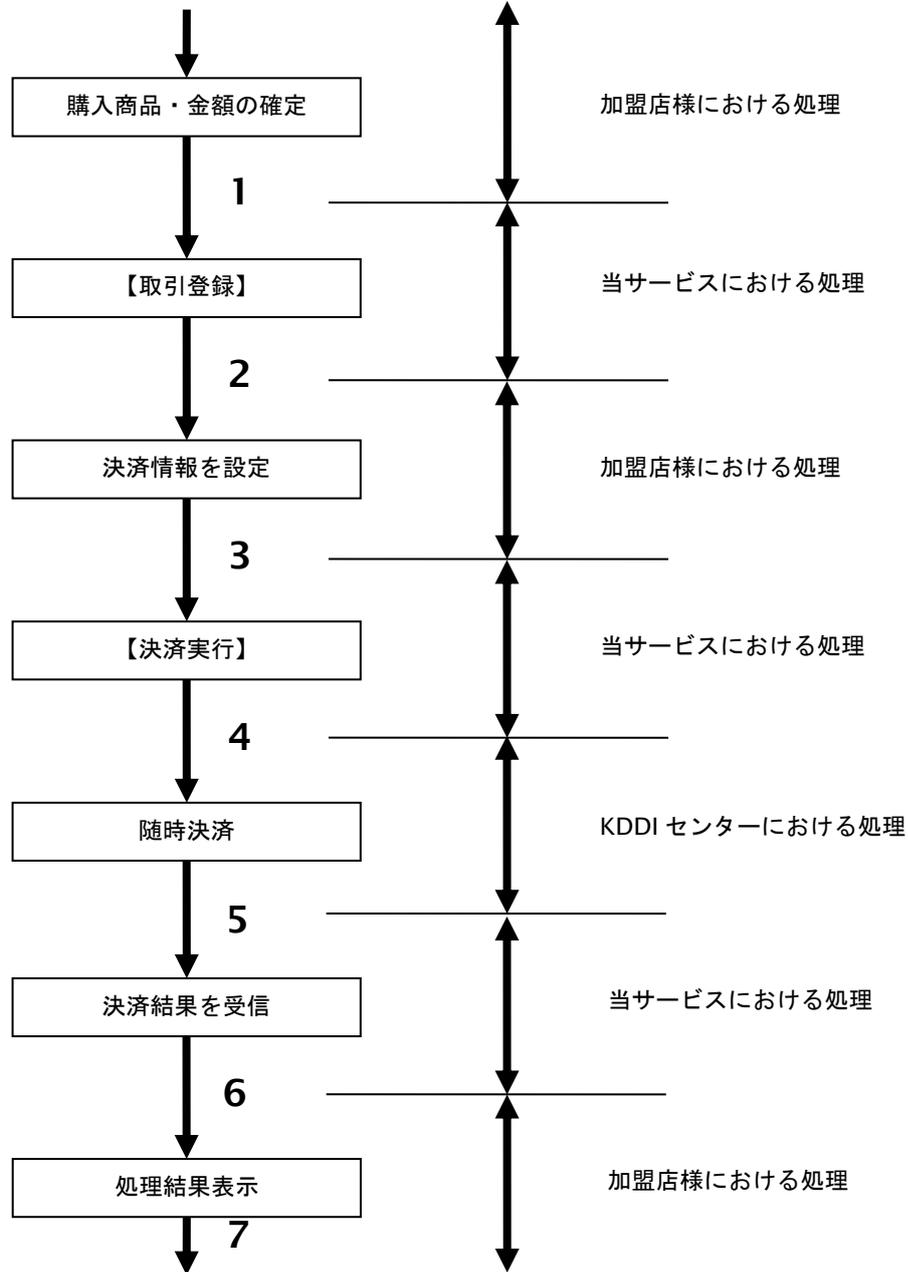


図 26.3.1-1 随時決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報及び au 承諾番号を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、指定された取引の随時決済リクエストを KDDI センターに送信します。
5. KDDI センターは、随時決済結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、随時決済結果を返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

26.3.2. 各インタフェース仕様詳細

26.3.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranAu】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranAuInput	EntryTranAuOutput	au PAY (au かんたん決済) の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranAuInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranAuOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
4	JobCd	◎	string	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
5	Amount	◎	integer	7	利用金額	利用金額+税送料で 1 円以上 9,999,999 円以下である必要があります。
6	Tax		integer	7	税送料	
7	PaymentType	●	string	1	決済タイプ	1 : 随時決済

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

26.3.2.2. 決済実行

インタフェース概要

随時決済を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranAu】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranAuInput	ExecTranAuOutput	au PAY (au かんたん決済) の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranAuInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranAuOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	
9	Commodity	◎	string	48	摘要	お客様が購入する商品の情報を設定。 KDDI センターでの決済時に表示される。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
10	ServiceName	◎	string	48	表示サービス名	加盟店様のサービス名称。 お客様の購入履歴などに表示される。 設定可能な文字は「全角文字」です。全角文字についての詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。
11	ServiceTel	◎	string	15	表示電話番号	加盟店様の電話番号。 お客様の購入履歴などに表示される。 設定可能な文字は「半角数字と” - “(ハイフン)」です。
12	AuAcceptCode	●	String	14	au 承諾番号	利用承諾時に払い出された au 承諾番号を指定します。 随時決済で支払方法は、利用承諾時にお客様が指定した支払方法となります。 随時決済を行う場合、必須となります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
2	Status	-	string	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
3	TranDate	-	string	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
4	PayInfoNo	-	string	16	決済情報番号	オーソリ処理が正常終了した時に振り出される番号です。 お客様が au ID 画面で確認できます。
5	PayMethod	-	string	2	支払方法	支払方法です。 01：合算 02：クレジットカード 06：au PAY カード 利用承諾時にお客様が選択した支払方法で決済されます。
6	CheckString	-	string	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結し MD5 ハッシュした値を返却します。
7	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
8	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

26.4. 決済の内容をキャンセル・返品する

「8.2. 決済の内容をキャンセル・返品する」を参照ください。

26.5. 売上の確定を行う

「8.3. 売上の確定を行う」を参照ください。

26.6. OpenID 解除を行う

「8.4. OpenID 解除を行う」を参照ください。

27. ソフトバンクまとめて支払い（B） 随時決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

※ソフトバンクまとめて支払い（B） 随時決済をご利用になるには「ソフトバンク継続課金」契約が必要です。

27.1. 利用承諾を行う

お客様から事前に利用承諾を 1 回取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。加盟店様は商品・役務などの提供の状況に応じ別途、随時決済を行います。随時決済は利用承諾後に払い出される SB 承諾番号を利用します。

- SB 承諾番号の有効期限は発効日、もしくは随時決済での最終利用日より 186 日です。
- お客様がソフトバンクの携帯電話サービスを解約するなどの手続きを行った場合は、SB 承諾番号は無効となり随時決済時にエラーとなります。

27.1.1. 利用承諾の流れ

以下に、利用承諾の流れをご説明します。

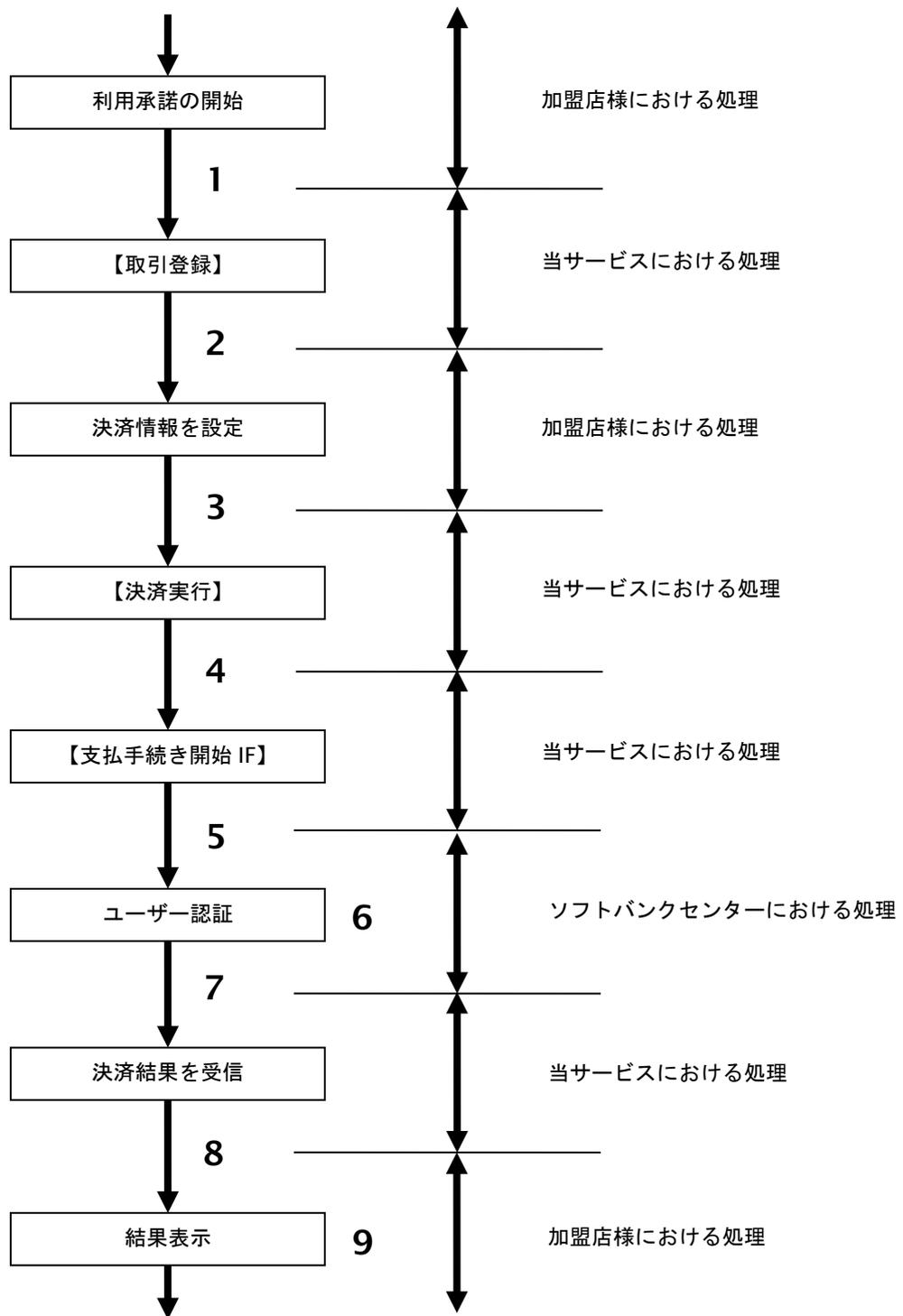


図 27.1.1-1 利用承諾の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、お客様に利用承諾に関する案内を告知したうえで当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を当サービスの【支払手続き開始 IF】に誘導します。
5. 当サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をソフトバンクセンターの決済画面に誘導します。
6. お客様は、ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の画面にて支払操作を行います。
7. ソフトバンクセンターは、決済結果を当サービスに送信します。
8. 当サービスは、リダイレクト経由で決済結果（SB 承諾番号）を返します。
9. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

27.1.2. 各インタフェース仕様詳細

27.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranSbAcceptInput	EntryTranSbAcceptOutput	ソフトバンクまとめてお支払い（B）決済の利用承諾取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【doEntryTranSuAccept】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【doEntryTranSuAccept】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

27.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranSuAcceptInput	ExecTranSuAcceptOutput	ソフトバンクまとめて支払い（B）の利用承諾決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranSbAcceptInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranSbAcceptOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
9	RetURL	◎	string	256	決済結果戻し URL	加盟店様が当サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 ソフトバンクセンター上でお客様が決済手続きを正常に完了された場合に、指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。
10	PaymentTermSec		integer	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き開始 IF】を呼び出すまでの期限です。 最大 86,400 秒（1 日） 呼び出しパラメータが空の場合、120 秒で処理されます。

11	ItemName		string	40	商品名	<p>ソフトバンク側の決済画面に表示されます。</p> <p>※使用可能文字は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字 ・半角記号(* アスタリスク - ハイフン _ アンダーバー @ アットマーク . ピリオド 半角スペース) ・全角文字 (JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字) <p>上記以外を指定した場合は、ソフトバンク側でエラーとなります。</p> <p>※機種依存文字は使用できません。</p> <p>※以下 8 文字は例外で使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> — ダッシュ(01 区 2130 +D) \ バックスラッシュ(01 区 2140 +0) ~ 波ダッシュ(01 区 2140 +1) パラレル(01 区 2140 +2) — 二分ダッシュ(01 区 2150 +D) ¢ セント(01 区 2170 +1) £ ポンド(01 区 2170 +2) - 否定算術記号(02 区 2240 +C) <p>※マルチバイト文字は2バイト扱いとなります。</p> <p>※半角カナは全角に変換されます。</p> <p>※40 バイトを超える場合は切り捨てられて表示されます。</p> <p>※弊社システム上は 40 文字まで指定可能です。</p> <p>※指定しない場合はショップ名が適用されます。</p>
----	----------	--	--------	----	-----	--

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Token	-	string	256	トークン	取引 ID のハッシュ値を返却します。
3	StartURL	-	string	256	支払手続き開始 IF の URL	支払手続き開始 IF の URL を返却します。
4	StartLimitDate	-	string	14	支払開始期限日時	支払手続き開始 IF の呼び出し期限を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
6	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
 ※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)
 ErrCode=M01|M01|M01&ErrInfo=M01002001|M01002002|M01007001

27.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
 続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryExecTranSbAcceptInput	EntryExecTranSbAcceptOutput	ソフトバンクまとめて支払い (B) の利用承諾取引登録と利用承諾決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranSbAcceptInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
 入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranSbAcceptOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
 出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店⇒当サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

27.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼び出し

処理概要

お客様をソフトバンクセンターへ誘導します。

※取引が特定できない場合、すでに支払いを済ませている場合、支払期限切れの場合等はエラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払手続き開始 IF 呼び出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	sbAcceptStart	pagePath, SbAcceptStartInput, encode	string	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath	◎	string	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessid	◎	string	32	取引 ID	
3	token	◎	string	256	トークン	
4	encode	◎	string	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	string	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータを参照ください。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="SbAcceptStartCall" action="{SbAcceptStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        ソフトバンクケータイ支払いの決済画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.SbAcceptStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

※ 上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様⇒当サービス)

以下のパラメータを当サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行ってください。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	◎	String	32	取引 ID	
2	Token	◎	String	256	トークン	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

27.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

ソフトバンクセンターから、当サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

当サービスは、【決済実行】時に指定されたリダイレクト URL に決済結果を通知します。

この決済結果は、ソフトバンクセンターの決済完了画面からブラウザ経由で連携されるため、ユーザの操作方法によっては支払操作が完了したにもかかわらず、加盟店様に通知されないことがあります。その際はショップ管理画面または結果通知にてご確認ください。また、同様の理由でこの決済結果が複数回加盟店様に通知されることがあります。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップID	該当取引のショップIDを返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REGISTER：利用承諾 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	SbAcceptCode	-	CHAR	14	SB 承諾番号	オーソリ処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 随時決済に利用します。 お客様が利用履歴画面で確認できます。
6	CheckString	-	CHAR	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結し MD5 ハッシュした値を返却します。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1 ErrInfo=WM1000007|WM1000008

27.2. 利用承諾の終了を行う

利用承諾時の取引 ID・取引パスワードを指定すると、利用承諾を終了することが可能です。

お客様のサービス停止や SB 承諾番号が不必要になった場合に行ってください。

27.2.1. 利用承諾の終了を行う流れ

以下に、利用承諾の終了を行う流れをご説明します。

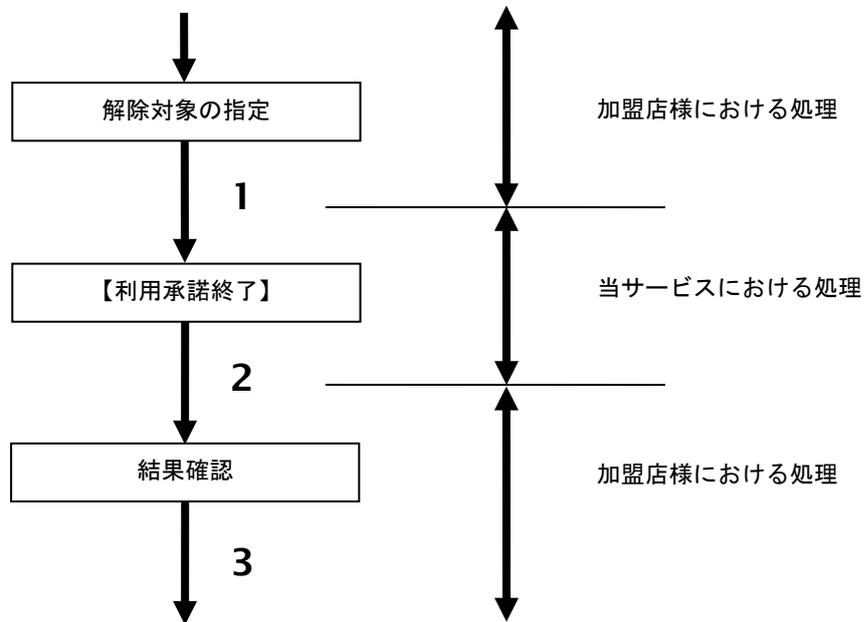


図 27.2.1-1 利用承諾終了の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、利用承諾を終了する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【利用承諾終了】** を呼び出します。
2. 当サービスは、利用承諾終了結果を返します。
3. 加盟店様は、利用承諾終了結果を確認します。

27.2.2. 各インタフェース仕様詳細

27.2.2.1. 利用承諾終了

インタフェース概要

利用承諾の終了を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	SbAcceptUserEndInput	SbAcceptUserEndOutput	ソフトバンクまとめて支払い (B) の利用承諾終了インタフェースを使用して、取引を開始します。

【SbAcceptUserEndInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SbAcceptUserEndOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
6	SbAcceptCode	◎	string	14	SB 承諾番号	

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	string	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 ・END：利用承諾終了
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

27.3. 随時決済を実行する

購入時にお客様がソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

27.3.1. 随時決済の流れ

以下に、ソフトバンクまとめて支払い（B）随時決済の流れをご説明します。事前にSB承諾番号を取得すると、加盟店様の任意のタイミングで決済（随時決済）を行うことができます。

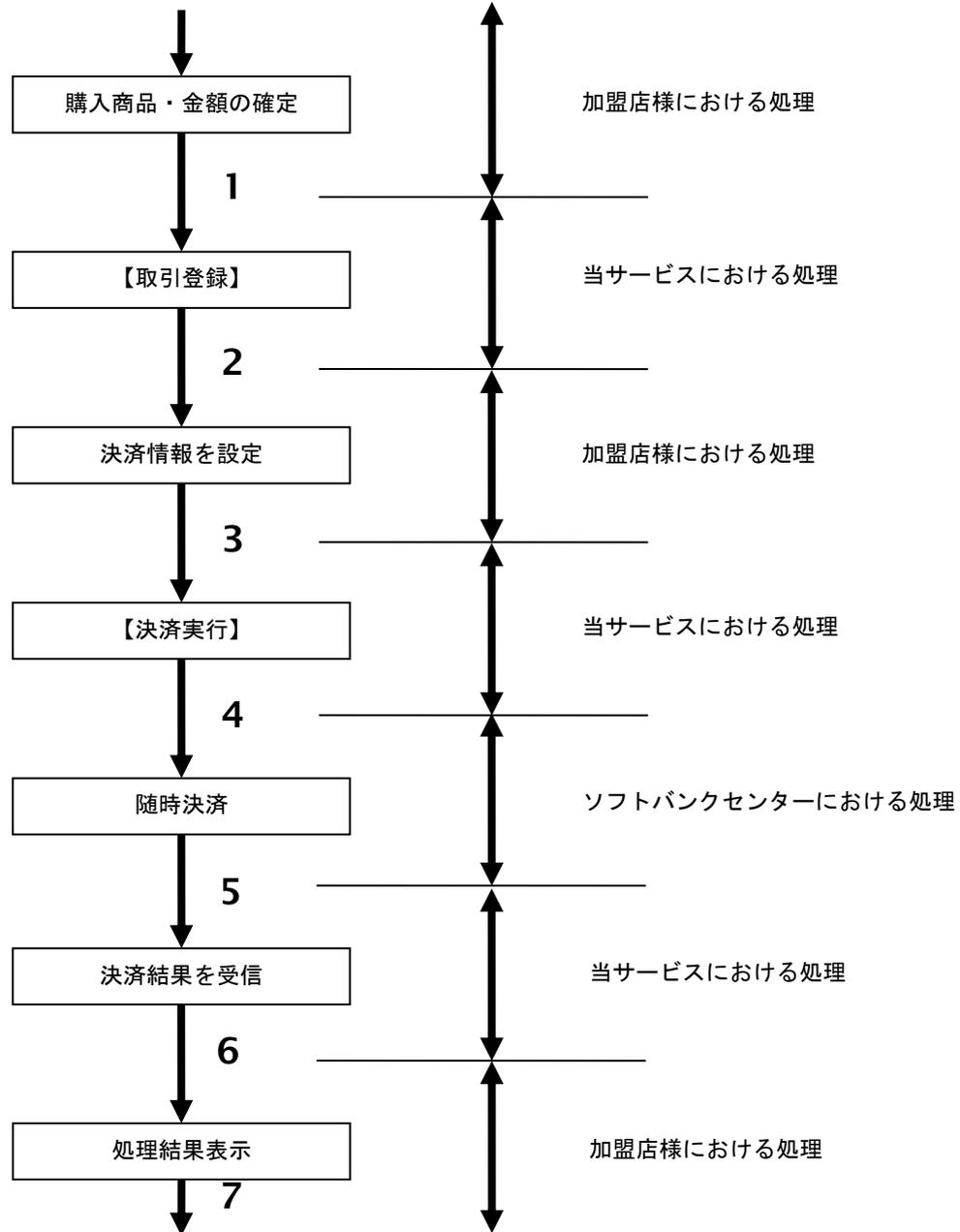


図 27.3.1-1 随時決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報及びSB承諾番号を設定し当サービスの**【決済実行】**を呼び出します。
4. 当サービスは、指定された取引の随時決済リクエストをソフトバンクセンターに送信します。
5. ソフトバンクセンターは、随時決済結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、随時決済結果を返します。
7. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

27.3.2. 各インタフェース仕様詳細

27.3.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【EntryTranSb】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranSbInput	EntryTranSbOutput	ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranSbInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranSbOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	JobCd	◎	string	—	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
5	Amount	◎	integer	5	利用金額	
6	Tax		integer	5	税送料	税送料を指定した場合は、利用金額+税送料が決済金額となります。 利用金額+税送料で1円以上10,000円以下である必要があります。 ソフトバンクまとめて支払い (B) の利用限度額初期設定は、3,000円となります。
7	PaymentType	●	string	1	決済タイプ	1 : 随時決済 ※随時決済を行う場合、必須となります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	発行した ID を返却します。 ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	発行したパスワードを返却します。 ※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

27.3.2.2. 決済実行

インタフェース概要

随時決済を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【ExecTranSb】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranSbInput	ExecTranSbOutput	ソフトバンクまとめて支払い（B）決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranSbInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranSbOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
9	ItemName		string	40	商品名	<p>ソフトバンクのご利用履歴に表示されます。</p> <p>※使用可能文字は以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半角英数字 ・半角記号(* アスタリスク - ハイフン _ アンダーバー @ アットマーク . ピリオド 半角スペース) ・全角文字 (JIS 第一水準漢字、JIS 第二水準漢字) <p>上記以外を指定した場合は、ソフトバンク側でエラーとなります。</p> <p>※機種依存文字は使用できません。</p> <p>※以下 8 文字は例外で使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> — ダッシュ(01 区 2130 +D) \ バックスラッシュ(01 区 2140 +0) ~ 波ダッシュ(01 区 2140 +1) パラレル(01 区 2140 +2) — 二分ダッシュ(01 区 2150 +D) ¢ セント(01 区 2170 +1) £ ポンド(01 区 2170 +2) ↔ 否定算術記号(02 区 2240 +C) <p>※マルチバイト文字は2バイト扱いとなります。</p> <p>※半角カナは全角に変換されます。</p> <p>※40 バイトを超える場合は切り捨てられて表示されます。</p> <p>※弊社システム上は 40 文字まで指定可能です。</p> <p>※指定しない場合はショップ名が適用されます。</p>
10	SbAcceptCode	●	string	14	SB 承諾番号	<p>利用承諾時に払い出された SB 承諾番号を指定します。</p> <p>または、継続課金申込処理が正常終了した時にソフトバンクから払い出される「ソフトバンク処理トラッキング ID」を指定します。</p> <p>随時決済を行う場合、必須となります。</p>

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	該当取引のオーダーIDを返却します。
2	Status	-	string	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
3	TranDate	-	string	14	処理日時	当サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
4	SbTrackingId	-	string	14	トラッキング ID	オーソリ処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 お客様が利用履歴画面で確認できます。
5	CheckString	-	string	32	改ざんチェック文字列	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPassを連結し MD5 ハッシュした値を返却します。
6	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ
7	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

27.4. 決済の内容をキャンセルする

「12.2. 決済の内容をキャンセルする」を参照ください。

27.5. 売上の確定を行う

「12.3. 売上の確定を行う」を参照ください。

28. マルチ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

28.1. 決済結果を参照する

オーダーID を指定すると、該当の決済結果を取得すること(以下、取引状態参照)が可能です。通信障害でタイムアウトが発生した場合等で決済結果が取得できなかった場合は、当インタフェースにて取得してください。

28.1.1. 取引状態参照の流れ

以下に、決済の結果を参照する流れをご説明します。

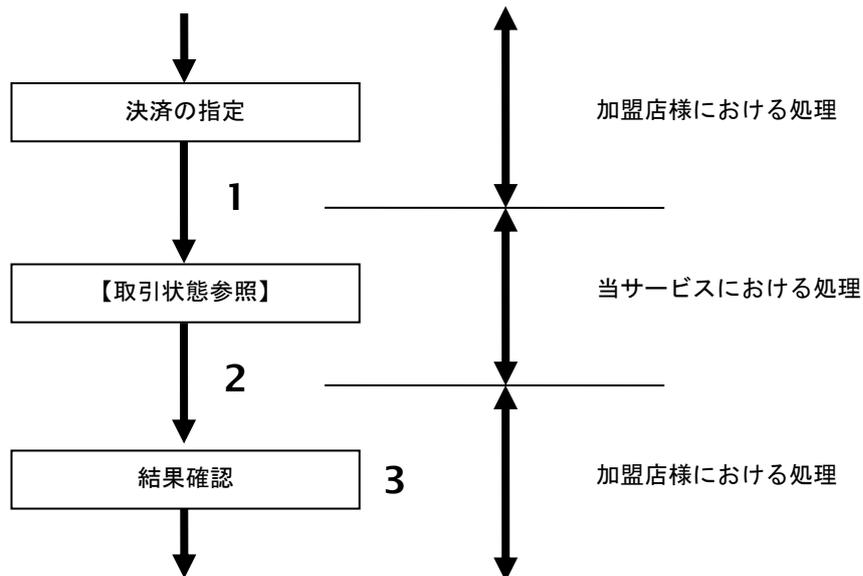


図 28.1.1-1 取引状態参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照する取引のオーダーID を指定し当サービスの**【取引状態参照】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された取引の内容を取得して返します。
3. 加盟店様は、取引の結果を確認します。

28.1.2. 各インタフェース仕様詳細

28.1.2.1. 取引状態参照

インタフェース概要

指定したオーダーIDの取引情報を取得します。

インタフェース詳細

以下のAPIを使用します。

【SearchTradeMulti】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	SearchTradeMultiInput	SearchTradeMultiOutput	マルチ決済タイプの取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【SearchTradeMultiInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SearchTradeMultiOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	PayType	◎	string	2	決済方法	0 : クレジット 1 : モバイル Suica 2 : 楽天 Edy 3 : コンビニ 4 : Pay-easy 7 : WebMoney 8 : auPAY (au かんたん決済) 都度・随時 9 : d 払い(都度・随時) 10 : ドコモ継続課金 11 : ソフトバンクまとめて支払い (B) (都度・随時) 13 : au かんたん継続課金 14 : JCB プリカ 16 : NET CASH・nanaco ギフト決済 18 : 楽天ペイ 21 : ネット銀聯 22 : ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金 23 : 銀行振込(バーチャル口座) 24 : リクルートかんたん支払い 25 : リクルートかんたん支払い継続課金 29 : Paid 決済 31 : d 払い(利用承諾) 33 : au かんたん(利用承諾) 34 : ソフトバンクまとめて支払い (B) (利用承諾) 35 : PAYSLE
2	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
3	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
4	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

カード決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 AUTHENTICATED : 未決済(3DS 登録済) CHECK : 有効性チェック CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 VOID : 取消 RETURN : 返品 RETURNX : 月跨り返品 SAUTH : 簡易オーソリ
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	jobCd	-	String	-	処理区分	CHECK : 有効性チェック CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 VOID : 取消 RETURN : 返品 RETURNX : 月跨り返品 SAUTH : 簡易オーソリ
4	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ItemCode	-	String	7	商品コード	
7	Amount	-	Integer	10	利用金額	
8	Tax	-	Integer	10	税送料	
9	SiteID	-	String	13	サイト ID	
10	MemberID	-	String	60	会員 ID	
11	CardNo	-	String	16	カード番号	下 4 桁以外は伏字
12	Expire	-	String	4	有効期限	
13	Method	-	String	1	支払方法	以下のいずれかが返却されます。 1 : 一括 2 : 分割 3 : ボーナス一括 4 : ボーナス分割 5 : リボ
14	PayTimes	-	Integer	2	支払回数	
15	Forward	-	String	7	仕向先会社コード	
16	TranID	-	String	28	トランザクション ID	
17	Approve	-	String	7	承認番号	
18	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
19	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
20	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
21	PayType	-	String	1	決済方法	0 : クレジット
22	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

コンビニ決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済完了 EXPIRED : 期限切れ CANCEL : 支払停止
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	Integer	10	利用金額	
6	Tax	-	Integer	10	税送料	
7	SiteID	-	String	13	サイト ID	
8	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	String	1	決済方法	3 : コンビニ
12	CvsCode	-	String	5	支払先コンビニ	支払先コンビニ会社コード
13	CvsConfNo	-	String	20	確認番号	コンビニ確認番号
14	CvsReceiptNo	-	String	32	受付番号	支払先コンビニが返却した受付番号
15	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
16	FinishDate	-	String	8	入金確定日	yyyyMMdd 書式 ※本番環境での利用開始は 2020 年 12 月 15 日を予定しています。
17	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

モバイル Suica 決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済完了 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	Integer	10	利用金額	
6	Tax	-	Integer	10	税送料	
7	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
8	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
10	PayType	-	String	1	決済方法	1 : モバイル Suica
11	SuicaReceiptNo	-	String	9	受付番号	Suica 受付番号
12	SuicaOrderNo	-	String	40	Suica 注文番号	オーダーID + "-" + 連番
13	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
14	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

楽天 Edy

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済完了 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	Integer	10	利用金額	
6	Tax	-	Integer	10	税送料	
7	SiteID	-	String	13	サイト ID	
8	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	String	1	決済方法	2 : 楽天 Edy
12	EdyReceiptNo	-	String	16	受付番号	楽天 Edy 受付番号
13	EdyOrderNo	-	String	40	Edy 注文番号	オーダーID + "-" + 連番
14	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
15	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

Pay-easy 決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSUCCESS : 決済完了 EXPIRED : 期限切れ CANCEL : 支払停止
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	Integer	10	利用金額	
6	Tax	-	Integer	10	税送料	
7	SiteID	-	String	13	サイト ID	
8	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	String	1	決済方法	4 : Pay-easy
12	CustID	-	String	11	お客様番号	Pay-easy お客様番号
13	BkCode	-	String	5	収納機関番号	Pay-easy 収納機関番号
14	ConfNo	-	String	20	確認番号	Pay-easy 確認番号
15	EncryptReceiptNo	-	String	128	暗号化決済番号	Pay-easy 暗号化決済番号
16	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
17	PayeasyPayment URL	-	String	256	金融機関選択画面 URL	
18	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

WebMoney 決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSTART : 決済開始 PAYSUCCESS : 決済完了 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ RETURN : 返品
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	Integer	10	利用金額	
6	Tax	-	Integer	10	税送料	
7	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
8	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
10	PayType	-	String	1	決済方法	7 : WebMoney
11	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
12	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
13	WebMoneyManagementNo	-	String	16	管理番号	購入に使用された WebMoney の管理番号
14	WebMoneySettleCode	-	String	25	決済コード	WebMoney センターが返却した決済コード

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

au PAY (au かんたん決済)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTH : 仮売上 PAYFAIL : 決済失敗 CAPTURE : 即時売上 SALES : 売上確定 CANCEL : キャンセル RETURN : 返品
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	jobCd	-	String	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上 SALES : 売上確定 CANCEL : キャンセル RETURN : 返品
4	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	Integer	10	利用金額	
7	Tax	-	Integer	10	税送料	
8	SiteID	-	String	13	サイト ID	
9	MemberID	-	String	60	会員 ID	
10	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
11	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
12	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
13	PayType	-	String	1	決済方法	8 : auPAY (au かんたん決済)
14	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
15	AuPayInfoNo	-	String	16	au 決済情報番号	購入に使用された au PAY (au かんたん決済) の管理番号 お客様が au ID 画面で確認できます。
16	AuPayMethod	-	String	2	au 支払方法	購入に使用された au PAY (au かんたん決済) の支払方法
17	AuCancelAmount	-	Integer	7	キャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
18	AuCancelTax	-	Integer	7	キャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。
19	AuAcceptCode	-	string	14	au 承諾番号	随時決済時に指定された au 承諾番号を返却します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

d 払い

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTH : 仮売上 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ CAPTURE : 即時売上 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	jobCd	-	String	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上 SALES : 売上確定 CANCEL : キャンセル
4	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	Integer	10	利用金額	
7	Tax	-	Integer	10	税送料	
8	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	String	1	決済方法	9 : d 払い
12	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
13	DocomoSettlementCode	-	String	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
14	DocomoCancelAmount	-	Integer	8	ドコモキャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
15	DocomoCancelTax	-	Integer	7	ドコモキャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。
16	DocomoIncreaseAmount	-	Integer	8	ドコモ増額金額	増額した金額を返却します。
17	DocomoIncreaseTax	-	Integer	7	ドコモ増額税送料	増額した税送料を返却します。
18	DocomoAcceptCode	-	String	12	ドコモ承諾番号	随時決済時に指定されたドコモ承諾番号を返却します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

ドコモ継続課金

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 登録手続中 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 PAYFAIL : 決済失敗 REGISTER : 契約中 END : 契約終了 ERASE : 抹消 RUN-CHANGE : 変更処理中 RUN-END : 契約終了処理中
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	jobCd	-	String	-	処理区分	REGISTER : 契約中 END : 終了
4	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
7	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
9	PayType	-	String	2	決済方法	10 : ドコモ継続課金
10	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
11	DocomoSettlementCode	-	String	12	ドコモ決済番号	オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
12	DocomoCancelAmount	-	Integer	8	ドコモキャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
13	DocomoCancelTax	-	Integer	7	ドコモキャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

ソフトバンクまとめて支払い (B)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTH : 仮売上 PAYFAIL : 決済失敗 CAPTURE : 即時売上 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	jobCd	-	String	-	処理区分	AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CAPTURE : 即時売上 CANCEL : キャンセル
4	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	Integer	10	利用金額	
7	Tax	-	Integer	10	税送料	
8	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	String	2	決済方法	11 : ソフトバンクまとめて支払い (B)
12	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
13	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
14	SbTrackingId	-	String	14	ソフトバンク処理トラッキング ID	オーソリ処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
15	SbCancelAmount	-	Integer	5	ソフトバンクキャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
16	SbCancelTax	-	Integer	5	ソフトバンクキャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。
17	SbAcceptCode	-	String	14	SB 承諾番号	随時決済時に指定された SB 承諾番号を返却します。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

au PAY (au かんたん決済) 継続課金

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 CERT_DONE : 決済認可完了 REGISTER : 継続課金登録 CANCEL : 継続課金解約 PAYFAIL : 決済失敗
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	String	-	要求処理	
4	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	Integer	10	利用金額	決済または決済依頼をした継続課金利用金額を返却します。
7	Tax	-	Integer	10	税送料	決済または決済依頼をした継続課金税送料を返却します。
8	SiteID	-	CHAR	13	サイト ID	
9	MemberID	-	CHAR	60	会員 ID	
10	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
11	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
12	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
13	PayType	-	String	2	決済方法	13 : au PAY (au かんたん決済) 継続課金
14	AuPayMethod	-	CHAR	2	au 支払方法	購入に使用された au PAY (au かんたん決済) の支払方法
15	AccountTimingKbn	-	CHAR	2	課金タイミング区分	01 : 日指定 02 : 月末日
16	AccountTiming	-	CHAR	2	課金タイミング	1~28
17	FirstAccountDate	-	CHAR	8	初回課金日	yyyyMMdd フォーマット
18	FirstAmount	-	NUMBER	7	初回課金利用金額	決済または決済依頼をした初回課金利用金額を返却します。
19	FirstTax	-	NUMBER	7	初回課金税送料	決済または決済依頼をした継続課金税送料を返却します。
20	AuContinuanceErrCode	-	CHAR	3	au 継続課金エラーコード	au 継続課金の処理でエラーが発生したときの取引の結果を取得する場合に返却します。
21	AuContinuanceErrInfo	-	CHAR	9	au 継続課金エラー詳細コード	au 継続課金の処理でエラーが発生したときの取引の結果を取得する場合に返却します。
22	AuContinueAccountld	-	CHAR	11	au 継続課金 ID	KDDIにて採番される ID
23	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

JCB プリカ決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	
4	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	
6	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	
8	CardNo	-	CHAR	32	カード番号	
9	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	
10	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
11	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
12	PayType	-	CHAR	2	決済方法	14 : JCB プリカ
13	JcbPrecaSalesCode	-	CHAR	20	伝票番号	JCB プリカセンターに登録する取引を識別する番号
14	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

NET CASH・nanaco ギフト決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED：未決済 REQSUCCESS：要求成功 PAYSTART：決済開始 PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗 EXPIRED：期限切れ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
7	Currency	-	CHAR	3	通貨コード	決済に利用された通貨を返却します。
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	16：NET CASH・nanaco ギフト
12	NetCashPayType	-	CHAR	40	決済方法	NET CASH 決済：NETCASH nanaco ギフト決済：NNCGIFT
13	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

楽天ペイ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSTART : 決済開始 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上 REQSALES : 実売上受付 REQCANCEL : キャンセル受付 REQCHANGE : 金額変更受付 SALES : 実売上 CANCEL : キャンセル REGISTER : 申込完了 REQAUTH : 仮売上受付 REQCAPTURE : 即時売上受付
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	8	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	8	税送料	
7	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	
8	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
10	PayType	-	CHAR	2	決済方法	18 : 楽天ペイ
11	JobCd	-	CHAR	7	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
12	OrderDate		CHAR	14	注文日	yyyyMMddHHmmss 書式
13	CompletionDate		CHAR	8	完了日	売上確定、注文キャンセル、注文金額変更処理の完了日を返却します。 yyyyMMdd 書式
14	RakutenidCoupon Fee		NUMBER	8	クーポン金額	決済時に使用されたクーポンの金額です。 クーポンが使用されていない取引の場合、0 になります。
15	SubscriptionId	-	CHAR	20	サブスクリプション ID	
16	SettlementSubscriptionId	-	CHAR	20	決済用サブスクリプション ID	
17	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

ネット銀聯決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYSTART : 決済開始 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上 REQSALES : 実売上要求中 REQRETURN : 返品要求中 REQCANCEL : キャンセル要求中 SALES : 実売上 RETURN : 返品 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	CAPTURE : 即時売上 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 RETURN_CAPTURE : 返品(即時売上) RETURN_SALES : 返品(実売上) CANCEL_CAPTURE : キャンセル(即時売上) CANCEL_SALES : キャンセル(実売上) CANCEL_AUTH : キャンセル(仮売上)
4	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	8	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	決済または決済依頼をした税送料を返却します。
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	21 : ネット銀聯
12	CommodityName		CHAR	255	商品名	
13	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTHCANCEL : 認証処理キャンセル REGISTER : 継続課金登録 PAYFAIL : 継続課金登録失敗 EXPIRED : 期限切れ CANCEL : 継続課金解約
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	String	-	処理区分	CHARGE : 課金申込 CANCEL : 継続課金解約
4	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	Integer	8	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	Integer	7	税送料	決済または決済依頼をした税送料を返却します。
8	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	String	2	決済方法	22 : ソフトバンクまとめて支払い (B) 継続課金
12	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
13	SbTrackingId	-	CHAR	14	ソフトバンク処理トラッキング ID	継続課金申込処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
14	SbStartChargeMonth	-	CHAR	6	課金開始月	yyyyMMdd 書式
15	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リクルートかんたん支払い決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 REQCAPTURE : 即時売上受け CAPTURE : 即時売上 AUTOCANCEL : 自動キャンセル CANCEL : キャンセル RETURN : 返品 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	AUTH : 仮売上 CAPTURE : 即時売上
4	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	24 : リクルートかんたん支払い
12	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
13	RcOrderId	-	CHAR	16	注文番号	決済の注文番号を返却します。 (リクルートかんたん支払いにて発行)
14	RcCustomerId		CHAR	256	顧客 ID ハッシュ値	リクルート ID の MD5 ハッシュ値が返却されます。
15	RcOrderTime	-	CHAR	25	注文時刻	注文時間を返却します。
16	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	購入者が行使したポイント数を返却します。
17	RcUseCoupon	-	CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
18	RcUseShopCoupon	-	CAHR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
19	RcUpdateAuthDay	-	CAHR	8	オーソリ期限延長実施日	yyyyMMdd 書式
20	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リクルートかんたん支払い継続課金決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証処理中 REGISTER : 継続課金登録 PAYFAIL : 継続課金登録失敗 EXPIRED : 期限切れ CANCEL : 継続課金解約
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	CHARGE : 課金申込 CHANGE : 金額変更 CANCEL : 継続課金解約
4	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	7	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	7	税送料	
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	25 : リクルートかんたん支払い継続課金
12	PaymentTerm	-	CHAR	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
13	RcContractId	-	CHAR	15	契約番号	継続課金の契約を一意に識別する ID を返却します。(リクルートかんたん支払いが発行)
14	RcOrderId	-	CHAR	16	注文番号	継続課金ごとに払い出す決済を一意に識別する ID を返却します。(リクルートかんたん支払いが発行)
15	RcOrderTime	-	CHAR	14	注文時刻	注文確定時間を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
16	RcCustomerId	-	CHAR	256	顧客 ID ハッシュ値	リクルート ID の MD5 ハッシュ値が返却されます。
17	RcUsePoint	-	CHAR	13	行使ポイント数	購入者が行使したポイント数を返却します。
18	RcUseCoupon	-	CHAR	13	リクルート原資クーポン割引額	リクルート原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
19	RcUseShopCoupon	-	CHAR	13	加盟店様原資クーポン割引額	加盟店様原資クーポンの割引額を返却します。 ※値引き額が絶対値で入ります。
20	RcStartChargeMonth	-	CHAR	6	課金開始月	自動課金を行う開始月を返却します。 処理日時(ユーザが継続課金申込完了した日時)の翌月が設定されます。 yyyyMM 書式
21	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

銀行振込(バーチャル口座)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 TRADING : 取引中 TRANSFERRED : 入金済み EXPIRED : 有効期限切れ
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	String	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	NUMBER	8	利用金額(振込依頼金額)	振込依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	NUMBER	7	税送料(振込依頼金額)	振込依頼をした金額を返却します。
7	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
8	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
10	PayType	-	String	2	決済方法	25 : 銀行振込(バーチャル口座)
11	VaExpireDate	-	String	8	取引有効期限	yyyyMMdd 書式
12	VaTradeReason	-	String	96	取引事由	振込依頼内容を返却します。
13	VaTradeClientName	-	String	64	取引依頼人名	決済実行時に指定した振込依頼人名を返却します。
14	VaTradeClientMailaddress	-	String	256	取引依頼人メールアドレス	決済実行時に指定した振込依頼人メールアドレスを返却します。
15	VaAccountNumber	-	String	7	口座番号	口座番号を返却します。
16	VaBankCode	-	String	4	銀行コード	銀行コードを返却します。
17	VaBankName	-	String	45	銀行名	銀行名を返却します。
18	VaBranchCode	-	String	3	支店コード	支店コードを返却します。
19	VaBranchName	-	String	45	支店名	支店名を返却します。
20	VaAccountType	-	String	1	預金種別	預金種別を返却します。 1 : 普通預金、2 : 当座預金
21	VaReserveID	-	String	32	継続口座 ID	継続口座 ID を返却します。
22	VaInquiryNumber	-	String	8	照会番号	銀行から返された照会番号を返却します。
23	VaSettlementDate	-	String	8	勘定日	勘定日を返却します。 yyyyMMdd 書式
24	VaAmount	-	String	8	入金金額	入金金額を返却します。
25	VaClientName	-	String	144	振込依頼人名	振込依頼人を返却します。
26	VaRequestAmount	-	String	16	振込要求金額	利用金額 + 税送料の値を返却します。
27	VaClientCode	-	String	10	振込依頼人コード	振込依頼人コードを返却します。
28	VaSummary	-	String	60	適要	摘要を返却します。
29	VaTradeCode	-	String	7	振込コード	振込時に「依頼人名」に入力するコードを返却します。
30	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
31	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

Paid 決済

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	CHAR	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYFAIL : 決済失敗 AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 RETURN : 返品 CANCEL : キャンセル
2	ProcessDate	-	CHAR	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	CHAR	-	処理区分	AUTH : 仮売上 SALES : 実売上 CHANGE : 金額変更 RETURN:返品 CANCEL : キャンセル
4	AccessID	-	CHAR	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	CHAR	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	Amount	-	NUMBER	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
7	Tax	-	NUMBER	10	税送料	
8	ClientField1	-	CHAR	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	CHAR	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	CHAR	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	CHAR	2	決済方法	29 : Paid 決済
12	PaidCancelAmount	-	NUMBER	10	Paid キャンセル金額	キャンセル・返品した金額を返却します。
13	PaidCancelTax	-	NUMBER	10	Paid キャンセル税送料	キャンセル・返品した税送料を返却します。
14	PaidBuyerID	-	CHAR	20	Paid 取引先 ID	決済実行時に指定した Paid 取引先 ID。
15	PaidCode	-	CHAR	27	Paid 伝票番号	当サービスで発行した伝票番号。
16	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
17	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
18	PaidContents	-	CHAR	160	Paid 注文内容	決済実行時に指定した注文内容。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

d 払い(利用承諾)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	string	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証中 PAYFAIL : 決済失敗 EXPIRED : 期限切れ REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
2	ProcessDate	-	string	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	string	-	処理区分	REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
4	AccessID	-	string	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	
7	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
9	PayType	-	string	2	決済方法	31 : d 払い(利用承諾)
10	DocomoAcceptCode	-	string	12	ドコモ承諾番号	処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 随時決済をする際に利用します。
11	ProcessLastDate	-	string	14	最終処理日時	利用承諾を行った日時、またはドコモ承諾番号を使用して随時決済を行った日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
12	ErrCode	-	string	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)
13	ErrInfo	-	string	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列(※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

au PAY (au かんたん決済) (利用承諾)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	string	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証中 PAYFAIL : 決済失敗 REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
2	ProcessDate	-	string	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	string	-	処理区分	REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
4	AccessID	-	string	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	SitelID	-	string	13	サイト ID	
7	MemberID	-	string	60	会員 ID	
8	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
11	PayType	-	string	2	決済方法	33 : au PAY (au かんたん決済) 利用承諾
12	AuPayMethod	-	string	2	au 支払方法	購入に使用された au PAY (au かんたん決済) の支払方法
13	AuAcceptCode	-	string	14	au 承諾番号	処理が正常終了した時払い出される番号です。 随時決済をする際に利用します。
14	ProcessLastDate	-	string	14	最終処理日時	利用承諾を行った日時、または au 承諾番号を使用して随時決済を行った日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
15	ErrCode	-	string	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
16	ErrInfo	-	string	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

ソフトバンクまとめて支払い (B) 決済(利用承諾)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	string	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 AUTHPROCESS : 認証中 PAYFAIL : 決済失敗 REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
2	ProcessDate	-	string	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	JobCd	-	string	-	処理区分	REGISTER : 利用承諾 END : 利用承諾終了
4	AccessID	-	string	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
6	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	
7	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
9	PayType	-	string	2	決済方法	34 : ソフトバンクまとめて支払い (B) (利用承諾)
10	SbAcceptCode	-	string	14	SB 承諾番号	処理が正常終了した時にソフトバンクから振り出される番号です。 随時決済をする際に利用します。
11	ProcessLastDate	-	string	14	最終処理日時	利用承諾を行った日時、または SB 承諾番号を使用して随時決済を行った日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
12	ErrCode	-	string	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
13	ErrInfo	-	string	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

PAYSLE 決済 (PAYSLE アプリ方式)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	string	-	現状態	UNPROCESSED : 未決済 REQSUCCESS : 要求成功 PAYWAITING : 支払待ち PAYSUCCESS : 決済完了 PAYFAIL : 決済失敗 REQCANCEL : 支払停止受付 CANCEL : 支払停止
2	ProcessDate	-	string	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	string	32	取引 ID	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	integer	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	integer	10	税送料	
7	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	
8	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
10	PayType	-	string	2	決済方法	35 : PAYSLE
11	PaysleDisplayTerm	-	string	8	表示開始日	PAYSLE アプリでのバーコード表示開始日を返却します。 yyyyMMdd 書式
12	PayslePaymentTerm	-	string	8	支払期限日	バーコードの支払期限日を返却します。 yyyyMMdd 書式
13	PaysleNotifyTerm	-	string	8	購入者通知日	お客様の PAYSLE アプリへの支払通知日です。 yyyyMMdd 書式
14	PaysleOrderSerial	-	string	18	注文管理 ID	PAYSLE 事業者が発行する注文管理 ID です。
15	PaysleResultCode	-	string	1	収納結果	1 : 支払い 2 : 確定 3 : 支払取消
16	FinishDate	-	string	14	入金日時	お客様がコンビニでお支払いをした日時です。 yyyyMMddHHmmss 書式
17	ErrCode	-	string	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
18	ErrInfo	-	string	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

※1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

PAYSLE 決済（事業者アプリ方式）

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	string	-	現状態	UNPROCESSED：未決済 REQSUCCESS：要求成功 PAYSUCCESS：決済完了 CANCEL：支払停止
2	ProcessDate	-	string	14	処理日時	処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
3	AccessID	-	string	32	取引 ID	※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	※：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	Amount	-	integer	10	利用金額	決済または決済依頼をした金額を返却します。
6	Tax	-	integer	10	税送料	
7	ClientField1	-	string	100	加盟店自由項目 1	
8	ClientField2	-	string	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	string	100	加盟店自由項目 3	
10	PayType	-	string	2	決済方法	35：PAYSLE
11	PayslePaymentTerm	-	string	8	支払期限日	バーコードの支払期限日を返却します。 yyyyMMdd 書式
12	PaysleOrderSerial	-	string	18	注文管理 ID	PAYSLE 事業者が発行する注文管理 ID です。
13	PaysleBarcodeWidth	-	string	5	バーコードイメージ 横幅	単位は px です。
14	PaysleBarcodeHeight	-	string	5	バーコードイメージ 縦幅	単位は px です。
15	PaysleBarcodeFormat	-	string	10	バーコードイメージ 形式	jpg/png/bmp
16	PaysleResultCode	-	string	1	収納結果	1：支払い 2：確定 3：支払取消
17	FinishDate	-	string	14	支払い日時	yyyyMMddHHmmss 書式
18	PaysleBarcode	-	string	-	バーコードデータ	BASE64 でエンコードされた文字列です。
19	ErrCode	-	string	3	エラーコード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)
20	ErrInfo	-	string	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ 複数ある場合は" "で接続された文字列 (※1)

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※1：複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=E01|E01|E01|E01|E01&ErrInfo=E01010001|E01020001|E01030002|E01040001|E01060001

29. PAYSLE決済（PAYSLEアプリ方式）インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。各インタフェースの呼び出しは HTTPS 通信にて行う必要があります。

PAYSLE アプリ方式では、お客様のスマートフォンにインストールされた PAYSLE アプリに、決済用のバーコードを表示し決済を行います。

29.1. PAYSLE決済依頼をする

お客様が購入時に PAYSLE 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。当サービスは非同期で PAYSLE センターに電子バーコード作成依頼を行います。電子バーコード作成依頼が成功すると、お客様の PAYSLE アプリに支払い用バーコードが表示されます。（加盟店様が決済実行を実施してから 30 分～60 分程度かかります。）

決済依頼を行う前に、お客様のスマートフォンに PAYSLE アプリがインストールされている必要があります。

29.1.1. PAYSLE決済の流れ

以下に、PAYSLE 決済の流れをご説明します。

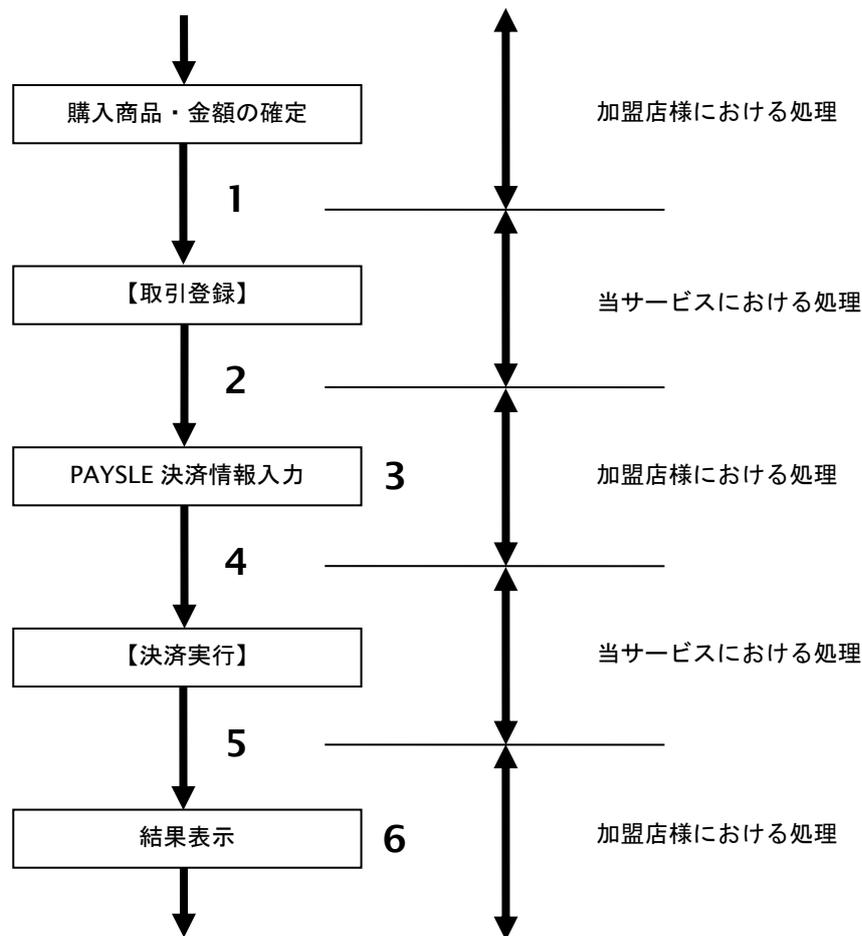


図 29.1.1-1 PAYSLE 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様に PAYSLE 決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力された PAYSLE 決済情報をもって当サービスの【決済実行】を呼び出します。
5. 当サービスは、PAYSLE 決済情報を受け付けた結果を返します。その後、非同期にて後続の決済センターと通信を行い電子バーコード作成依頼を実施します。

(電子バーコード作成依頼が成功すると、PAYSLE からお客様に認証 URL が記載された SMS が送信されます。お客様は認証 URL を押下し認証操作をします。(認証の際に PAYSLE アプリのログインアカウントとパスワードが必要になります。) その後、PAYSLE アプリがインストールされたスマートフォンにバーコード発行の通知が表示(メッセージやアイコン上のバッジ等)されます。またお客様による SMS 認証は最初の 1 度のみとなります。)

6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

29.1.2. 各インタフェース仕様詳細

29.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranPaysleInput	EntryTranPaysleOutput	PAYSLE 決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranPaysleInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranPaysleOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	integer	6	利用金額	利用金額+税送料が 1 円~300,000 円である必要があります。
5	Tax		integer	6	税送料	未指定の場合「0」となります。
6	PaymentType	◎	string	1	決済タイプ	1 : PAYSLE アプリ方式 ※ご契約内容により利用可能な決済タイプが異なります。

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

29.1.2.2. 決済実行

インターフェース概要

決済処理を受け付けます。

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranPaysleInput	ExecTranPaysleOutput	PAYSLE 決済の決済実行インターフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranPaysleInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranPaysleOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
9	DisplayTermDay		string	2	表示開始日数	<p>PAYSLE アプリでのバーコード表示開始日数です。 0~170 まで指定できます。</p> <p>・決済実行日が 2018 年 1 月 1 日の場合 表示開始日数に 0 を指定すると、表示日は 2018 年 1 月 1 日になります。 表示開始日数に 60 を指定すると、表示日は 2018 年 3 月 2 日になります。</p> <p>省略時は、ショップ情報に設定された表示開始日数で処理されます。表示開始日数の初期値は「0」となっております。 変更する際はショップ管理画面より変更してください。</p>

10	PaymentTermDay		string	3	支払期限日数	<p>バーコードの支払期限日数です。 1~170 まで指定できます。 表示開始日数と同値または大きい値を指定してください。</p> <p>・決済実行日が 2018 年 1 月 1 日の場合 支払期限日数に 1 を指定すると、支払期限日は 2018 年 1 月 2 日になります。 支払期限日数に 170 を指定すると、支払期限日は 2018 年 6 月 20 日になります。</p> <p>省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。支払期限日数の初期値は「30」となっております。変更する際はショップ管理画面より変更してください。</p>
11	NotifyTermDay		string	2	購入者通知日数	<p>お客様の PAYSLE アプリに支払通知を行う日数です。この日付を元に、「期限まであと×日」という PUSH 通知がされます。</p> <p>1~170 まで指定できます。 表示開始日数と同値または大きい値、かつ支払期限日数と同値または小さい値を指定してください。</p> <p>・決済実行日が 2018 年 1 月 1 日の場合 購入者通知日数に 1 を指定すると、通知日は 2018 年 1 月 2 日になります。 購入者通知日数に 170 を指定すると、通知日は 2018 年 6 月 20 日になります。</p> <p>省略時は、ショップ情報に設定された購入者通知日数で処理されます。購入者通知日数の初期値は「30」となっております。変更する際はショップ管理画面より変更してください。</p>
12	CustomerName	◎	string	20	購入者氏名	<p>支払者の氏名です。 PAYSLE アプリに表示されます。</p>
13	CustomerTel	◎	string	13	購入者携帯電話番号	<p>支払者の携帯電話番号です。 数字、ハイフンで指定してください。</p>
14	CustomerId	◎	string	50	購入者管理 ID	<p>支払者を一意に識別する ID です。 認証が完了した購入者は同一事業者からの PAYSLE アプリによる支払いであれば、認証行為は最初の注文時の 1 回のみになります。 英数字で指定してください。</p>
15	InvoiceTitle		string	30	請求書タイトル	<p>指定した場合 PAYSLE アプリに表示されます。未指定の場合契約時に登録した内容が表示されます。</p> <p>※使用可能漢字は JIS 第二水準までとなります。</p>
16	ItemId		string	9	商品番号 (明細)	<p>指定した場合 PAYSLE アプリに表示されます。</p> <p>数字で指定してください。</p>
17	ItemName		string	20	商品名 (明細)	<p>指定した場合 PAYSLE アプリに表示されます。</p> <p>※使用可能漢字は JIS 第二水準までとなります。</p>

18	ItemNumbers		integer	6	数量（明細）	PAYSLE アプリに表示されます。 未指定の場合「1」が設定されます。
19	ItemFee		integer	6	単価（明細）	PAYSLE アプリに表示されます。 数量を指定した場合、必須となります。 「数量×単価」と利用金額は一致するように指定してください。 未指定の場合は「利用金額」が設定されます。
20	Multitem		string	30000	複数明細（※1）	PAYSLE アプリに表示されます。 明細（商品番号、商品名、数量、単価）を12個まで指定することができます。 指定した場合は、個別に指定した明細（商品番号、商品名、数量、単価）は無視されます。 UTF-8のXMLフォーマットで作成しBASE64エンコーディングしてください。 複数明細中の「数量×単価の合計額」と利用金額は一致するように指定してください。
21	PaysleTax		integer	6	消費税額	PAYSLE アプリに表示されます。 「消費税額+送料」と税送料は一致するように指定してください。 未指定の場合は「税送料」が設定されます。
22	PaysleShippingFee		integer	6	送料	PAYSLE アプリに表示されます。 「消費税額+送料」と税送料は一致するように指定してください。 未指定の場合「0」が設定されます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

※1：複数の商品を指定する場合のみ設定してください。

以下のXMLフォーマットをUTF-8でBASE64エンコーディングした値を設定してください。

[XMLフォーマット]

Lv	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	itemsInfo	-	-	-	商品明細親属性	
2	Item	-	-	-	商品明細	複数指定することが可能です。
3	itemId		CHAR	9	商品番号	商品を特定する商品番号を設定します。 数字で指定してください。
3	itemName		CHAR	20	商品名	商品を特定する商品名を設定します。 ※使用可能漢字はJIS 第二水準までとなります。
3	itemNumbers	◎	NUMBER	6	数量	商品の数量を設定します。 XML中の「数量×単価の合計額」と利用金額は一致するように指定してください。
3	itemFee	◎	NUMBER	6	単価	商品単価を設定します。

XMLヘッダは不要です。

Base64エンコーディングする前のデータが30000バイト以内になるように設定してください。

[XML例]

```

<itemsInfo>
  <item>
    <itemId>001</itemId>
    <itemName>商品001</itemName>
    <itemNumbers>1</itemNumbers>
    <itemFee>1000</itemFee>
  </item>
  <item>
    <itemId>002</itemId>
    <itemName>商品002</itemName>
    <itemNumbers>2</itemNumbers>
    <itemFee>500</itemFee>
  </item>
</itemsInfo>

```

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	【決済実行】呼び出し時に指定した値を返却します。
2	Status	-	string	-	現状態	処理成功時は以下のステータスが返却されます。 REQSUCCESS : 要求成功
3	TranDate	-	string	14	決済日付	決済依頼を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
4	PaysleDisplayTerm	-	string	8	表示開始日	PAYSLE アプリでのバーコード表示開始日を返却します。 yyyyMMdd 書式
5	PayslePaymentTerm	-	string	8	支払期限日	バーコードの支払期限日を返却します。 yyyyMMdd 書式
6	PaysleNotifyTerm	-	string	8	購入者通知日	お客様の PAYSLE アプリへの支払通知日です。 yyyyMMdd 書式
7	CheckString	-	string	32	MD5 ハッシュ	OrderID,AccessID,ShopID,ShopPass を連結し MD5 ハッシュした値を返却します。
8	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
9	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎ : 必須 ● : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

29.2. PAYSLE決済の支払停止を実行する

PAYSLE 決済では、決済実行した取引の支払停止が可能です。

加盟店様が【支払停止】を呼び出すと、当サービスは非同期で PAYSLE センターに電子バーコードの取消処理を行います。電子バーコード取消処理が成功すると、PAYSLE アプリの未支払一覧からバーコードが削除され、注文取消が発生した旨の「お知らせ」が通知されます。(加盟店様が支払停止を実施してから 30 分～60 分程度かかります。)

29.2.1. PAYSLE決済の支払停止の流れ

以下に、PAYSLE 決済の支払停止の流れをご説明します。

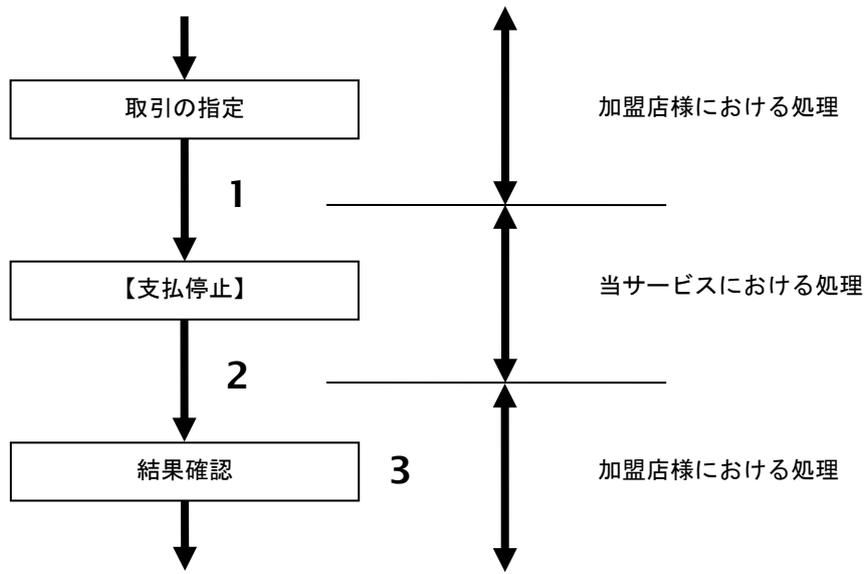


図 29.2.1-1 PAYSLE 決済の支払停止の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引を指定し当サービスの【支払停止】を呼び出します。
2. 当サービスは、支払停止情報を受け付けた結果を返します。その後、非同期にて後続の決済センターとの通信を行い支払停止処理を実施します。
3. 加盟店様は、支払停止結果を確認します。

29.2.2. 各インタフェース仕様詳細

29.2.2.1. 支払停止

インタフェース概要

支払停止処理を受け付けます。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	PaysleCancelInput	PaysleCancelOutput	PAYSLE 決済の支払停止インタフェースを使用して、支払停止処理を受け付けます。

【PaysleCancelInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【PaysleCancelOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	Status	-	string	-	現状態	成功時は以下のステータスが返却されません。 REQCANCEL: 支払停止受付
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

30. PAYSLE決済（事業者アプリ方式）インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。各インタフェースの呼び出しは HTTPS 通信にて行う必要があります。

事業者アプリ方式では、決済依頼時に返却されたバーコードデータを加盟店様にてお客様のスマートフォンに表示し決済を行います。その際、必ず加盟店様のスマートフォンアプリ上で表示してください。ブラウザ（Safari、Chrome 等）で表示した場合、バーコード画像が正しく読み取れない場合があります。

また、バーコードデータの表示方法にはレギュレーションが定められています。詳細は、別紙「制限事項一覧」を参照ください。

30.1. PAYSLE決済依頼をする

決済依頼をすると当サービスは PAYSLE センターに電子バーコード作成依頼を行います。電子バーコード作成依頼が成功すると、支払い用バーコードデータを返却します。

30.1.1. PAYSLE決済の流れ

以下に、PAYSLE 決済の流れをご説明します。

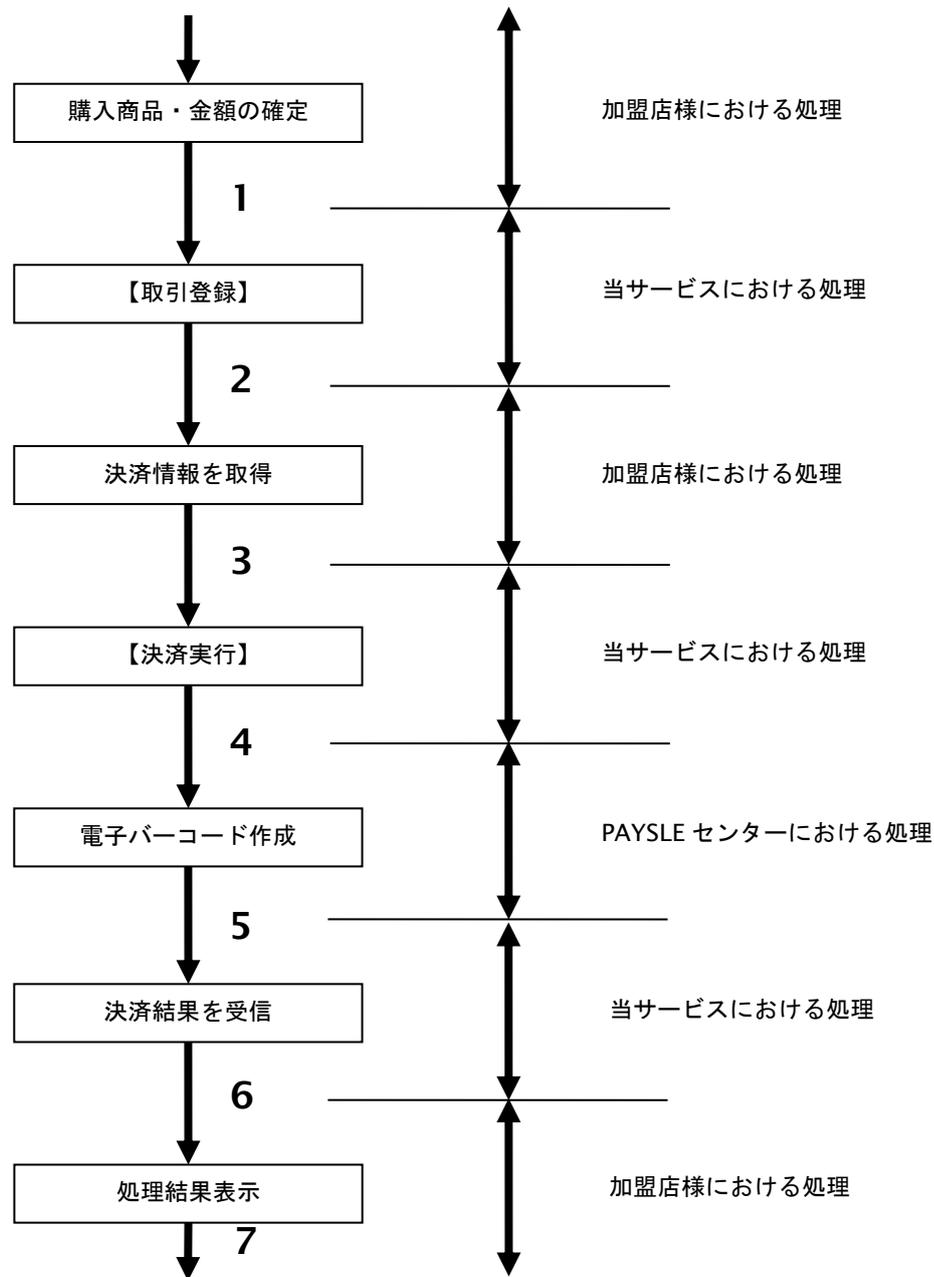


図 30.1.1-1 PAYSLE 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって当サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 当サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、PAYSLE 決済に必要な情報を取得し当サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 当サービスは、PAYSLE センターと通信を行い電子バーコード作成依頼を実施します。
5. PAYSLE センターは、電子バーコード作成結果を当サービスに送信します。
6. 当サービスは、決済依頼結果を返します。
7. 加盟店様は、決済依頼結果をお客様のスマートフォンに表示します。

30.1.2. 各インタフェース仕様詳細

30.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	EntryTranPaysleInput	EntryTranPaysleOutput	PAYSLE 決済の取引登録インタフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranPaysleInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranPaysleOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	8	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	OrderID	◎	string	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
4	Amount	◎	integer	6	利用金額	利用金額+税送料が 1 円~300,000 円である必要があります。
5	Tax		integer	6	税送料	未指定の場合「0」となります。
6	PaymentType	◎	string	1	決済タイプ	2: 事業者アプリ方式 ※ご契約内容により利用可能な決済タイプが異なります。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	string	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ※: 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	string	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ※: 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

30.1.2.2. 決済実行

インターフェース概要

お客様が入力した情報で後続の決済センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インターフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	ExecTranPaysleInput	ExecTranPaysleOutput	PAYSLE 決済の決済実行インターフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranPaysleInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranPaysleOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

各パラメータ値を POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	ClientField1		string	100	加盟店自由項目 1	自由に設定してください。
7	ClientField2		string	100	加盟店自由項目 2	自由に設定してください。
8	ClientField3		string	100	加盟店自由項目 3	自由に設定してください。
9	PaymentTermDay		string	3	支払期限日数	<p>バーコードの支払期限日数です。 1~170 まで指定できます。</p> <p>・決済実行日が 2018 年 1 月 1 日の場合 支払期限日数に 1 を指定すると、支払期限日は 2018 年 1 月 2 日になります。 支払期限日数に 170 を指定すると、支払期限日は 2018 年 6 月 20 日になります。</p> <p>省略時は、ショップ情報に設定された支払期限日数で処理されます。支払期限日数の初期値は「30」となっております。 変更する際はショップ管理画面より変更してください。</p>
10	DeviceName	◎	string	20	機種名	F-06E、iPhone12,1 の様に、設定してください。iPhone の場合、InternalName(iPhone 7 Plus の場合、iPhone9,2) を設定してください。
11	OsVersion	◎	string	10	OS バージョン	Android の場合“7.0”、iPhone の場合“11.1.2” の様に、設定してください。
12	WinWidth	◎	integer	5	画面横幅	1~99999 まで指定できます。
13	WinHeight	◎	integer	5	画面縦幅	1~99999 まで指定できます。

14	Xdpi		integer	6	画面横方向 dpi	Android 端末の場合は必須ですが、iPhone の場合は設定不要です。 1～999999 まで指定できます。
15	Ydpi		integer	6	画面縦方向 dpi	Android 端末の場合は必須ですが、iPhone の場合は設定不要です。 1～999999 まで指定できます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

※設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照してください。

30.2. PAYSLE 決済の支払停止の流れ

PAYSLE 決済では、決済実行した取引の支払停止が可能です。

お客様の誤入金を防止するため、支払停止を行った際は速やかにチェックマーク付きの支払い済みバーコードを表示するか非表示にしてください。チェックマーク付きの支払済みバーコードはバーコード発行処理で取得できます。

30.2.1. PAYSLE決済の支払停止の流れ

以下に、PAYSLE 決済の支払停止の流れをご説明します。

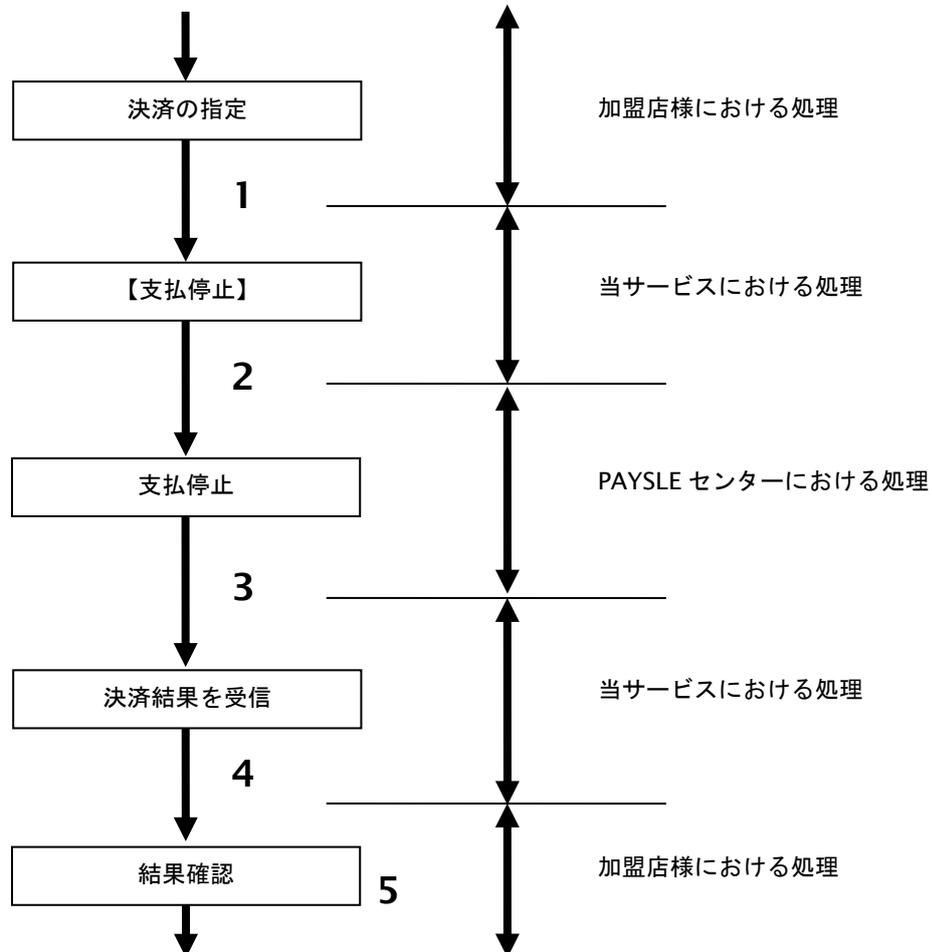


図 30.2.1-1 PAYSLE 決済の支払停止の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【支払停止】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定された支払停止リクエストを PAYSLE センターに送信します。
3. PAYSLE センターは、支払停止結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、支払停止結果を返します。
5. 加盟店様は、支払停止の結果を確認します。

30.2.2. 各インタフェース仕様詳細

30.2.2.1. 支払停止

インタフェース概要

支払停止処理を受け付けます。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	PaysleCancelInput	PaysleCancelOutput	PAYSLE 決済の支払停止インタフェースを使用して、支払停止処理を受け付けます。

【PaysleCancelInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【PaysleCancelOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	string	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	string	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	string	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	string	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	string	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	Status	-	string	-	現状態	成功時は以下のステータスが返却され ます。 CANCEL: 支払停止
3	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
4	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎: 必須 ●: 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

30.3. PAYSLE 決済のバーコードを発行する

発行済みバーコードの画像を再取得することが可能です。

支払停止済み、支払期限切れ、及び支払い済みの取引に対してバーコード発行を行うと、チェックマーク付きの支払い済みバーコードが返却されます。お客様の誤入金を防止するため取引が支払停止済み、支払い期限切れ、及び支払い済みになった際は速やかにチェックマーク付きの支払い済みバーコードを表示するか、すでに取得済みのバーコードを非表示にしてください。

※支払停止を行うと、即時にチェックマーク付きの支払い済みバーコードが取得できます。

※お客様がお支払手続きを行った後、1分～6分ほど経過するとチェックマーク付きの支払い済みバーコードが取得できます。

※支払停止済み、支払期限切れ、及び支払い済みになった取引は5日以内であればチェックマーク付きの支払い済みバーコードが取得することができます。

※チェックマーク付きの支払い済みバーコードを取得することができる期間は、取引が支払停止済み、支払期限切れ、及び支払い済みになってから5日以内です。

1月1日に支払停止した取引は1月5日中までチェックマーク付きの支払い済みバーコードが取得できます。

30.3.1. PAYSLE決済のバーコード発行の流れ

以下に、PAYSLE 決済のバーコード発行の流れをご説明します。

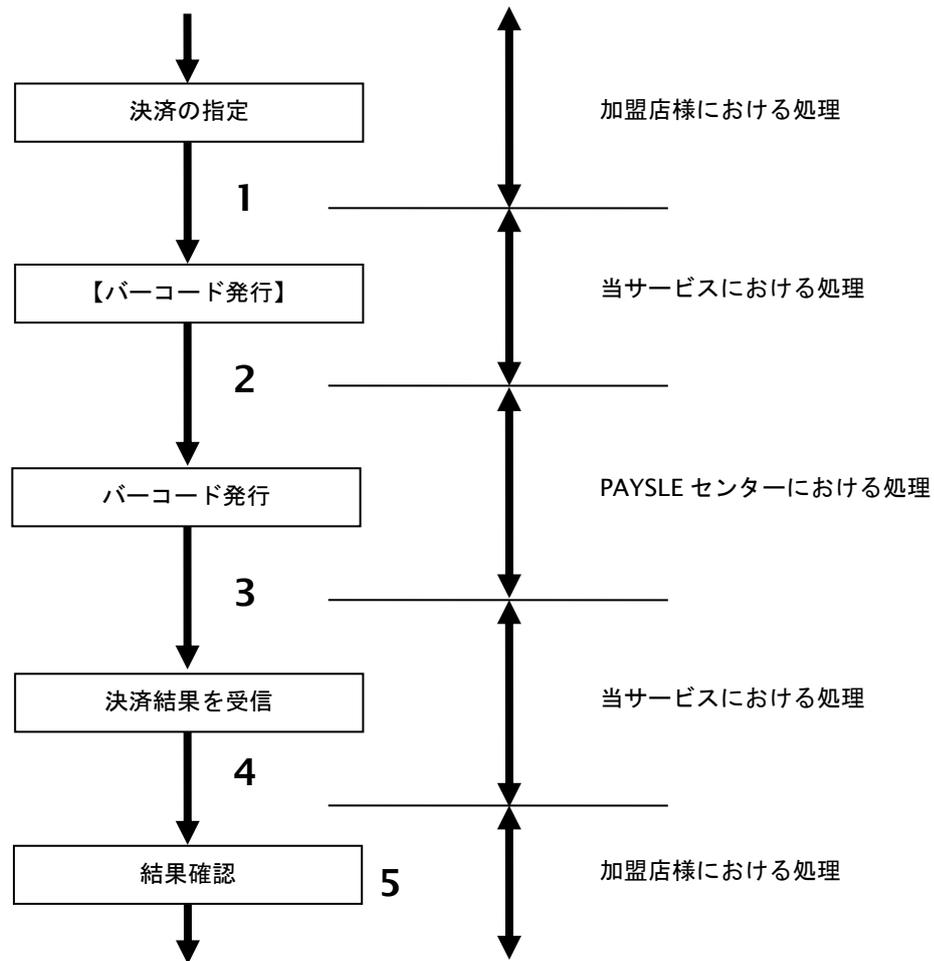


図 30.3.1-1 PAYSLE 決済のバーコード発行の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、バーコード再発行する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、当サービスの **【バーコード発行】** を呼び出します。
2. 当サービスは、指定されたバーコード発行リクエストを PAYSLE センターに送信します。
3. PAYSLE センターは、バーコード発行結果を当サービスに送信します。
4. 当サービスは、バーコード発行結果を返します。
5. 加盟店様は、バーコード発行の結果を確認します。

30.3.2. 各インタフェース仕様詳細

30.3.2.1. バーコード発行

インタフェース概要

PAYSLE 決済センターとの通信を行い、バーコード発行処理を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	exec	PaysleBarcodeInput	PaysleBarcodeOutput	PAYSLE 決済のバーコード発行インタフェースを使用して、バーコードを取得します。

【PaysleBarcodeInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【PaysleBarcodeOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様⇒当サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID	◎	String	13	ショップ ID	弊社が発行する値を設定します。
2	ShopPass	◎	String	10	ショップパスワード	弊社が発行する値を設定します。
3	AccessID	◎	String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値を設定します。
4	AccessPass	◎	String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値を設定します。
5	OrderID	◎	String	27	オーダーID	【取引登録】で指定した値を設定します。
6	DeviceName	◎	String	20	機種名	F-06E、iPhone12,1 の様に、設定してください。iPhone の場合、InternalName(iPhone 7 Plus の場合、iPhone9,2) を設定してください。
7	OsVersion	◎	String	10	OSバージョン	Android の場合“7.0”、iPhone の場合“11.1.2” の様に、設定してください。
8	WinWidth	◎	Number	5	画面横幅	1～99999 まで指定できます。
9	WinHeight	◎	Number	5	画面縦幅	1～99999 まで指定できます。
10	Xdpi		Number	6	画面横方向 dpi	Android 端末の場合は必須ですが、iPhone の場合は設定不要です。1～999999 まで指定できます。
11	Ydpi		Number	6	画面縦方向 dpi	Android 端末の場合は必須ですが、iPhone の場合は設定不要です。1～999999 まで指定できます。

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

出力パラメータ(当サービス⇒加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	string	27	オーダーID	入力パラメータの値を返却します。
2	PaysleBarcodeWidth	-	string	5	バーコードイメージ 横幅	単位は px です。
3	PaysleBarcodeHeight	-	string	5	バーコードイメージ 縦幅	単位は px です。
4	PaysleBarcodeFormat	-	string	10	バーコードイメージ 形式	jpg/png/bmp
5	PaysleBarcode	-	string	-	バーコードデータ	BASE64 でエンコードされた文字列を返却します。
6	ErrCode	-	array	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
7	ErrInfo	-	array	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 ◎：必須 ●：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】